未来へつなぐ
あだちプロジェクト

足立区ひとり親家庭実態調査

アンケート調査報告書

平成３０年６月

足　立　区

目　　次

目　次 1

第１章　調　　査　　の　　概　　要 7

１　調査の目的 9

２　調査の方法 9

３　調査票の設計 9

４　回収結果 10

５　報告書を利用するにあたって 10

６　調査の協力者 10

第２章　調査結果　《Ⅰ．母子世帯》 11

１．調査対象者の概要 13

（１）年齢 13
（２）ひとり親になった時期と事情 13
（３）同居家族の状況 14

２．仕事の状況について 15

（１）就労の有無 15
（２－１）仕事の形態 15
（２－２）仕事の収入 15
（２－３）労働時間 16
（２－４）副業の状況 16
（２－５）ふだん仕事をしている時間帯 17
（２－６）子どもの登校前の出勤 17
（２－７）転職の意向 18

（２－８）仕事と家庭のバランスについて 19
（３）求職の状況 20

３．子どもの状況について 21

（１）子どもの人数 21
（２－１）子育てについて－小学校に入学する前（０歳～６歳）の子どもと同居している方 21
（２－２）子育てについて－小学生の子どもと同居している方 22
（３）子どもの塾や習い事について 23
（４）進路について 24
（５）子どもの生活状況 24
（６）子どもの最終学歴 25

４．自分の子どもの頃と、ひとり親家庭になる前の経験について 26

（１）中学３年生のときの暮らしの状況 26
（２）成人するまでのあいだにひとり親家庭だった時期の有無 26
（３）最終学歴 26
（４）ひとり親家庭になる前の時期で悩んだ経験 27
（５－１）ＤＶの経験 28
（５－２）身体的暴行を相談したことの有無 28
（５－３）自分への暴行の場面を子どもが目撃したことの有無 29
（６）仕事の状況 29

５．ひとり親家庭になってからの経験について 30

（１－１）生活保護を受けたことの有無 30
（１－２）生活保護を受けたことがない理由 30
（２）ひとり親家庭になってから経験したこと 31
（３）相談で利用したことのある公的機関 32
（４）幸せの度合い 33

６．過去１年間の経験について 34

（１）経済的な理由のために支払いができなかったこと 34
（２）食料や衣料が買えなかった経験の有無 35
（３－１）医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無 36
（３－２）医療機関を受診させなかった（できなかった）理由 36

７．普段の生活や気持ちについて 37

（１）自分のためにやっていることと、やりたいがあきらめていること 37
（２）自分について思うこと 38
（３）健康状態 39

８．両親とのかかわりについて 39

（１）両親の状況 39
（２）子どもの祖父母に協力してもらうこと 40

９．現在の暮らしについて 41

（１）家族全員の年収 41
（２）経済的理由のためにないもの 42
（３）現在の暮らしの状況 43
（４）家族旅行の状況 43
（５）住居の形態 44
（６）住居費として負担している金額 44

10．悩みや相談について 45

（１）悩んでいることや心配なこと 45
（２）相談できる人の有無 47

11．足立区で利用できるサービスや支援制度ついて 47

（１－１）児童扶養手当受給の有無 47
（１－２）職業資格取得に関する給付金等事業の利用状況 47
（１－３）職業資格取得に関する給付金等事業を利用できるか不安な理由 48
（２）これから習得したい職業資格 49
（３）利用したい支援やサービス 50
（４）知りたい情報があるときに参考にしている媒体 51

第３章　調査結果　《Ⅱ．父子世帯》 53

Ⅱ．父子世帯 55

１．調査対象者の概要 55

（１）年齢 55
（２）ひとり親になった時期と事情 55
（３）同居家族の状況 56

２．仕事の状況について 57

（１）就労の有無 57
（２－１）仕事の形態 57
（２－２）仕事の収入 57
（２－３）労働時間 58
（２－４）副業の状況 58
（２－５）ふだん仕事をしている時間帯 59
（２－６）子どもの登校前の出勤 59
（２－７）転職の意向 60
（２－８）仕事と家庭のバランスについて 61
（３）求職の状況 62

３．子どもの状況について 63

（１）子どもの人数 63
（２－１）子育てについて－小学校に入学する前（０歳～６歳）の子どもと同居している方 63
（２－２）子育てについて－小学生の子どもと同居している方 64
（３）子どもの塾や習い事について 65
（４）進路について 66
（５）子どもの生活状況 67
（６）子どもの最終学歴 68

4.自分の子どもの頃と、ひとり親家庭になる前の経験について 70

（１）中学３年生のときの暮らしの状況 70
（２）成人するまでのあいだにひとり親家庭だった時期の有無 70
（３）最終学歴 71
（４－１）仕事や働き方の変化の有無 72
（４－２）変化の状況 72
（４－３）変化の状況 73

5．ひとり親家庭になってからの経験について 74

（１－１）生活保護を受けたことの有無 74
（１－２）生活保護を受けたことがない理由 74
（２）ひとり親家庭になってから経験したこと 75
（３）相談で利用したことのある公的機関 76
（４）幸せの度合い 77

6．過去１年間の経験について 78

（１）経済的な理由のために支払いができなかったこと 78
（２）食料や衣料が買えなかった経験の有無 79
（３－１）医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無 80
（３－２）医療機関を受診させなかった（できなかった）理由 80

7．普段の生活や気持ちについて 81

（１）自分のためにやっていることと、やりたいがあきらめていること 81
（２）自分について思うこと 82
（３）健康状態 83

8．両親とのかかわりについて 83

（１）両親の状況 83
（２－１）子どもの祖父母との同居状況 84
（２－２）子どもの祖父母との同居時期 84
（２－３）子どもの祖父母との同居時期 84
（３）子どもの祖父母に協力してもらうこと 85

9．現在の暮らしについて 86

（1）家族全員の年収 86
（2）経済的理由のためにないもの 87
（3）現在の暮らしの状況 88
（4）家族旅行の状況 88
（5）住居の形態 89
（6）住居費として負担している金額 90

10．悩みや相談について 91

（1）悩んでいることや心配なこと 91
（2）相談できる人の有無 93

11．足立区で利用できるサービスや支援制度ついて 93

（1－1）児童扶養手当受給の有無 93
（1－2）職業資格取得に関する給付金等事業の利用状況 93
（1－3）職業資格取得に関する給付金等事業を利用できるか不安な理由 94
（2）これから習得したい職業資格 95
（3）利用したい支援やサービス 96
（4）知りたい情報があるときに参考にしている媒体 97

第４章　調査結果　《Ⅲ．外国人世帯》 99

Ⅲ．外国人世帯 101

１．調査対象者の概要 101

（1）国籍、年齢、性別 101
（2）子どもの人数 102
（3）同居家族の人数 103
（4）両親の居住場所 103
（5）在留資格 103

２．これまでの暮らしについて 104

（1）最終学歴 104
（2）はじめて日本に来た頃のこと 105
（3）ひとり親家庭になった時期・事情 106
（4）日本語の理解の程度 107
（5）支援（サポート）してくれた人 108
（6）子育てのことで困ったこと 109
（7）別れた相手と一緒に暮らしていた頃に困ったこと 110

３．仕事について 111

（1）就労の有無 111
（2－1）仕事の形態 111

（２－２）仕事の収入 112
（２－３）労働時間 112
（２－４）副業の状況 113
（２－５）ふだん仕事をしている時間帯 114
（２－６）転職の意向 115
（３）転職の意向 116

４．ひとり親家庭になってからの経験について 117

（１）児童扶養手当の受給状況 117
（２－１）生活保護を受けたことの有無 117
（２－２）生活保護を受けたことがない理由 118
（３）お金を借りた経験 119
（４）相談で利用したことのある公的機関 120

５．過去１年間の経験について 121

（１）食料や衣料が買えなかった経験の有無 121
（２）経済的な理由によって期限通りに支払えなかったことの有無 121
（３－１）医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無 122
（３－２）医療機関を受診させなかった（できなかった）理由 122

６．普段の生活や気持ちについて 123

（１）自分のためにやっていることと、やりたいがあきらめていること 123
（２）健康状態 124

７．現在の暮らしについて 125

（１）家族全員の年収 125
（２）経済的理由のためにないもの 126
（３）現在の暮らしの状況 126
（４）家族旅行の状況 127

８．悩みや相談について 128

（１）悩んでいることや心配なこと 128
（２）職業資格 130
（３）利用したい支援やサービス 131

第５章　自由記述 133

（１）気持ちが明るくなるときとつらくなるとき 135
（２）足立区への意見等 176

参考資料　調査票 198

第1章　調査の概要

第１章　調査の概要

1　調査の目的

足立区では、ひとり親家庭を支える事業として、従来の手当、医療費の助成に加え、就労支援を拡充し、相談事業と交流事業を新規に開始した。この取り組みを充実・発展させていくための基礎資料を得ることを目的として、本調査を実施した。

2　調査の方法

本調査は、以下に示すような内容で、対象となる区民へアンケート調査を実施した。

（1）母子世帯
- 調査対象：区内に居住する母子世帯
- 抽出方法：児童育成手当受給者データから無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査時期：平成28年12月15日～平成28年12月28日

（2）父子世帯
- 調査対象：区内に居住する父子世帯
- 抽出方法：児童育成手当受給者データから無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査時期：平成28年12月15日～平成28年12月28日

（3）外国人世帯
- 調査対象：区内に居住する外国人世帯の世帯
- 抽出方法：児童育成手当受給者データから無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査時期：平成28年12月15日～平成28年12月28日

3　調査票の設計

調査票の作成にあたっては、以下の調査を参考にした。

- 「子どもの健康・生活実態調査」東京都足立区
- 「ひとり親家庭の生活実態に関する調査」東京都大田区
- 「ひとり親家庭ニーズ調査報告書」東京都練馬区
- 「ひとり親世帯の子どもの生活実態に関する調査」岩手県盛岡市
- 「国民生活基礎調査」厚生労働省
- 「全国ひとり親世帯等調査」厚生労働省
- 「親と子の生活意識に関する調査」内閣府
- 「生活と支え合いに関する調査」国立社会保障・人口問題研究所
- 「子どものいる世帯の生活状況および保護者の就業に関する調査」労働政策研究・研修機構
- 「幼児の生活アンケート」ベネッセ総合教育研究所
- 「岡山県在住外国人生活状況調査」岡山県

４　回収結果

回収結果は、以下のとおりである。

調査票種	調査対象件数	有効回収数	回収率
母子世帯	1,663	693	41.6%
父子世帯	243	89	36.6%
外国人世帯	94	31	33.3%
合計	2,000	813	40.7%

５　報告書を利用するにあたって

○図・表中のｎ、件数とは、基数となる実数のことである。
○回答はｎ、件数を100%として百分率で算出してある。小数点以下第２位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
○図・表中のーは回答者が皆無のものである。
○複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
○クロス集計等において、基数となる実数（ｎ）が極端に少なくなる場合は正確に分析できないため、本文中では触れていない場合がある。ただし、参考のために図・表中には掲載している。

６　調査の協力者

本調査を実施するにあたり、調査の構成、調査票の作成、結果のまとめ、および分析に立教大学教授 湯澤直美先生、法政大学教授 藤原千沙先生にご協力をいただいた。

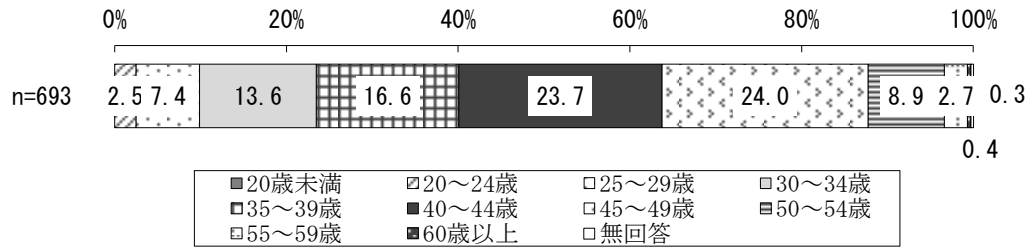
第２章　調査結果　《Ⅰ．母子世帯》

Ⅰ．母子世帯

１．調査対象者の概要

（１）年齢

問１　あなたの現在の年齢を教えてください。

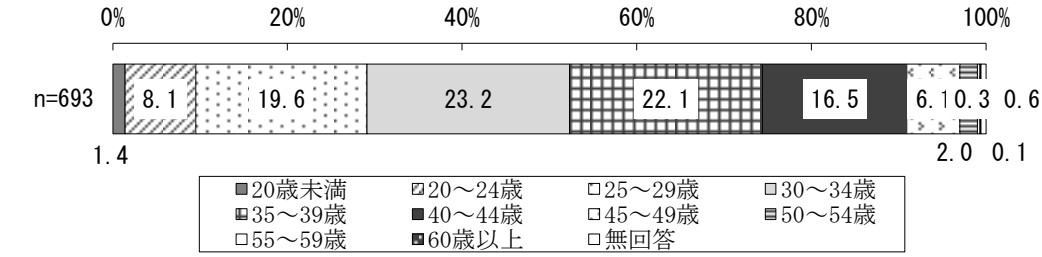


年齢は、「45～49歳」（24.0%）と「40～44歳」（23.7%）が２割台となっている。

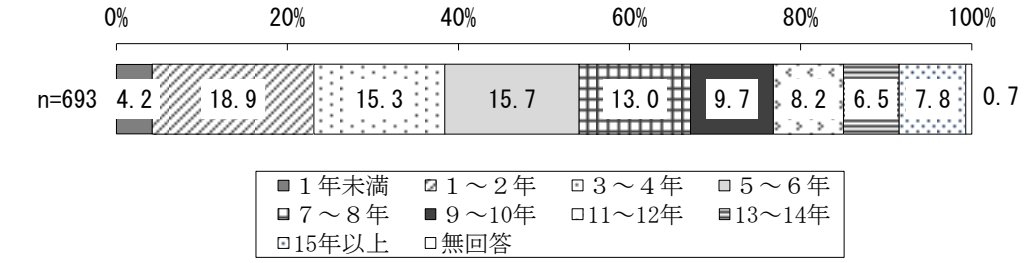
（２）ひとり親になった時期と事情

問２　ひとり親になった時期とご事情について教えてください。２回以上経験している場合は、直近のものについてご記入ください。

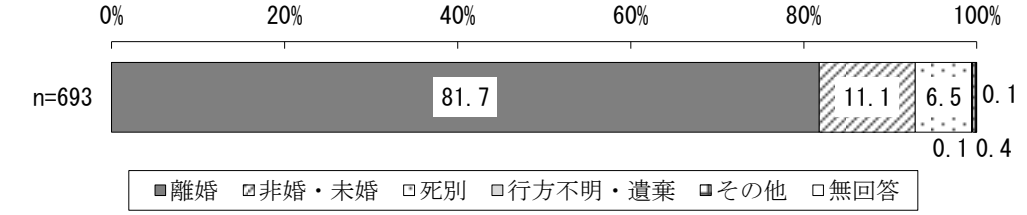
■ひとり親になった時期



■ひとり親期間



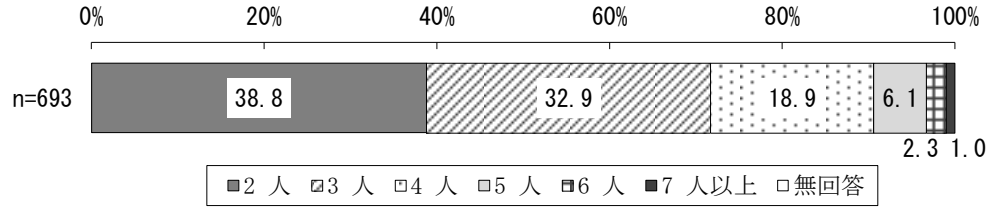
■ひとり親になった事情



ひとり親になった時期は、「30～34歳」（23.2%）と「35～39歳」（22.1%）が２割台となっている。
ひとり親期間は、「１～２年」が18.9%、「３～４年」、「５～６年」が約15%となっている。
ひとり親になった事情は、「離婚」が81.7%で最も多くなっている。

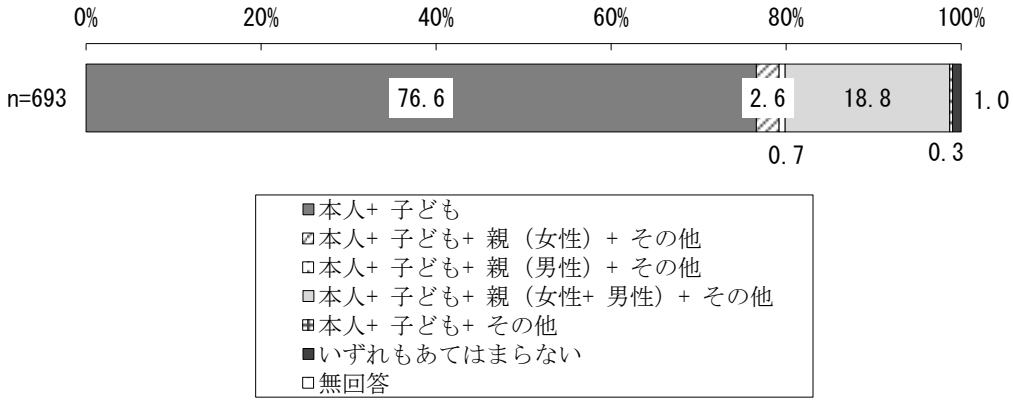
（３）同居家族の状況

問３　現在、あなたと一緒に暮らしている方（同じ世帯の方）についてお聞きします。
※通学等で別居しているお子さんも生計を共にしている場合は人数に含みます。
（１）一緒に暮らしている方は、あなたを含めて、全員で何人ですか。（一つに○）

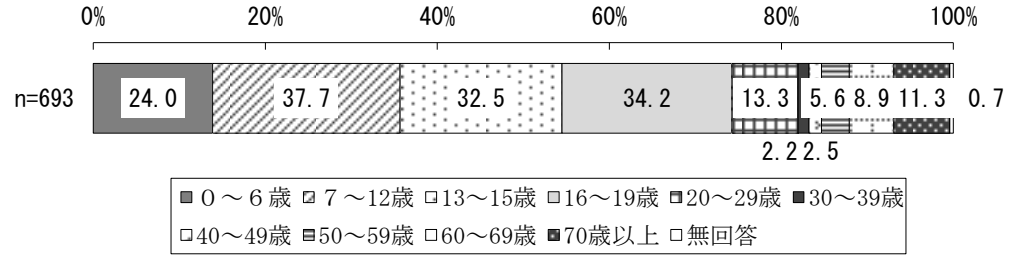


（２）一緒に暮らしている全員の方について、「あなたとの続柄」「年齢」「性別」を教えてください。※「2.親」とは、あなたからみた父親・母親（義父・義母も含む）のことであり、お子さんからみた祖父・祖母のことです。

■世帯構成



■同居家族の年齢

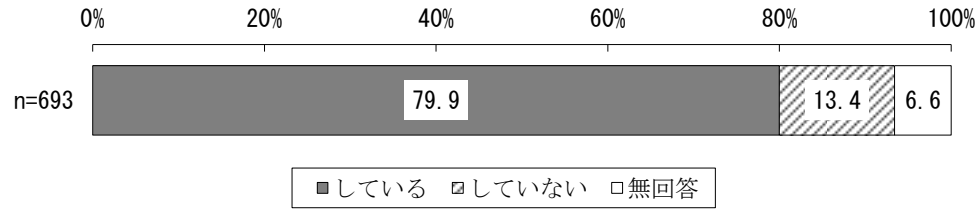


同居家族の人数は、「２人」（38.8%）と「３人」（32.9%）が３割台となっている。
世帯構成は、「本人+子ども」の世帯が76.6%で最も多くなっている。
同居家族の年齢は、「７～12歳」（37.7%）、「16～19歳」（34.2%）、「13～15歳」（32.5%）が３割台となっている。

２．仕事の状況について

（１）就労の有無

問４　あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。（一つに○）

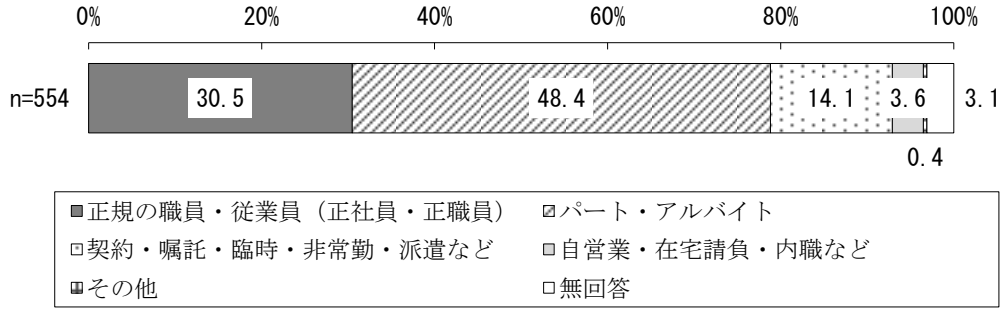


就労の有無は、「している」（79.9%）が約８割となっている。

（２－１）仕事の形態

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（１）その仕事の形態は、次のどれにあたりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、おもな仕事一つだけについてお答えください。（一つに○）

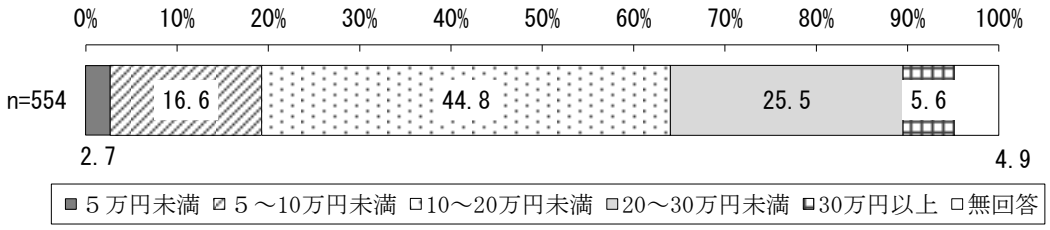


仕事をしている方に仕事の形態をきいたところ、「パート・アルバイト」が48.4%で最も多く、次いで、「正規の職員・従業員（正社員・正職員）」（30.5%）、「契約・嘱託・臨時・非常勤・派遣など」（14.1%）などとなっている。

（２－２）仕事の収入

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（２）その仕事からの収入は、１か月あたり、平均いくらくらいですか。税込みの金額を書いてください。※税込み：税金や社会保険料が引かれる前の金額です。



■収入

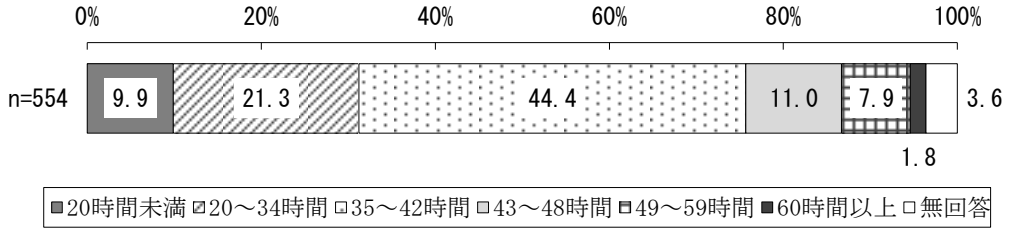
１か月の平均収入　　：平 均 16.3万円

仕事をしている方に仕事の収入をきいたところ、「10～20万円」が44.9%で最も多くなっている。

（２－３）労働時間

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（３）その仕事の１週間の労働時間は、平均してどのくらいですか。（一つに○）



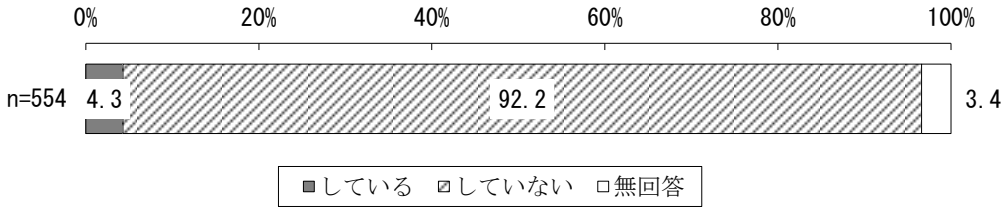
仕事をしている方に１週間の労働時間をきいたところ、「35～42時間」が44.4％で最も多く、次いで、「20～34時間」（21.3％）、「43～48時間」（11.0％）などとなっている。

（２－４）副業の状況

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（４）その仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。している場合は、副業にあてている時間と副業収入について教えてください。

■副業の有無



■副業の時間と収入

１か月の副業収入　　：平 均 4.6万円
１か月の副業をしている時間：平 均 25.8時間

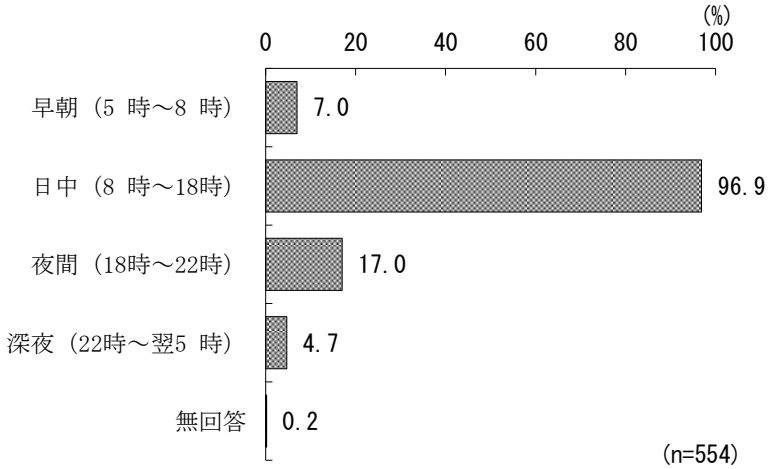
仕事をしている方に副業の有無をきいたところ、「していない」が92.2％で大半を占めている。

副業をしている方に副業の時間と収入をきいたところ、１か月の副業収入は平均4.7万円、副業をしている時間は平均25.8時間となっている。

（２－５）ふだん仕事をしている時間帯

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（５）ふだん仕事をしている時間帯は、次のどれにあたりますか。副業を含みます。

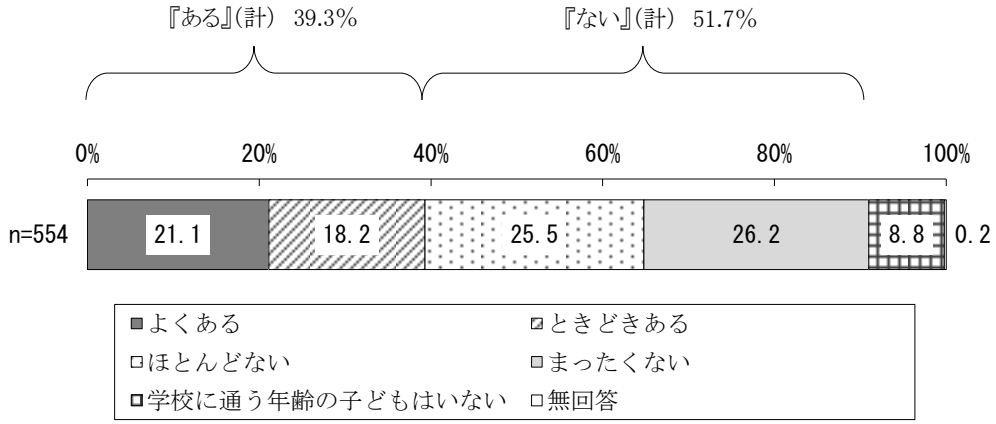


仕事をしている方にふだん仕事をしている時間帯をきいたところ、「日中（8時～18時）」が96.9％で大半を占めている。

（２－６）子どもの登校前の出勤

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（６）お子さんが学校に登校するより前に、出勤することはありますか。

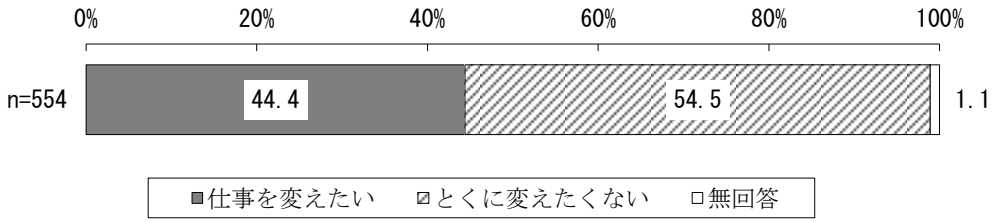


仕事をしている方に子どもが学校に登校するより前に出勤することがあるかきいたところ、「まったくない」（26.2％）と「ほとんどない」（25.5％）が２割半ばとなっており、双方を合わせた『ない』（計）は51.7％となっている。一方、「よくある」（21.1％）と「ときどきある」（18.2％）を合わせた『ある』（計）は約４割となっている。

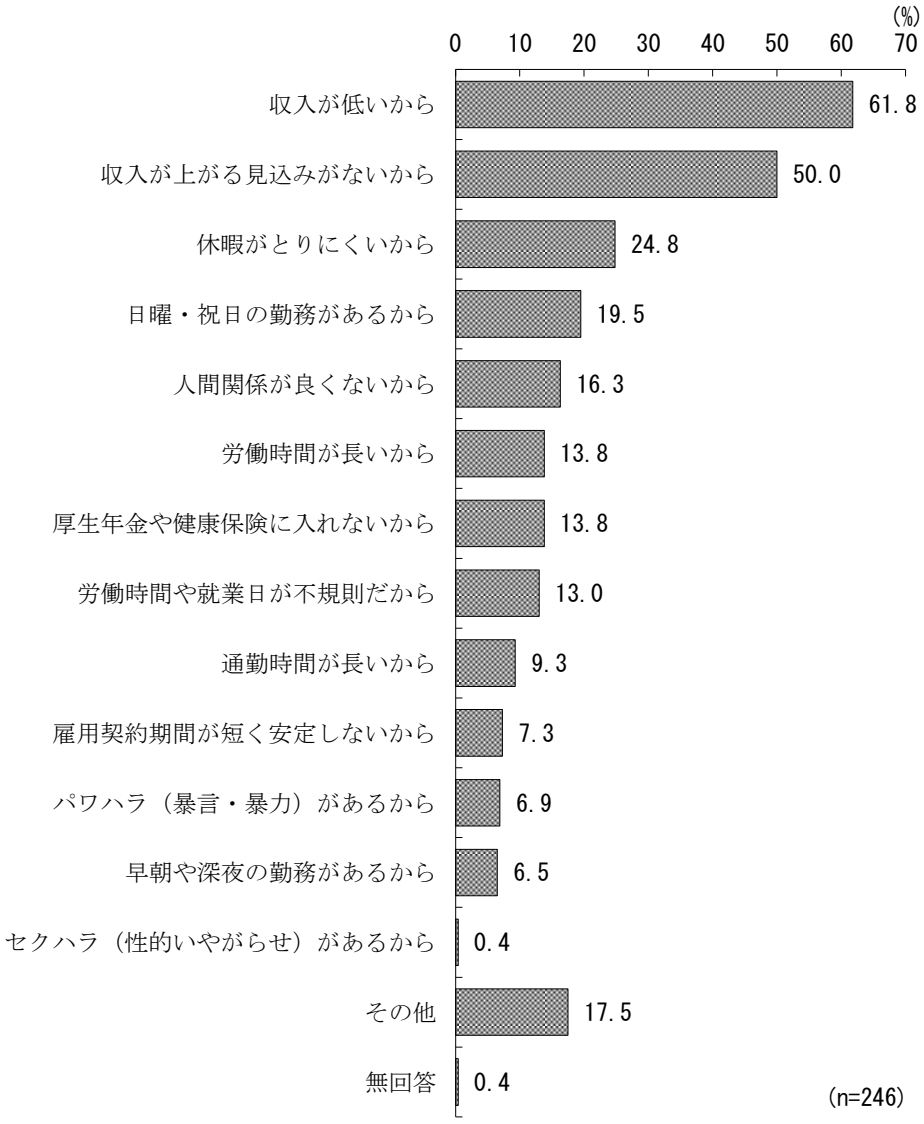
（２－７）転職の意向

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（７）あなたは、現在の仕事を変えたい（転職したい・就労形態を変えたい）ですか。仕事を変えたいと考えている方は、その理由を教えてください。（一つに○）



■仕事を変えたい理由



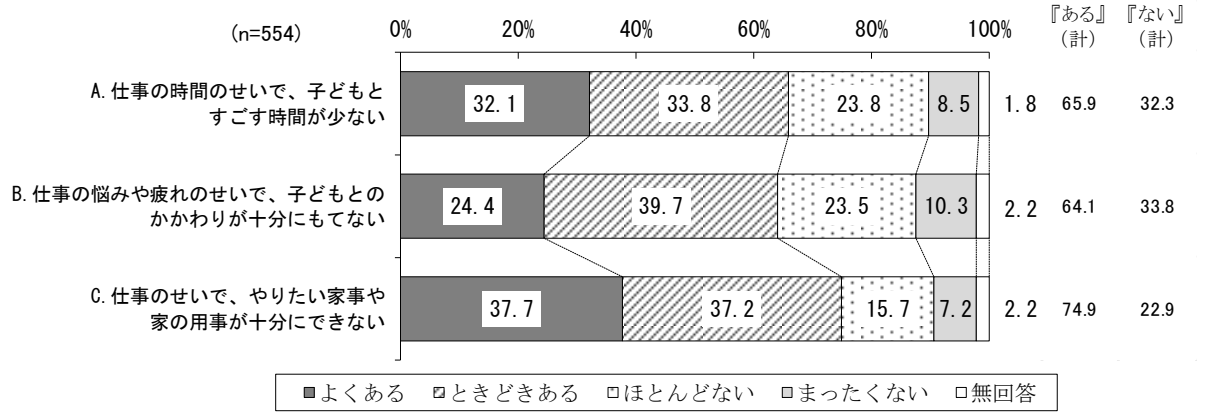
仕事をしている方に現在の仕事を変えたいと思っているかきいたところ、「とくに変えたくない」が54.4%、「仕事を変えたい」が44.4%となっている。

仕事を変えたいと思っている方にその理由をきいたところ、「収入が低いから」が61.8%、「収入が上がる見込みがないから」が50.0%と収入に関する理由が上位にあげられている。「その他」には、「将来性、安定性がないから」、「体調面に不安があるから」、「他にやりたい仕事があるから」などがあげられた。

（２－８）仕事と家庭のバランスについて

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（８）仕事と家庭生活のバランスについて、現在、次のようなことが起きていますか。A～Cそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



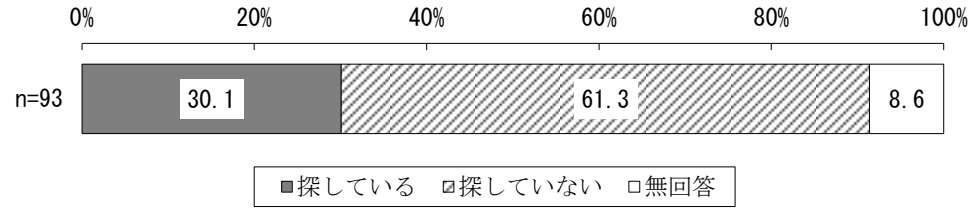
仕事をしている方に仕事と家庭生活のバランスについてきいたところ、「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』（計）は<C.仕事のせいで、やりたい家事や家の用事が十分にできない>が７割半ばで最も多くなっている。

（３）求職の状況

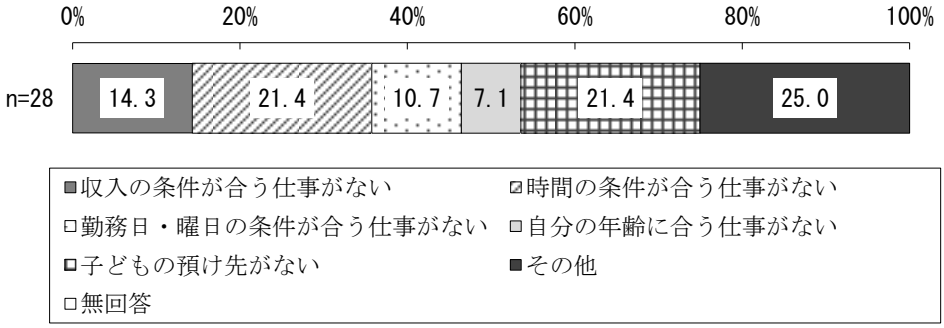
問６　現在、仕事をしていない方にお聞きします。

あなたは現在、仕事を探していますか。また、仕事をしていない理由として、もっとも近い理由一つを選んでください。（一つに○）

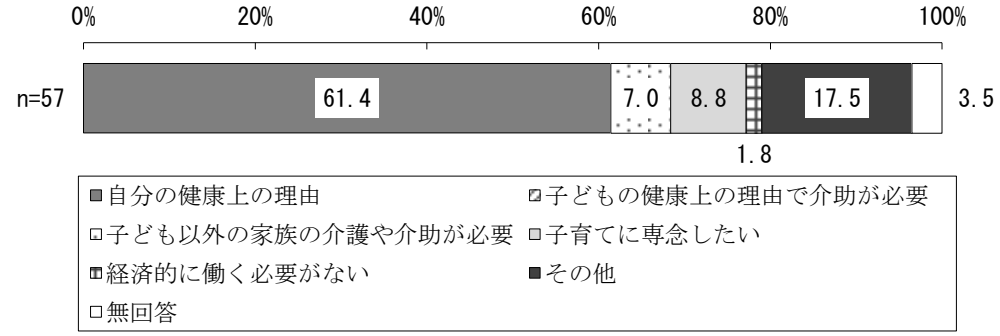
■求職の状況



■仕事をしていない理由



■仕事を探していない理由



仕事をしていない方に仕事を探しているかきいたところ、「探している」が約３割、「探していない」が約６割となっている。

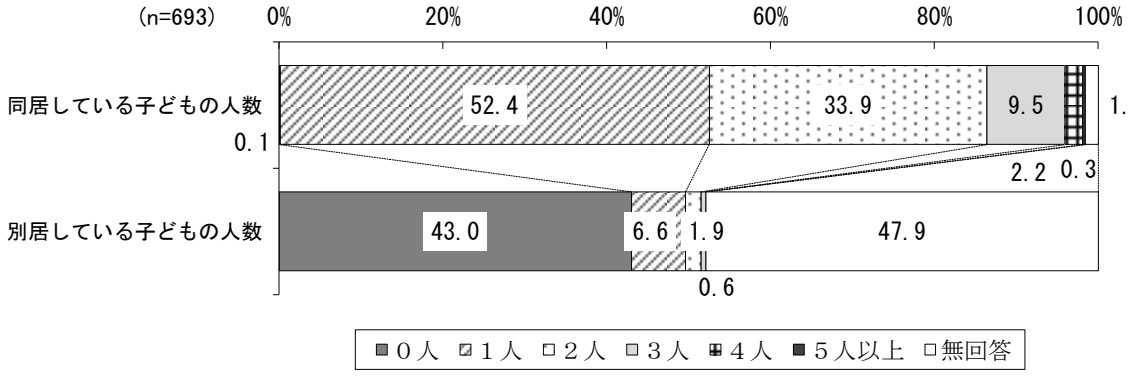
仕事を探している方に現在仕事をしていない理由をきいたところ、「時間の条件が合う仕事がない」、「子どもの預け先がない」（ともに21.4%）が２割台となっている。「その他」には、「なかなか採用にならない」、「障がいがあるためむずかしい」、「職業訓練を受講中」などがあげられた。

仕事を探していない方にその理由をきいたところ、「自分の健康上の理由」が61.4%で最も多くなっている。「その他」には、「資格取得のため」、「保育園申し込み中」、「傷病手当受給中」などがあげられた。

３．子どもの状況について

（１）子どもの人数

問７　あなたのお子さんは全員で何人ですか。

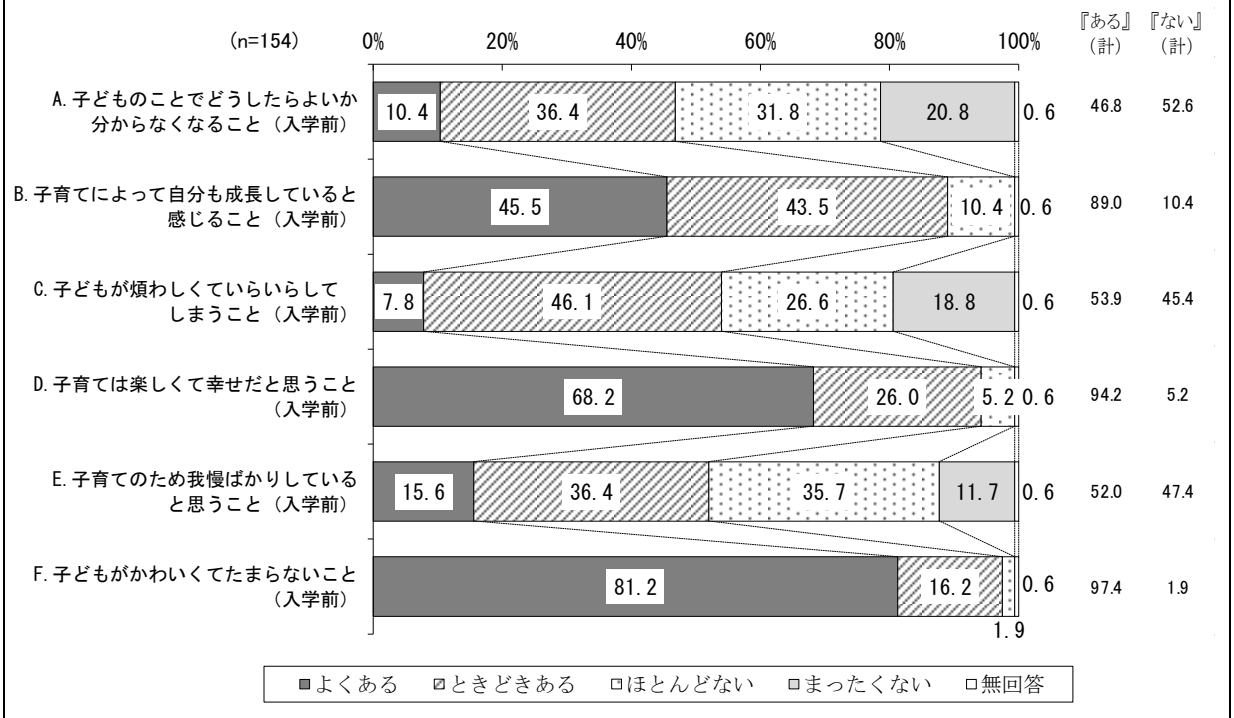


＜同居している子どもの人数＞は、「１人」が52.4％で最も多く、次いで、「２人」が33.9％、「３人」が9.5％などとなっている。

＜別居している子どもの人数＞は、「０人」が43.0％で最も多くなっている。

（２－１）子育てについて－小学校に入学する前（０歳～６歳）の子どもと同居している方

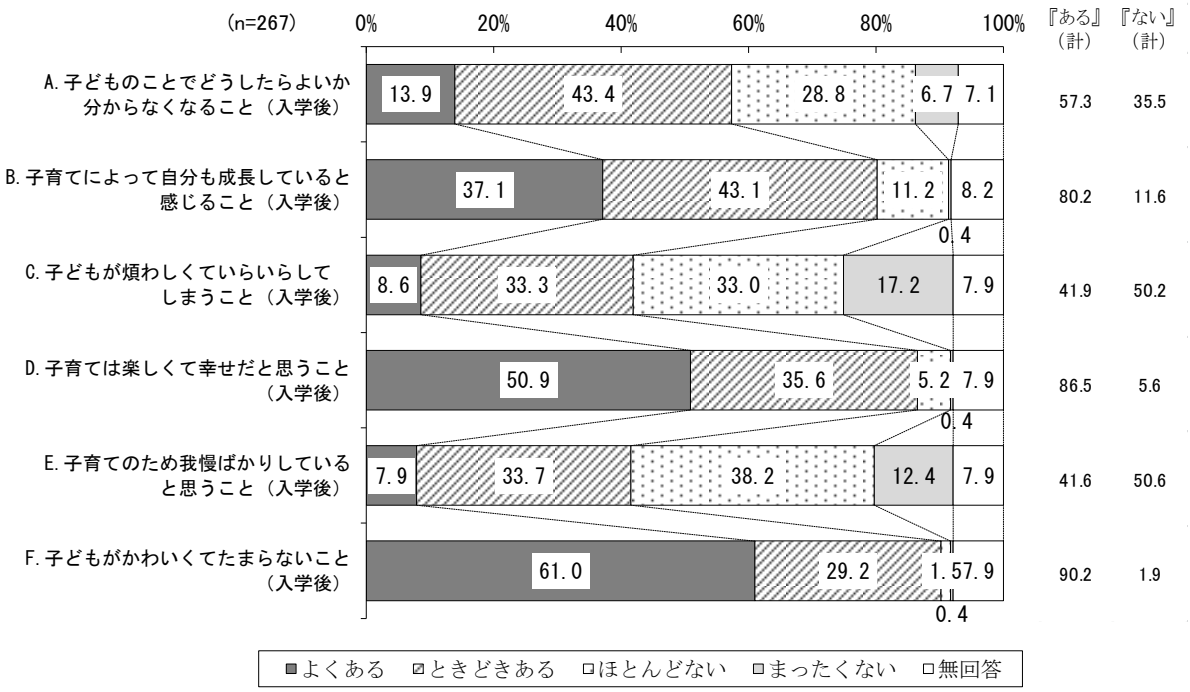
問８　あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることがありますか。



小学校に入学する前（０歳～６歳）の子どもと同居している方に子育てについて感じることをきいたところ、「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』（計）は<F.子どもがかわいくてたまらないこと（入学前）＞（97.4％）、<D.子育ては楽しくて幸せだと思うこと（入学前）＞（94.2％）で９割台と多くなっている。

（２－２）子育てについて－小学生の子どもと同居している方

問８　あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることがありますか。

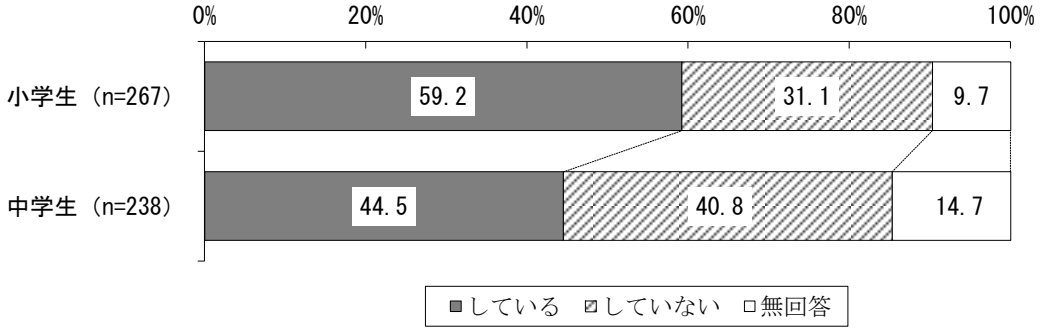


小学生の子どもと同居している方に子育てについて感じることをきいたところ、「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』(計)は<F.子どもがかわいくてたまらないこと(入学後)＞(90.2%)、<D.子育ては楽しくて幸せだと思うこと（入学後）＞(86.5%)、<B.子育てによって自分も成長していると感じること（入学前）＞(80.2%)で８割以上と多くなっている。

（3）子どもの塾や習い事について

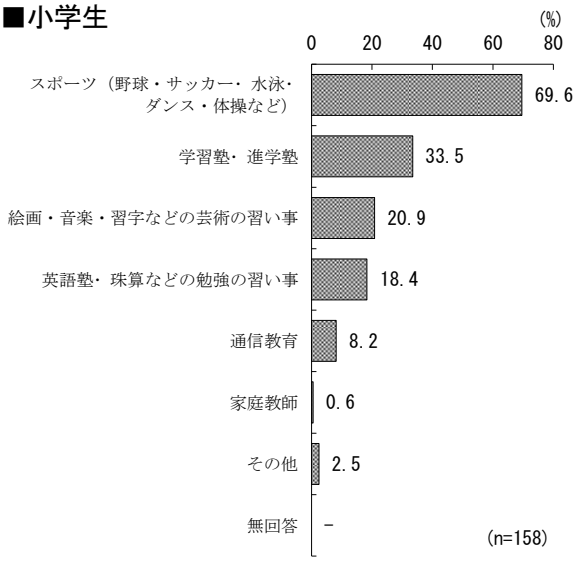
問9　お子さんの塾や習い事についてうかがいます。

（1）塾や習い事の状況

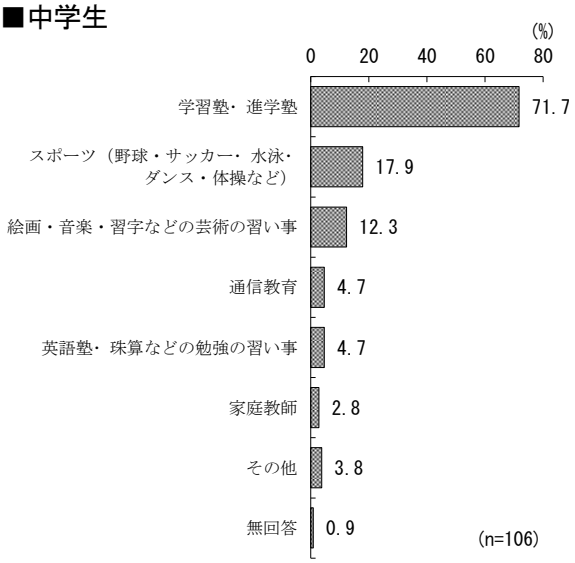


（2）塾や習い事の種類

■小学生



■中学生



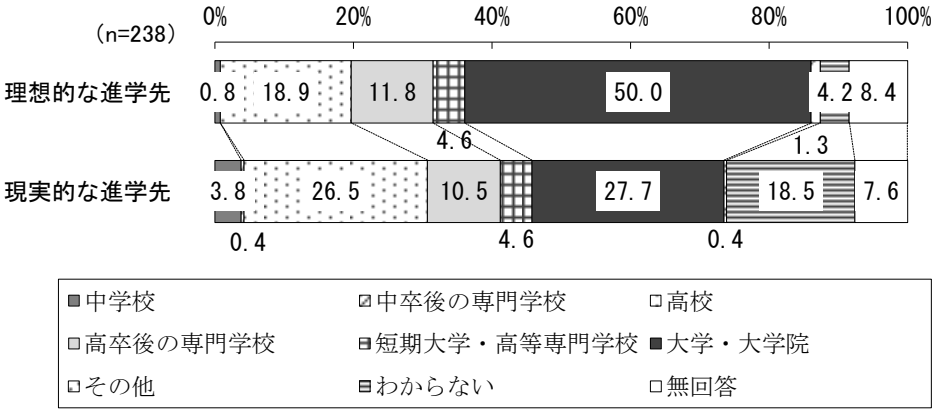
塾や習い事の状況をきいたところ、「している」は＜小学生＞で59.2%、＜中学生＞で44.5%となっている。

塾や習い事をしている方に塾や習い事の種類をきいたところ、小学生では「スポーツ（野球・サッカー・水泳・ダンス・体操など）」が約7割で最も多く、中学生では「学習塾・通学塾」が7割強で最も多くなっている。

（４）進路について

問10　中学生のお子さんと同居している方に、進路についてお聞きします。

あなたは、お子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。また、そのお子さんが、現実的にはどの段階の学校まで進むと思いますか。（一つに○）



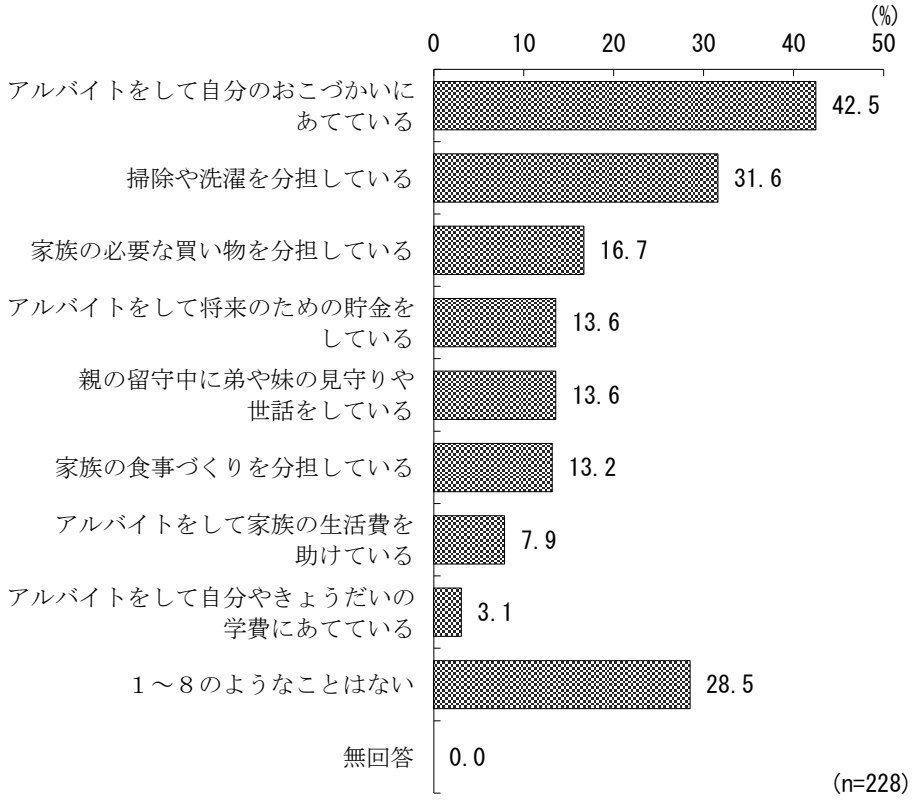
中学生の子どもと同居している方に理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいかきいたところ、「大学・大学院」が50.0%で最も多くなっている。また、現実的にはどの段階の学校まで進むかきいたところ、「大学・大学院」が27.7%で最も多くなっている。

（５）子どもの生活状況

問11　高校生のお子さんと同居している方にお聞きします。

お子さんは、自分のため、または家族のために、次のようなことをしていますか。

（あてはまるものすべてに○）

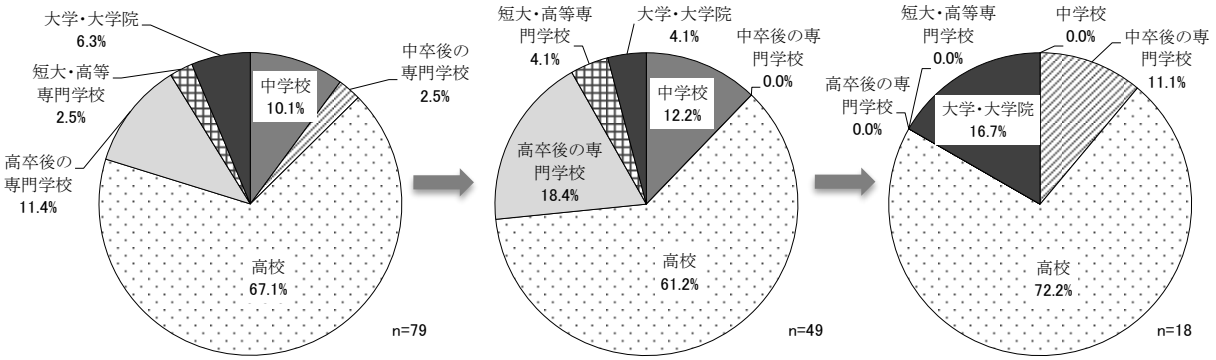


高校生の子どもと同居している方に子どもが自分のため、または家族のためにしていることをきいたところ、「アルバイトをして自分のおこづかいにあてている」（42.5%）、「掃除や洗濯を分担している」（31.6%）が上位にあげられている。

（６）子どもの最終学歴

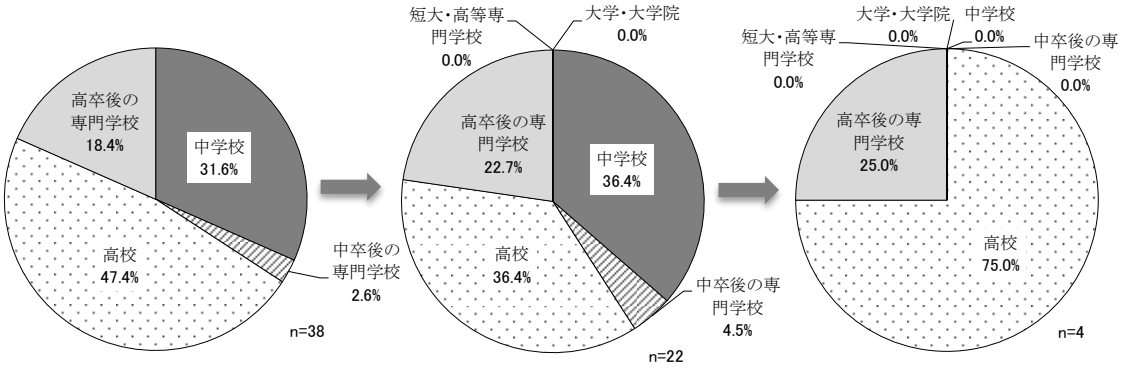
問12　学校に通っていない15歳以上のお子さんがいる方にお聞きします。
そのお子さんの現在の年齢と、最終学歴を教えてください。

■１番上の子ども　　平均年齢：21.2歳



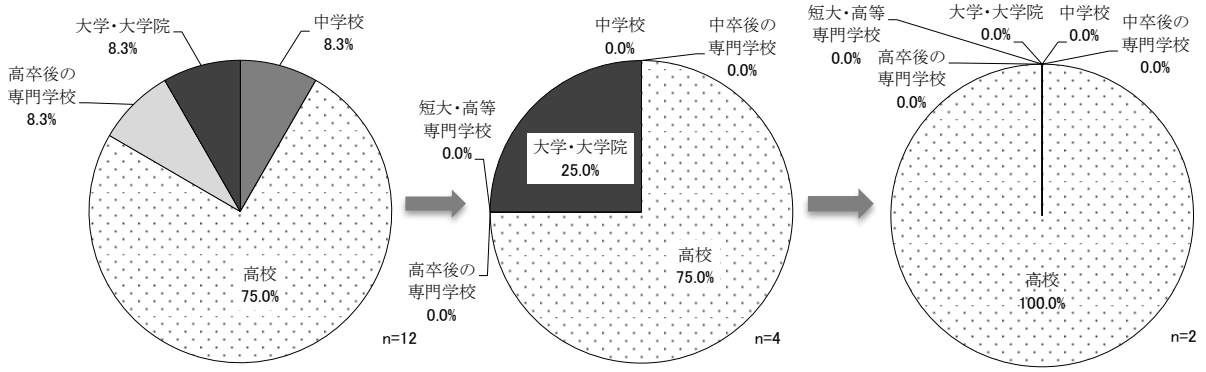
【最終学歴】　　【卒　業】　　【中　退】

■２番目の子ども　　平均年齢：19.4歳



【最終学歴】　　【卒　業】　　【中　退】

■３番目の子ども　　平均年齢：19.6歳



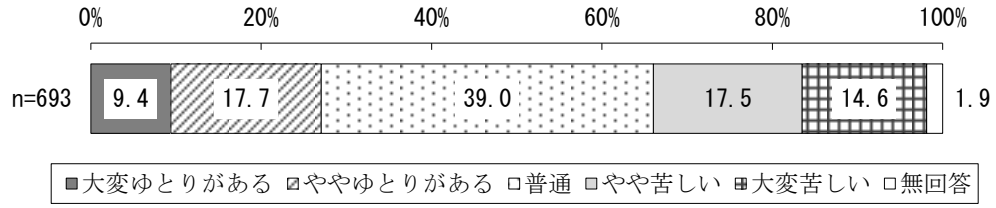
【最終学歴】　　【卒　業】　　【中　退】

＊回答数が少ないため、参考のために掲載。

４．自分の子どもの頃と、ひとり親家庭になる前の経験について

（１）中学３年生のときの暮らしの状況

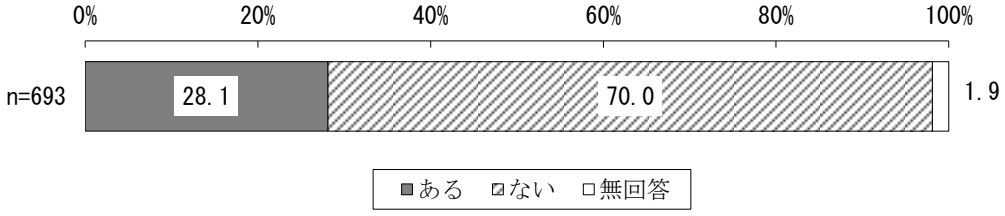
問13　あなたが中学３年生のとき、あなたのご家庭の暮らしの状況は、次のどの状態に近かったでしょうか。（一つに○）



自分が中学３年生のときの暮らしの状況は、「普通」が39.0%で最も多くなっている。次いで、「ややゆとりがある」（17.7%）と「やや苦しい」（17.5%）が同程度となっている。

（２）成人するまでのあいだにひとり親家庭だった時期の有無

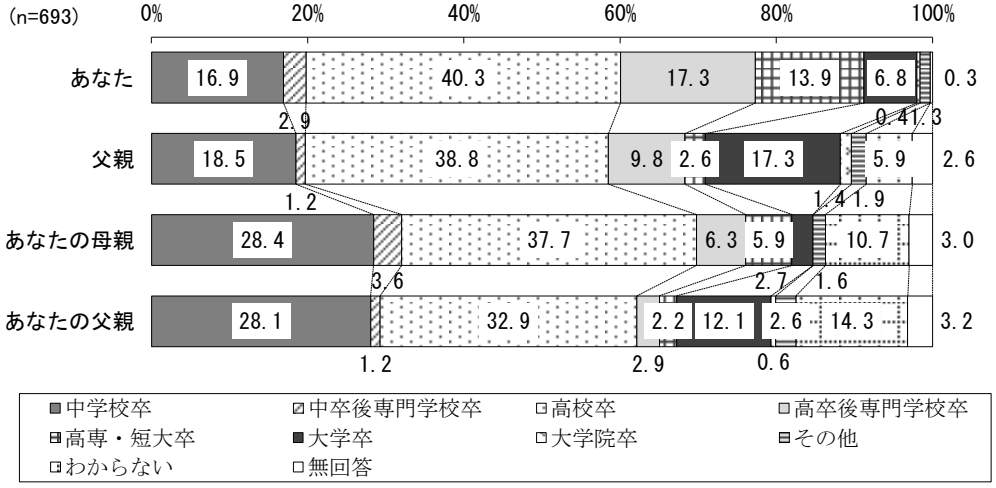
問14　あなたが成人するまでのあいだに、ひとり親家庭だった時期はありますか。（一つに○）



自分が成人するまでのあいだにひとり親家庭だった時期の有無は、「ない」が７割となっている。

（３）最終学歴

問15　あなたの最終学歴は次のどれにあたりますか。お子さんの父親（元夫など）と、あなたの両親についても教えてください。※結婚を２回以上経験なさっている場合、Bは直近の相手についてお答えください。（A・B・C・Dのそれぞれについて、一つに○）



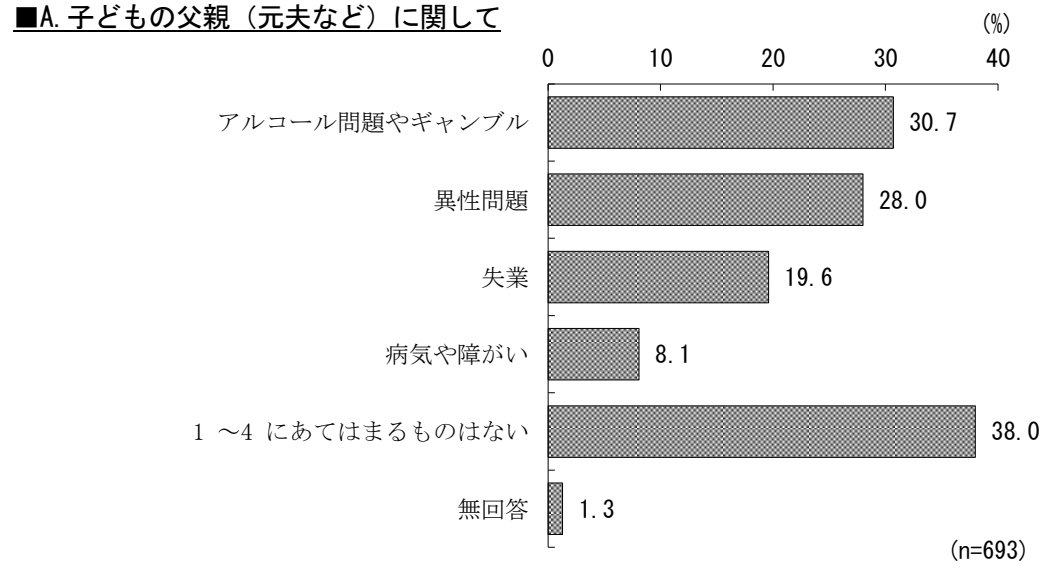
最終学歴は、あなた、父親、あなたの母親・父親のすべてで「高校卒」が最も多くなっている。＜あなたの母親＞、＜あなたの父親＞では「中学校卒」の割合が多くなっている。

（４）ひとり親家庭になる前の時期で悩んだ経験

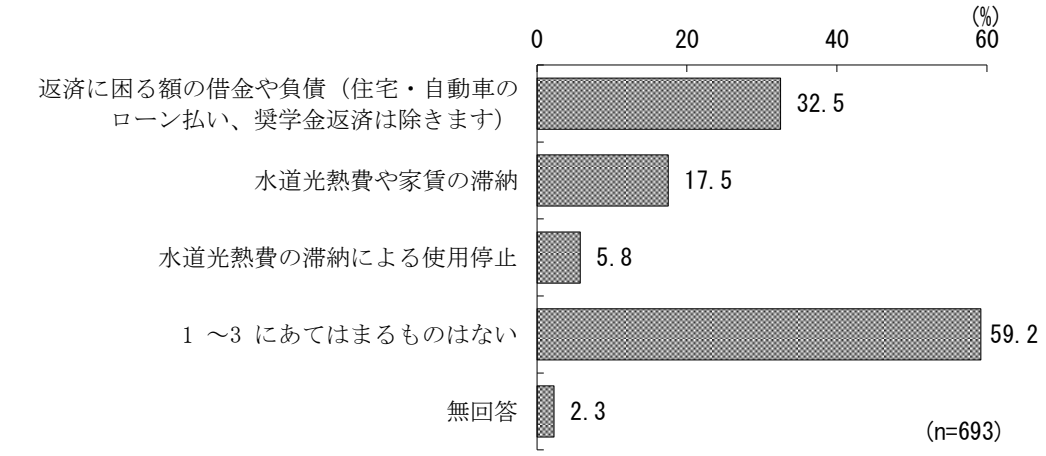
問16　ひとり親家庭になる前の時期や結婚生活の中で、次のようなことで悩んだ経験がありましたか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

（それぞれすべてに○）

■A.子どもの父親（元夫など）に関して



■B.結婚生活・家庭生活において



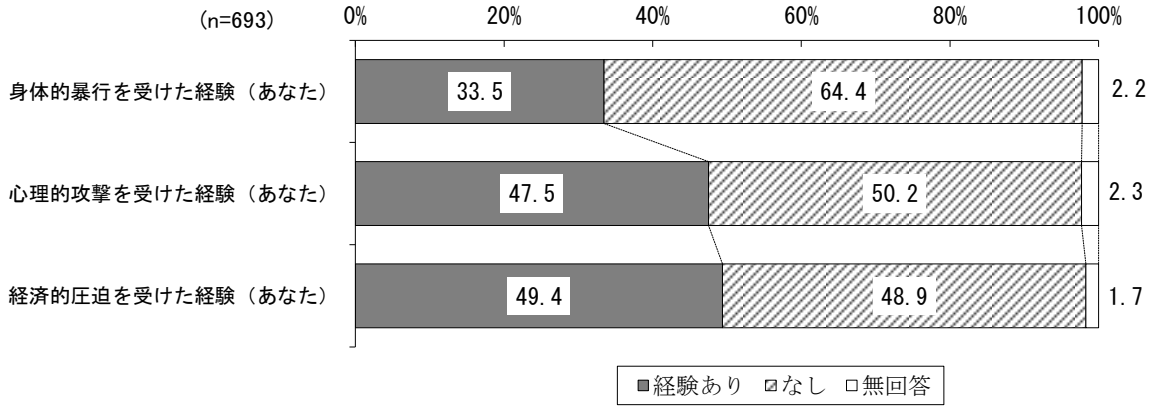
A.子どもの父親（元夫など）に関して悩んだ経験は、「ある」（＊100%から「1～4にあてはまるものはない」と「無回答」を除いた割合）が約６割となっている。悩んだことは、「アルコール問題やギャンブル」（30.7%）、「異性問題」（28.0%）が上位にあげられている。

B.結婚生活・家庭生活において悩んだ経験は、「ある」（＊100%から「1～3にあてはまるものはない」と「無回答」を除いた割合）が38.5%となっている。悩んだことは、「返済に困る額の借金や負債（住宅・自動車のローン払い、奨学金返済は除きます）」（32.5%）が最も多くなっている。

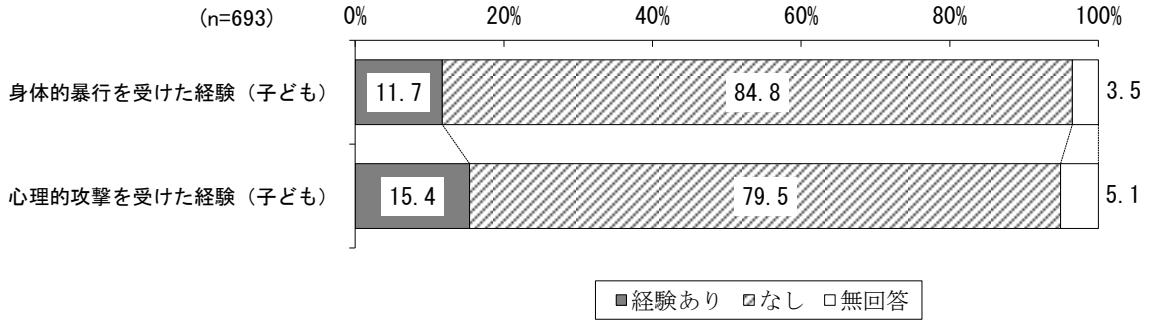
（５－１）ＤＶの経験

問17　あなたやお子さんは、お子さんの父親（元夫など）から、次のようなことをされたことがありますか。※結婚を２回以上経験なさっている場合は、直近の結婚生活についてお答えください。（それぞれ一つに○）

■自分



■子ども



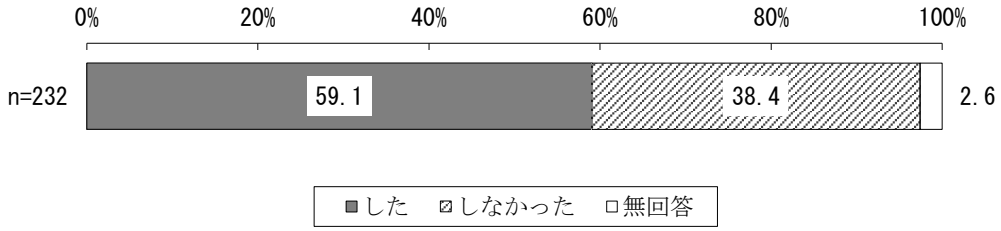
自分自身のＤＶの経験について、「経験あり」は＜経済的圧迫を受けた経験＞が約半数で最も多くなっている。

子どものＤＶの経験について、「経験あり」は＜身体的暴行を受けた経験＞、＜心理的攻撃を受けた経験＞ともに１割台となっている。

（５－２）身体的暴行を相談したことの有無

【「A.身体的暴行」を受けた経験が「あり」と答えた方にお聞きします。】

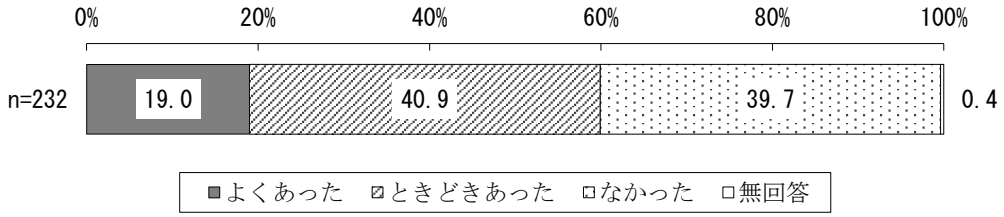
（１）そのことについて、誰かに相談しましたか（一つに○）



自分自身が身体的暴行を受けたことがある方に、そのことを誰かに相談したかきいたところ、「した」が59.1％となっており、「しなかった」（38.4％）を上回っている。

（５－３）自分への暴行の場面を子どもが目撃したことの有無

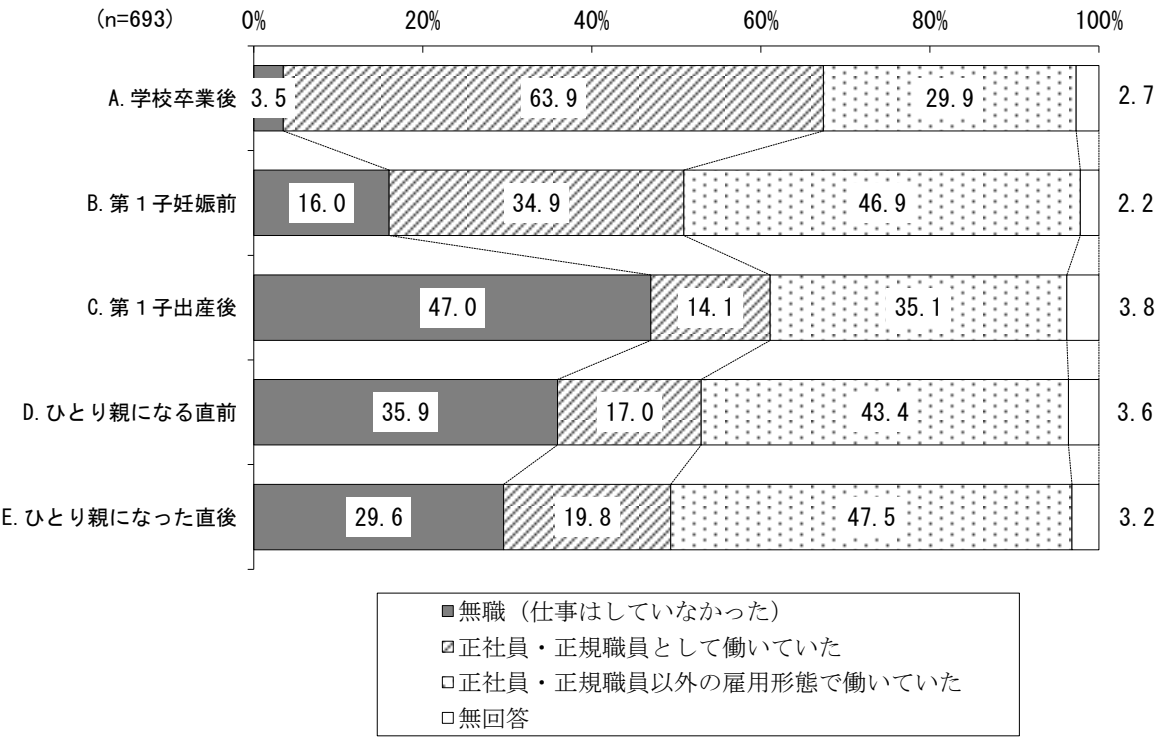
【「A.身体的暴行」を受けた経験が「あり」と答えた方にお聞きします。】
（２）あなたご自身への暴力の場面を、お子さんが目撃することがありましたか。（一つに○）



自分自身が身体的暴行を受けたことがある方に、その場面を子どもが目撃することがあったかどうかきいたところ、「ときどきあった」が40.9%で最も多く、「よくあった」は19.0%となっている。

（６）仕事の状況

問18　あなたはこれまで、収入をともなう仕事をしていましたか。それぞれの時期のお仕事の状況について、あてはまる番号1～3に○をつけてください。（それぞれ一つに○）

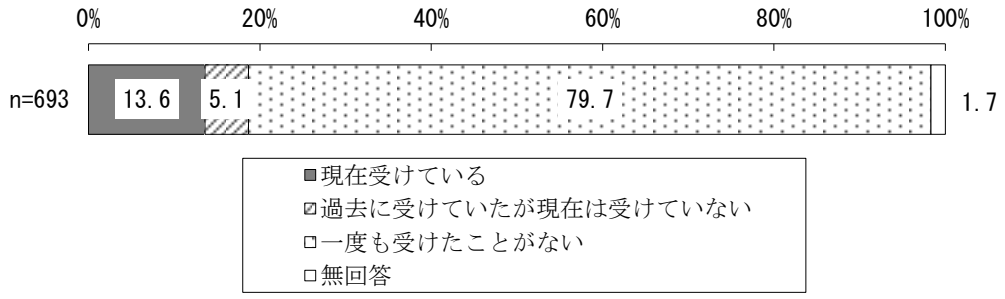


それぞれの時期の仕事状況をきいたところ、<A.学校卒業後>では「正社員・正規職員として働いていた」が63.9%で最も多くなっている。<B.第１子妊娠前>、<D.ひとり親になる直前>、<E.ひとり親になった直後>では「正社員・正規職員以外の雇用形態で働いていた」が４割台で最も多くなっている。<C.第１子出産後>では「無職（仕事はしていなかった）」が47.0%で最も多くなっている。

５．ひとり親家庭になってからの経験について

（１－１）生活保護を受けたことの有無

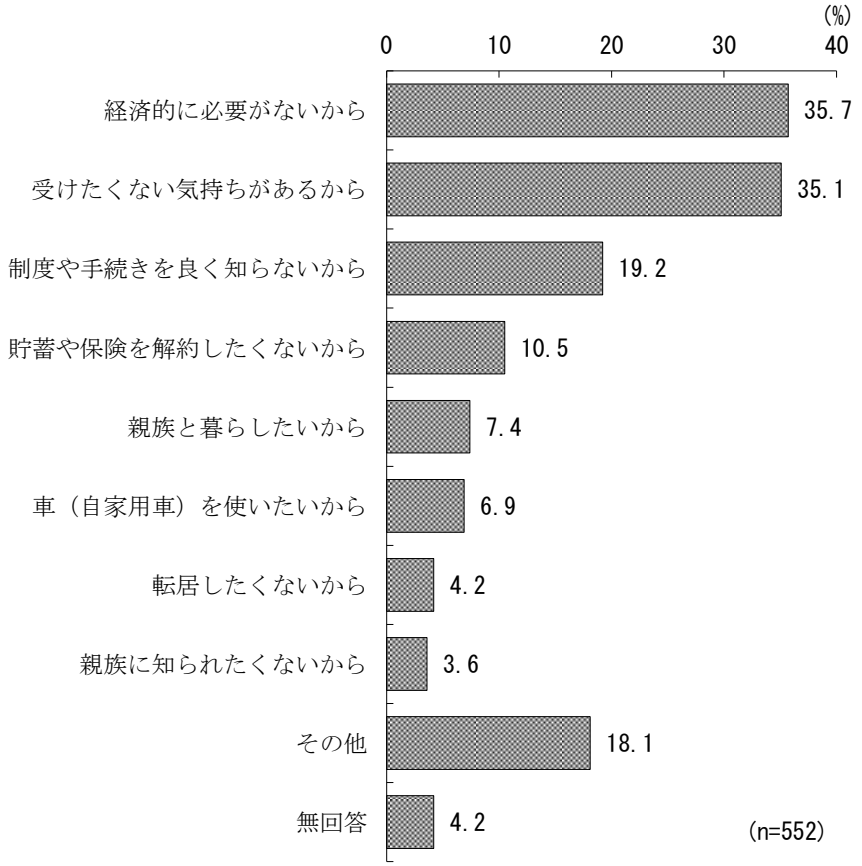
問19　ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことがありますか。（一つに○）



ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことの有無は、「一度も受けたことがない」（79.7%）が約８割で最も多くなっている。

（１－２）生活保護を受けたことがない理由

【「3.一度も受けたことがない」と答えた方にお聞きします。】
その理由は何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

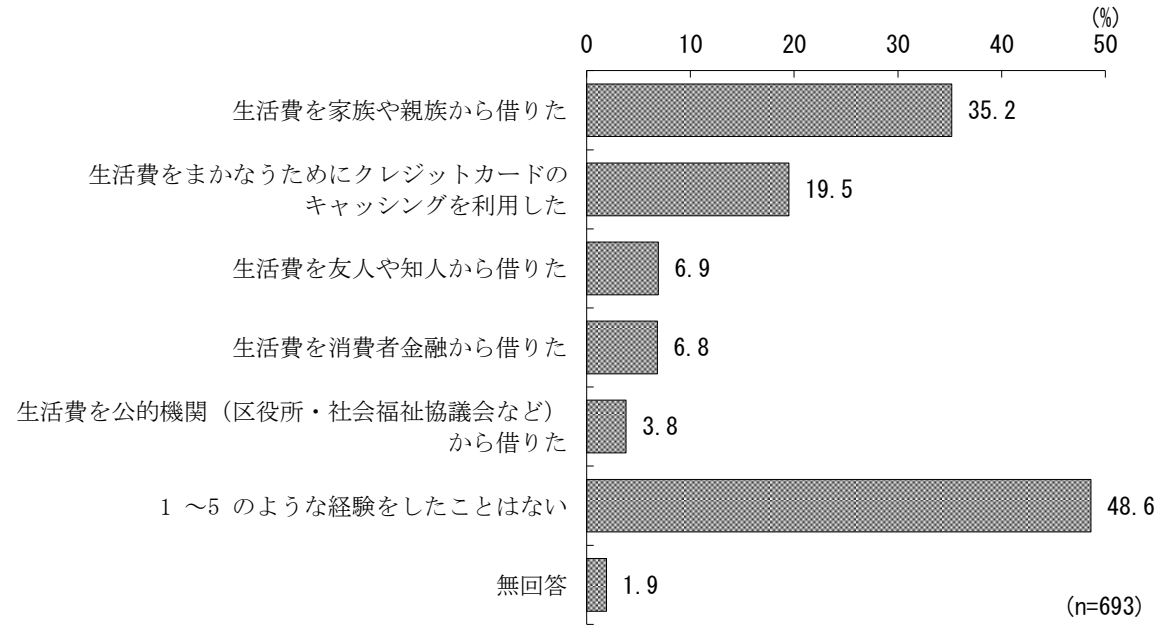


生活保護を一度も受けたことがない方にその理由をきいたところ、「経済的に必要がないから」（35.7%）、「受けたくない気持ちがあるから」（35.1%）が３割半ばで多くなっている。「その他」には、「親族と同居しているから・遺族年金があったから」、「ギリギリでやりくりできたから」、「相談に行ったが、認められなかったから」などがあげられた。

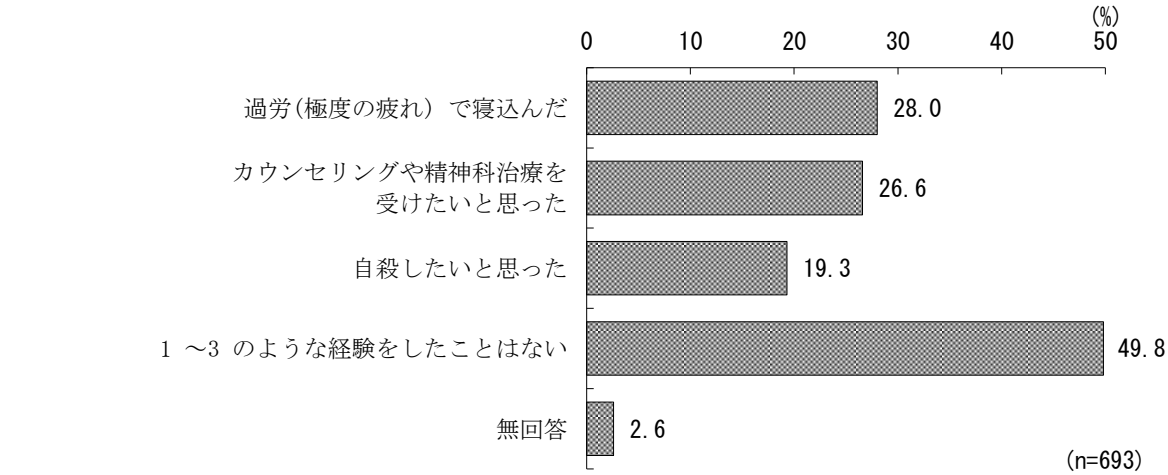
（２）ひとり親家庭になってから経験したこと

問20　ひとり親家庭になってから、あなたは次のような経験をしたことはありますか。

（１）生活費について（教育費も含めます）（あてはまるものすべてに○）



（２）心身の疲労について（あてはまるものすべてに○）

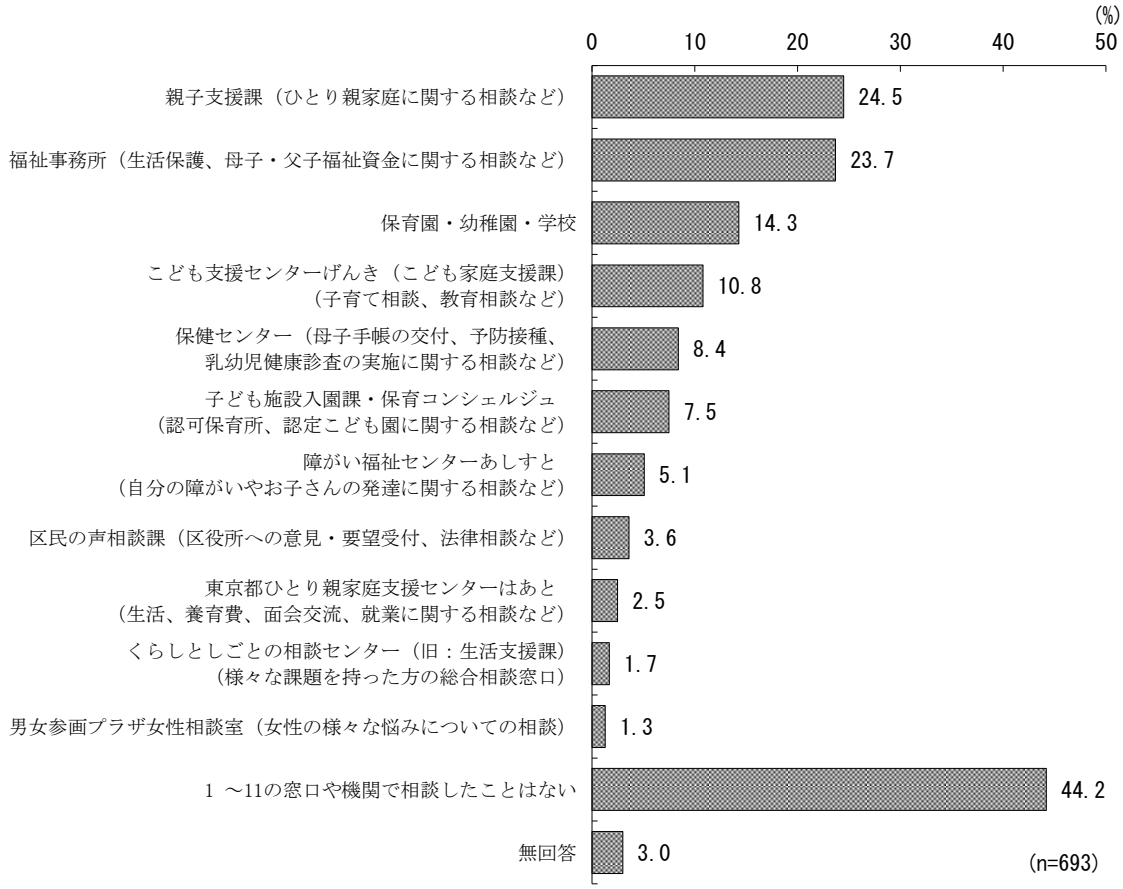


ひとり親家庭になってから、生活費について経験したことは、「生活費を家族や親族から借りた」が３割半ばで最も多くなっている。

ひとり親家庭になってから、心身の疲労について経験したことは、「過労(極度の疲れ)で寝込んだ」(28.0%)、「カウンセリングや精神科治療を受けたいと思った」(26.6%)が２割台となっている。

（３）相談で利用したことのある公的機関

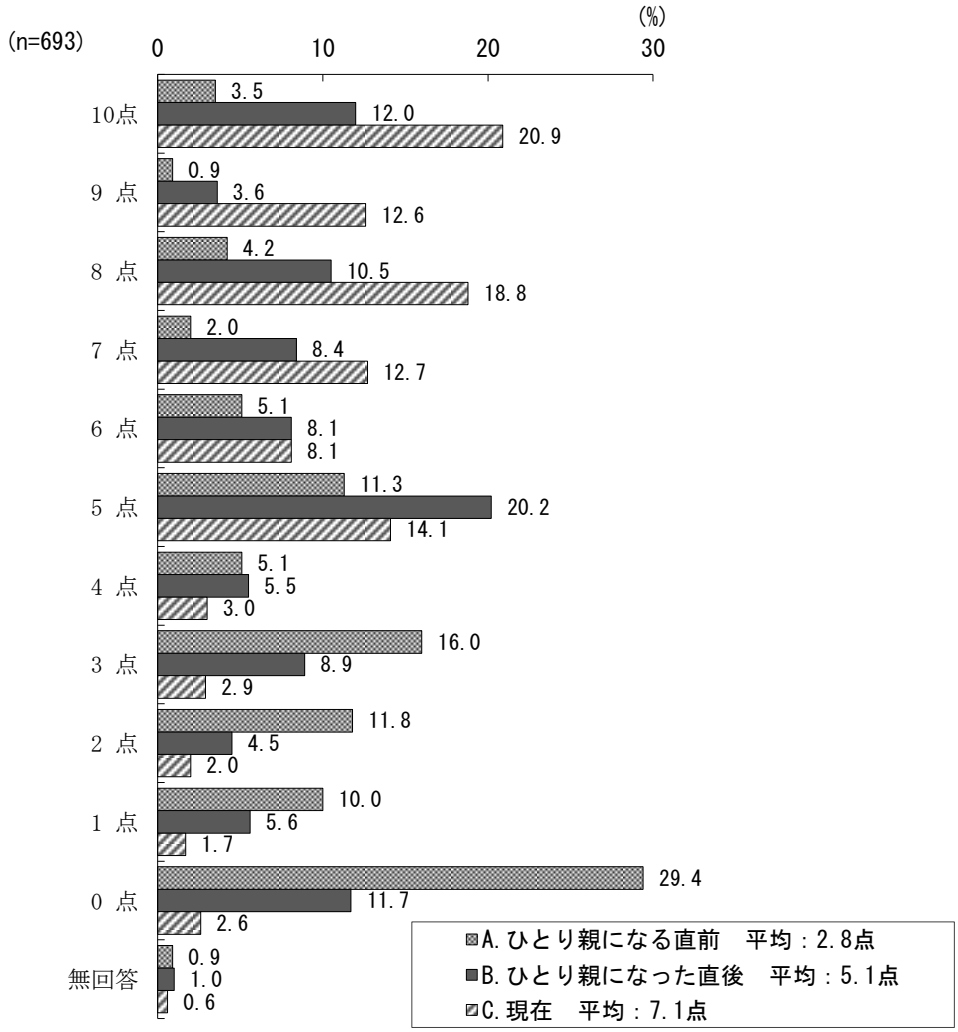
問21　ひとり親家庭になってから、子育てや生活の悩みについて、区役所など公的機関の窓口で相談したことはありますか。相談で利用したことがある場所すべてに○をつけてください。
（あてはまるものすべてに○）



区役所など公的機関の窓口で相談したことの有無は、「ある」（＊100%から「1～11の窓口や機関で相談したことはない」と「無回答」を除いた割合）が52.8%となっている。相談で利用したことのある公的機関は、「親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）」（24.5%）、「福祉事務所（生活保護、母子・父子福祉資金に関する相談など）」（23.7%）が２割台となっている。

（４）幸せの度合い

問22　あなたは、ご自身が幸せだと思いますか。ひとり親になる直前、直後、現在という時間の流れのなかで、その気持ちに変化はありましたか。それぞれの時期について、「たいへん幸せ」を10点として、あてはまると思う点数を選んでください。（それぞれ一つに○）

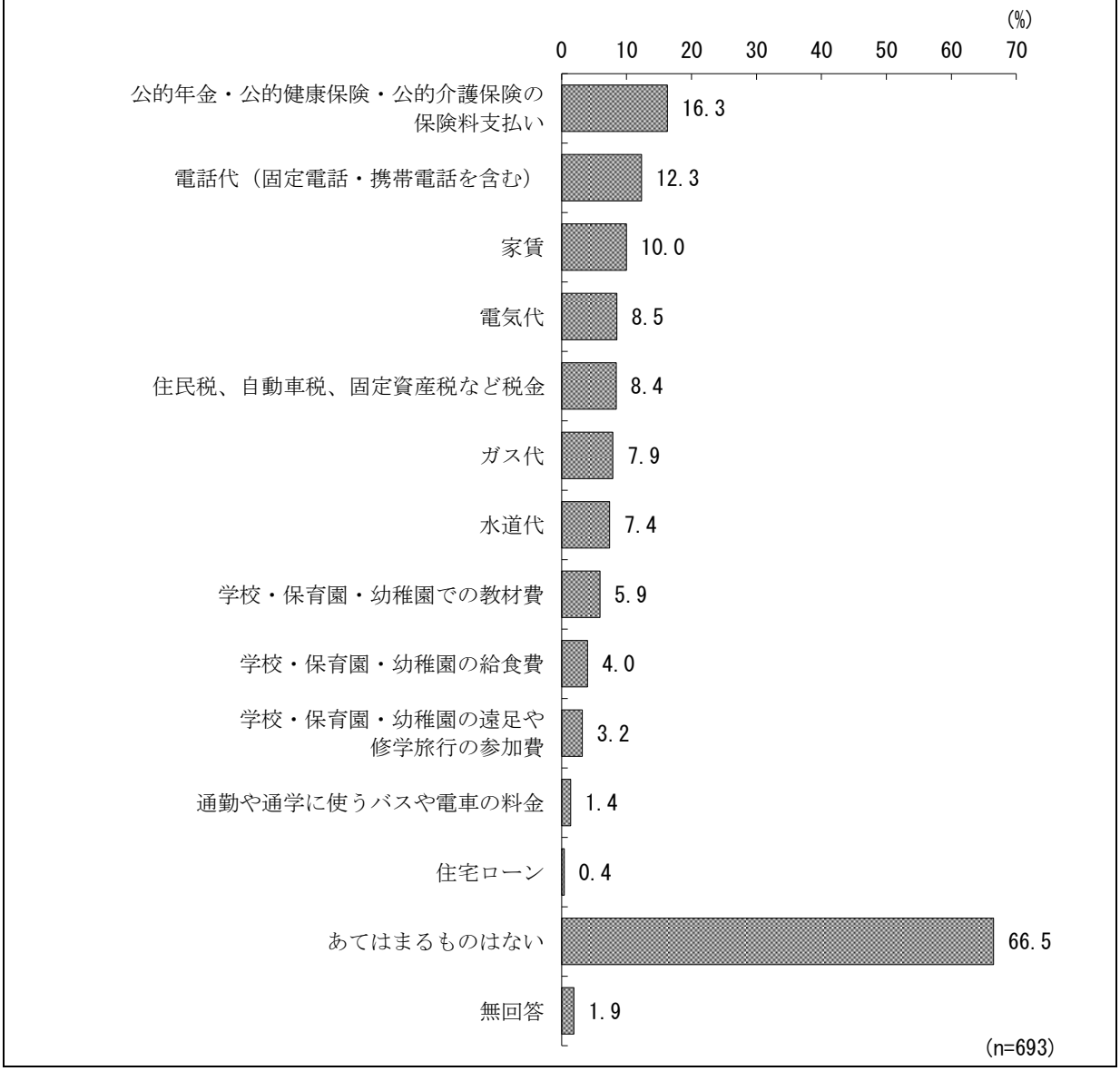


幸せの度合いは、＜A. ひとり親になる直前＞では「０点」が約３割で最も多く、平均点は2.8点となっている。＜B. ひとり親になった直後＞では「５点」が約２割で最も多く、平均点は5.1点となっている。＜C. 現在＞では「10点」が約２割で最も多く、平均点は7.1点となっている。

６．過去１年間の経験について

（１）経済的な理由のために支払いができなかったこと

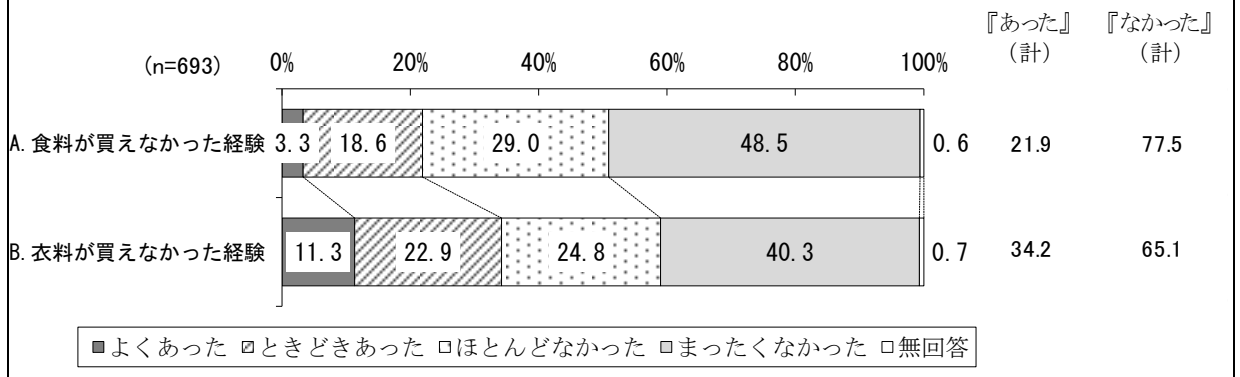
問23　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由のために、支払いができなかったことはありますか。（あてはまるものすべてに○）



経済的な理由のために、支払いができなかったことは、「あてはまるものはない」が66.5%となっており、支払いができなかったことがある方は31.6%となっている（※100%から「あてはまるものはない」と「無回答」を除いた数値）。支払いができなかった内容では、「公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料支払い」（16.3%）、「電話代（固定電話・携帯電話を含む）」（12.3%）、「家賃」（10.0%）が１割台となっている。

（２）食料や衣料が買えなかった経験の有無

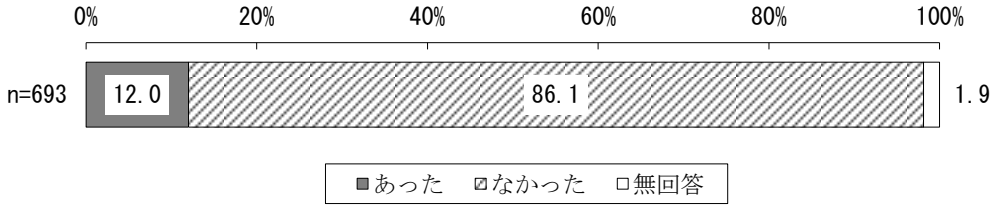
問24　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料が買えなかった経験の有無をきいたところ、食料・衣料ともに「ほとんどなかった」と「まったくなかった」を合わせた『なかった』（計）が65%以上となっている。『あった』（計）は<B.衣料が買えなかった経験>で３割半ばとなっており、<A.食料が買えなかった経験>（21.9%）を12.3ポイント上回っている。

（３－１）医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無

問25　あなたのご家庭では、過去１年間に、医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった（できなかった）ことがありましたか。　（一つに○）

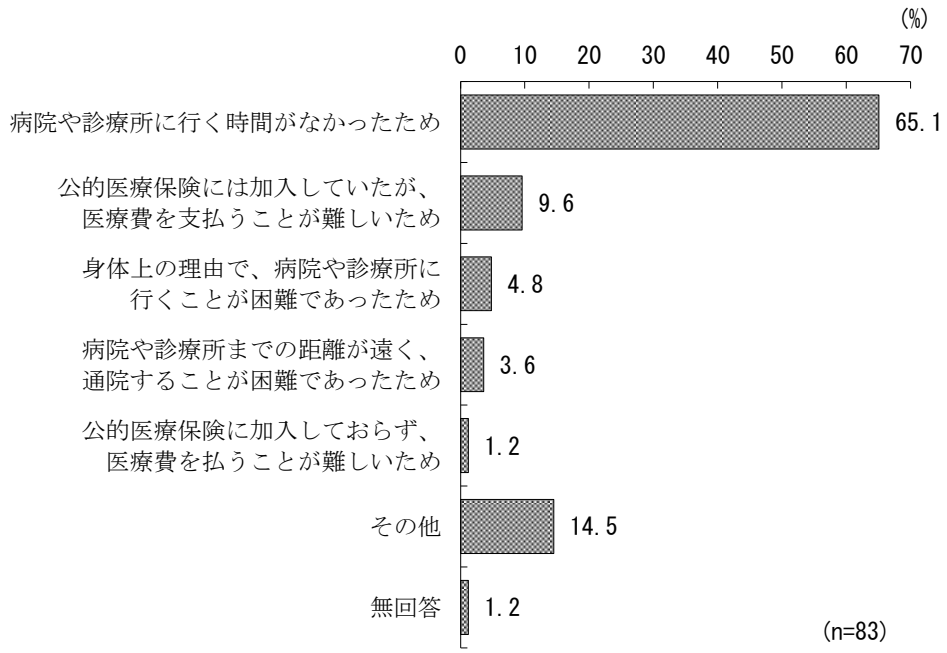


医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無は、「なかった」（86.1%）が「あった」（12.0%）を大きく上回っている。

（３－２）医療機関を受診させなかった（できなかった）理由

【「1. あった」と答えた方にお聞きします。】

その理由は何でしたか。もっとも近いと思う理由ひとつに○をつけてください。（一つに○）

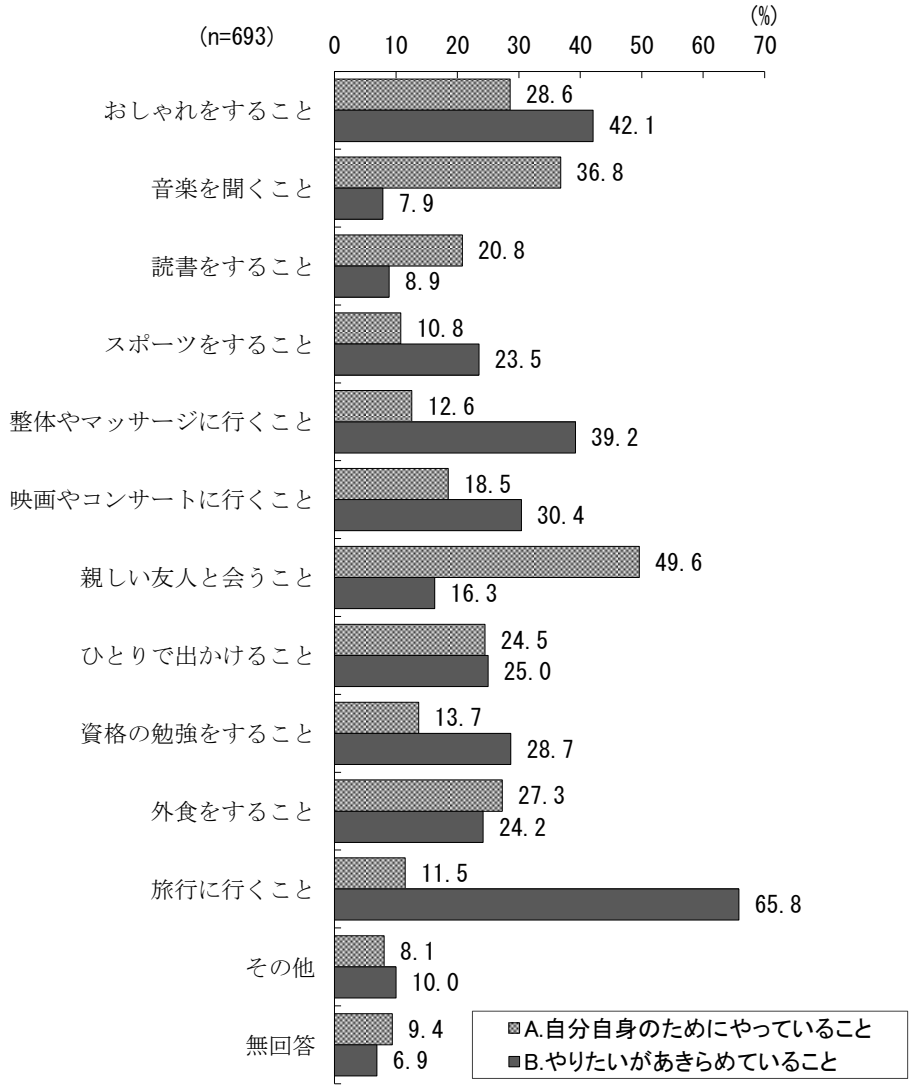


医療機関を受診させなかった（できなかった）ことがある方にその理由をきいたところ、「病院や診療所に行く時間がなかったため」が６割半ばで最も多くなっている。「その他」には、「仕事を休めなかったため」、「区役所に医療券を取りに行きづらいため・医療券を取りに行けなかったため」、「生活保護に連絡できなかったため」などがあげられた。

7．普段の生活や気持ちについて

（1）自分のためにやっていることと、やりたいがあきらめていること

問26　あなたが自分自身のためにやっていることと、やりたいがあきらめていることを教えてください。（それぞれ、あてはまるものすべてに○）



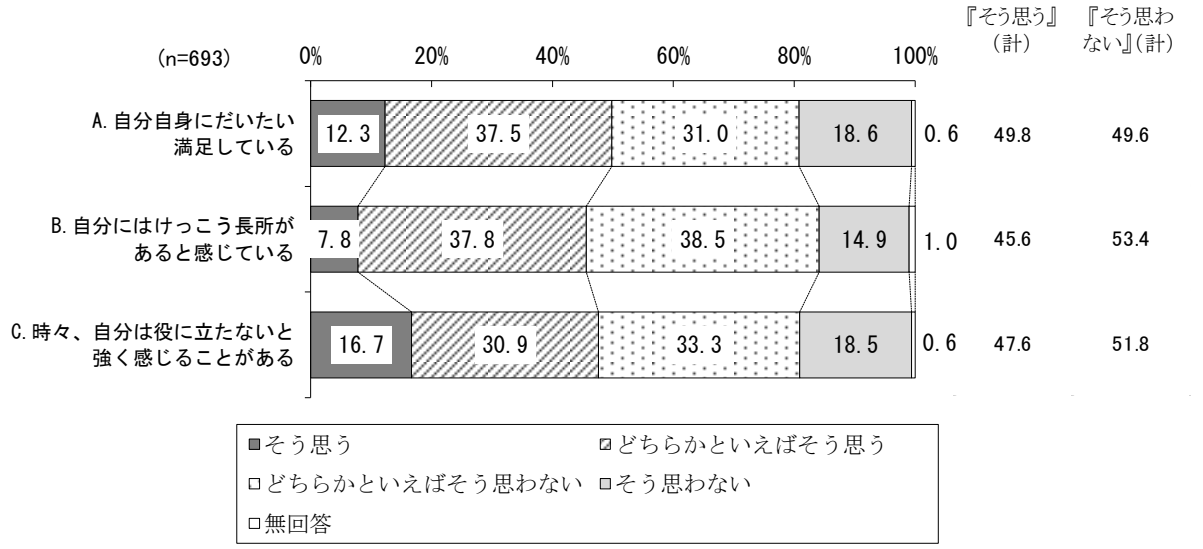
自分のためにやっていることは、「親しい友人と会うこと」（49.6%）が約半数で最も多く、次いで、「音楽を聞くこと」（36.8%）、「おしゃれをすること」（28.6%）などとなっている。

やりたいがあきらめていることは、「旅行に行くこと」（65.8%）が６割半ばで最も多く、次いで、「おしゃれをすること」（42.1%）、「整体やマッサージに行くこと」（39.2%）などとなっている。

「その他」には、「ゆっくり休むこと」、「欲しいものを買うこと」、「習い事をすること」などがあげられた。

（２）自分について思うこと

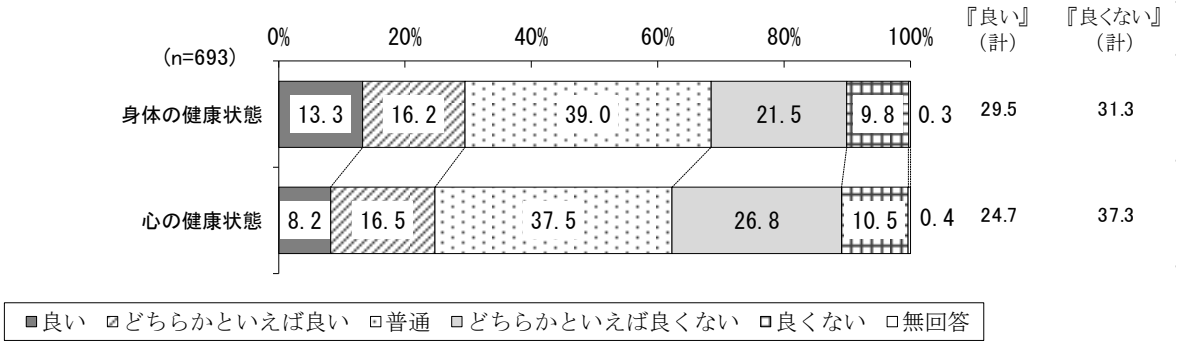
問27　次のことがらはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。A～Cのそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



自分について思うことをきいたところ、<A.自分自身にだいたい満足している>では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』（計）（49.8%）と「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』（計）（49.6%）がほぼ同じ割合となっている。<B.自分にはけっこう長所があると感じている>では『そう思わない』（計）（53.4%）が『そう思う』（計）（45.6%）をやや上回っている。<C.時々、自分は役に立たないと強く感じることがある>においても『そう思わない』（計）（51.8%）が『そう思う』（計）（47.6%）をやや上回っている。

（３）健康状態

問28　ふだんの健康状態についてうかがいます。
（１）あなたはご自分の「身体」、および「心」の健康状態についてどのように感じていますか。
（一つに○）

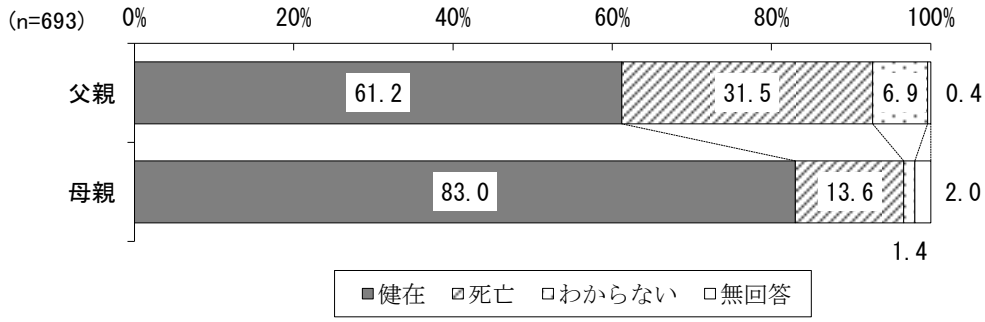


健康状態は、身体・心ともに「普通」が最も多くなっている。「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い』(計) は＜身体の健康状態＞が約３割、＜心の健康状態＞で２割半ばとなっている。

８．両親とのかかわりについて

（１）両親の状況

問29　あなたご自身のご両親はご健在ですか。（それぞれ一つに○）

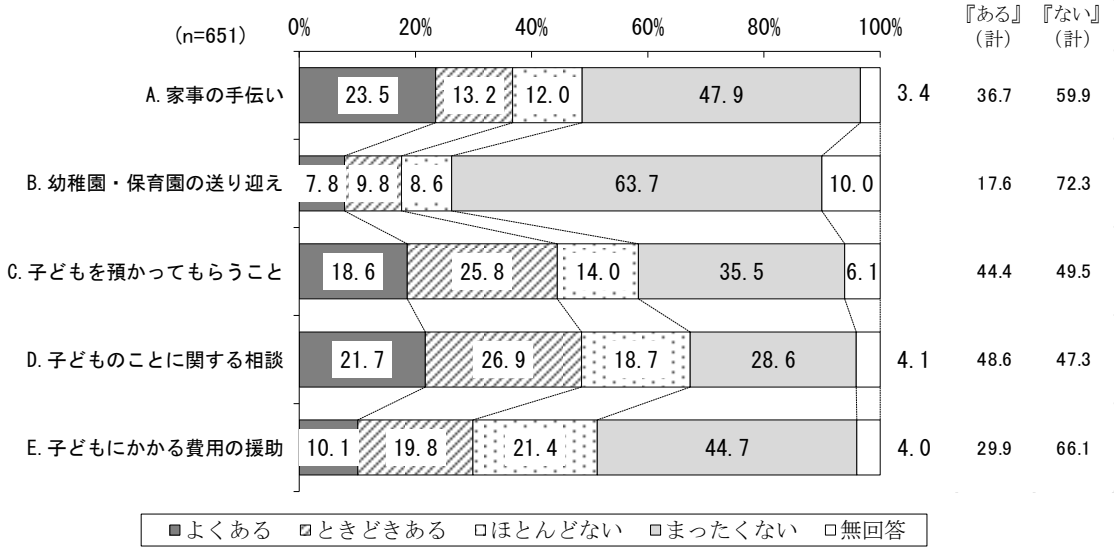


自分の両親の状況は、父親・母親ともに「健在」が最も多く、母親においては83.0%となっている。

（２）子どもの祖父母に協力してもらうこと

問30　お子さんの祖父母（あなたや元夫の親）についてお聞きします。（別居・同居は問いません。）
あなたのご家庭では、次のことについて、お子さんの祖父母に協力してもらうことはどれくらいありますか。A～Eについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。

（それぞれ一つに○）



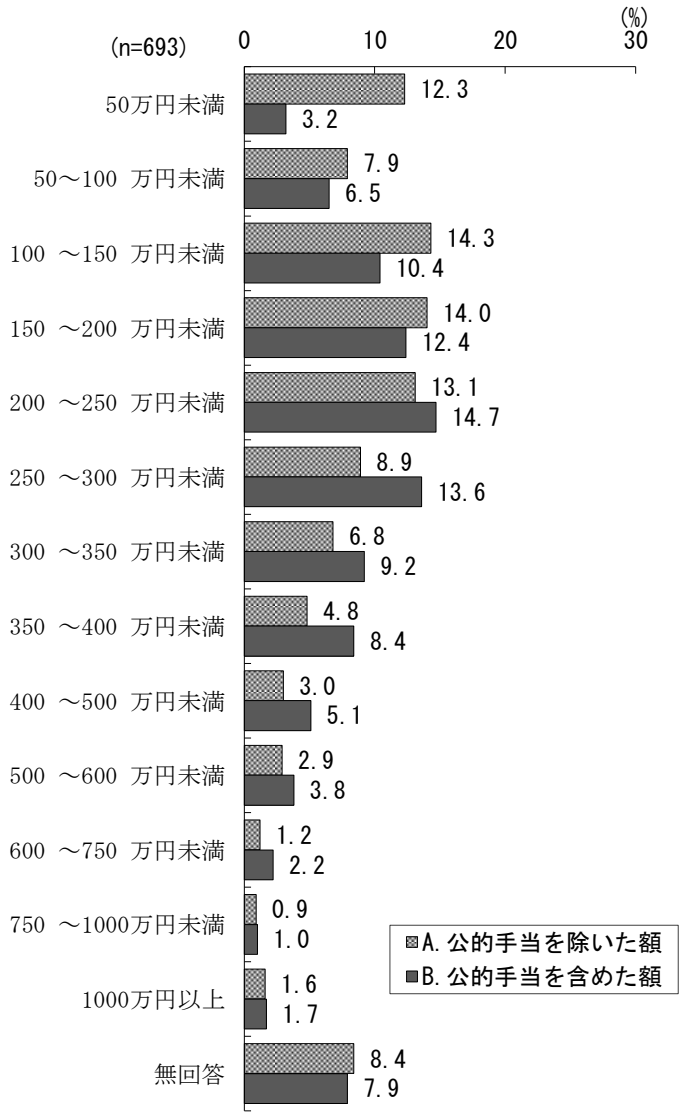
子どもの祖父母に協力してもらうことをきいたところ、すべての項目において「まったくない」が最も多く、＜B.幼稚園・保育園の送り迎え＞では６割を超えている。「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』（計）は＜D.子どものことに関する相談＞（48.6%）、＜C.子どもを預かってもらうこと＞（44.4%）で４割台となっている。

9．現在の暮らしについて

（1）家族全員の年収

問31　前年（2015年）のあなたの家族（*1）全員の年収（*2）の合計額は、税込み（*3）でおよそいくらでしたか。公的な手当（*4）を「A. 除いた額」と「B. 含めた額」のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

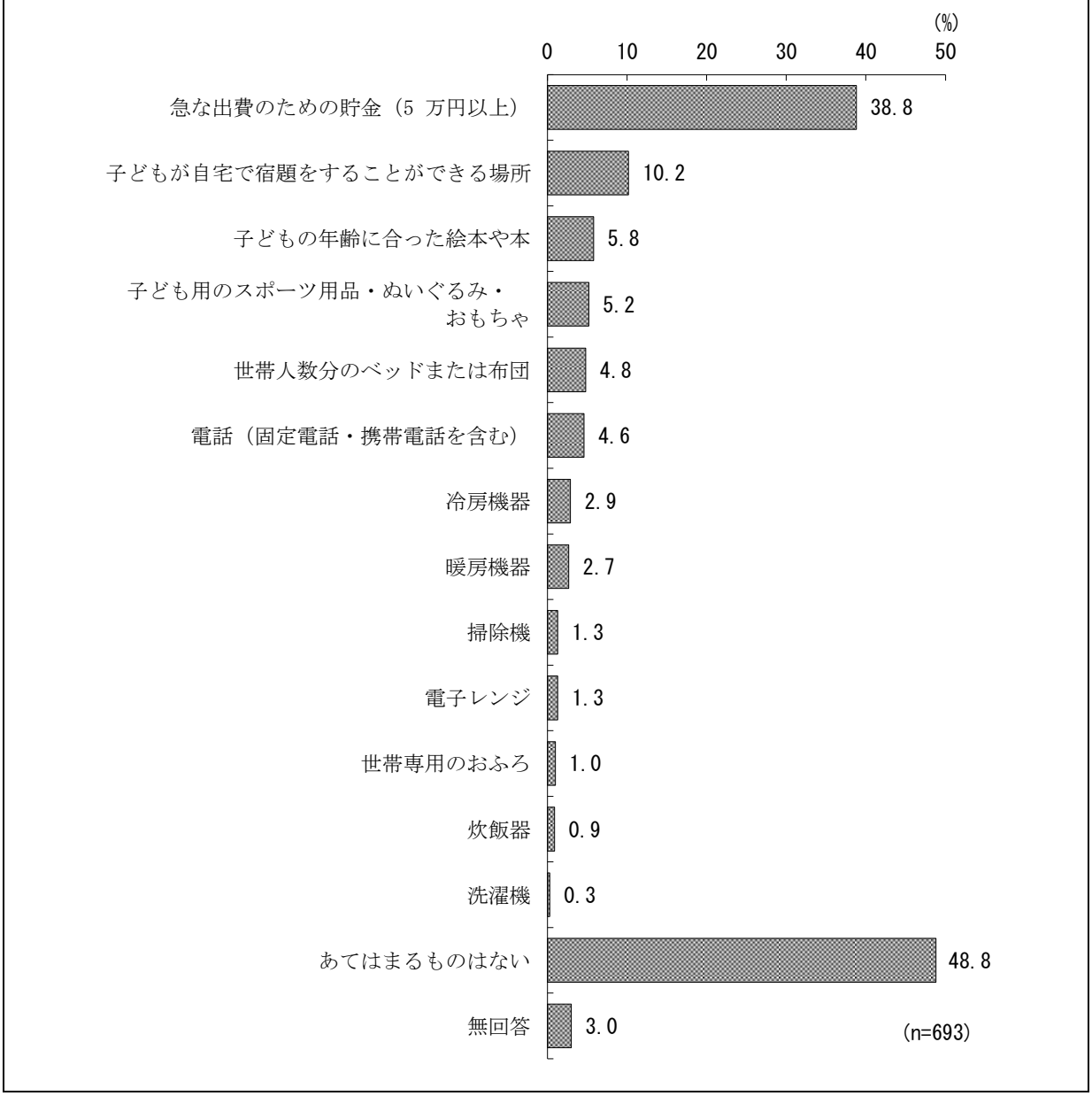
*1 家族：問3でお聞きした【あなたと一緒に暮らしており、生計を共にしている方】のことです。
*2 年収：働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。
*3 税込み：所得税や社会保険料が引かれる前の金額です。
*4 公的な手当：児童手当、就学援助、児童扶養手当、児童育成手当、障がいや難病の手当、生活保護、公的年金などを指します。



家族全員の年収の合計額は、＜A.公的手当を除いた額＞では「100 ～150 万円未満」（14.3%）、＜B.公的手当を含めた額＞では「200 ～250 万円未満」（14.7%）が最も多くなっている。

（２）経済的理由のためにないもの

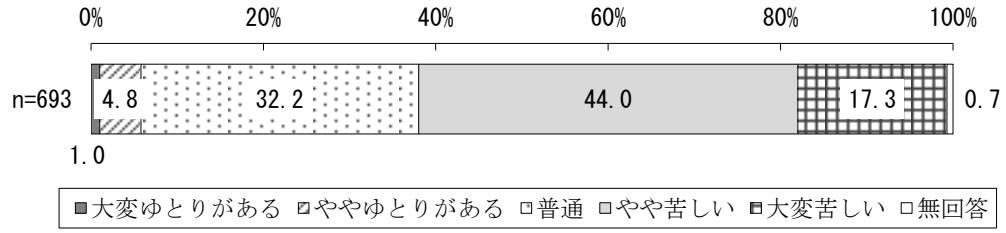
問32　あなたのご家庭では、次のもののうち、経済的理由のために、ないものはありますか。
（あてはまるものすべてに○）



経済的理由のためにないものは、「あてはまるものはない」が48.8%、「経済的理由のためにないものがある」（※100%から「あてはまるものはない」と「無回答」を除いた数値）が48.2%となっている。経済的理由のためにないものの中では、「急な出費のための貯金（5 万円以上）」が38.8%で最も多くなっている。

（３）現在の暮らしの状況

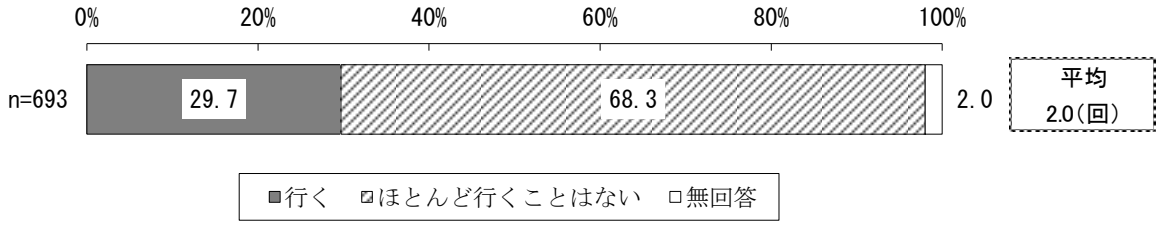
問33　あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。（一つに○）



現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」が44.0%で最も多く、次いで、「普通」が32.2%、「大変苦しい」が17.3%となっている。

（４）家族旅行の状況

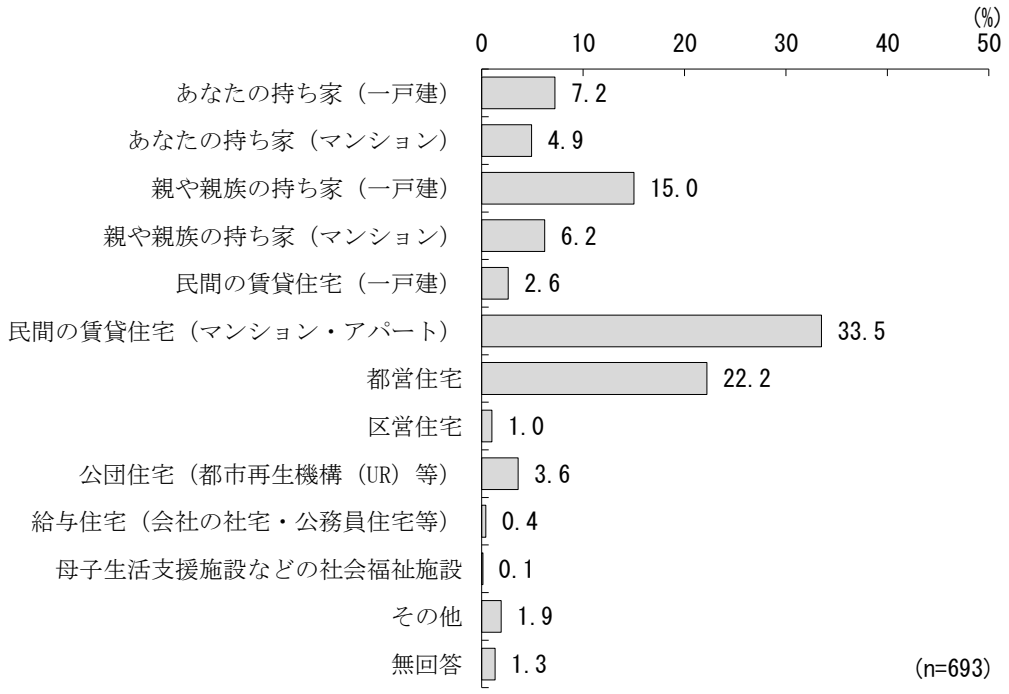
問34　あなたのご家庭では、家族で泊りがけの旅行に行くことはありますか。あなたの実家への帰省旅行も含みます。



家族で泊りがけの旅行に行くことは、「行く」が約３割となっている。１年間に旅行に行く回数は平均2.0回となっている。

（５）住居の形態

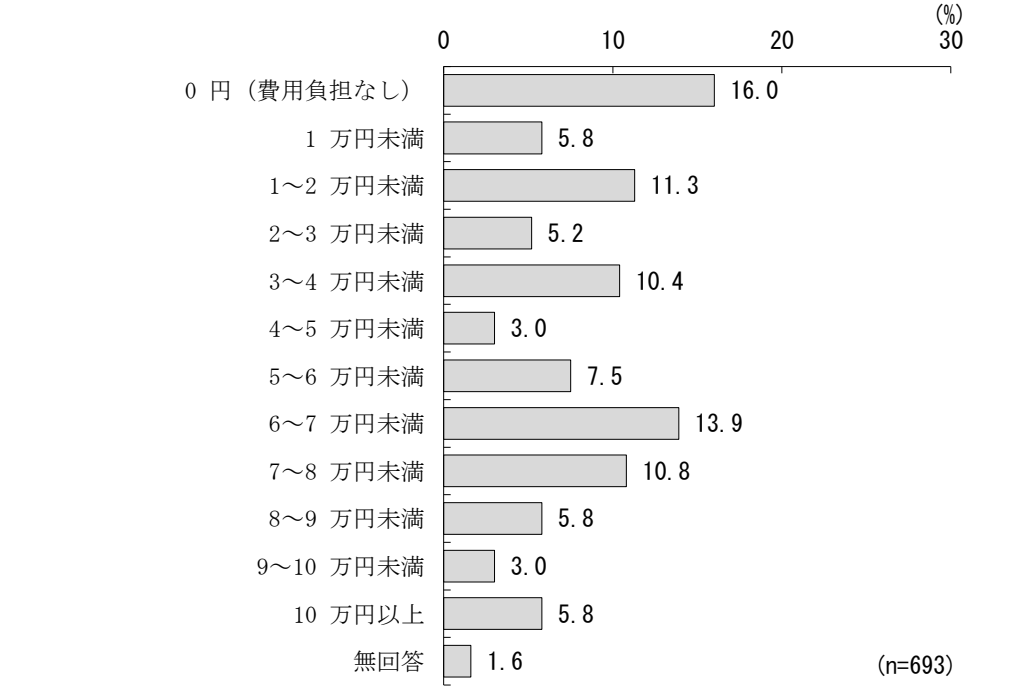
問35　現在の住居の形態はどれにあたりますか。（一つに○）



現在の住居の形態は、「民間の賃貸住宅（マンション・アパート）」が33.5%で最も多く、次いで、「都営住宅」（22.2%）、「親や親族の持ち家（一戸建）」（15.0%）などとなっている。

（６）住居費として負担している金額

問36　あなたが住居費として負担している金額は、１か月あたりおいくらですか。家賃・住宅ローン・共益費・管理費などの合計の金額を教えてください。（一つに○）



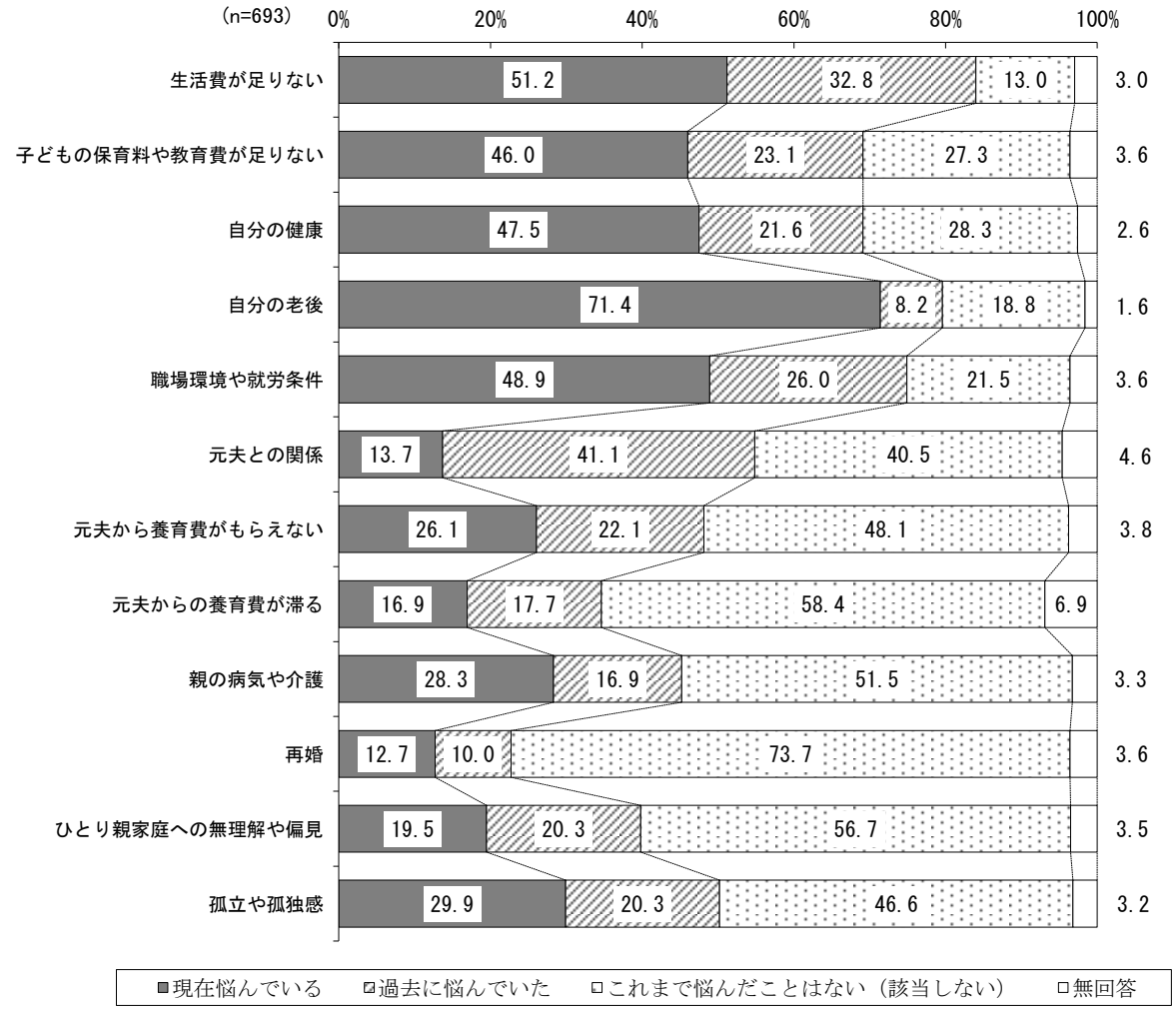
１か月に住居費として負担している金額は、「0 円（費用負担なし）」（16.0%）、「6～7万円未満」（13.9%）、「1～2万円未満」（11.3%）、「7～8万円未満」（10.8%）、「3～4万円未満」（10.4%）が１割台となっている。

10．悩みや相談について

（１）悩んでいることや心配なこと

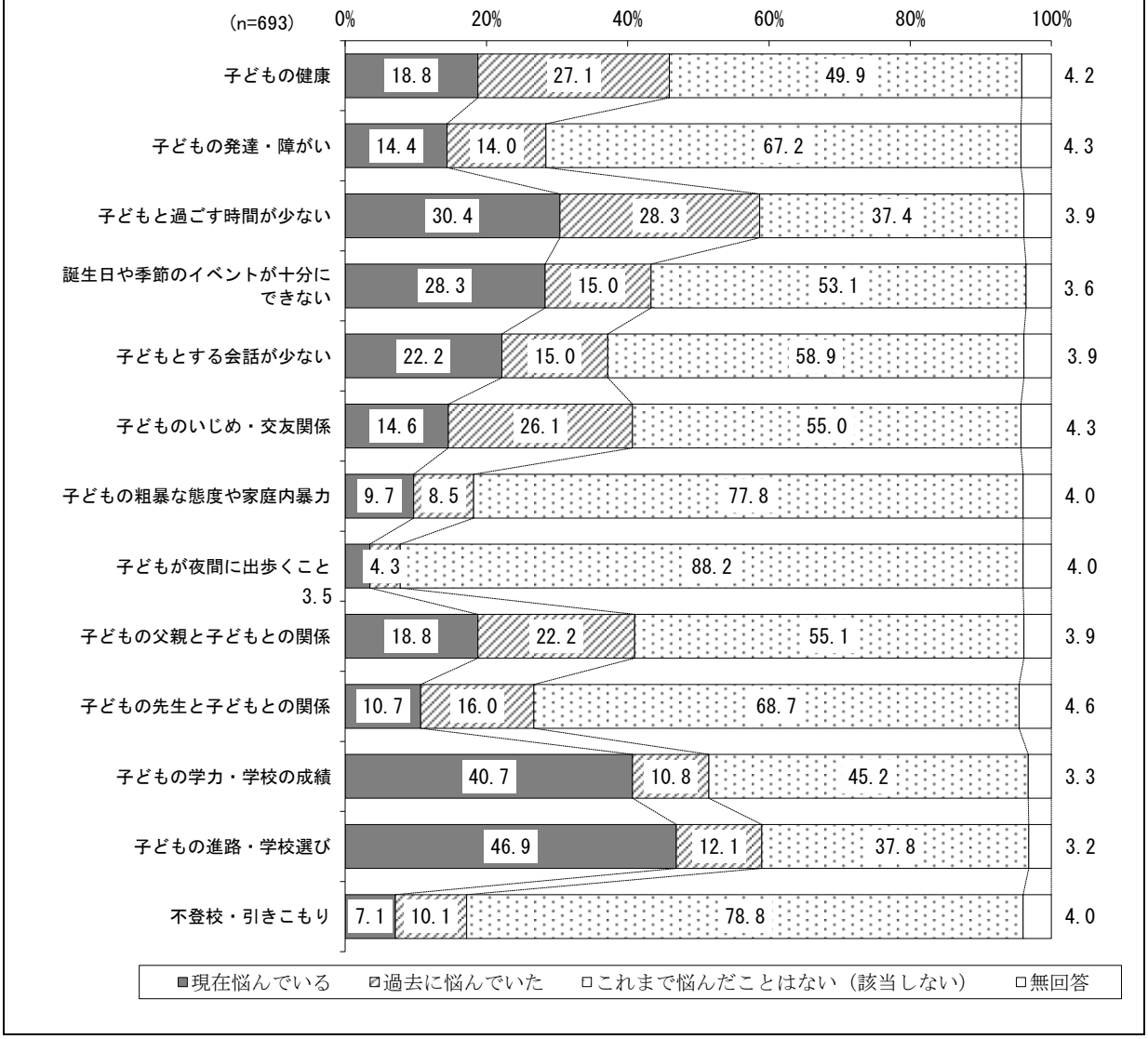
問37　次のことがらについて、悩んでいることや心配なことがありますか。それぞれのことがらについてあてはまる番号1～3に○をつけてください。

（１）ご家庭やあなたご自身のこと



家庭や自分のことで悩んでいることや心配なことをきいたところ、「現在悩んでいる」は＜自分の老後＞（71.4%）が最も多く、次いで、＜生活費が足りない＞（51.2%）、＜職場環境や就労条件＞（48.9%）、＜自分の健康＞（47.5%）、＜子どもの保育料や教育費が足りない＞（46.0%）などとなっている。「過去に悩んでいた」は＜元夫との関係＞（41.1%）が最も多くなっている。「これまで悩んだことはない（該当しない）」は＜再婚＞（73.7%）が最も多くなっている。

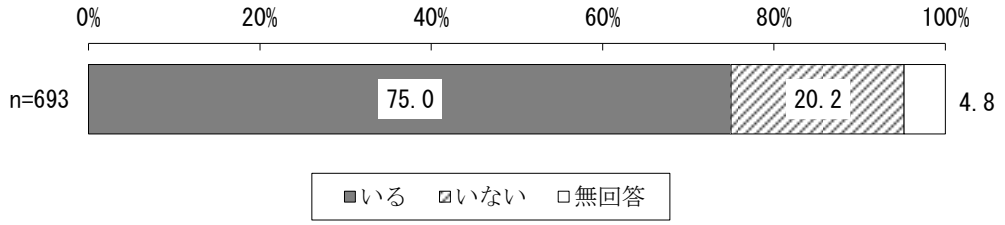
（２）子育てやお子さんのこと



子育てや子どものことで悩んでいることや心配なことをきいたところ、「現在悩んでいる」は＜子どもの進路・学校選び＞（46.9%）、＜子どもの学力・学校の成績＞（40.7%）が４割台となっている。「過去に悩んでいた」は＜子どもと過ごす時間が少ない＞（28.3%）、＜子どもの健康＞（27.1%）、＜子どものいじめ・交友関係＞（26.1%）、＜子どもの父親と子どもとの関係＞（22.2%）が２割台となっている。「これまで悩んだことはない（該当しない）」は＜子どもが夜間に出歩くこと＞（88.2%）、＜不登校・引きこもり＞（78.8%）、＜子どもの粗暴な態度や家庭内暴力＞（77.8%）が75%以上と多くなっている。

（２）相談できる人の有無

問38　あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。（一つに○）

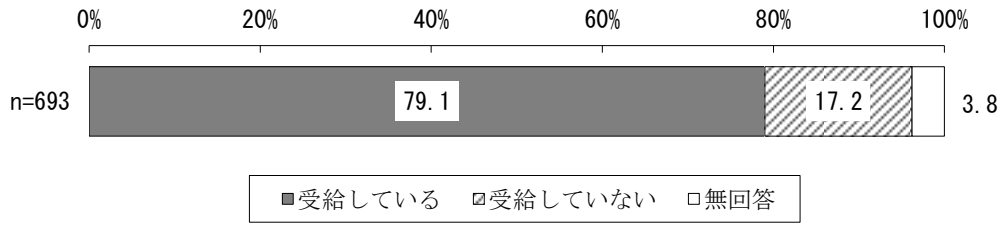


本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人の有無は、４人に３人が「いる」と回答している。

11．足立区で利用できるサービスや支援制度ついて

（１－１）児童扶養手当受給の有無

問39　あなたは児童扶養手当を受給していますか。（一つに○）

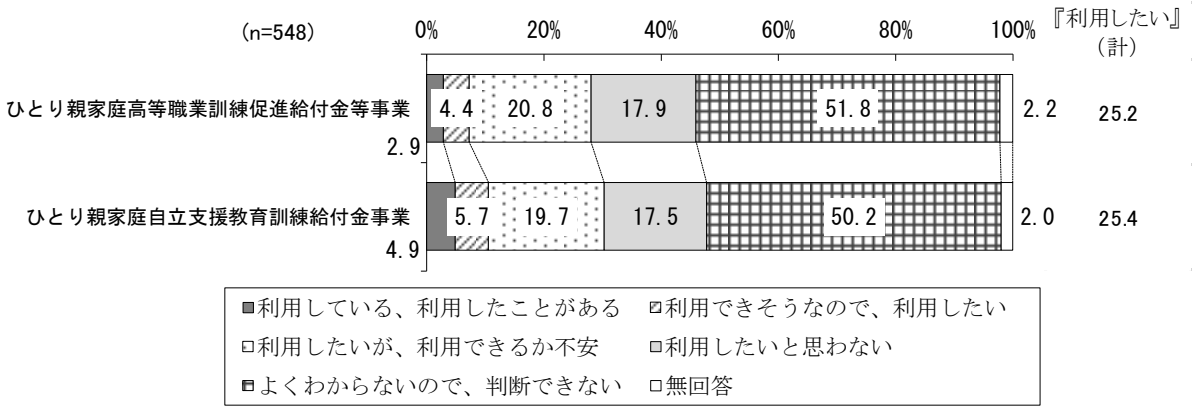


児童扶養手当受給の有無は、「受給している」が約８割となっている。

（１－２）職業資格取得に関する給付金等事業の利用状況

【「1. 受給している」と答えた方にお聞きします。】

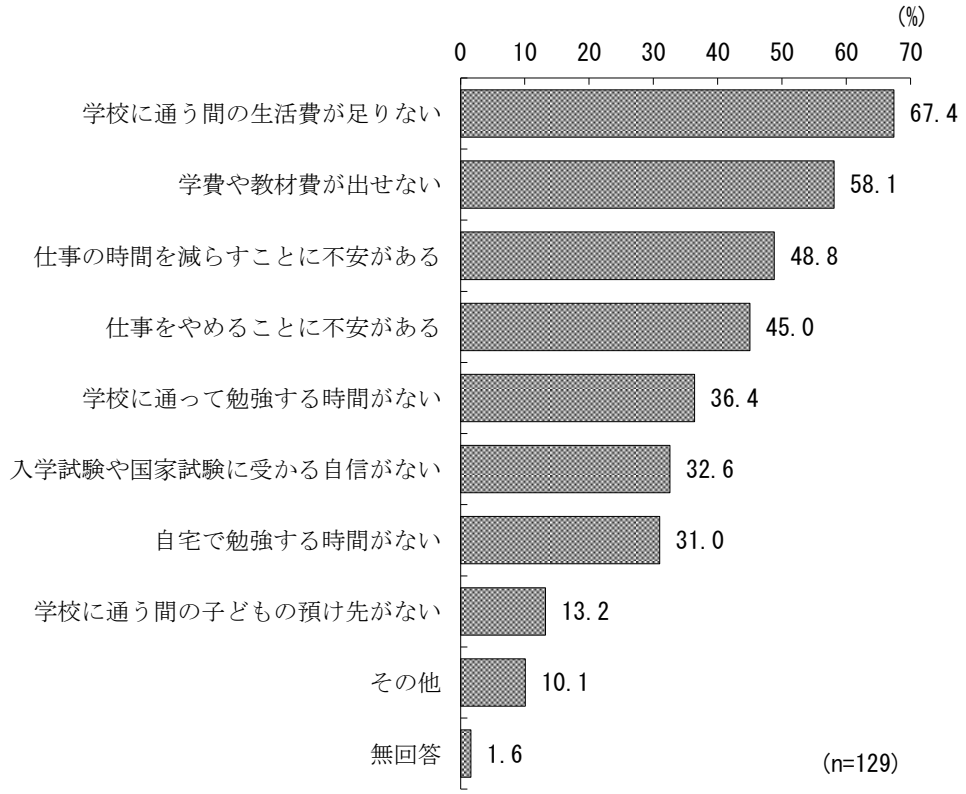
この２つの事業について、あなたはこれまでに利用したことがありますか。また、利用したいと思いますか。（それぞれ一つに○）



児童扶養手当を受給している方に職業資格取得に関する給付金等事業の利用状況をきいたところ、＜ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業＞、＜ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業＞ともに「よくわからないので、判断できない」が約半数となっており、「利用できそうなので、利用したい」と「利用したいが、利用できるか不安」を合わせた『利用したい』（計）は２割半ばとなっている。

（１－３）職業資格取得に関する給付金等事業を利用できるか不安な理由

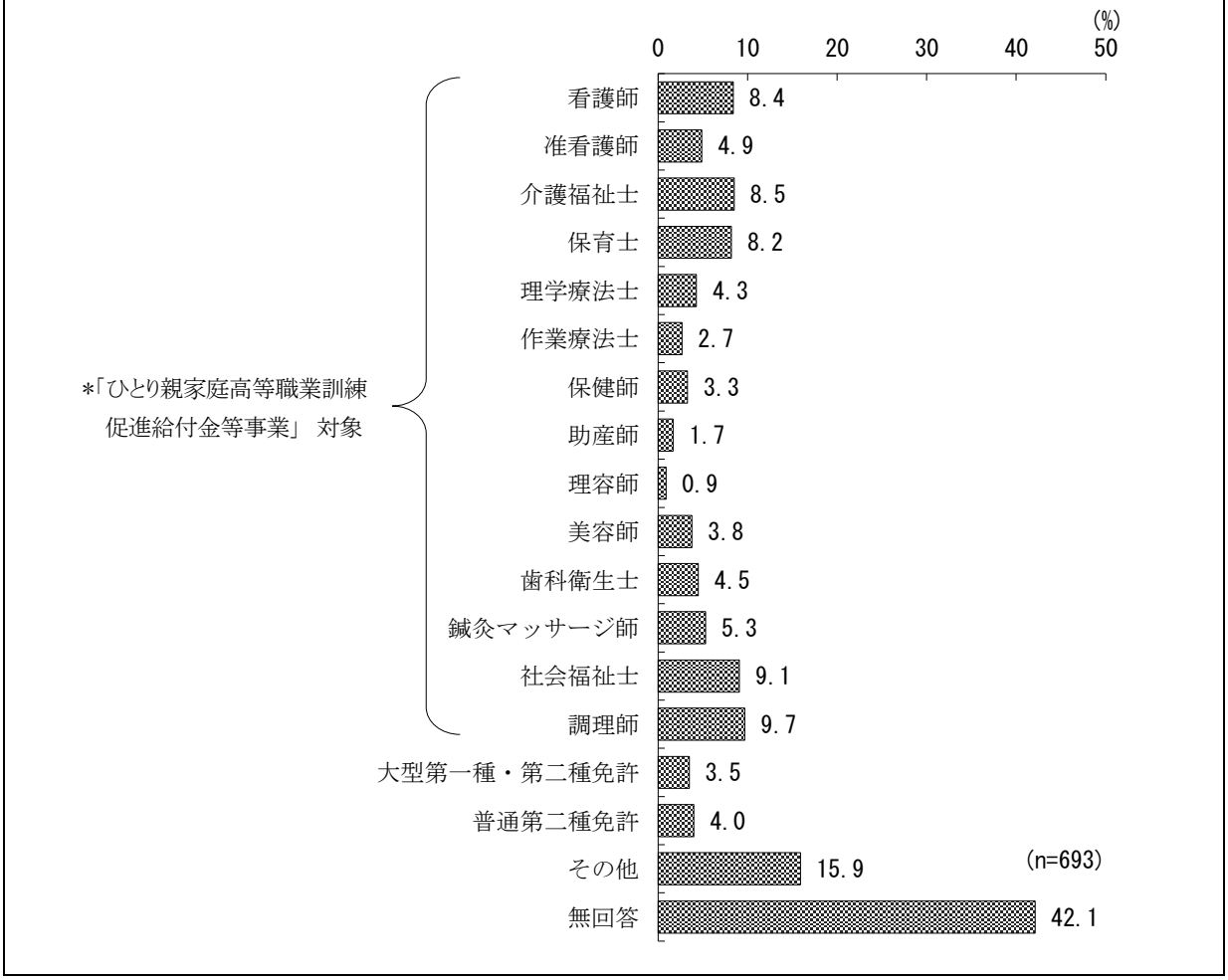
【「3.制度を利用したいが、利用できるか不安」と答えた方にお聞きします。】
不安な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



職業資格取得に関する給付金等事業を利用したいが、利用できるか不安という方にその理由をきいたところ、「学校に通う間の生活費が足りない」（67.4%）、「学費や教材費が出せない」（58.1%）が半数を超えている。「その他」には、「年齢的に不安がある」、「生活保護受給中であるから」、「体調が良くないから」などがあげられた。

（２）これから習得したい職業資格

問40　次のうち、あなたがこれから習得したい職業資格はありますか。※1～14は、「ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業」の対象となる資格です。（あてはまるものすべてに○）

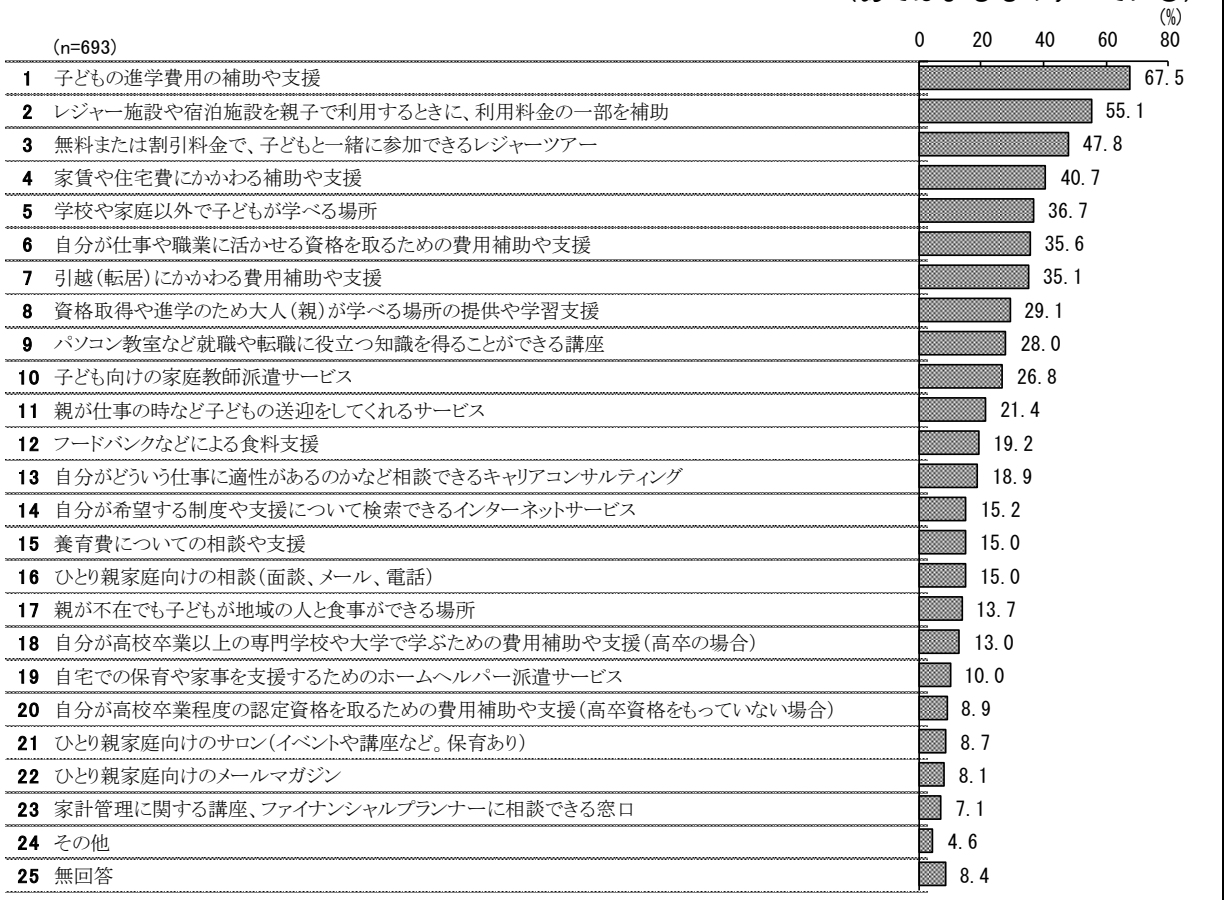


これから習得したい職業資格については、「習得したい」（※100%から「無回答」を除いた数値）が57.9%となっている。習得したい資格では、「調理師」（9.7%）、「社会福祉士」（9.1%）、「介護福祉士」（8.5%）、「保育士」（8.2%）、「看護師」（8.4%）などがあげられている。「その他」には、「美容系（ネイル・メイク・エステなど）」、「栄養士」、「行政書士」、「パソコン関係」、「ケアマネジャー」などがあげられた。

（３）利用したい支援やサービス

問41　あなたは、次のような支援やサービスを利用したいと思いますか。

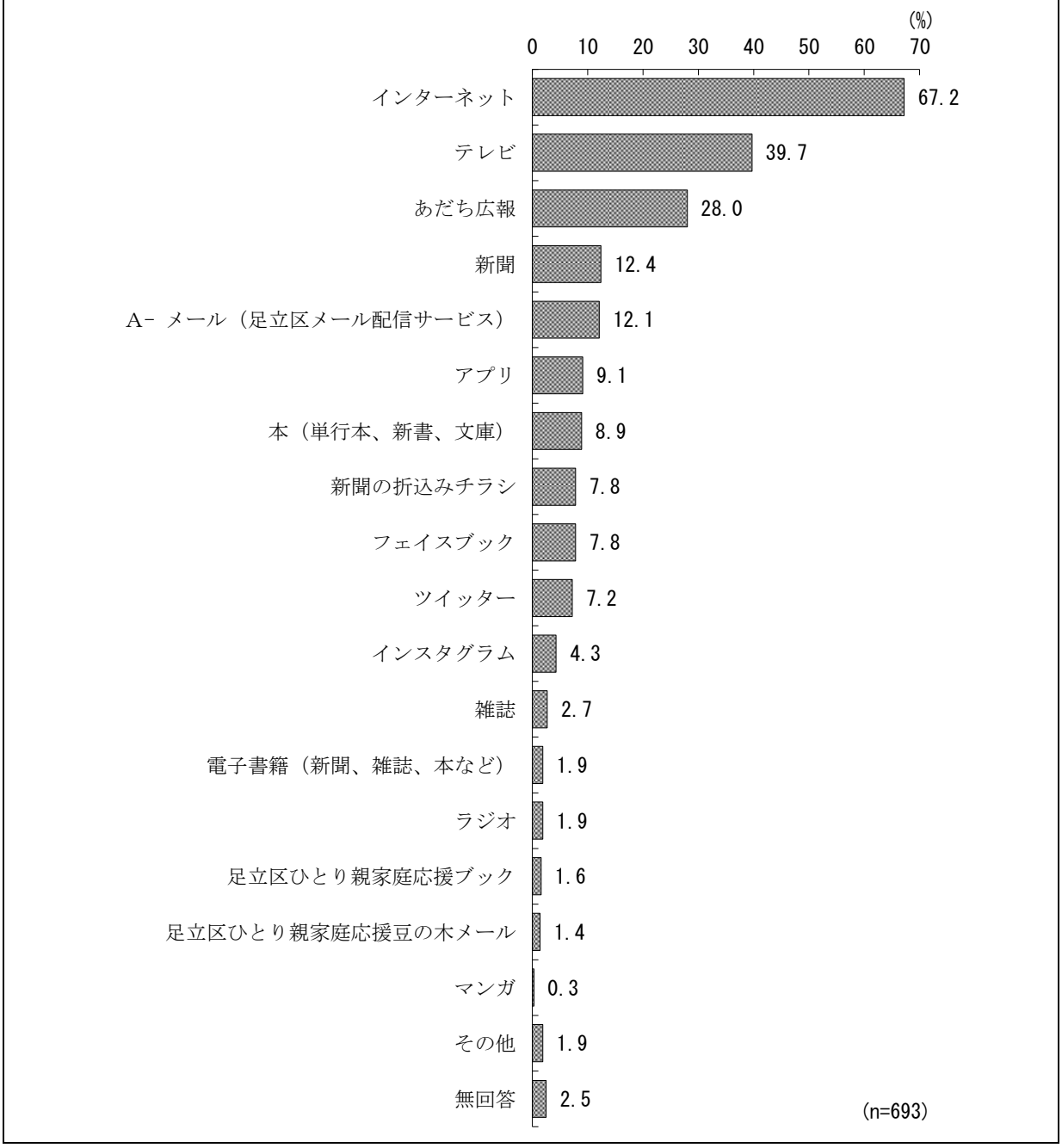
（あてはまるものすべてに○）



利用したい支援やサービスは、「子どもの進学費用の補助や支援」が67.5％で最も多く、次いで、「レジャー施設や宿泊施設を親子で利用するときに、利用料金の一部を補助」（55.1％）、「無料または割引料金で、子どもと一緒に参加できるレジャーツアー」（47.8％）、「家賃や住宅費にかかわる補助や支援」（40.7％）などとなっている。

（４）知りたい情報があるときに参考にしている媒体

問42　あなたは知りたい情報があるとき、どの媒体を参考にしますか。（主なもの３つに○）



知りたい情報があるときに参考にしている媒体は、「インターネット」が67.2%で最も多くなっている。次いで、「テレビ」（39.7%）、「あだち広報」（28.0%）などとなっている。

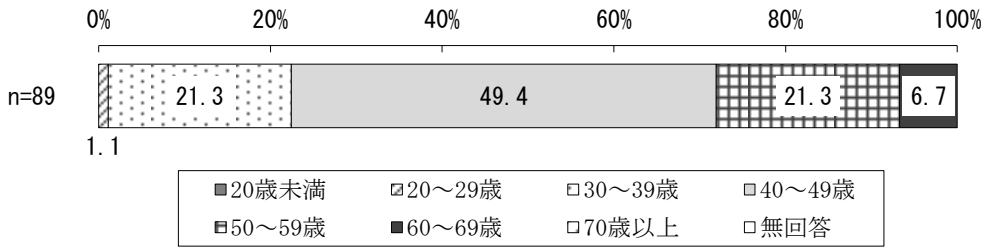
第３章　調査結果　《Ⅱ．父子世帯》

Ⅱ．父子世帯

１．調査対象者の概要

（１）年齢

問１　あなたの現在の年齢を教えてください。

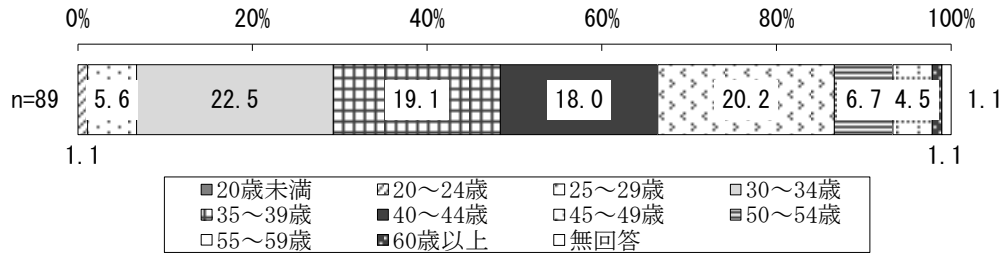


年齢は、「40～49歳」（49.4%）が約５割となっている。

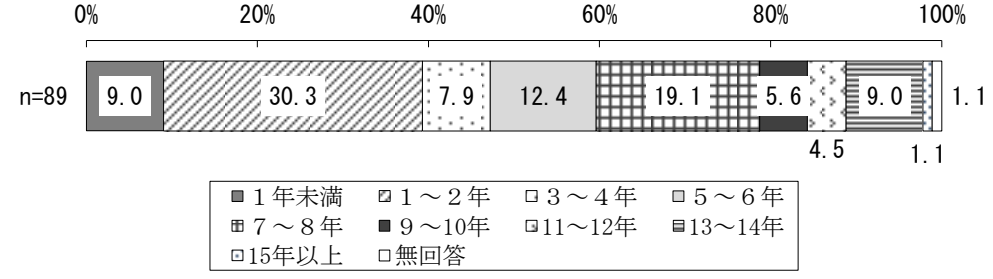
（２）ひとり親になった時期と事情

問２　ひとり親になった時期とご事情について教えてください。２回以上経験している場合は、直近のものについてご記入ください。

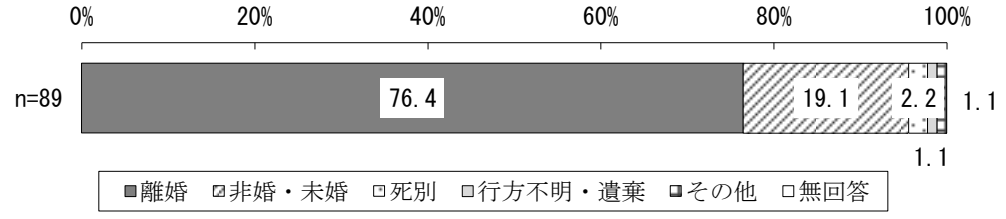
■ひとり親になった時期



■ひとり親期間



■ひとり親になった事情

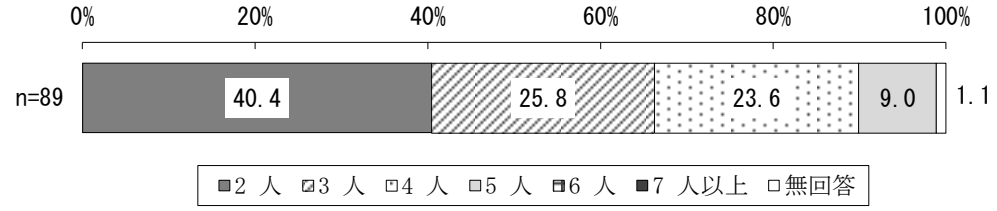


ひとり親になった時期は、「30～34歳」（22.5%）と「45～49歳」（20.2%）が２割台となっている。
ひとり親期間は、「１～２年」が約３割、「７～８年」が約２割となっている。
ひとり親になった事情は、「離婚」が76.4%で最も多くなっている。

（３）同居家族の状況

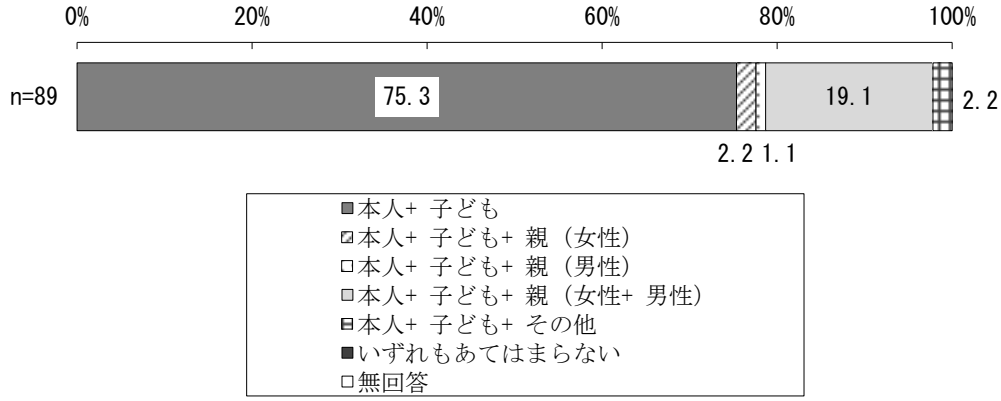
問３　現在、あなたと一緒に暮らしている方（同じ世帯の方）についてお聞きします。
※通学等で別居しているお子さんも生計を共にしている場合は人数に含みます。

（１）一緒に暮らしている方は、あなたを含めて、全員で何人ですか。（一つに○）

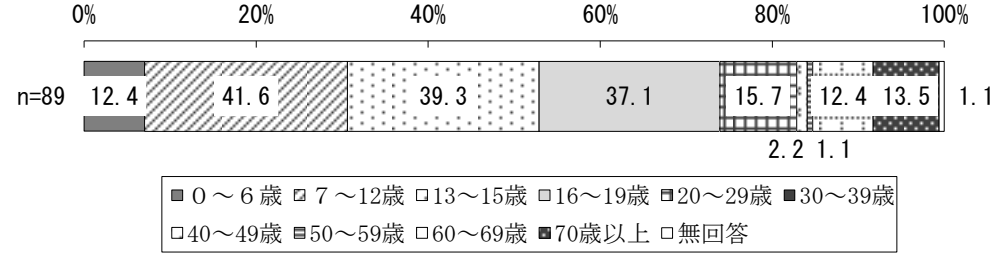


（２）一緒に暮らしている全員の方について、「あなたとの続柄」「年齢」「性別」を教えてください。※「2.親」とは、あなたからみた父親・母親（義父・義母も含む）のことであり、お子さんからみた祖父・祖母のことです。

■世帯構成



■同居家族の年齢



同居家族の人数は、「２人」（40.4%）が約４割となっている。

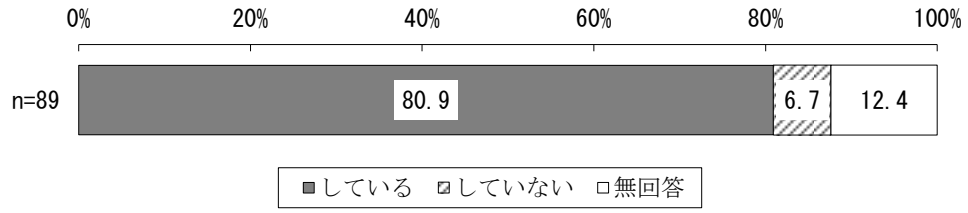
世帯構成は、「本人+子ども」の世帯が75.3%で最も多くなっている。

同居家族の年齢は、「７～12歳」（41.6%）、「13～15歳」（39.3%）、「16～19歳」（37.1%）が４割前後となっている。

２．仕事の状況について

（１）就労の有無

問４　あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。（一つに○）

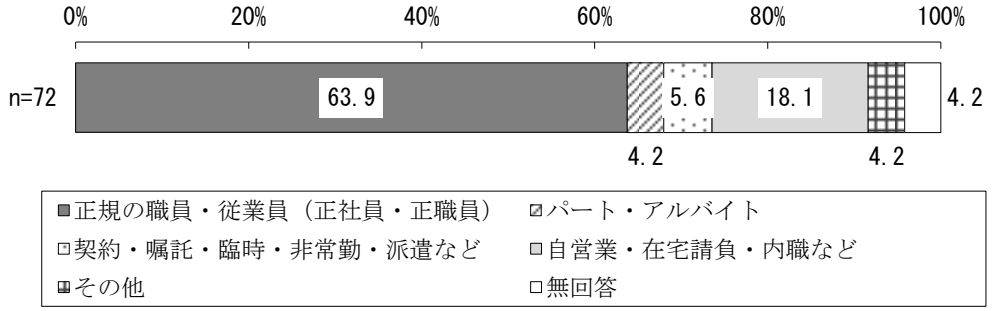


就労の有無は、「している」（80.9%）が約８割となっている。

（２－１）仕事の形態

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（１）その仕事の形態は、次のどれにあたりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、おもな仕事一つだけについてお答えください。（一つに○）

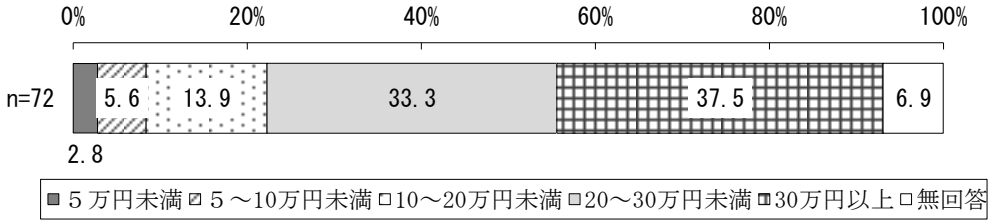


仕事をしている方に仕事の形態をきいたところ、「正規の職員・従業員（正社員・正職員）」が63.9%で最も多く、次いで、「自営業・在宅請負・内職など」（18.1%）となっている。

（２－２）仕事の収入

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（２）その仕事からの収入は、１か月あたり、平均いくらくらいですか。税込みの金額を書いてください。※税込み：税金や社会保険料が引かれる前の金額です。



■収入

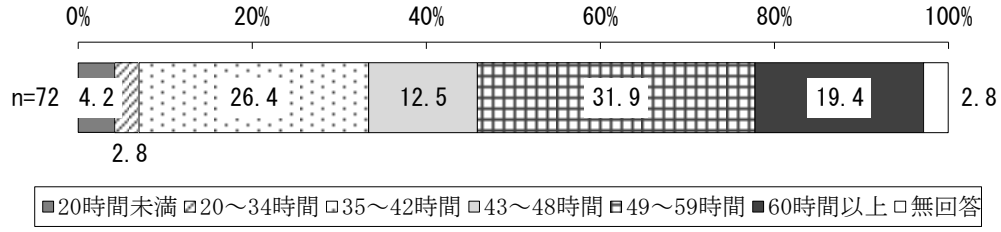
１か月の平均収入　　：平 均 26.3万円

仕事をしている方に仕事の収入をきいたところ、「30万円以上」（37.5%）、「20～30万円」（33.3%）が３割台となっている。

（２－３）労働時間

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（３）その仕事の１週間の労働時間は、平均してどのくらいですか。（一つに○）



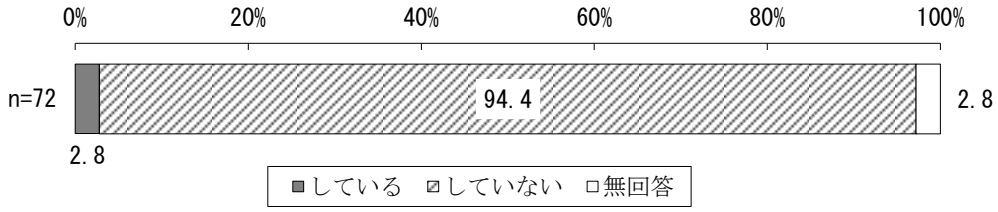
仕事をしている方に１週間の労働時間をきいたところ、「49～59時間」が31.9％で最も多く、次いで、「35～42時間」（26.4％）、「60時間以上」（19.4％）などとなっている。

（２－４）副業の状況

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（４）その仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。している場合は、副業にあてている時間と副業収入について教えてください。

■副業の有無



■副業の時間と収入

１か月の副業収入　　：平 均 2.8万円
１か月の副業をしている時間：平 均 26.0時間

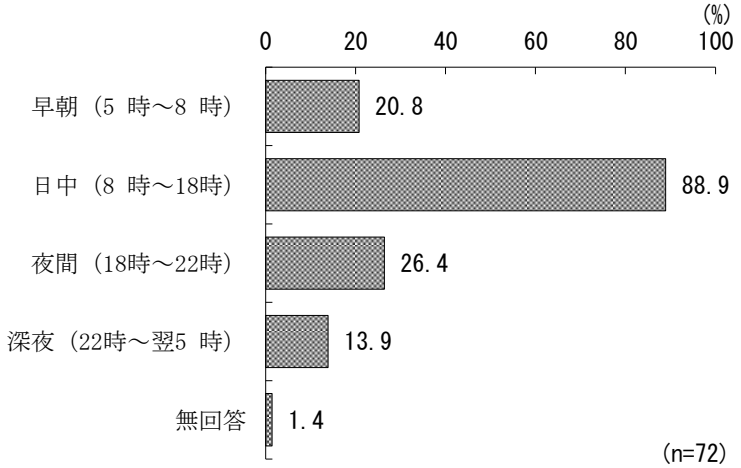
仕事をしている方に副業の有無をきいたところ、「していない」が94.4％で大半を占めている。

副業をしている方に副業の時間と収入をきいたところ、１か月の副業収入は平均3.0万円、副業をしている時間は平均26.0時間となっている。

（２－５）ふだん仕事をしている時間帯

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（５）ふだん仕事をしている時間帯は、次のどれにあたりますか。副業を含みます。

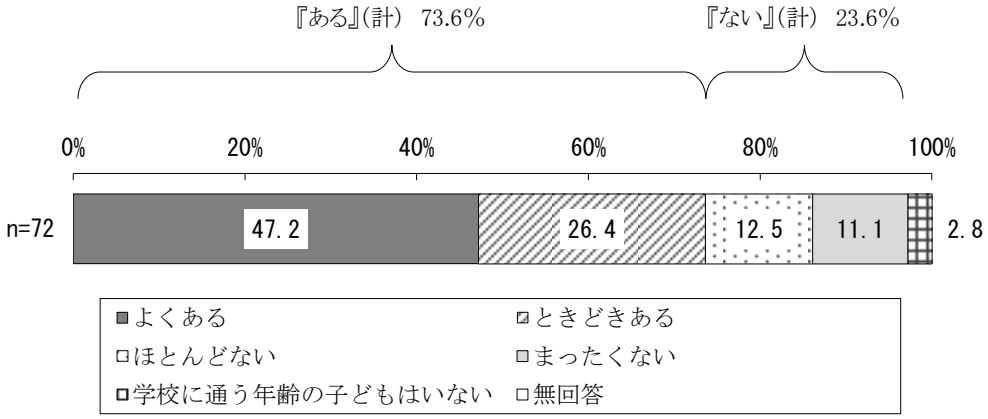


仕事をしている方にふだん仕事をしている時間帯をきいたところ、「日中（8時～18時）」が88.9％で大半を占めている。

（２－６）子どもの登校前の出勤

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（６）お子さんが学校に登校するより前に、出勤することはありますか。

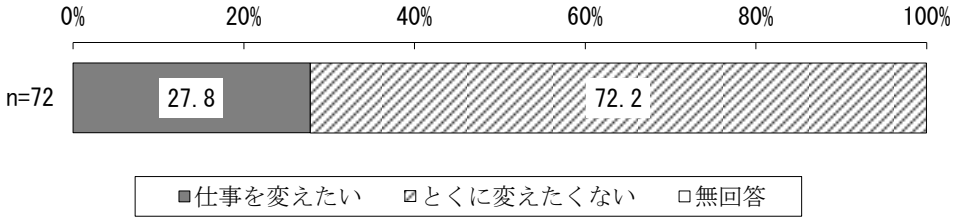


仕事をしている方に子どもが学校に登校するより前に出勤することがあるかきいたところ、「よくある」（47.2％）と「ときどきある」（26.4％）の双方を合わせた『ある』（計）は73.6％となっている。一方、「ほとんどない」（12.5％）と「まったくない」（11.1％）を合わせた『ない』（計）は23.6％となっている。

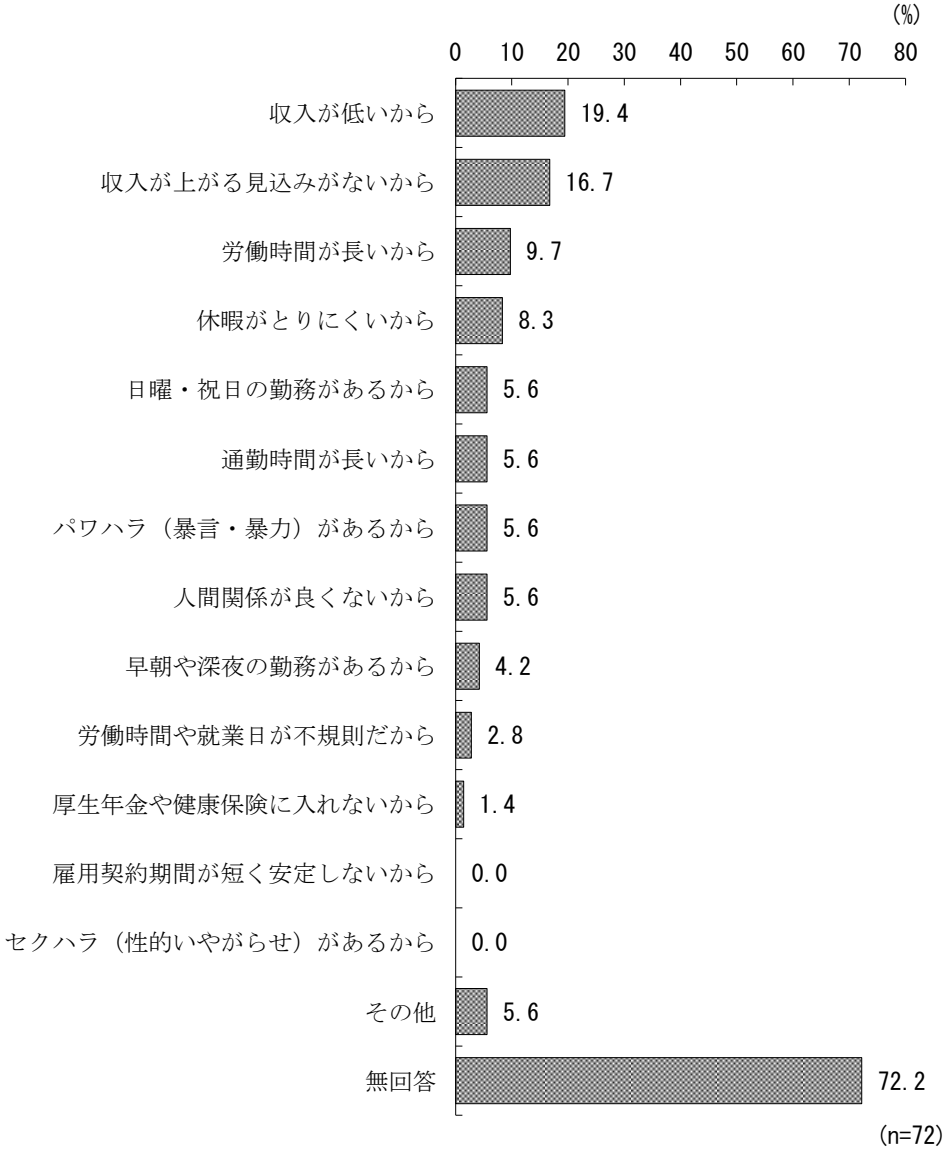
（２－７）転職の意向

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（７）あなたは、現在の仕事を変えたい（転職したい・就労形態を変えたい）ですか。仕事を変えたいと考えている方は、その理由を教えてください。（一つに○）



■仕事を変えたい理由



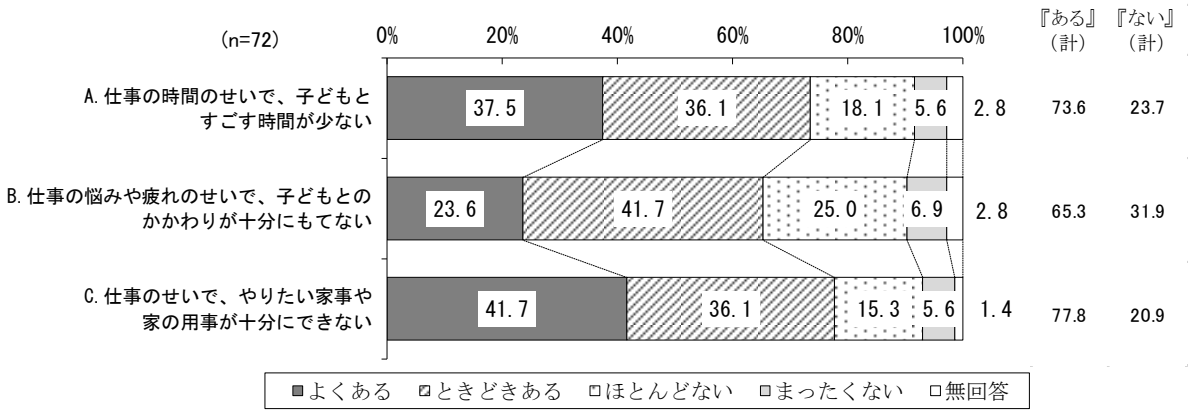
仕事をしている方に現在の仕事を変えたいと思っているかきいたところ、「とくに変えたくない」が72.2%、「仕事を変えたい」が27.8%となっている。

仕事を変えたいと思っている方にその理由をきいたところ、「収入が低いから」が19.4%、「収入が上がる見込みがないから」が16.7%と収入に関する理由が上位にあげられている。

（２－８）仕事と家庭のバランスについて

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（８）仕事と家庭生活のバランスについて、現在、次のようなことが起きていますか。A～Cそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



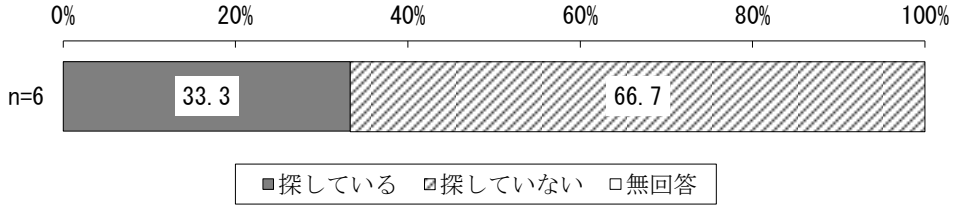
仕事をしている方に仕事と家庭生活のバランスについてきいたところ、「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』（計）は<C.仕事のせいで、やりたい家事や家の用事が十分にできない>が77.8%で最も多くなっている。

（３）求職の状況

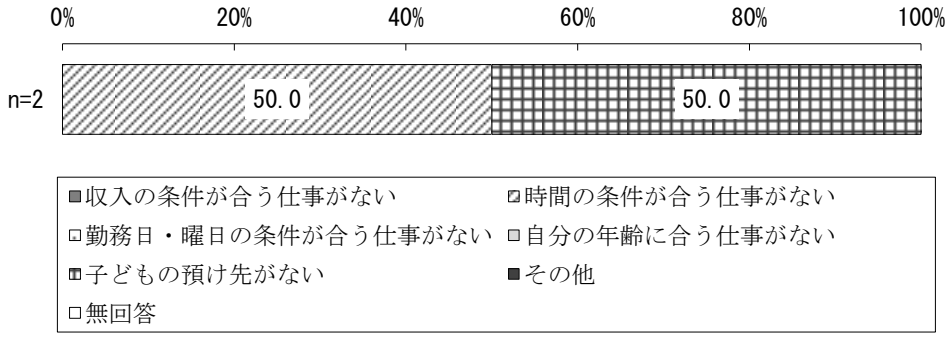
問６　現在、仕事をしていない方にお聞きします。

あなたは現在、仕事を探していますか。また、仕事をしていない理由として、もっとも近い理由一つを選んでください。（一つに○）

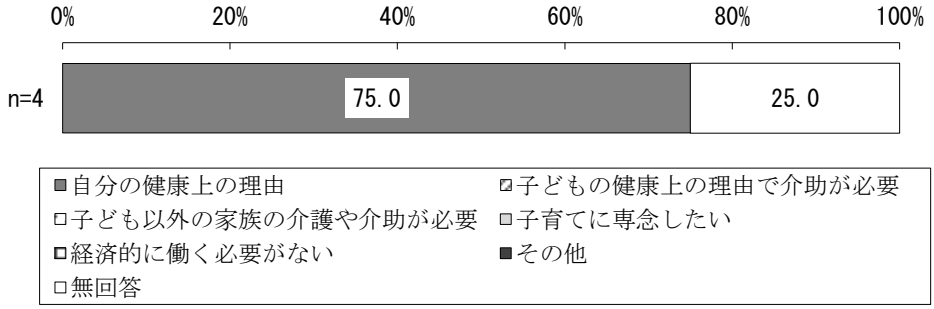
■求職の状況（ｎ数が少ないため参考掲載）



■仕事をしていない理由（ｎ数が少ないため参考掲載）



■仕事を探していない理由（ｎ数が少ないため参考掲載）

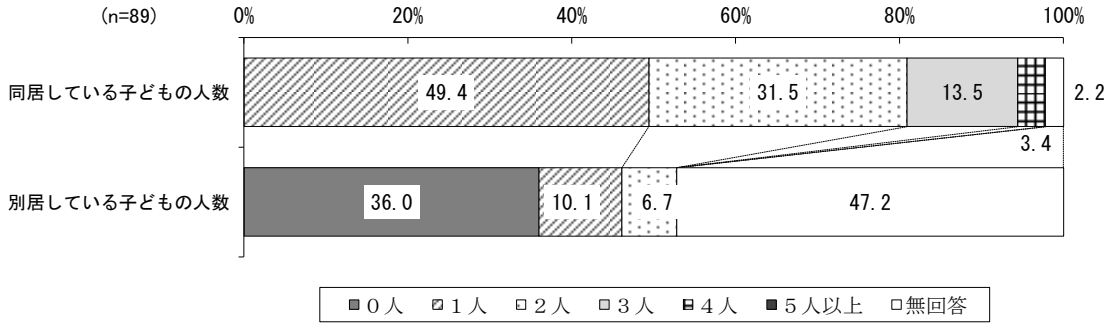


＊回答数が少ないため、参考のために掲載。

３．子どもの状況について

（１）子どもの人数

問７　あなたのお子さんは全員で何人ですか。

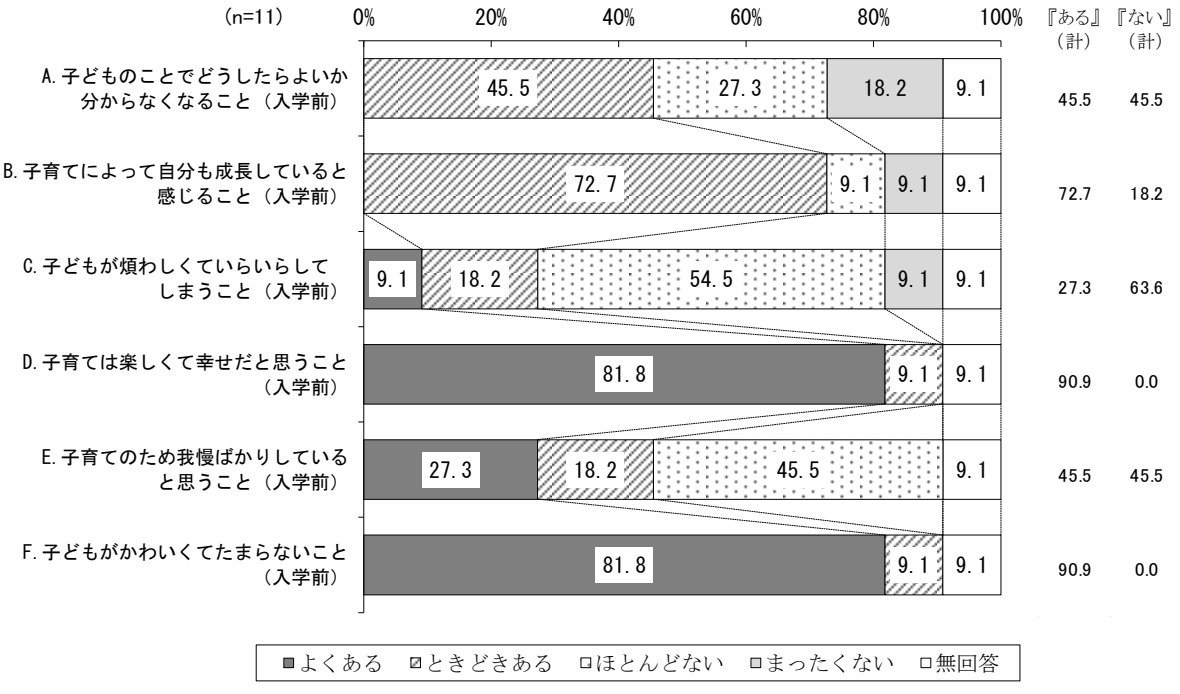


＜同居している子どもの人数＞は、「１人」が49.4％で最も多く、次いで、「２人」が31.5％、「３人」が13.5％などとなっている。

＜別居している子どもの人数＞は、「０人」が36.0％で最も多くなっている。

（２－１）子育てについて－小学校に入学する前（０歳～６歳）の子どもと同居している方

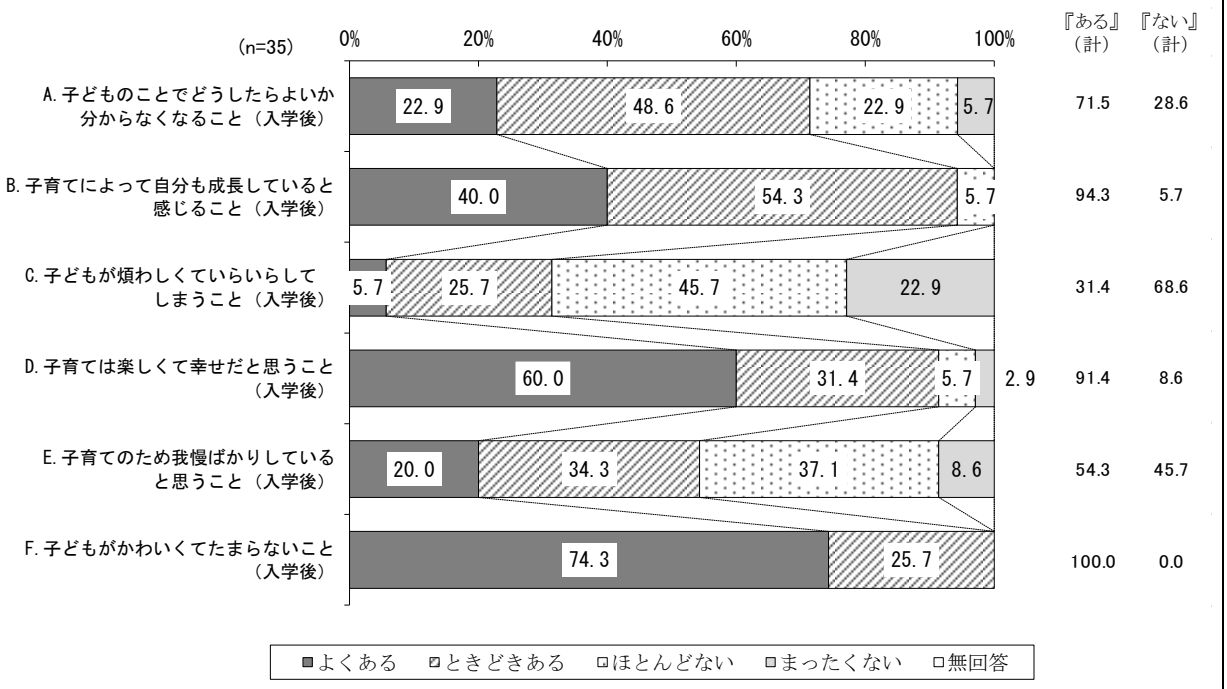
問８　あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることがありますか。



小学校に入学する前（０歳～６歳）の子どもと同居している方に子育てについて感じることをきいたところ、「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』（計）は<F. 子どもがかわいくてたまらないこと（入学前）＞（90.9％）、<D. 子育ては楽しくて幸せだと思うこと（入学前）＞（90.9％）、が９割と多くなっている。

（２－２）子育てについて－小学生の子どもと同居している方

問８　あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることがありますか。

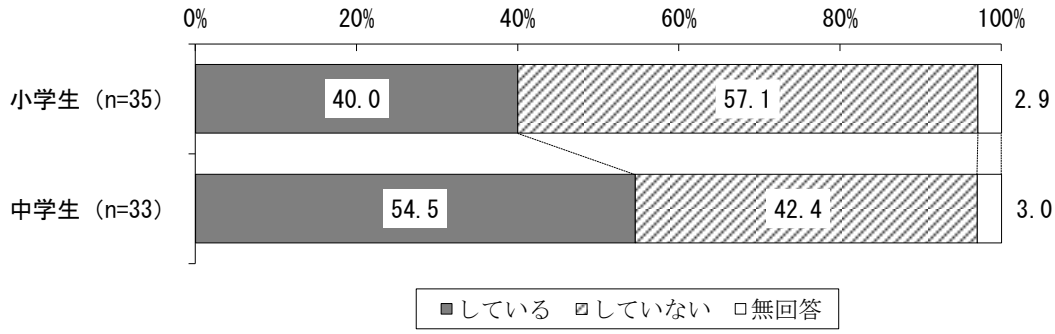


小学生の子どもと同居している方に子育てについて感じることをきいたところ、「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』(計)は<F.子どもがかわいくてたまらないこと(入学後)>(100.0%)、<B.子育てによって自分も成長していると感じること（入学前）>（94.3%）、<D.子育ては楽しくて幸せだと思うこと（入学後）>（91.4%）が９割以上と多くなっている。

（３）子どもの塾や習い事について

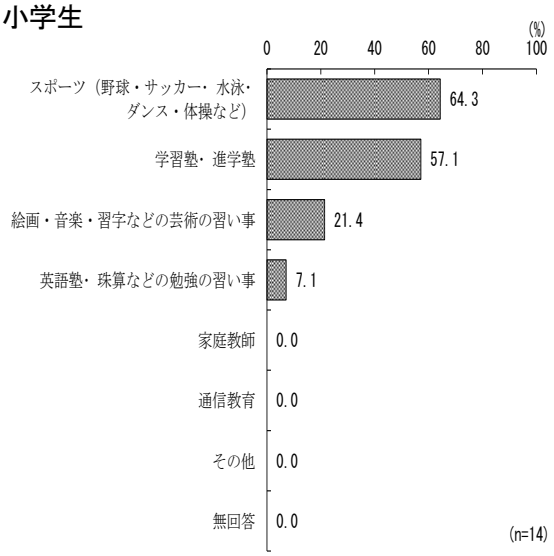
問９　お子さんの塾や習い事についてうかがいます。

（１）塾や習い事の状況

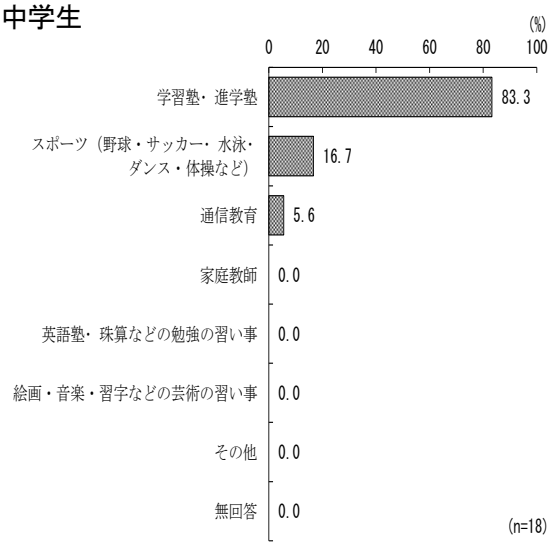


（２）塾や習い事の種類

■小学生



■中学生



塾や習い事の状況をきいたところ、「している」は＜小学生＞で40.0%、＜中学生＞で54.5%となっている。

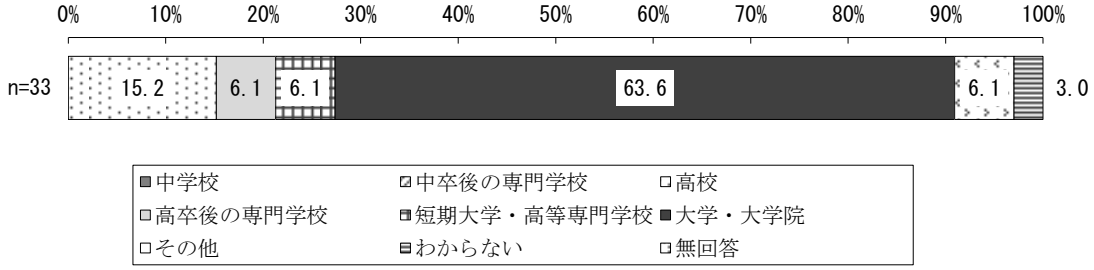
塾や習い事をしている方に塾や習い事の種類をきいたところ、小学生では「スポーツ（野球・サッカー・水泳・ダンス・体操など）」が64.3%で最も多く、中学生では「学習塾・通学塾」83.3%が最も多くなっている。

（４）進路について

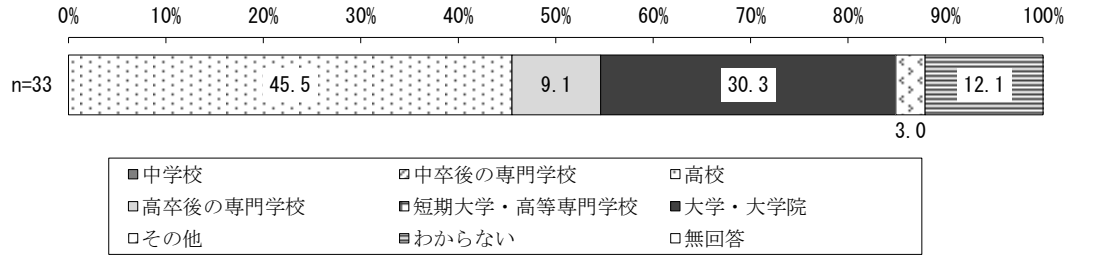
問10　中学生のお子さんと同居している方に、進路についてお聞きします。

（１）あなたは、お子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。

（一つに○）



（２）あなたは、そのお子さんが、現実的にはどの段階の学校まで進むと思いますか。（一つに○）

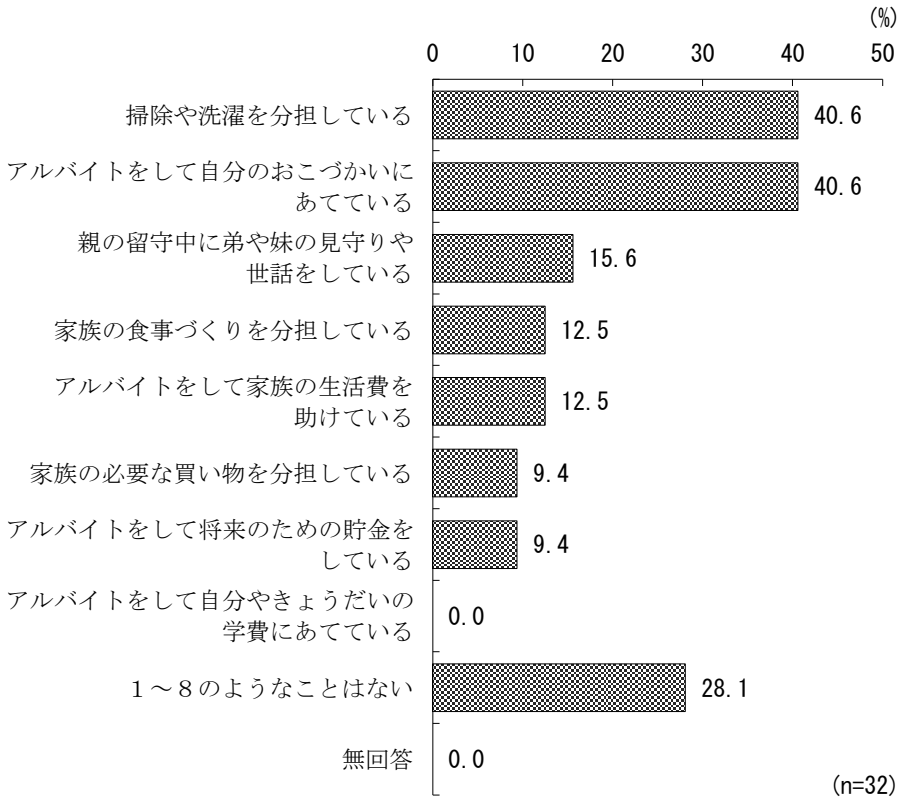


中学生の子どもと同居している方に理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいかきいたところ、「大学・大学院」が63.6%で最も多くなっている。

中学生の子どもと同居している方に現実的にはどの段階の学校まで進むと思うかきいたところ、「高校」が45.5%で最も多くなっている。

（５）子どもの生活状況

問11　高校生のお子さんと同居している方にお聞きします。
お子さんは、自分のため、または家族のために、次のようなことをしていますか。
（あてはまるものすべてに○）



高校生の子どもと同居している方に子どもが自分のため、または家族のためにしていることをきいたところ、「掃除や洗濯を分担している」と「アルバイトをして自分のおこづかいにあてている」がともに40.6%で最も多くなっている。

（６）子どもの最終学歴

問12　学校に通っていない15歳以上のお子さんがいる方にお聞きします。
そのお子さんの現在の年齢と、最終学歴を教えてください。

■１番上の子ども

調査数	現在の平均年齢
13	19.85
100	

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院	無回答
13	1	－	9	1	－	2	－
100	7.7	－	69.2	7.7	－	15.4	－

調査数	卒業した	中退した	無回答
12	11	1	－
100	91.7	8.3	－

＜卒業した学校の内訳＞

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院
11	1	－	8	1	－	1
100	9.1	－	72.7	9.1	－	9.1

＜中退した学校の内訳＞

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院
1	－	－	－	－	－	1
100	－	－	－	－	－	100

■２番目の子ども

調査数	現在の平均年齢
6	14.5
100	

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院	無回答
5	3	－	2	－	－	－	－
100	60	－	40	－	－	－	－

調査数	卒業した	中退した	無回答
3	3	－	－
100	100	－	－

＜卒業した学校の内訳＞

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院
3	2	－	1	－	－	－
100	66.7	－	33.3	－	－	－

＜中退した学校の内訳＞

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院
－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－

＊回答数が少ないため、参考のために掲載。

■３番目の子ども

調査数	現在の平均年齢
1	15
100	

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院	無回答
1	1	－	－	－	－	－	－
100	100	－	－	－	－	－	－

調査数	卒業した	中退した	無回答
1	－	－	1
100	－	－	100

＜卒業した学校の内訳＞

調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院
－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－

＜中退した学校の内訳＞

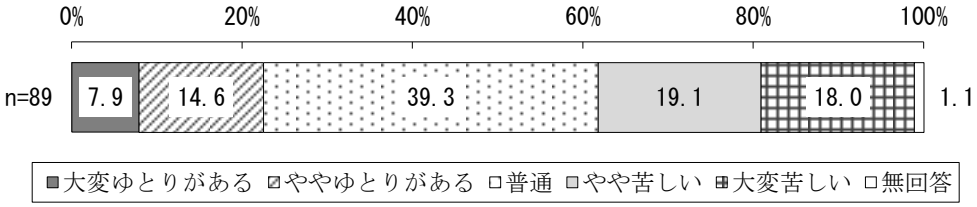
調査数	中学校	中卒後の専門学校	高校	高卒後の専門学校	短大・高等専門学校	大学・大学院
－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－

＊回答数が少ないため、参考のために掲載。

4.自分の子どもの頃と、ひとり親家庭になる前の経験について

（１）中学３年生のときの暮らしの状況

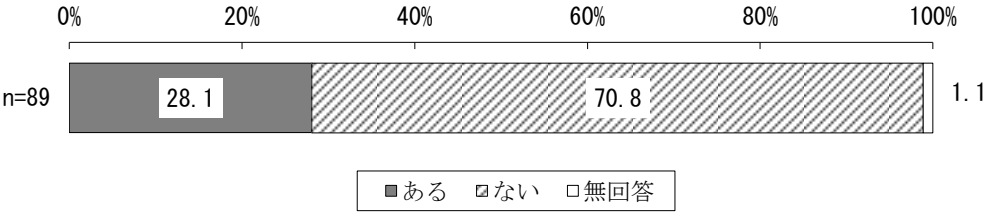
問13　あなたが中学３年生のとき、あなたのご家庭の暮らしの状況は、次のどの状態に近かったでしょうか。（一つに○）



自分が中学３年生のときの暮らしの状況は、「普通」（39.3%）が約４割と最も多く、次いで、「やや苦しい」（19.1%）、「大変苦しい」（18.0%）となっている。

（２）成人するまでのあいだにひとり親家庭だった時期の有無

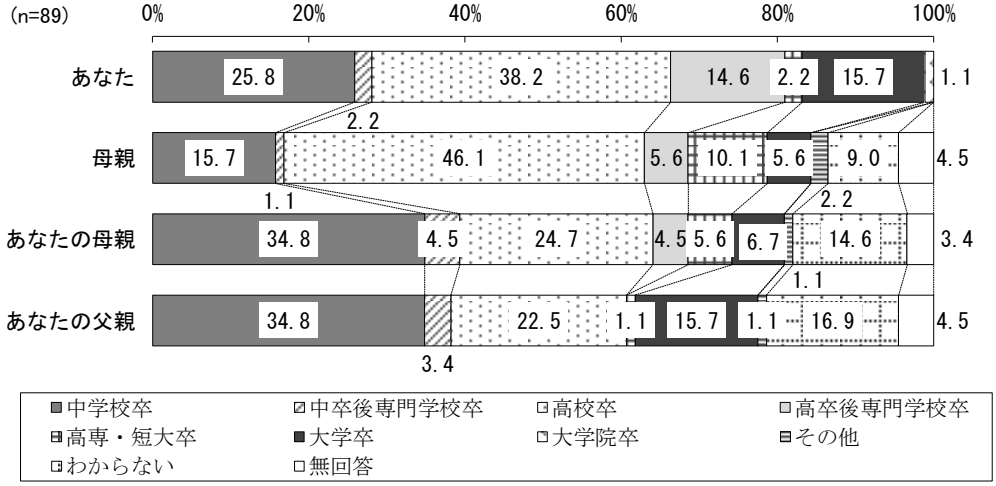
問14　あなたが成人するまでのあいだに、ひとり親家庭だった時期はありますか。（一つに○）



自分が成人するまでのあいだにひとり親家庭だった時期の有無は、「ない」（70.8%）が約７割となっている。

（３）最終学歴

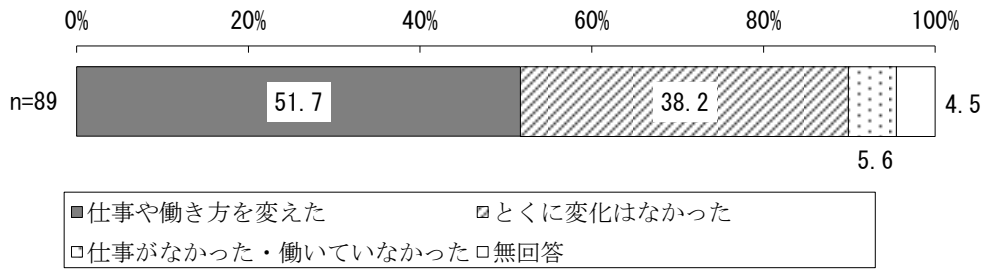
問15　あなたの最終学歴は次のどれにあたりますか。お子さんの母親（元妻など）と、あなたの両親についても教えてください。※結婚を２回以上経験なさっている場合、Bは直近の相手についてお答えください。（A・B・C・Dのそれぞれについて、一つに○）



最終学歴は、＜あなた＞、＜母親＞では「高校卒」が最も多く、＜あなたの母親＞、＜あなたの父親＞では「中学校卒」が３割半ばで最も多くなっている。

（４－１）仕事や働き方の変化の有無

問16　ひとり親家庭になったことで、仕事や働き方に変化はありましたか。（一つに○）

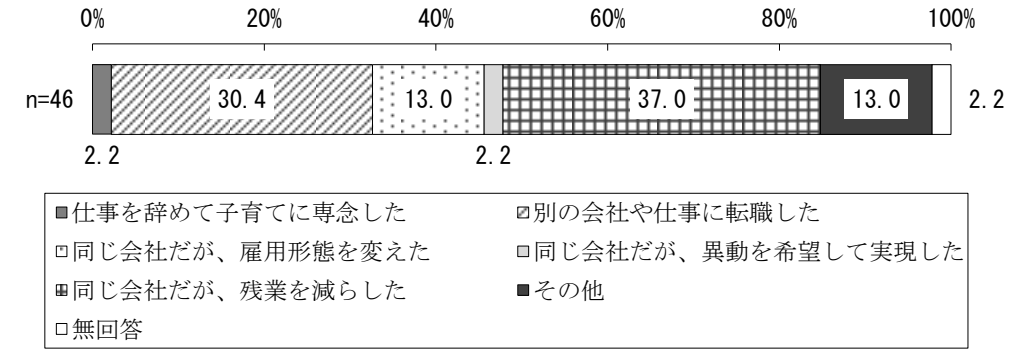


仕事や働き方の変化の有無は、「仕事や働き方を変えた」（51.7%）が約半数と最も多くなっている。

（４－２）変化の状況

【「1. 仕事や働き方を変えた」と答えた方にお聞きします。】

（１）どのように変化しましたか。（一つに○）

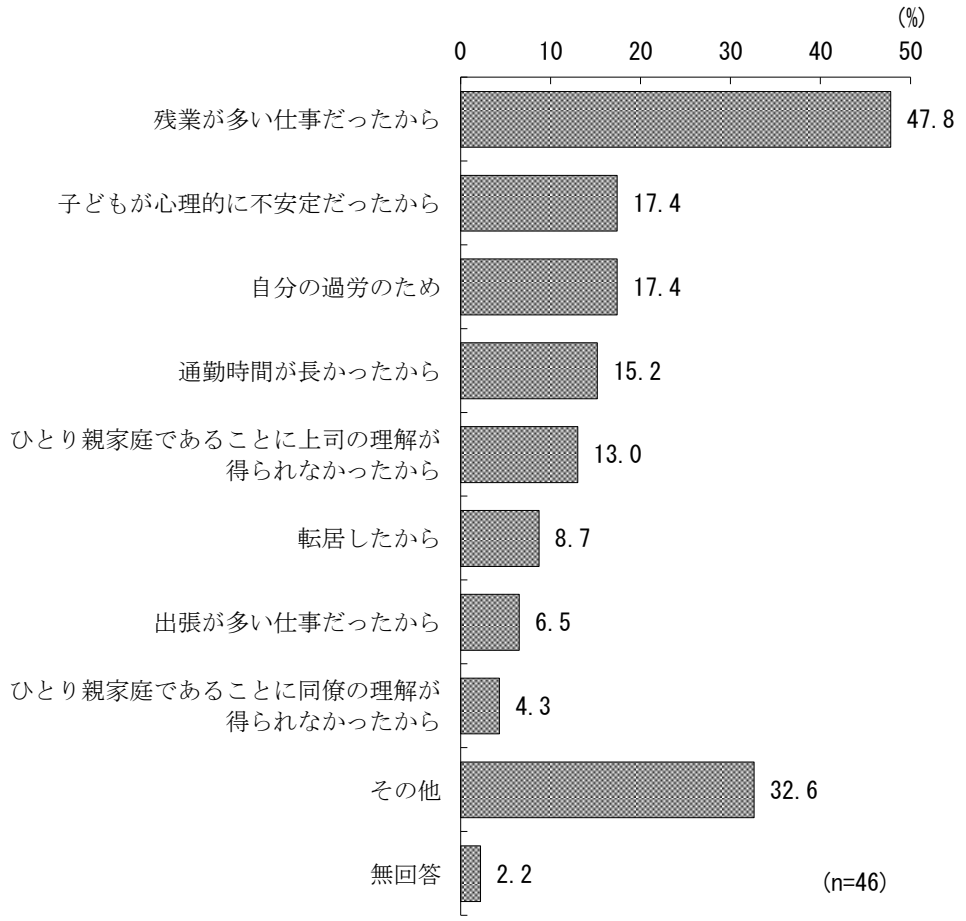


仕事や働き方を変えた方にどのように変化したかきいたところ、「同じ会社だが、残業を減らした」（37.0%）と「別の会社や仕事に転職した」（30.4%）が３割台となっている。「その他」には、「残業を増やした」、「出退勤の時間を変えた」、「休暇を取得した」などがあげられた。

（４－３）変化の状況

【「1. 仕事や働き方を変えた」と答えた方にお聞きします。】

（２）その理由は何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

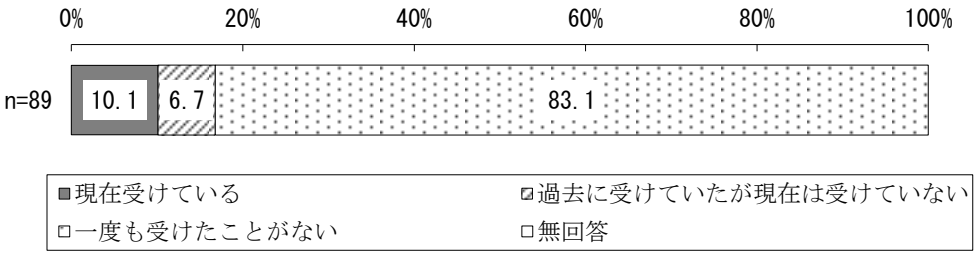


仕事や働き方を変えた方にその理由をきいたところ、「残業が多い仕事だったから」（47.8%）が４割台で最も多くなっている。「その他」には、「収入を安定させたかったから」、「子どもの世話のため」、「家事をするため」などがあげられた。

5. ひとり親家庭になってからの経験について

（１－１）生活保護を受けたことの有無

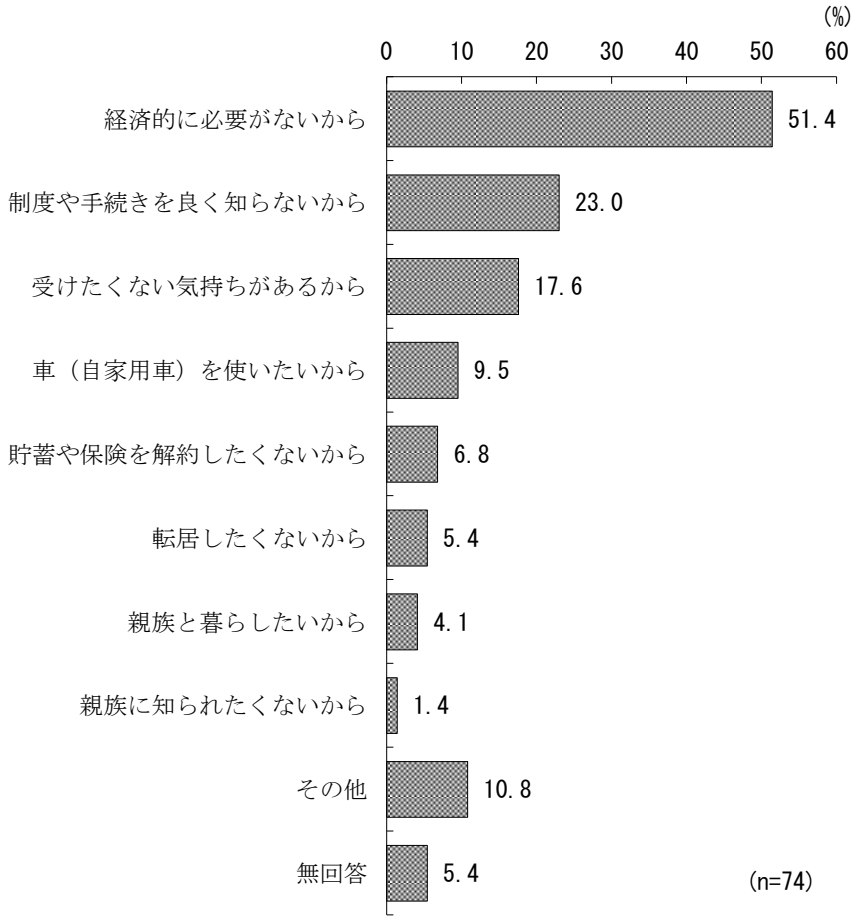
問17　ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことがありますか。（一つに○）



ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことの有無は、「一度も受けたことがない」（83.1%）が８割台で最も多くなっている。

（１－２）生活保護を受けたことがない理由

【「3.一度も受けたことがない」と答えた方にお聞きします。】
その理由は何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

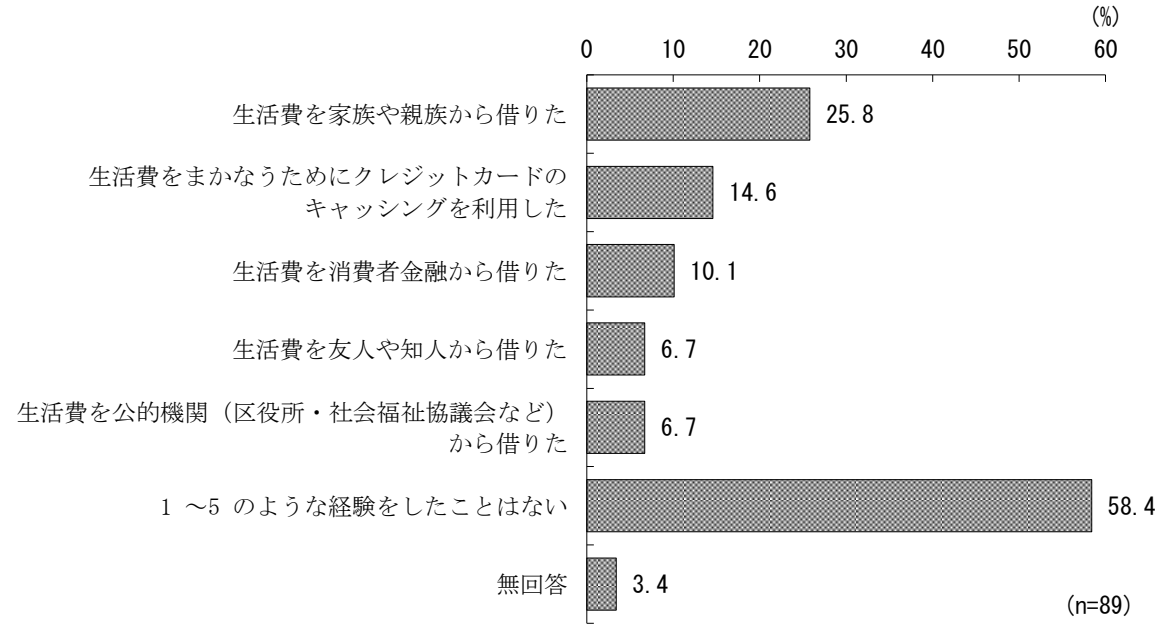


生活保護を一度も受けたことがない方にその理由をきいたところ、「経済的に必要がないから」が51.4%で最も多くなっている。「その他」には、「障害年金があるから」、「受けられなかったから」、「受けられるなら欲しい」などがあげられた。

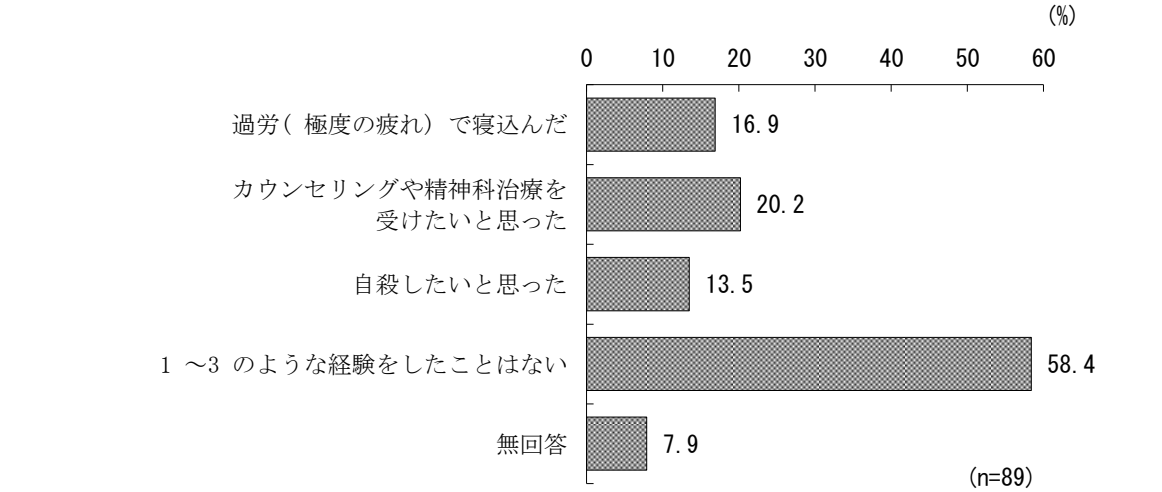
（２）ひとり親家庭になってから経験したこと

問18　ひとり親家庭になってから、あなたは次のような経験をしたことはありますか。

（１）生活費について（教育費も含めます）（あてはまるものすべてに○）



（２）心身の疲労について（あてはまるものすべてに○）

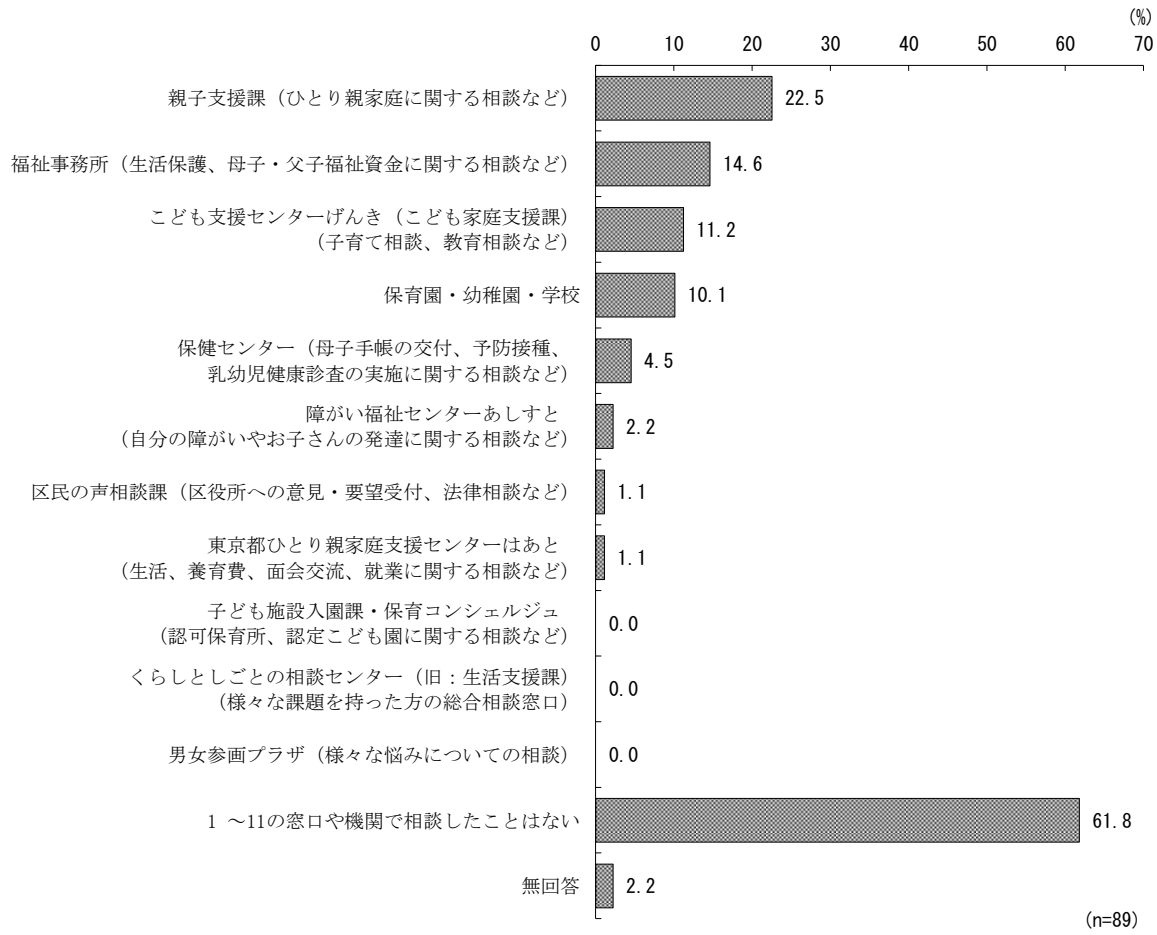


ひとり親家庭になってから、生活費について経験したことは、「生活費を家族や親族から借りた」（25.8%）が２割半ばで最も多くなっている。

ひとり親家庭になってから、心身の疲労について経験したことは、「カウンセリングや精神科治療を受けたいと思った」（20.2%）が約２割となっている。

（３）相談で利用したことのある公的機関

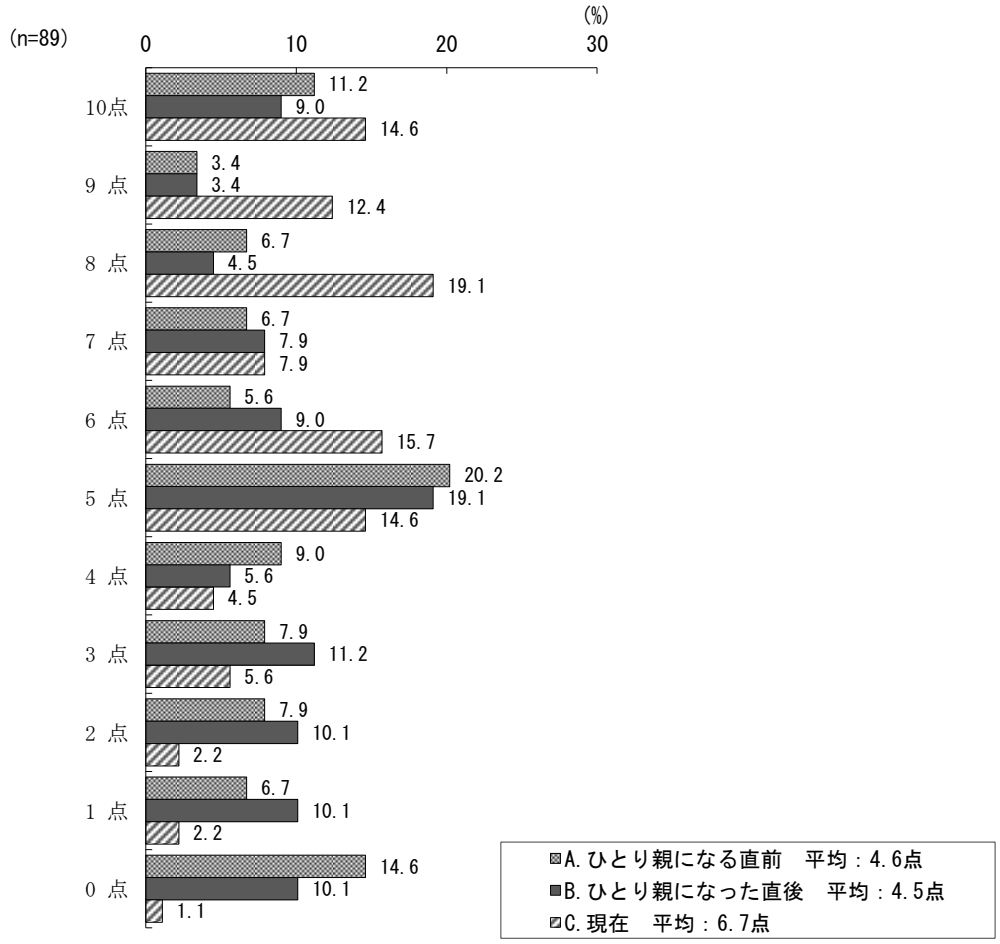
問19　ひとり親家庭になってから、子育てや生活の悩みについて、区役所など公的機関の窓口で相談したことはありますか。相談で利用したことがある場所すべてに○をつけてください。
（あてはまるものすべてに○）



区役所など公的機関の窓口で相談したことの有無は、「ある」（＊100%から「1～11の窓口や機関で相談したことはない」と「無回答」を除いた割合）が36.0%となっている。相談で利用したことのある公的機関は、「親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）」（22.5%）が２割台となっている。

（４）幸せの度合い

問20　あなたは、ご自身が幸せだと思いますか。ひとり親になる直前、直後、現在という時間の流れのなかで、その気持ちに変化はありましたか。それぞれの時期について、「たいへん幸せ」を10点として、あてはまると思う点数を選んでください。（それぞれ一つに○）

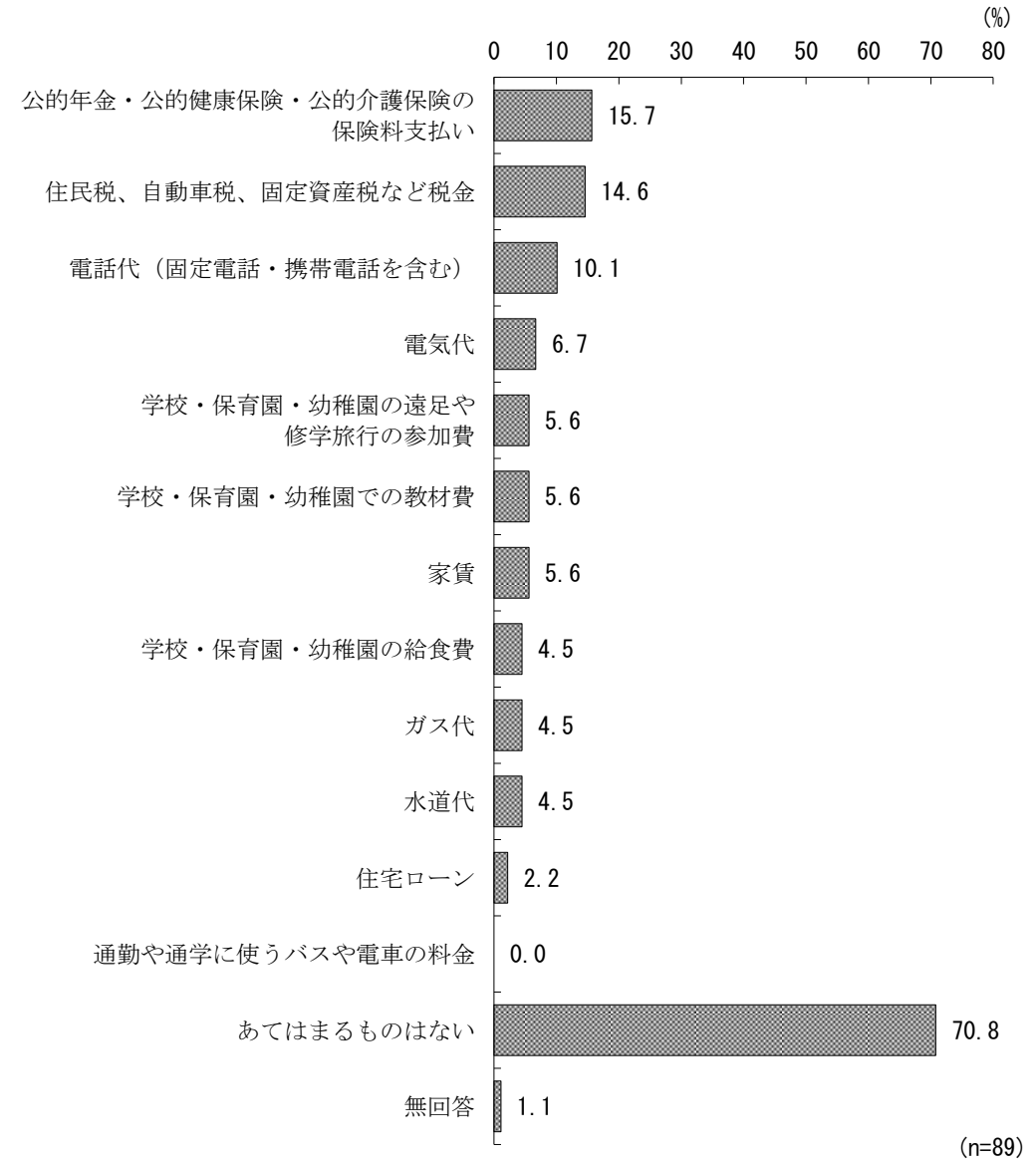


幸せの度合いは、＜A. ひとり親になる直前＞では「５点」が約２割で最も多く、平均点は4.6点となっている。＜B. ひとり親になった直後＞でも「５点」が約２割で最も多く、平均点は4.5点となっている。＜C. 現在＞では「８点」が約２割で最も多く、平均点は6.7点となっている。

6. 過去１年間の経験について

（１）経済的な理由のために支払いができなかったこと

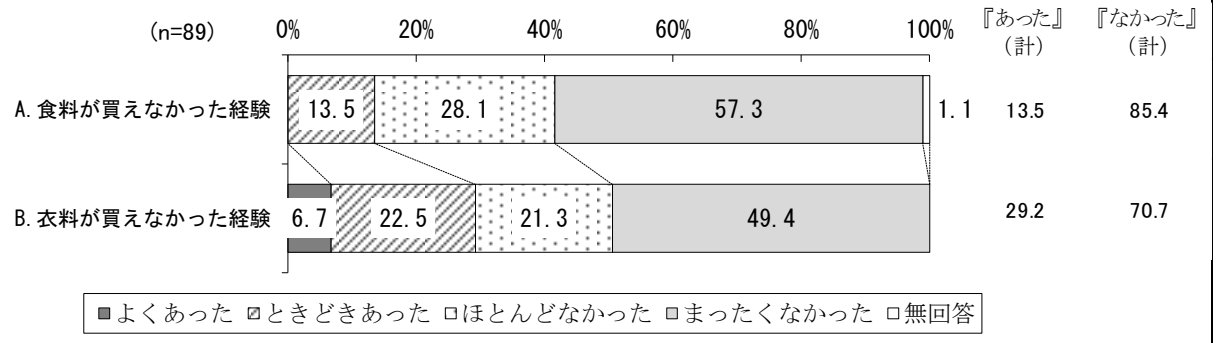
問21　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由のために、支払いができなかったことはありますか。（あてはまるものすべてに○）



経済的な理由のために、支払いができなかったことは、「あてはまるものはない」が70.8%となっており、支払いができなかったことがある方は28.1%となっている（※100%から「あてはまるものはない」と「無回答」を除いた数値）。支払いができなかった内容では、「公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料支払い」（15.7%）、「住民税、自動車税、固定資産税など税金」（14.6%）、「電話代（固定電話・携帯電話を含む）」（10.1%）が１割台となっている。

（２）食料や衣料が買えなかった経験の有無

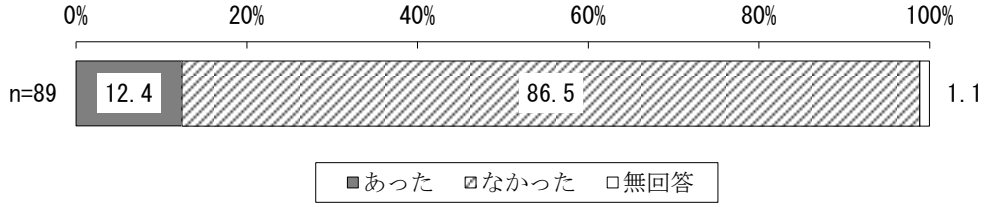
問22　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料が買えなかった経験の有無をきいたところ、食料・衣料ともに「ほとんどなかった」と「まったくなかった」を合わせた『なかった』（計）が７割以上となっている。『あった』（計）は<B.衣料が買えなかった経験>で約３割となっており、<A.食料が買えなかった経験>（13.5%）を15.7ポイント上回っている。

（３－１）医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無

問23　あなたのご家庭では、過去１年間に、医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった（できなかった）ことがありましたか。（一つに○）

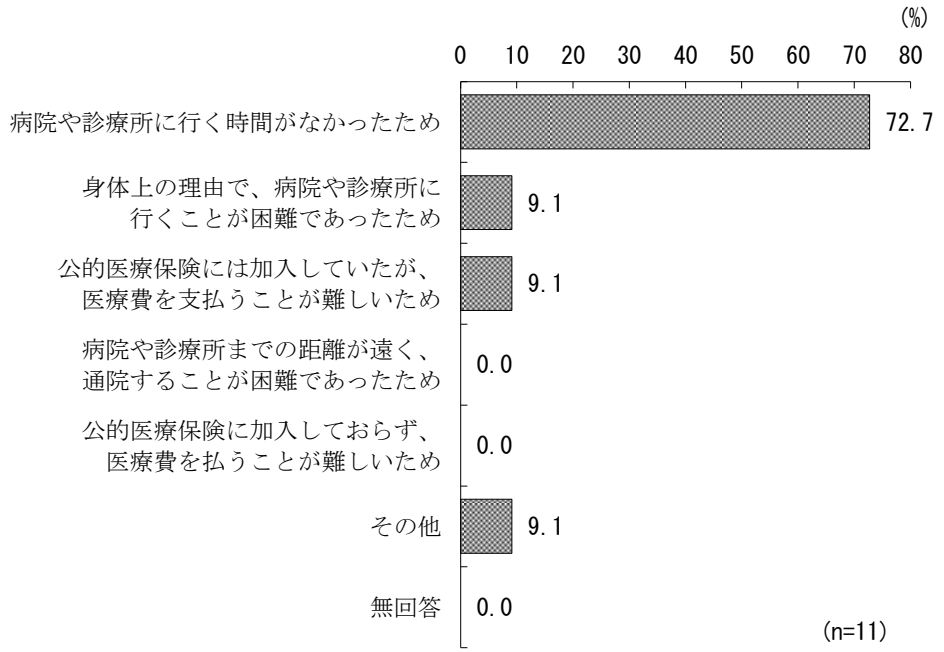


医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無は、「なかった」（86.5%）が「あった」（12.4%）を大きく上回っている。

（３－２）医療機関を受診させなかった（できなかった）理由

【「1. あった」と答えた方にお聞きします。】

その理由は何でしたか。もっとも近いと思う理由ひとつに○をつけてください。（一つに○）

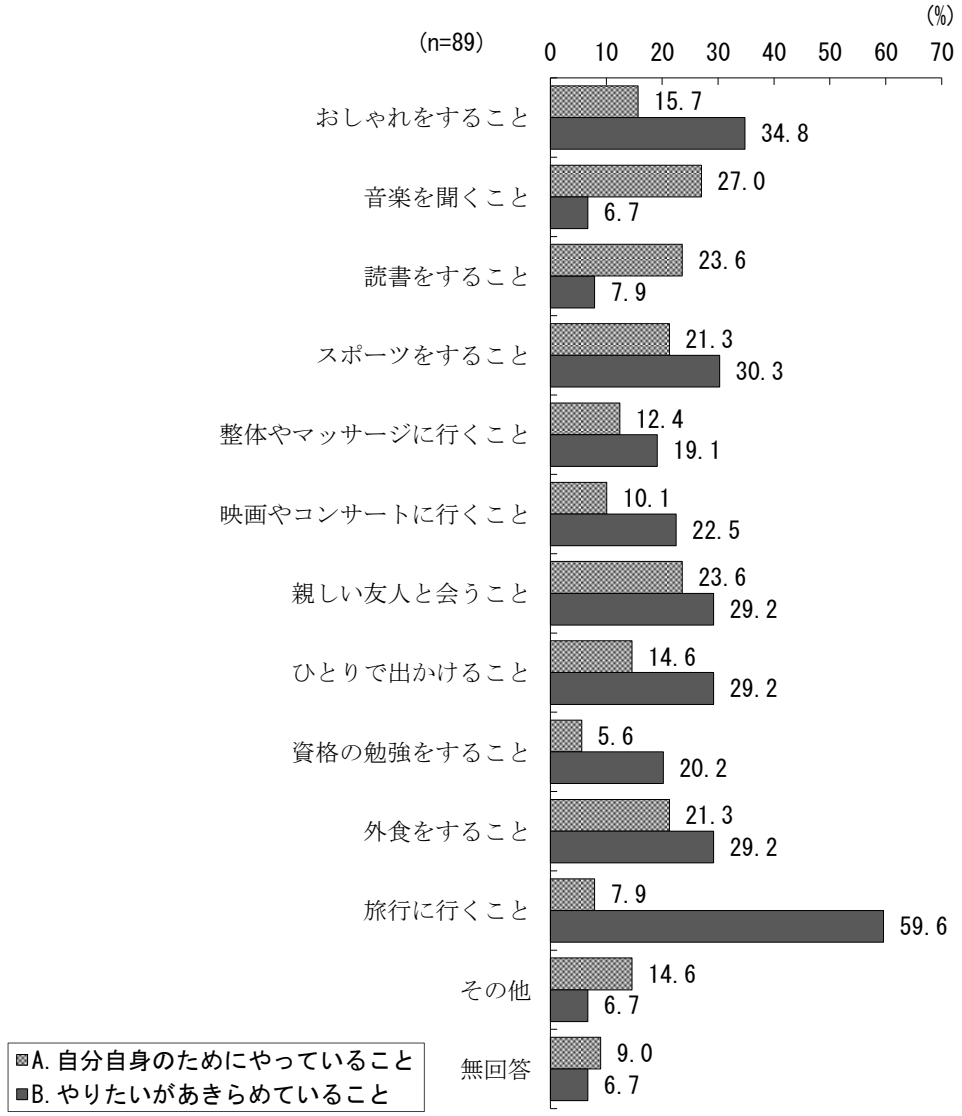


医療機関を受診させなかった（できなかった）ことがある方にその理由をきいたところ、「病院や診療所に行く時間がなかったため」が７割台で最も多くなっている。

7. 普段の生活や気持ちについて

（1）自分のためにやっていることと、やりたいがあきらめていること

問24　あなたが自分自身のためにやっていることと、やりたいがあきらめていることを教えてください。（それぞれ、あてはまるものすべてに○）

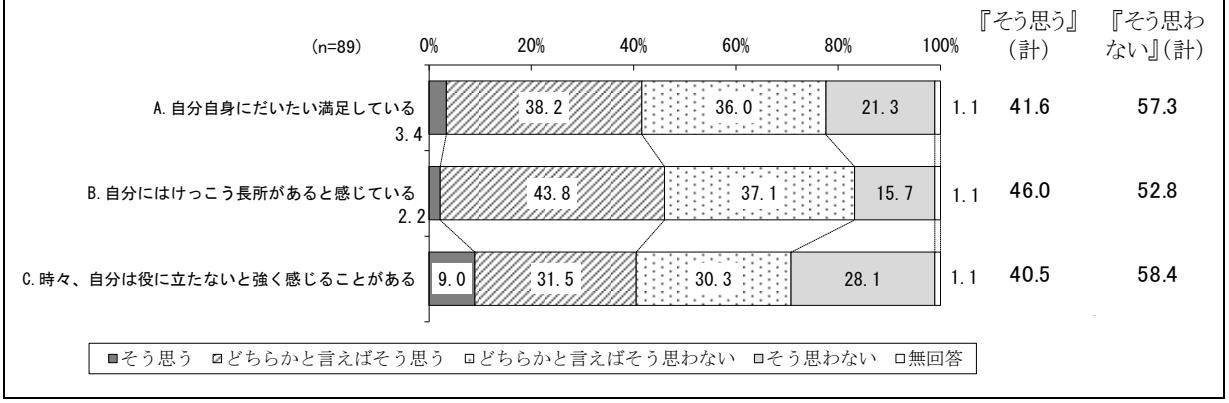


自分のためにやっていることは、「音楽を聞くこと」が27.0%で最も多く、次いで、「読書をすること」（23.6%）、「親しい友人と会うこと」（23.6%）などとなっている。「その他」には、「カラオケで歌うこと」、「つりをすること」、「ＤＶＤを観ること」、「タバコをやめたこと」などがあげられた。

やりたいがあきらめていることは、「旅行に行くこと」（59.6%）が約６割で最も多く、次いで、「おしゃれをすること」（34.8%）、「スポーツをすること」（30.3%）などとなっている。

（２）自分について思うこと

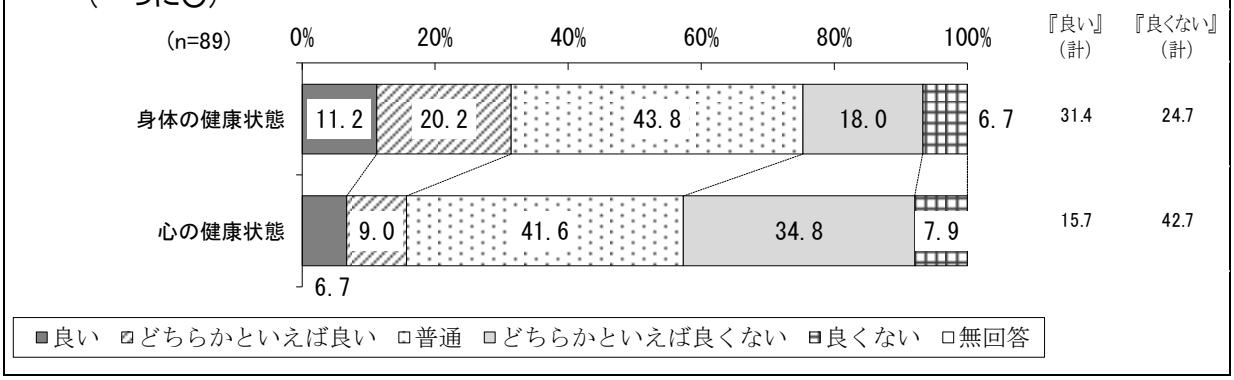
問25　次のことがらはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。A～Cのそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



自分について思うことをきいたところ、<A.自分自身にだいたい満足している>では「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』（計）（57.3%）が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』（計）（41.6%）を上回っている。<B.自分にはけっこう長所があると感じている>では『そう思わない』（計）（52.8%）が『そう思う』（計）（46.0%）を上回っている。<C.時々、自分は役に立たないと強く感じることがある>においても『そう思わない』（計）（58.4%）が『そう思う』（計）（40.5%）を上回っている。

（３）健康状態

問26　ふだんの健康状態についてうかがいます。
（１）あなたはご自分の「身体」、および「心」の健康状態についてどのように感じていますか。
（一つに○）

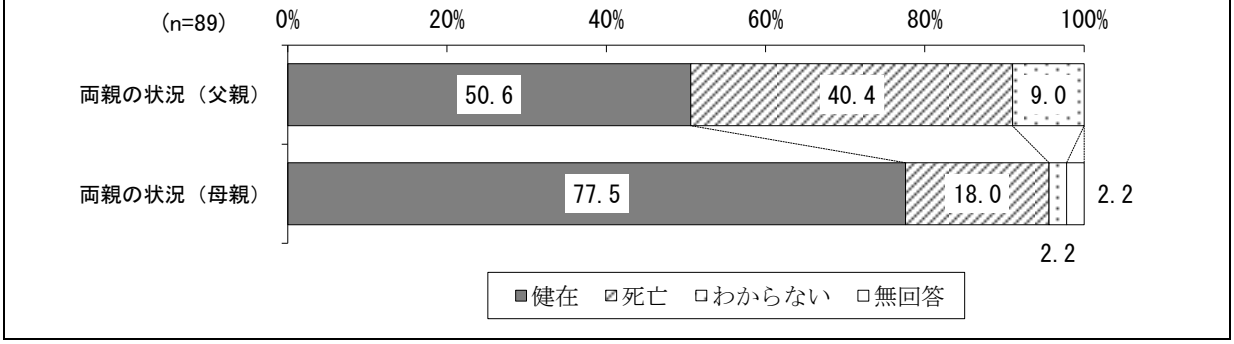


健康状態は、身体・心ともに「普通」が最も多くなっている。「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い』(計) は＜身体の健康状態＞が３割台、＜心の健康状態＞で１割半ばとなっている。

8. 両親とのかかわりについて

（１）両親の状況

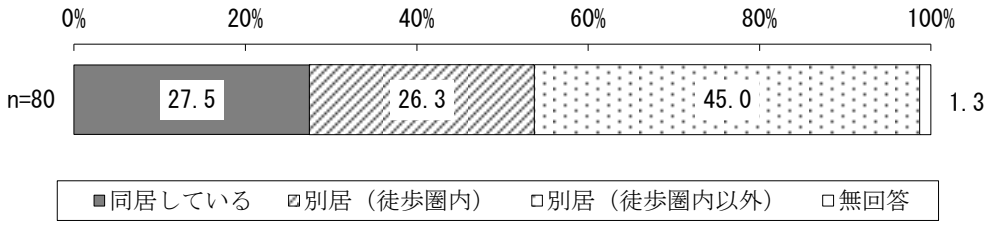
問27　あなたご自身のご両親はご健在ですか。（それぞれ一つに○）



自分の両親の状況は、父親・母親ともに「健在」が最も多く、母親においては77.5%となっている。

（２－１）子どもの祖父母との同居状況

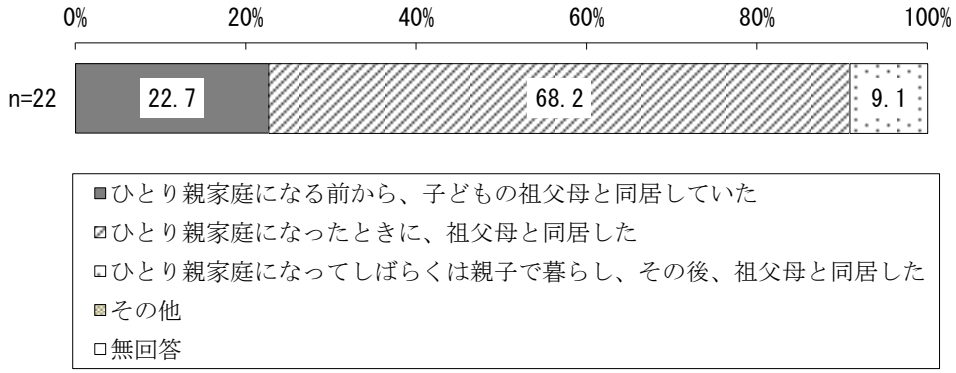
問28　お子さんの祖父母（あなたや元妻の親）についてお聞きします。（別居・同居は問いません。）
（１）現在、お子さんの祖父母と同居していますか。あるいは別居ですか。（一つに○）



子どもの祖父母との同居状況は、「別居（徒歩圏内以外）」（45.0%）が４割半ばで最も多くなっている。

（２－２）子どもの祖父母との同居時期

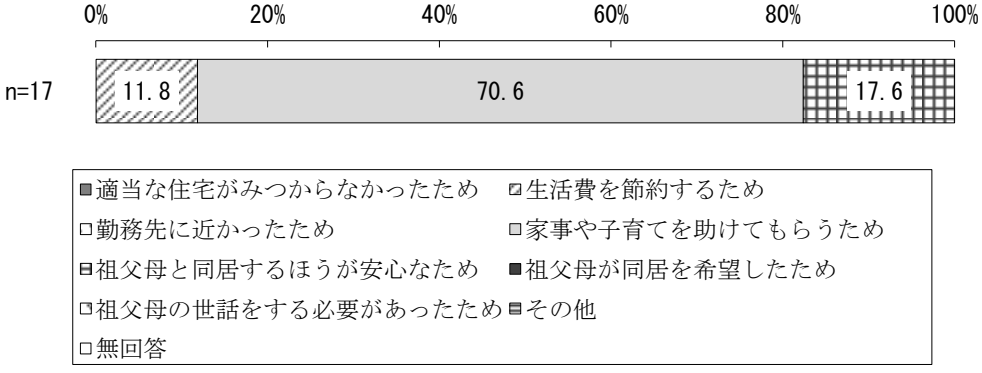
（２）お子さんの祖父母と同居している方にお聞きします。
あなたが、お子さんの祖父母と同居するようになったのはいつ頃からですか。（一つに○）



子どもの祖父母と同居している方に同居するようになった時期をきいたところ、「ひとり親家庭になったときに、祖父母と同居した」が68.2%で最も多くなっている。

（２－３）子どもの祖父母との同居時期

【2.3.に○をしたひとり親家庭になってから、お子さんの祖父母と同居した方にお聞きします】
あなたが、お子さんの祖父母と同居するようになった一番大きな理由は何ですか。（一つに○）

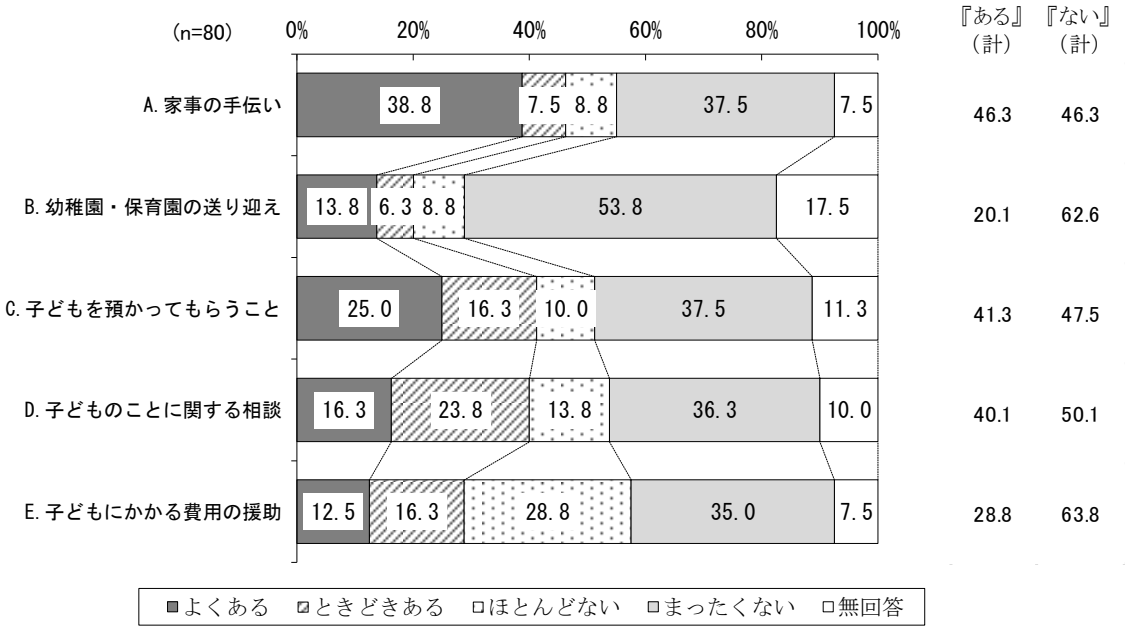


ひとり親になってから子どもの祖父母と同居した方に同居するようになった理由をきいたところ、「家事や子育てを助けてもらうため」（70.6%）が約７割で最も多くなっている。

（３）子どもの祖父母に協力してもらうこと

問29　お子さんの祖父母（あなたや元夫の親）についてお聞きします。（別居・同居は問いません。）
あなたのご家庭では、次のことについて、お子さんの祖父母に協力してもらうことはどれくらいありますか。A～Eについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。

（それぞれ一つに○）



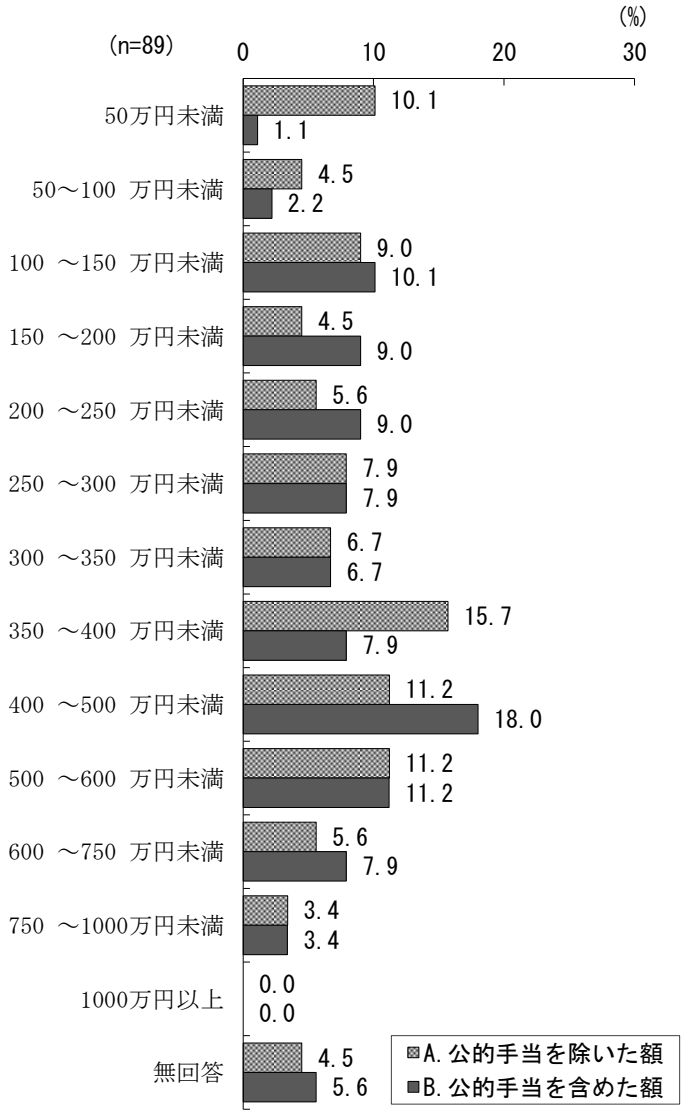
子どもの祖父母に協力してもらうことをきいたところ、＜A.家事の手伝い＞を除くすべての項目において「まったくない」が最も多く、＜B.幼稚園・保育園の送り迎え＞では５割を超えている。「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』（計）は＜A.家事の手伝い＞（46.3%）、＜C.子どもを預かってもらうこと＞(41.3%)、＜D.子どものことに関する相談＞(40.1%)で４割台となっている。

9. 現在の暮らしについて

（１）家族全員の年収

問30　前年（2015年）のあなたの家族（*1）全員の年収（*2）の合計額は、税込み（*3）でおよそいくらでしたか。公的な手当（*4）を「A. 除いた額」と「B. 含めた額」のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

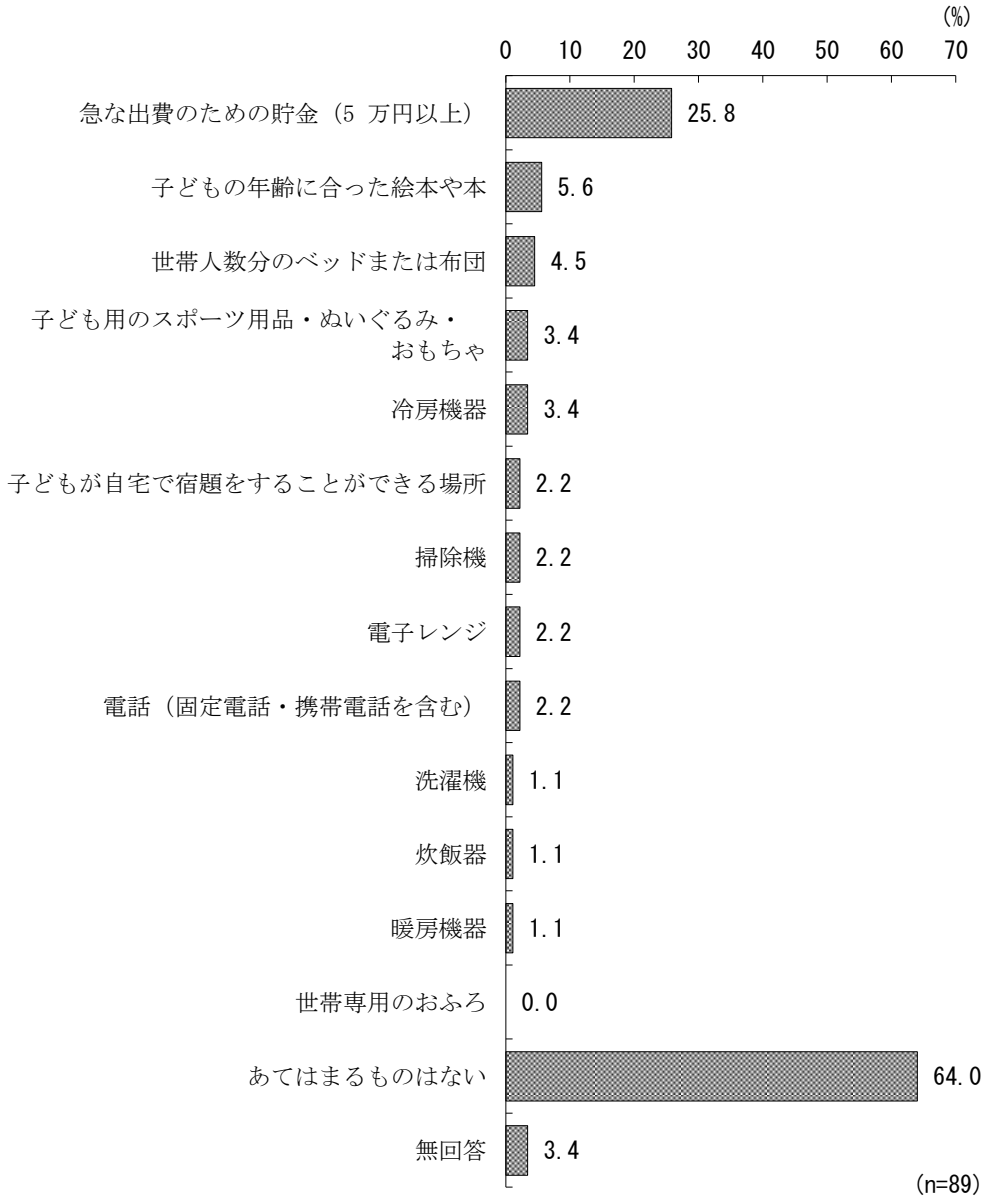
*1 家族:問3でお聞きした【あなたと一緒に暮らしており、生計を共にしている方】のことです。
*2 年収:働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。
*3 税込み:所得税や社会保険料が引かれる前の金額です。
*4 公的な手当:児童手当、就学援助、児童扶養手当、児童育成手当、障がいや難病の手当、生活保護、公的年金などを指します。



家族全員の年収の合計額は、＜A.公的手当を除いた額＞では「350 ～400 万円未満」（15.7%）、＜B.公的手当を含めた額＞では「400 ～500 万円未満」（18.0%）が最も多くなっている。

（２）経済的理由のためにないもの

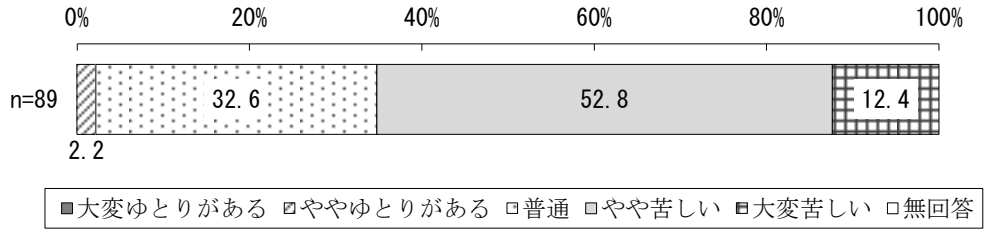
問31　あなたのご家庭では、次のもののうち、経済的理由のために、ないものはありますか。
（あてはまるものすべてに○）



経済的理由のためにないものは、「あてはまるものはない」が64.0%、「経済的理由のためにないものがある」（※100%から「あてはまるものはない」と「無回答」を除いた数値）が32.6%となっている。経済的理由のためにないものの中では、「急な出費のための貯金（5 万円以上）」が25.8%で最も多くなっている。

（３）現在の暮らしの状況

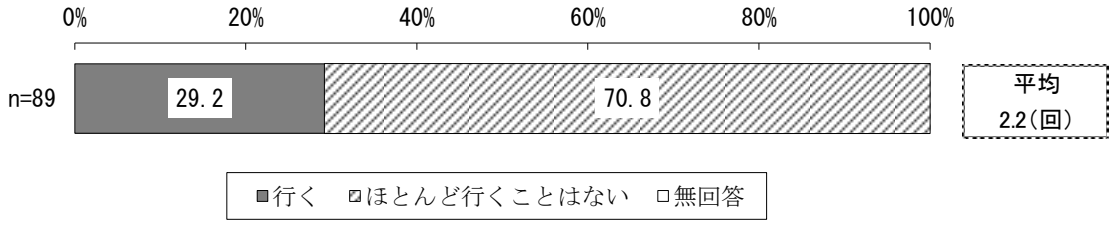
問32　あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。（一つに○）



現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」が52.8％で最も多く、次いで、「普通」が32.6％、「大変苦しい」が12.4％となっている。

（４）家族旅行の状況

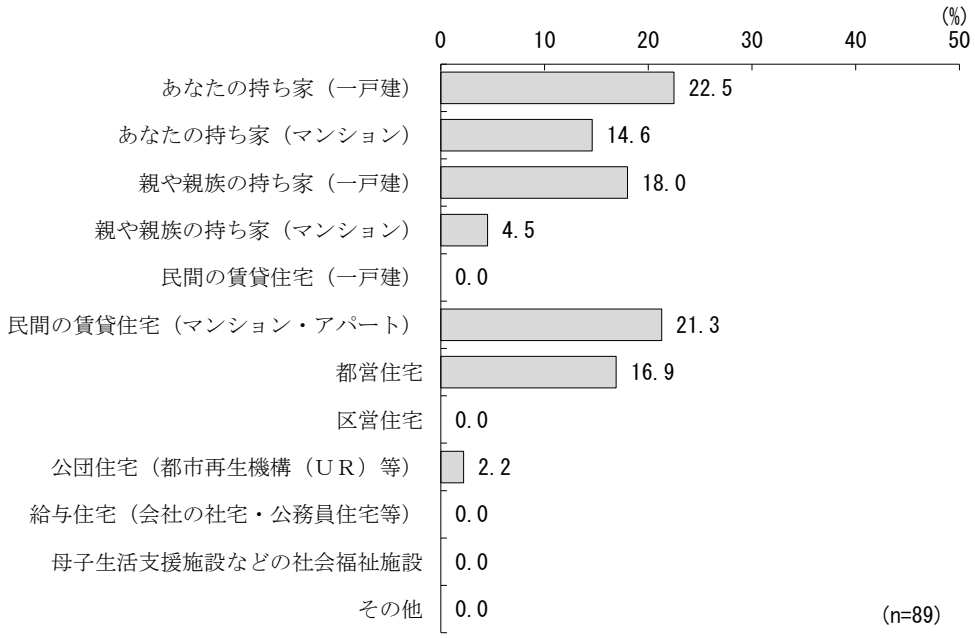
問33　あなたのご家庭では、家族で泊りがけの旅行に行くことはありますか。あなたの実家への帰省旅行も含みます。



家族で泊りがけの旅行に行くことは、「行く」が約３割となっている。１年間に旅行に行く回数は平均2.2回となっている。

（５）住居の形態

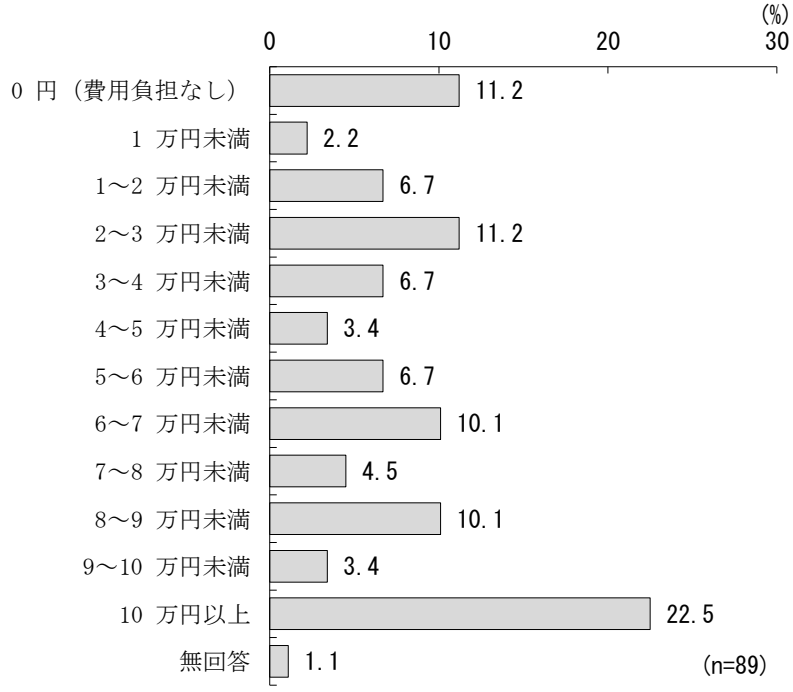
問34　現在の住居の形態はどれにあたりますか。（一つに○）



現在の住居の形態は、「あなたの持ち家（一戸建）」が22.5%で最も多く、次いで、「民間の賃貸住宅（マンション・アパート）」（21.3%）、「親や親族の持ち家（一戸建）」（18.0%）などとなっている。

（６）住居費として負担している金額

問35　あなたが住居費として負担している金額は、１か月あたりおいくらですか。家賃・住宅ローン・共益費・管理費などの合計の金額を教えてください。（一つに○）



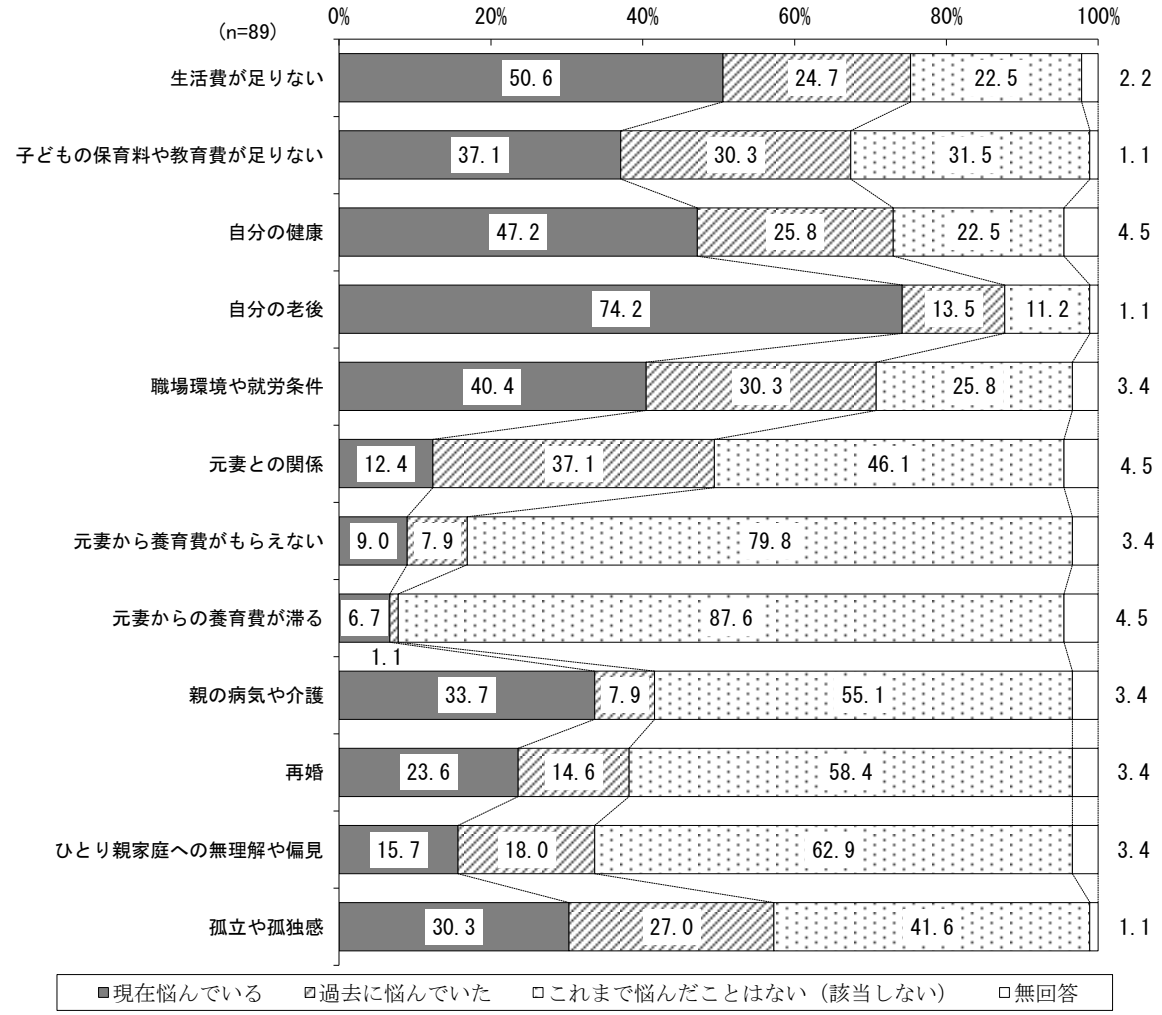
１か月に住居費として負担している金額は、「10万円以上」（22.5%）が２割台で最も多く、「0 円（費用負担なし）」（11.2%）、「2～3万円未満」（11.2%）、「6～7万円未満」（10.1%）、「8～9万円未満」（10.1%）が１割台となっている。

10．悩みや相談について

（1）悩んでいることや心配なこと

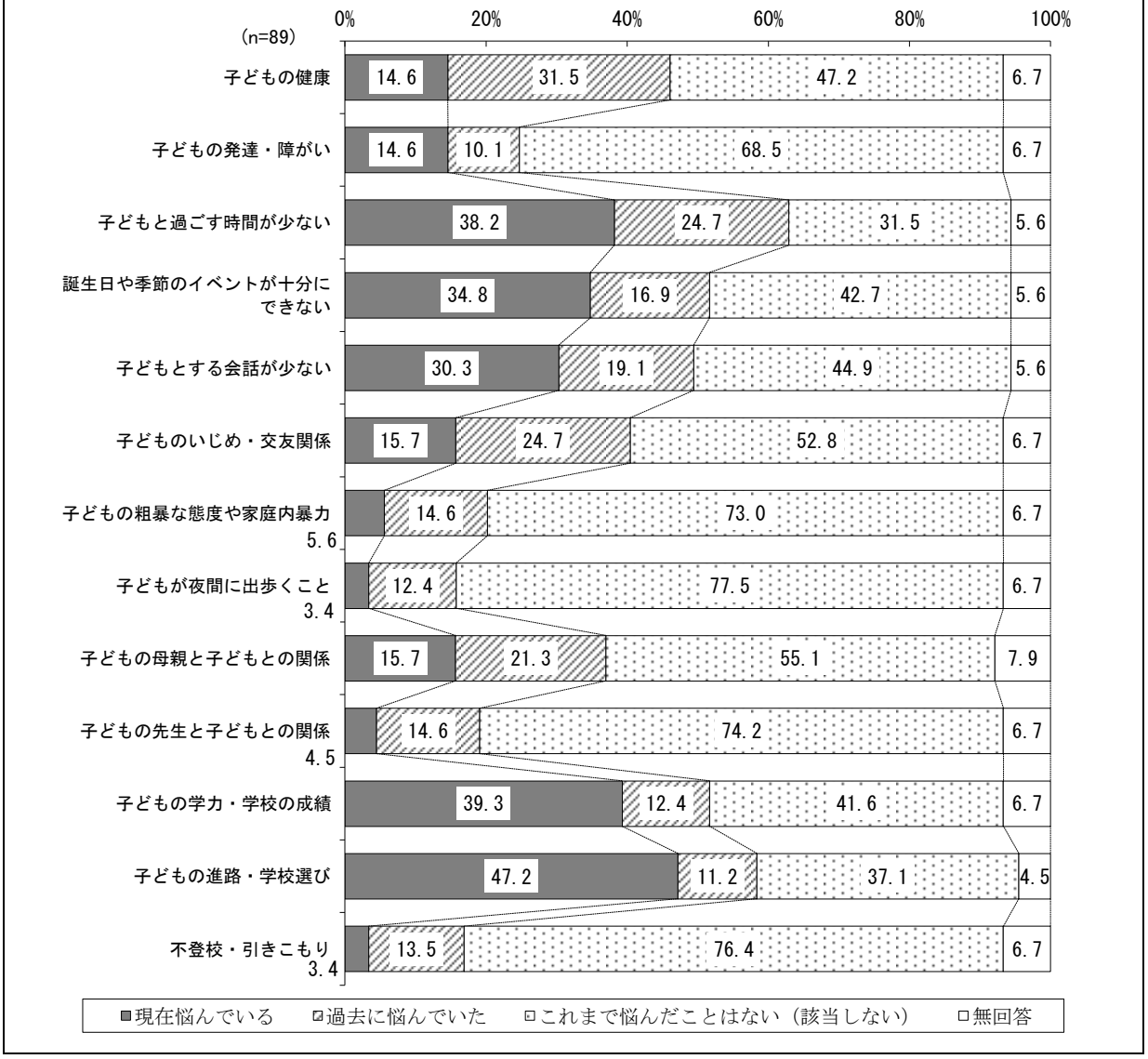
問36　次のことがらについて、悩んでいることや心配なことがありますか。それぞれのことがらについてあてはまる番号1～3に○をつけてください。

（1）ご家庭やあなたご自身のこと



家庭や自分のことで悩んでいることや心配なことをきいたところ、「現在悩んでいる」は＜自分の老後＞（74.2%）が最も多く、次いで、＜生活費が足りない＞（50.6%）、＜自分の健康＞（47.2%）、＜職場環境や就労条件＞（40.4%）、＜子どもの保育料や教育費が足りない＞（37.1%）などとなっている。「過去に悩んでいた」は＜元妻との関係＞（37.1%）が最も多くなっている。「これまで悩んだことはない（該当しない）」は＜元妻からの養育費が滞る＞（87.6%）が最も多くなっている。

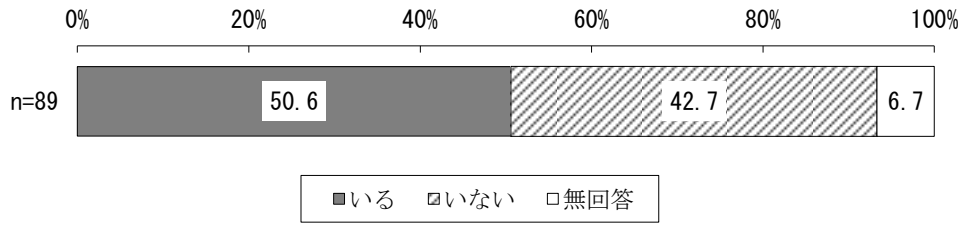
（２）子育てやお子さんのこと



子育てや子どものことで悩んでいることや心配なことをきいたところ、「現在悩んでいる」は＜子どもの進路･学校選び＞（47.2%）が４割台で最も多く、次いで、＜子どもの学力･学校の成績＞（39.3%）、＜子どもと過ごす時間が少ない＞（38.2%）などが３割台となっている。「過去に悩んでいた」は＜子どもの健康＞（31.5%）が３割台で最も多く、次いで、＜子どもと過ごす時間が少ない＞（24.7%）、＜子どものいじめ・交友関係＞（24.7%）が２割半ばとなっている。「これまで悩んだことはない（該当しない）」は＜子どもが夜間に出歩くこと＞（77.5%）、＜不登校・引きこもり＞（76.4%）が75%以上と多くなっている。

（２）相談できる人の有無

問37　あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。（一つに○）

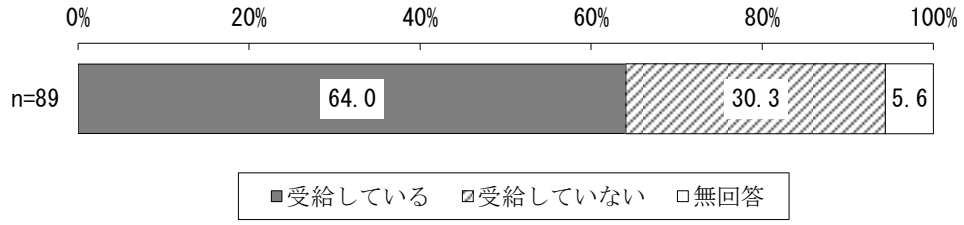


本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人の有無は、２人に１人が「いる」と回答している。

11．足立区で利用できるサービスや支援制度ついて

（１－１）児童扶養手当受給の有無

問38　あなたは児童扶養手当を受給していますか。（一つに○）

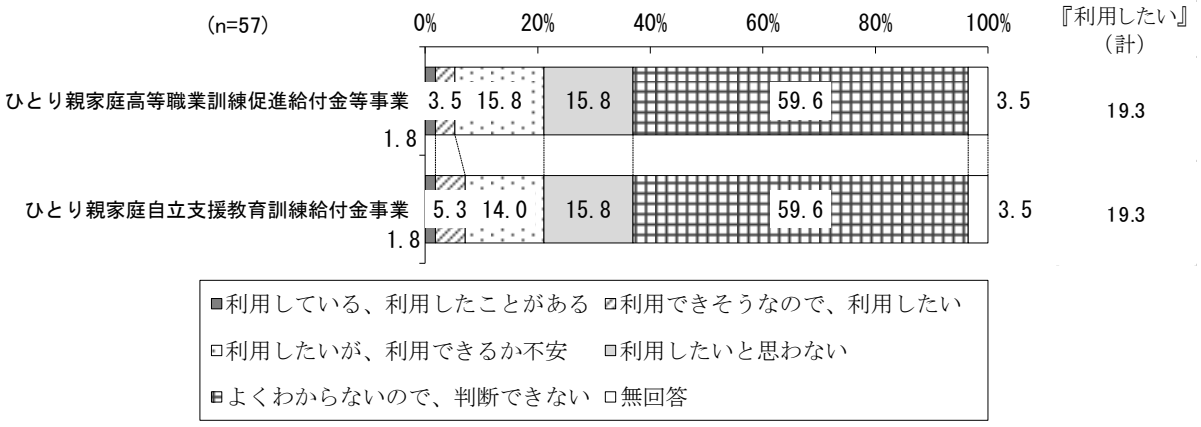


児童扶養手当受給の有無は、「受給している」が６割半ばとなっている。

（１－２）職業資格取得に関する給付金等事業の利用状況

【「1. 受給している」と答えた方にお聞きします。】

この２つの事業について、あなたはこれまでに利用したことがありますか。また、利用したいと思いますか。（それぞれ一つに○）



児童扶養手当を受給している方に職業資格取得に関する給付金等事業の利用状況をきいたところ、＜ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業＞、＜ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業＞ともに「よくわからないので、判断できない」が約６割となっており、「利用できそうなので、利用したい」と「利用したいが、利用できるか不安」を合わせた『利用したい』（計）は約２割となっている。

（１－３）職業資格取得に関する給付金等事業を利用できるか不安な理由

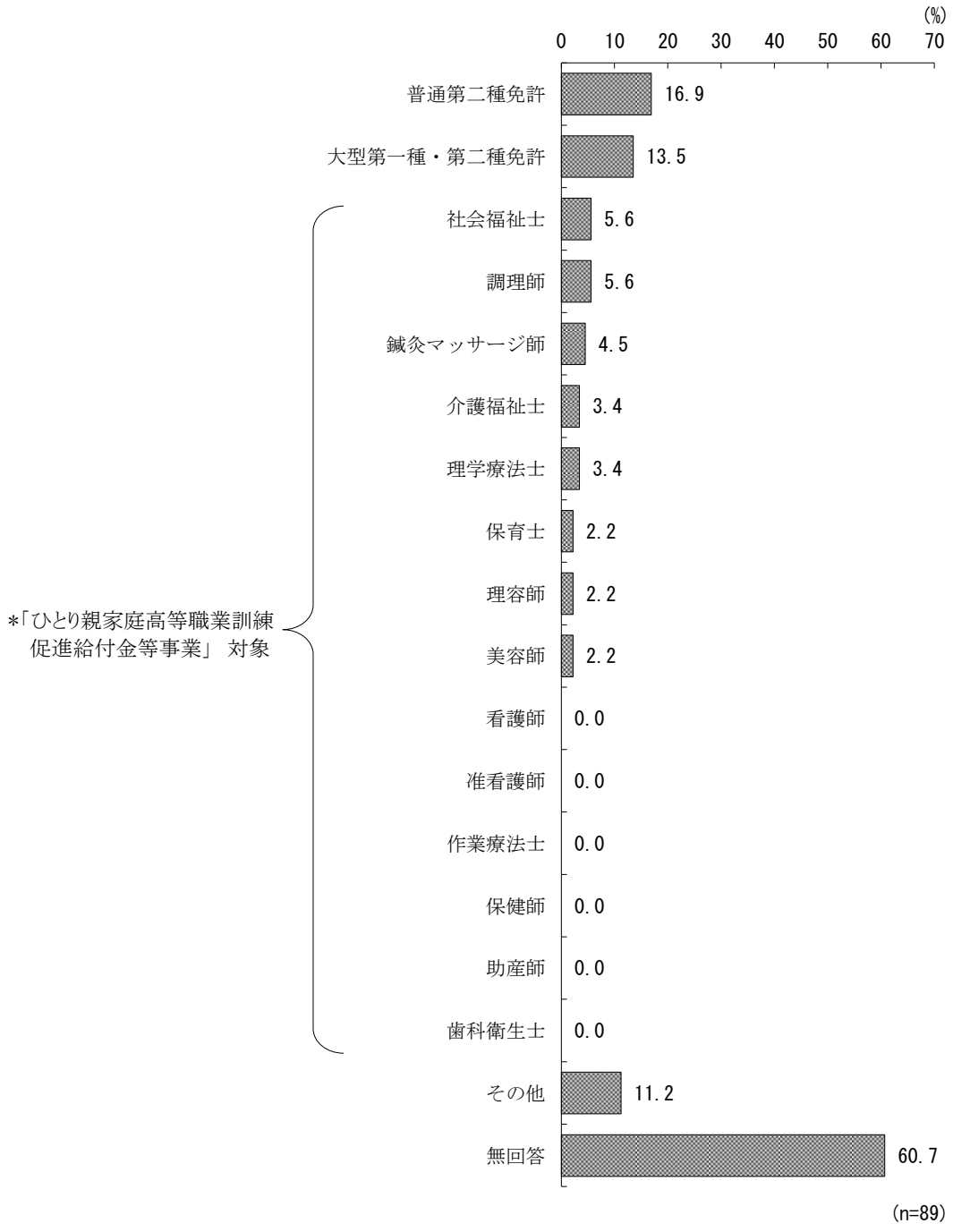
【「3.制度を利用したいが、利用できるか不安」と答えた方にお聞きします。】
不安な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

調査数	学費や教材費が出せない	学校に通う間の生活費が足りない	学校に通う間の子どもの預け先がない	自宅で勉強する時間がない	学校に通って勉強する時間がない	入学試験や国家試験に受かる自信がない	仕事をやめることに不安がある	仕事の時間を減らすことに不安がある	その他	無回答
9	1	1	－	－	3	－	4	1	4	－
100	11.1	11.1	－	－	33.3	－	44.4	11.1	44.4	－

＊回答数が少ないため、参考のために掲載。

（２）これから習得したい職業資格

問39　次のうち、あなたがこれから習得したい職業資格はありますか。※1～14は、「ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業」の対象となる資格です。（あてはまるものすべてに○）

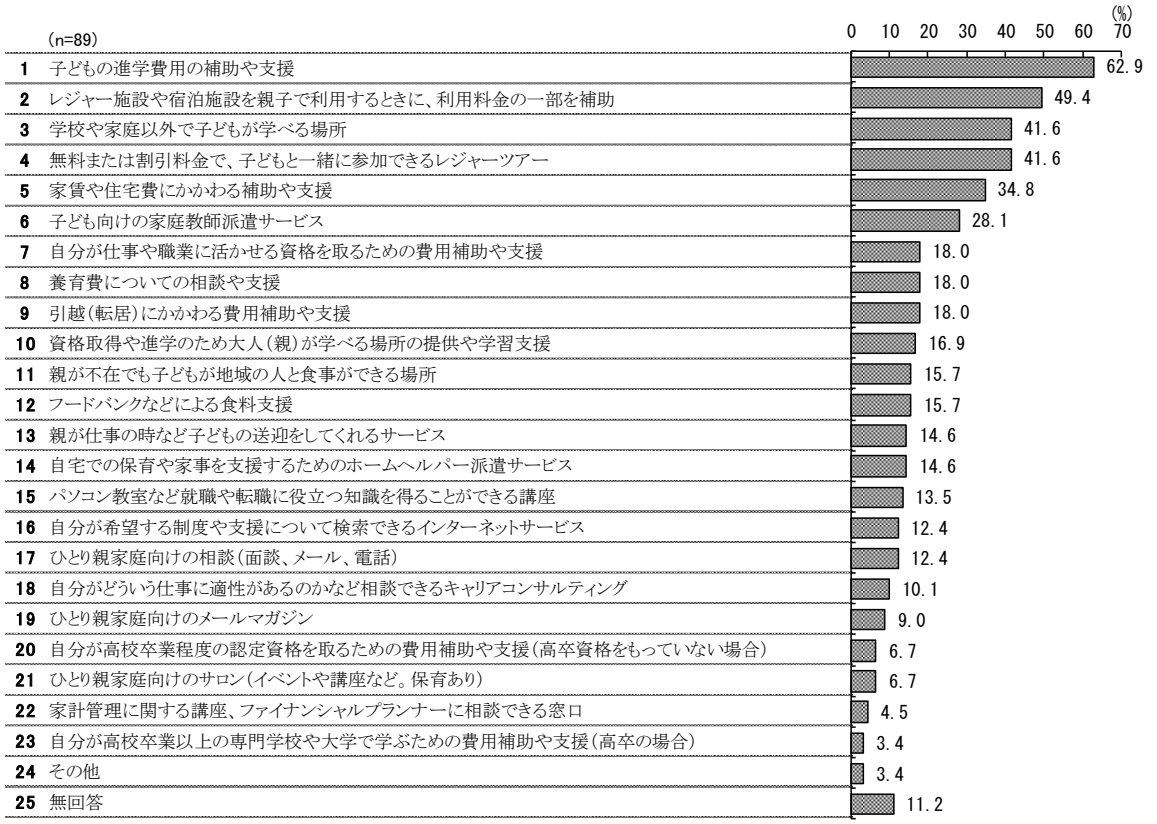


これから習得したい職業資格については、「習得したい」（※100%から「無回答」を除いた数値）が39.3%となっている。習得したい資格では、「普通第二種免許」（16.9%）、「大型第一種・第二種免許」（13.5%）、「社会福祉士」（5.6%）、「調理師」（5.6%）、「鍼灸マッサージ師」（4.5%）などがあげられている。「その他」には、「施工管理」、「なし」などがあげられた。

（３）利用したい支援やサービス

問40　あなたは、次のような支援やサービスを利用したいと思いますか。

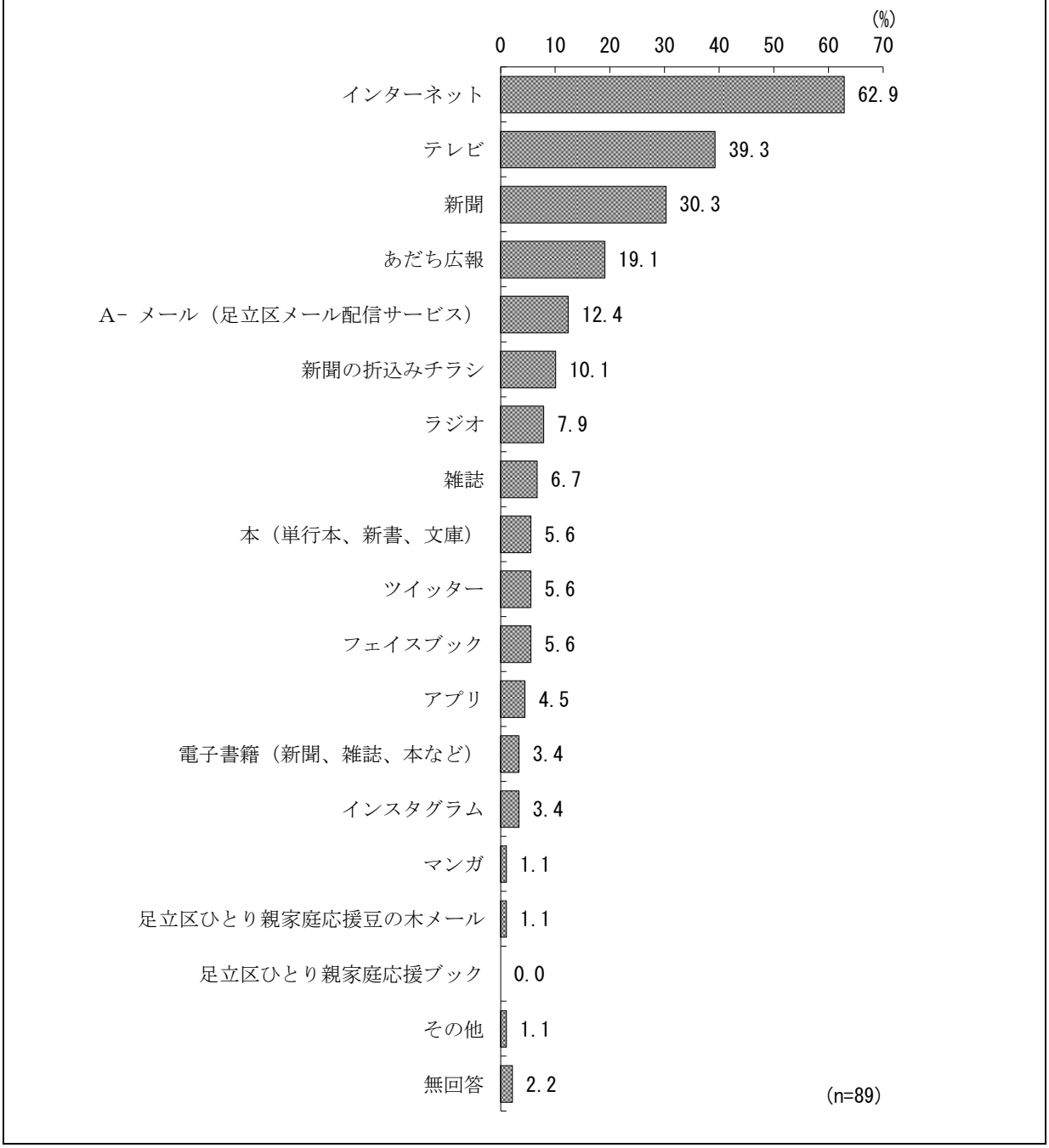
（あてはまるものすべてに○）



利用したい支援やサービスは、「子どもの進学費用の補助や支援」が62.9％で最も多く、次いで、「レジャー施設や宿泊施設を親子で利用するときに、利用料金の一部を補助」（49.4％）、「学校や家庭以外で子どもが学べる場所」（41.6％）、「無料または割引料金で、子どもと一緒に参加できるレジャーツアー」（41.6％）などとなっている。

（４）知りたい情報があるときに参考にしている媒体

問41　あなたは知りたい情報があるとき、どの媒体を参考にしますか。（主なもの３つに○）



知りたい情報があるときに参考にしている媒体は、「インターネット」が62.9%で最も多くなっている。次いで、「テレビ」（39.3%）、「新聞」（30.3%）などとなっている。

第４章　調査結果　《Ⅲ．外国人世帯》

Ⅲ．外国人世帯

１．調査対象者の概要

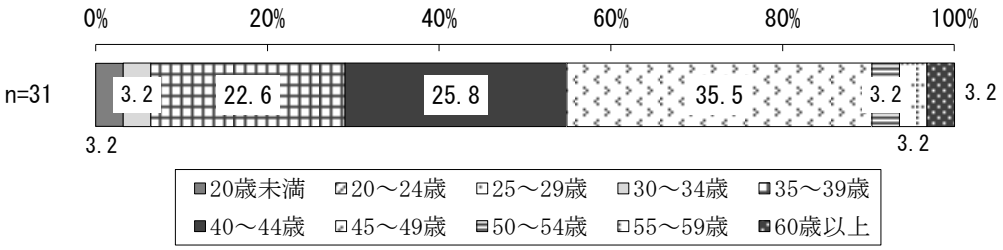
（１）国籍、年齢、性別

問１　あなたの国籍と、現在の年齢、性別を教えてください。

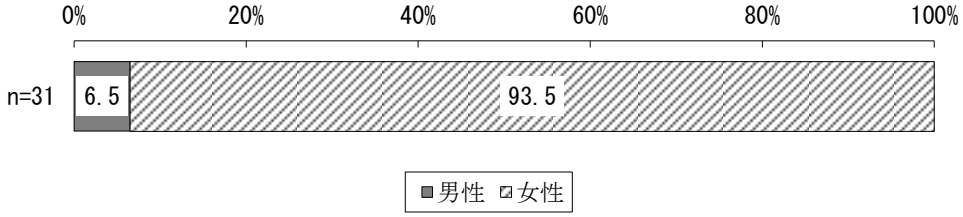
■国籍

調査数	フィリピン	中国	その他
31	24	4	3
100	77.4	12.9	9.7

■年齢



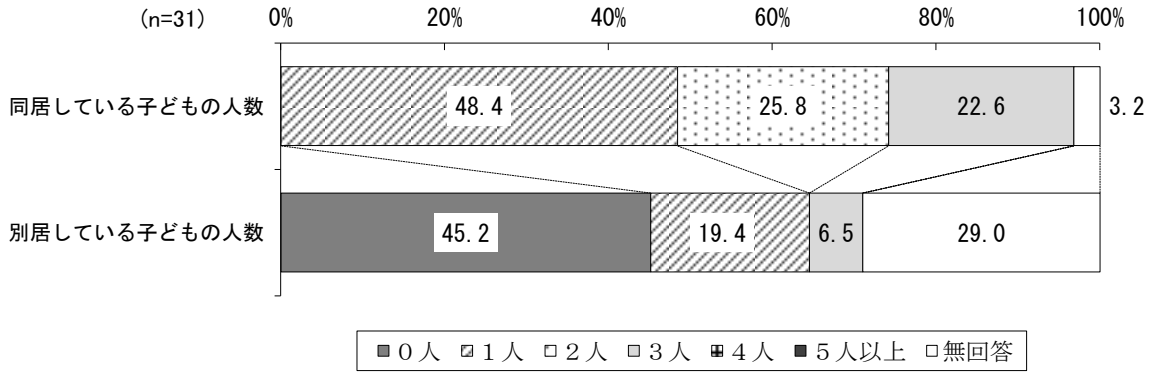
■性別



国籍は、フィリピンが77.4%で最も多くなっている。
年齢は、「45～49歳」が35.5%で最も多くなっている。
性別は、「女性」（93.5%）が約９割半ばとなっており、「男性」（6.5%）に比べて圧倒的に多い。

（２）子どもの人数

問２　あなたのお子さんは全部で何人ですか。

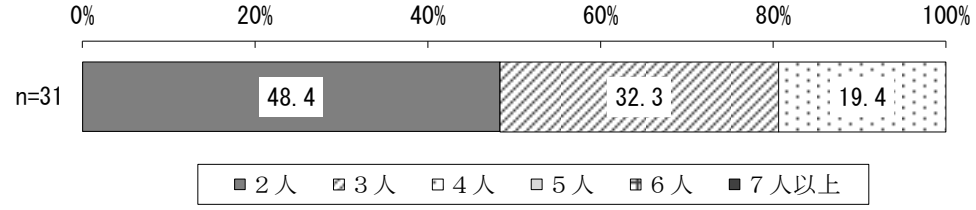


子どもの人数は、「同居している子どもの人数」では「１人」（48.4%）が５割弱で最も多く、次いで、「２人」（25.8%）、「３人」（22.6%）となっている。

「別居している子どもの人数」では「０人」（45.2%）が４割半ばで最も多く、次いで、「１人」（19.4%）、「３人」（6.5%）となっている。

（３）同居家族の人数

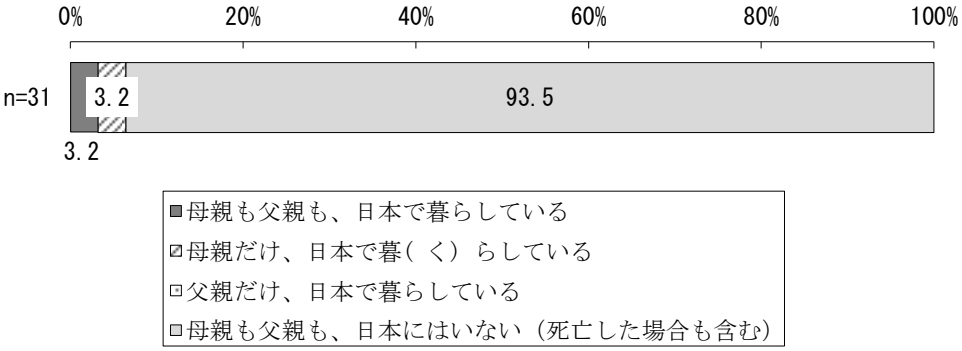
問３　いま、あなたと一緒に暮らしている方（同じ世帯の方）は、あなたを含めて、全部で何人ですか。※通学などで別の場所で暮らしているお子さんであっても、あなたがお金を仕送りしているなど家計を共にしている場合は人数に含みます。（一つに○）



同居家族の人数は、「２人」（48.4%）が約５割で最も多く、次いで、「３人」（32.3%）、「４人」（19.4%）となっている。

（４）両親の居住場所

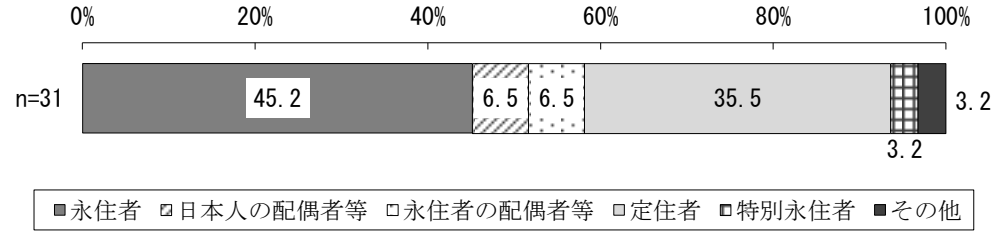
問４　いま、あなたのご両親は、日本で暮らしていますか。（一つに○）



両親の居住場所は、「母親も父親も、日本にはいない（死亡した場合も含む）」（93.5%）が最も多く９割を超えている。

（５）在留資格

問５　現在の在留資格は何ですか。（一つに○）



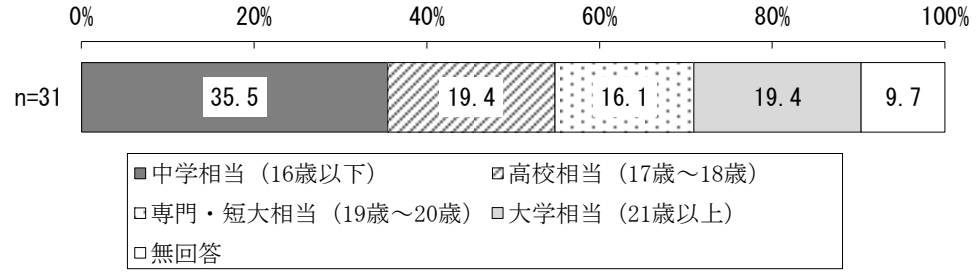
現在の在留資格は、「永住者」が45.2%と最も多く、次いで、「定住者」（35.5%）となっている。

２．これまでの暮らしについて

（１）最終学歴

問６　あなたの最終学歴（最後に卒業した学校）についてお聞きします。（出身国の学校制度にもとづいて、最終学歴と卒業時の年齢をお答えください。）

■最終学歴



■卒業時の年齢

平均年齢：平 均　18.9歳

最終学歴は、「中学相当（16歳以下）」が35.5％で最も多く、次いで、「高校相当（17歳～18歳）」（19.4％）、「大学相当（21歳以上）」（19.4％）、「専門・短大相当（19歳～20歳）」（16.1％）となっている。

卒業時の年齢は、平均で18.9歳となっている。

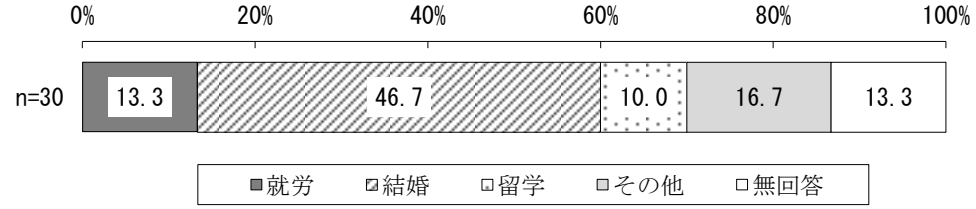
（２）はじめて日本に来た頃のこと

問７　あなたがはじめて日本に来た頃のことをお聞きします。

（１）在留資格を得て、はじめて日本に来たのは何歳でしたか。

平均年齢：平 均　25.0歳

（２）はじめて日本に来たときの目的



はじめて日本に来た年齢は、平均で25.0歳となっている。

はじめて日本に来たときの目的は、「結婚」（46.7%）が４割半ばを超えて最も多く、「就労」（13.3%）と「留学」（10.0%）が１割台となっている。

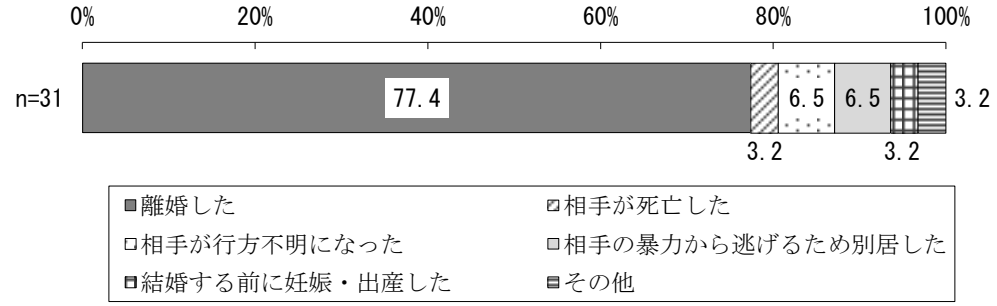
（３）ひとり親家庭になった時期・事情

問８　ひとり親家庭になった時期とご事情について教えてください。２回以上経験している場合は、直近のものについてご記入ください。

（１）ひとり親家庭になった時期

平均年齢：平 均　35.1歳

（２）ひとり親家庭になった事情



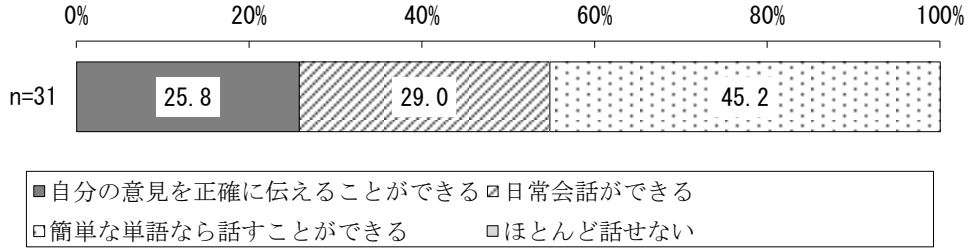
ひとり親家庭になった時期は、平均で35.1歳となっている。

ひとり親家庭になった事情は、「離婚した」（77.4%）が８割弱で最も多く、次いで、「相手が行方不明になった」と「相手の暴力から逃げるため別居した」がともに6.5%となっている。

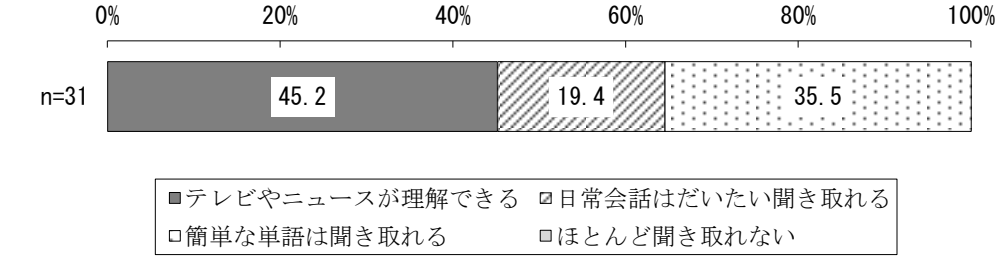
（４）日本語の理解の程度

問９　ひとり親家庭になった頃、あなたご自身は日本語はどの程度理解できましたか。「話す」「聞く」「読む」「書く」について、あてはまるもの一つに○をつけてください。（それぞれ一つに○）

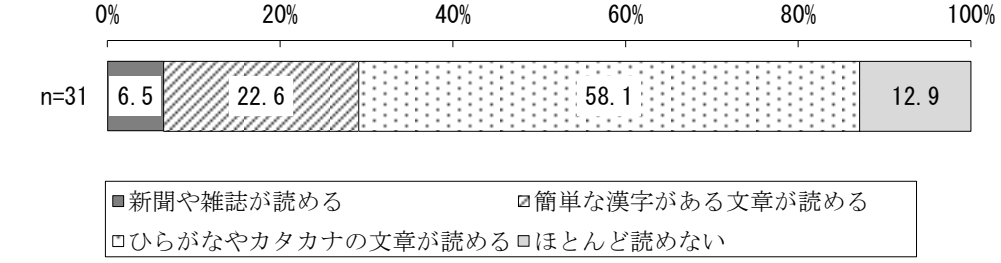
（１）話す



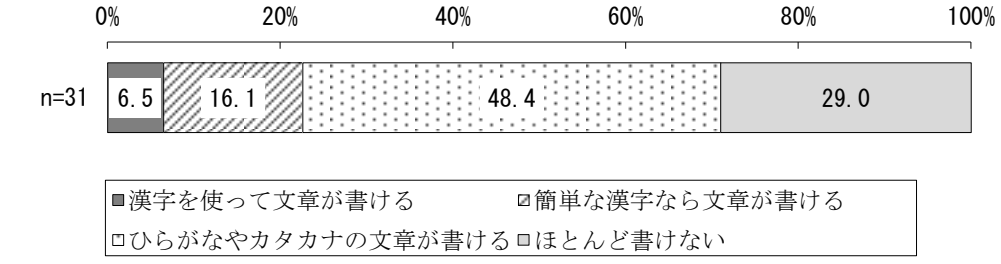
（２）聞く



（３）読む



（４）書く



ひとり親家庭になった頃、自身の日本語の理解度は、「話す」では「ほとんど話せない」（45.2%）が最も多い。

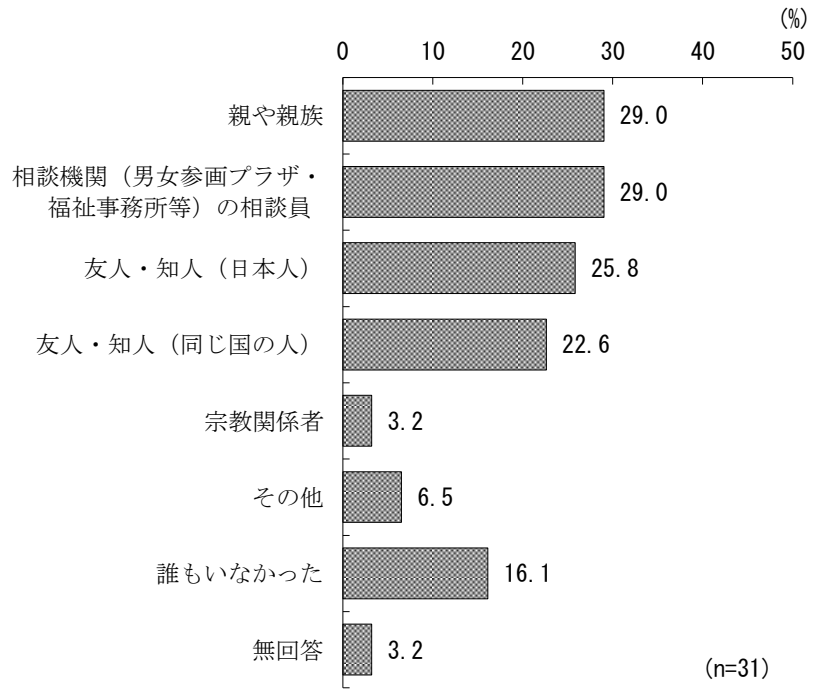
「聞く」では「テレビやニュースが理解できる」が 45.2%で最も多く、次いで、「簡単な単語は聞き取れる」が 35.5%となっている。

「読む」では「ひらがなやカタカナの文章が読める」（58.1%）が約６割で他の項目に比べてかなり多くなっている。

「書く」では「ひらがなやカタカナの文章が書ける」（48.4%）が５割弱と最も多くなっている。一方、「ほとんど書けない」（29.0%）も約３割となっている。

（５）支援（サポート）してくれた人

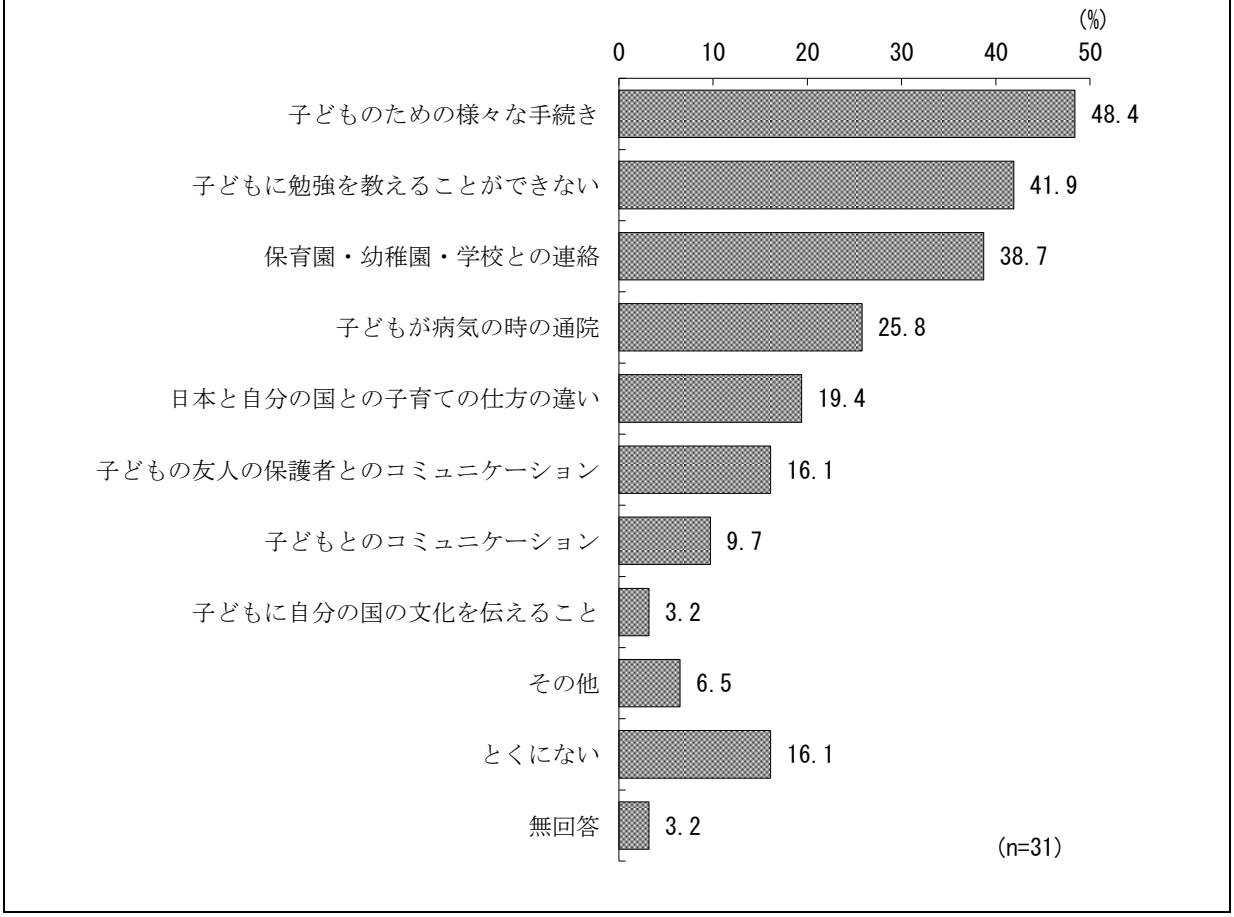
問10　ひとり親家庭になった頃、あなたを支援（サポート）してくれた人はどなたでしたか。
（あてはまるものすべてに○）



ひとり親家庭になった頃、支援（サポート）してくれた人は、「親や親族」と「相談機関（男女参画プラザ・福祉事務所等）の相談員」がともに29.0％で最も多く、次いで、「友人・知人（日本人）」（25.8％）、「友人・知人（同じ国の人）」（22.6％）などとなっている。

（６）子育てのことで困ったこと

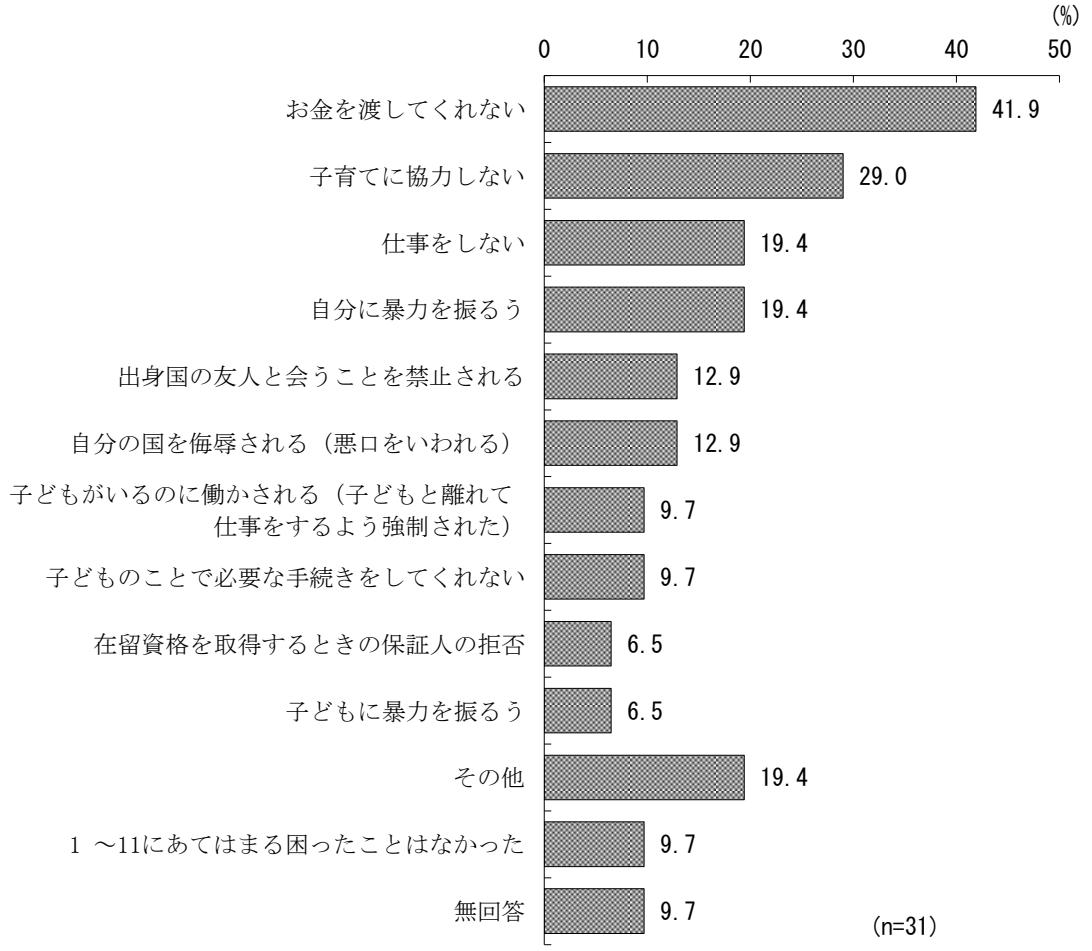
問11　ひとり親家庭になってから、子育てのことで困ったことはありましたか。
（あてはまるものすべてに○）



ひとり親家庭になってから、子育てのことで困ったことは、「子どものための様々な手続き」が48.4%で最も多く、次いで、「子どもに勉強を教えることができない」（41.9%）、「保育園・幼稚園・学校との連絡」（38.7%）などとなっている。

（７）別れた相手と一緒に暮らしていた頃に困ったこと

問12　別れた相手（お子さんの父親または母親）と一緒に暮らしていた頃、次のようなことで困ったことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）

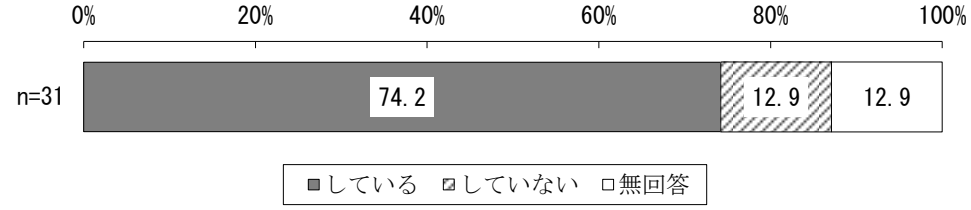


別れた相手と一緒に暮らしていた頃に困ったことは、「お金を渡してくれない」（41.9%）が他の項目を大きく上回っている。次いで、「子育てに協力しない」（29.0%）、「仕事をしない」（19.4%）、「自分に暴力を振るう」（19.4%）などとなっている。「その他」には、「ギャンブルや金銭的にだらしのない性格」、「刑務所に入った」、「別れた相手と一緒に暮らしたことはない」などがあげられた。

３．仕事について

（１）就労の有無

問13　あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。（一つに○）

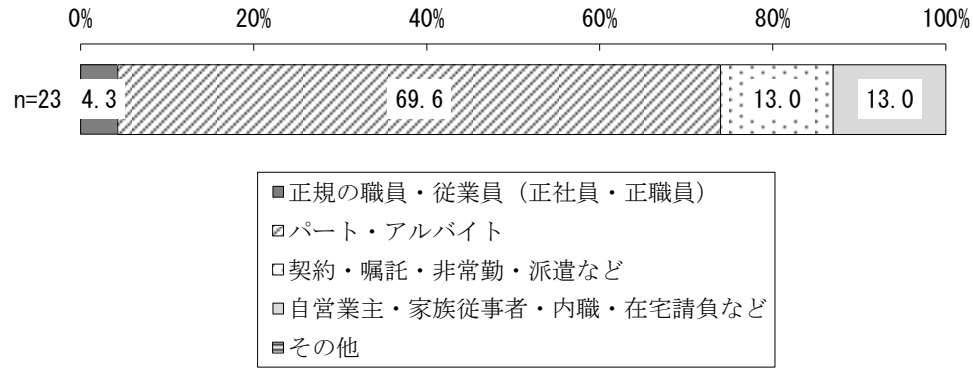


就労の有無は、「している」（74.2%）が７割を超えている。

（２－１）仕事の形態

問14　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（１）その仕事の形態は、次のどれにあたりますか。複数の仕事をお持ちの場合は、おもな仕事一つだけについてお答えください。（一つに○）

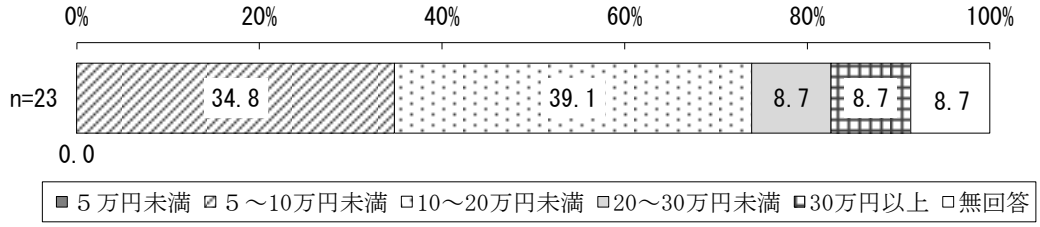


仕事をしている方に仕事の形態をきいたところ、「パート・アルバイト」（69.6%）が約７割で最も多く、次いで、「契約・嘱託・非常勤・派遣など」と「自営業主・家族従事者・内職・在宅請負など」がともに13.0%となっている。一方、「正規の職員・従業員（正社員・正職員）」は4.3%で１割にも届いていない。

（２－２）仕事の収入

問14　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（２）その仕事からの収入は、１か月あたり、平均いくらくらいですか。税込みの金額を書いてください。※税込み：税金や社会保険料が引かれる前の金額です。



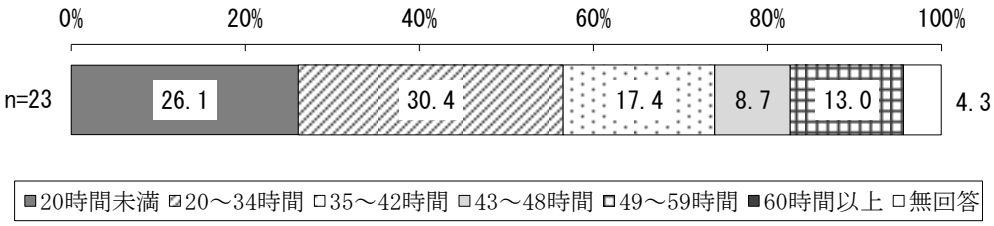
１か月あたりの平均収入額：平 均　13.7万円

仕事をしている方に仕事の収入をきいたところ、「10～20万円未満」（39.1%）、「５～10万円未満」（34.8%）が３割台となっている。平均は13.7万となっている。

（２－３）労働時間

問14　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（３）その仕事の１週間の労働時間は、平均してどのくらいですか。（一つに○）



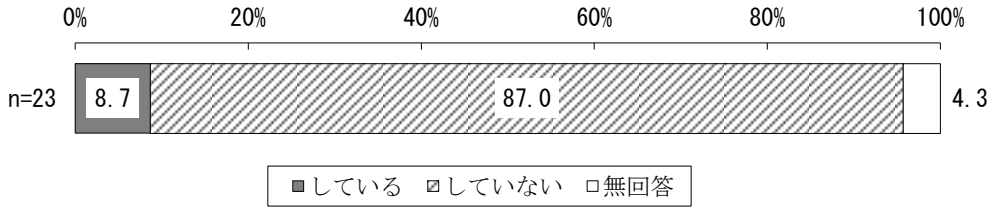
仕事をしている方に１週間の労働時間をきいたところ、「20～34時間」（30.4%）が約３割で最も多く、次いで、「20時間未満」（26.1%）、「35～42時間」（17.4%）などとなっている。

（２－４）副業の状況

問14　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（４）その仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。している場合は、副業にあてている時間と副業収入について教えてください。

■副業の有無



■副業の時間と収入（ｎ数が少ないため参考掲載）

１か月の副業の収入：平 均　５万円

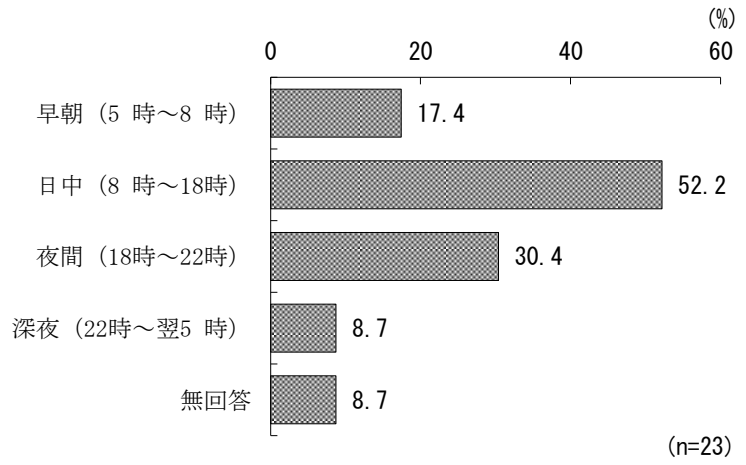
１か月の副業をしている時間：平 均　26.5時間

仕事をしている方に副業の有無をきいたところ、「していない」が87.0％で大半を占めている。

（２－５）ふだん仕事をしている時間帯

問14　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（５）ふだん仕事をしている時間帯は、次のどれにあたりますか。副業を含みます。

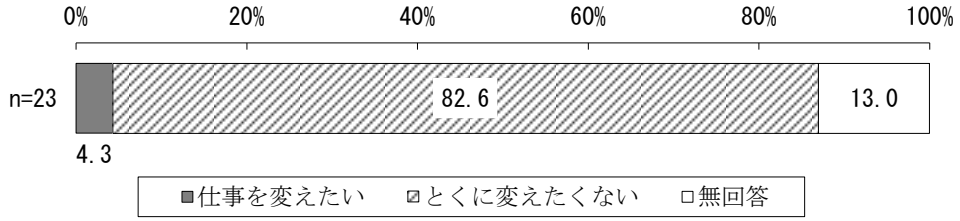


仕事をしている方にふだん仕事をしている時間帯をきいたところ、「日中（８時～18時）」（52.2％）が５割を超えて最も多く、次いで、「夜間（18時～22時）」（30.4％）、「早朝（５時～８時）」が（17.4％）などとなっている。

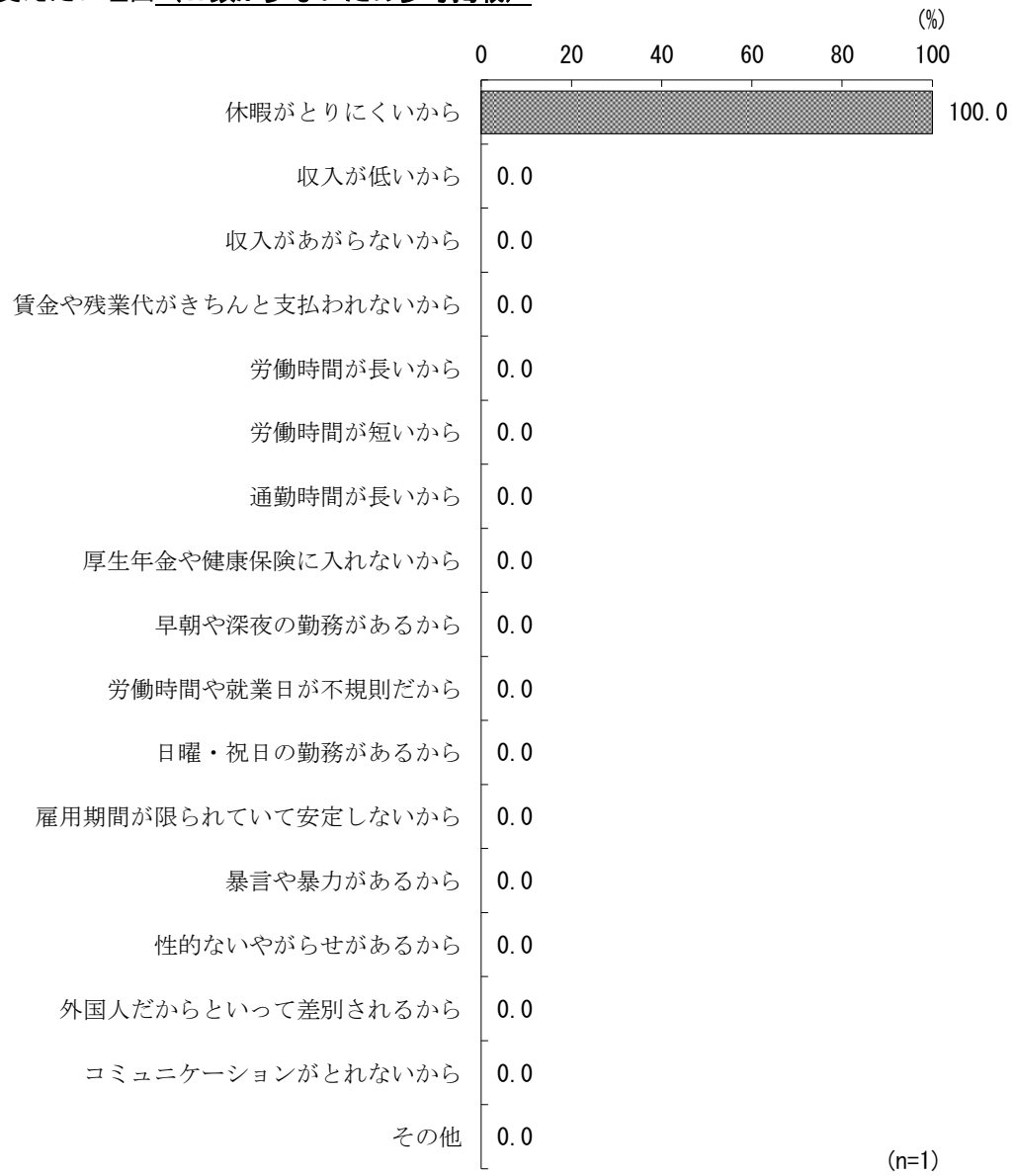
（２－６）転職の意向

問14　現在、仕事をしている方にお聞きします。

（６）あなたは、現在の仕事を変えたい（転職したい・就労形態を変えたい）ですか。仕事を変えたいと考えている方は、その理由を教えてください。（一つに○）



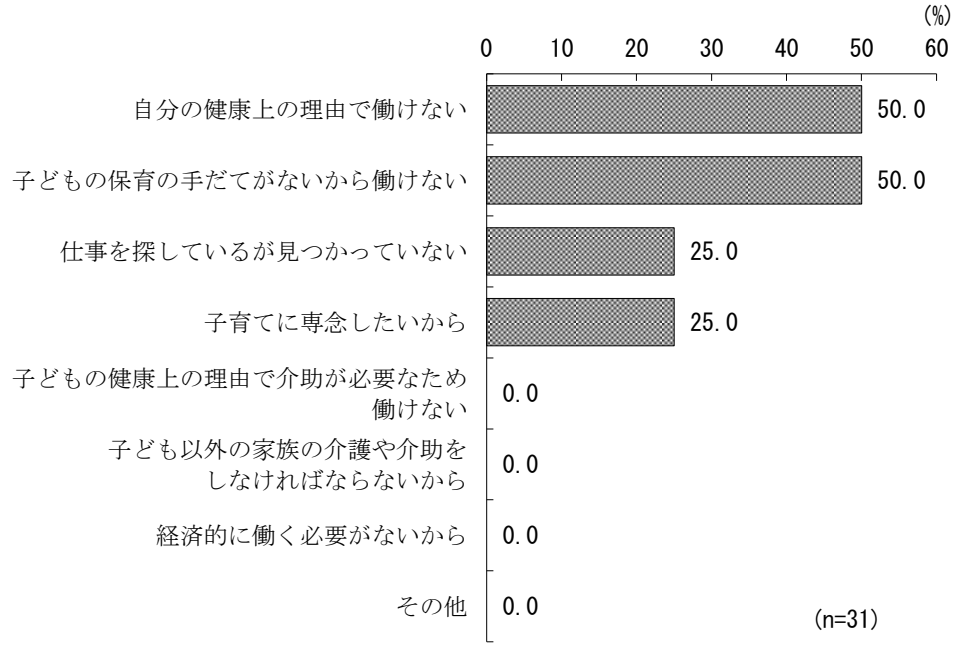
■仕事を変えたい理由（ｎ数が少ないため参考掲載）



仕事をしている方に現在の仕事を変えたいと思っているかきいたところ、「とくに変えたくない」（82.6%）が８割を超え、「仕事を変えたい」（4.3%）を大きく上回っている。

（３）転職の意向

問15　現在、仕事をしていない方にお聞きします。
仕事をしていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

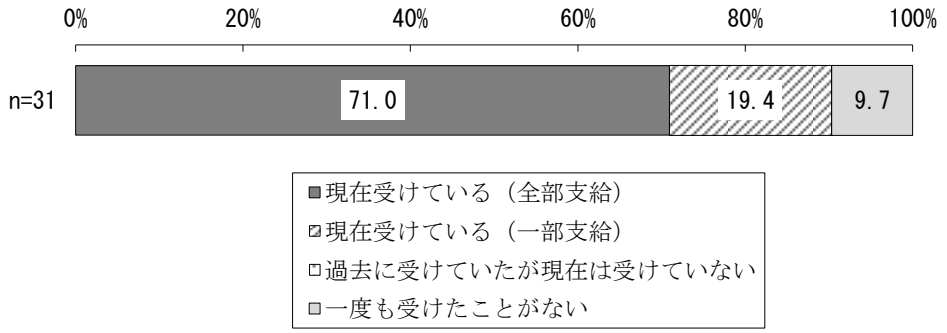


仕事をしていない方にその理由をきいたところ、「自分の健康上の理由で働けない」と「子どもの保育の手だてがないから働けない」がともに50.0%で最も多い。次いで、「仕事を探しているが見つかっていない」（25.0%）、「子育てに専念したいから」（25.0%）となっている。

４．ひとり親家庭になってからの経験について

（１）児童扶養手当の受給状況

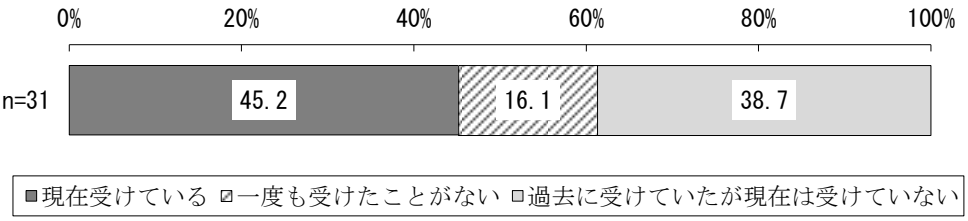
問16　ひとり親家庭になってから、児童扶養手当を受けたことがありますか。（一つに○）



ひとり親家庭になってからの児童扶養手当の受給状況は、「現在受けている（全部支給）」（71.0%）が７割を超えて最も多く、次いで、「現在受けている（一部支給）」（19.4%）となっている。一方、「一度も受けたことがない」は9.7%となっている。

（２－１）生活保護を受けたことの有無

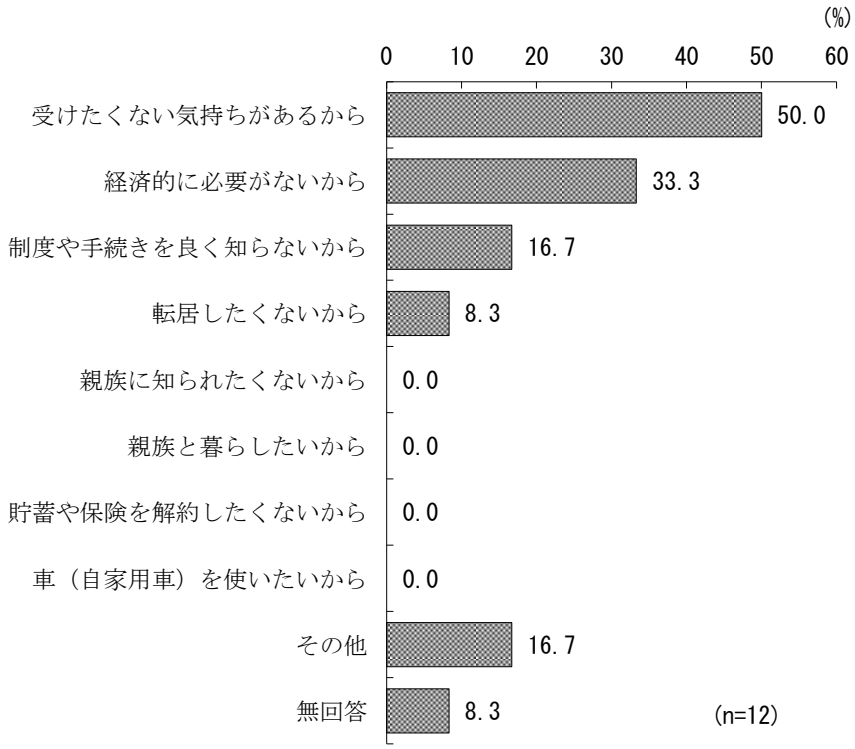
問17　ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことがありますか。（一つに○）



ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことの有無は、「現在受けている」（45.2%）が最も多く、次いで、「過去に受けていたが現在は受けていない」（38.7%）となっている。一方、「一度も受けたことがない」は16.1%となっている。

（２－２）生活保護を受けたことがない理由

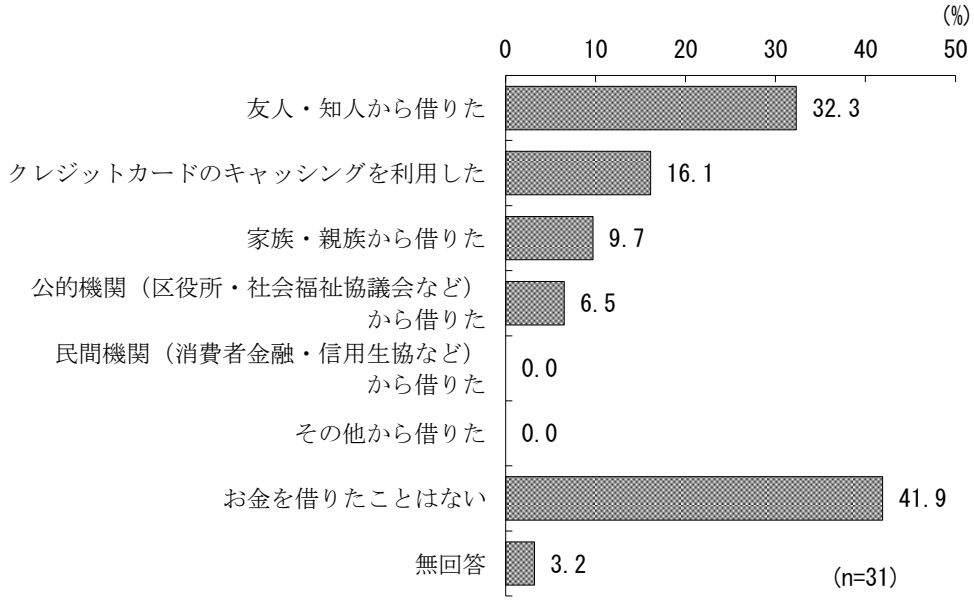
【「3.一度も受けたことがない」と答えた方にお聞きします。】
その理由は何でしたか。（あてはまるものすべてに○）



生活保護を一度も受けたことがない方にその理由をきいたところ、「受けたくない気持ちがあるから」（50.0%）が５割を占めている。次いで、「経済的に必要がないから」（33.3%）、「制度や手続きを良く知らないから」（16.7%）などとなっている。「その他」には、「（自分の）母親と一緒だったから」があげられた。

（３）お金を借りた経験

問18　ひとり親家庭になってから、生活費を得るために、お金を借りたことがありましたか。
（あてはまるものすべてに○）

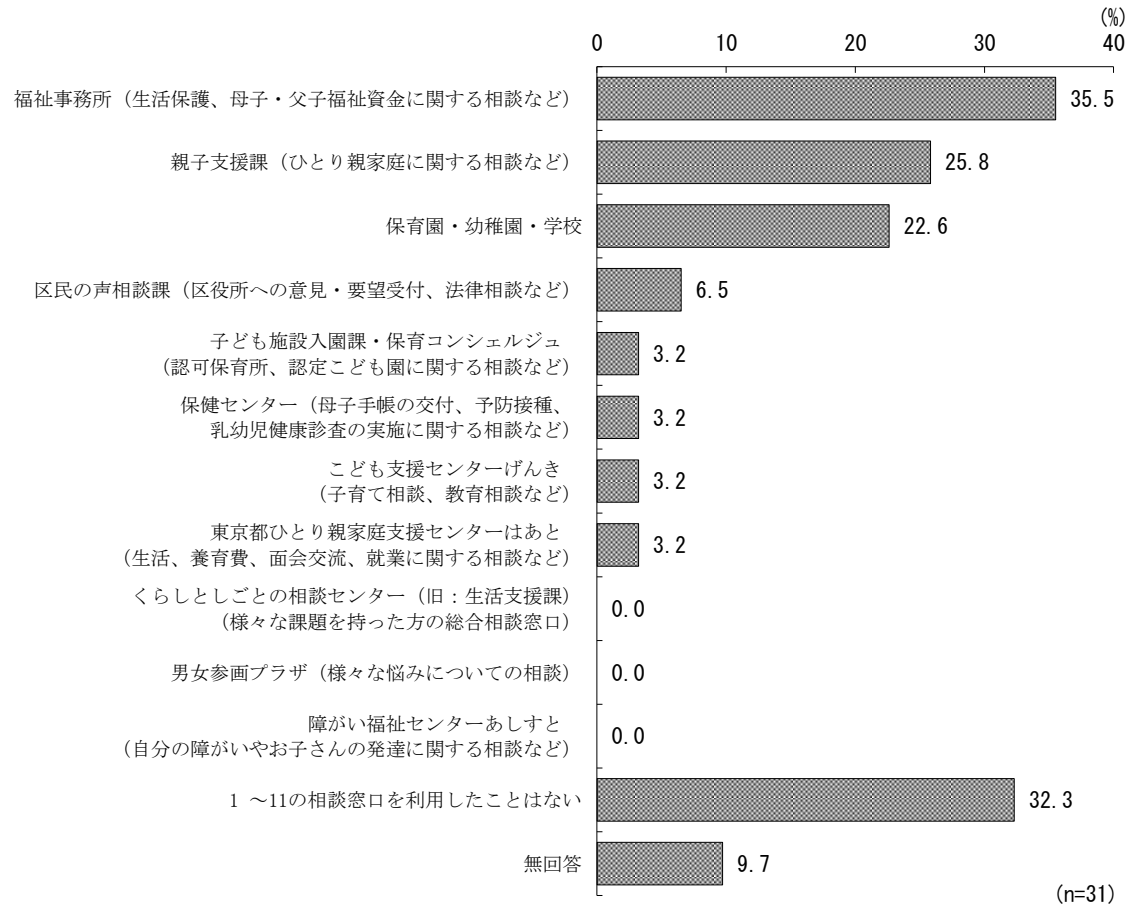


ひとり親家庭になってから、お金を借りた経験は、「友人・知人から借りた」（32.3%）が最も多く、次いで、「クレジットカードのキャッシングを利用した」（16.1%）、「家族・親族から借りた」（9.7%）などとなっている。一方、「お金を借りたことはない」（41.9%）は４割を超えている。

（４）相談で利用したことのある公的機関

問19　ひとり親家庭になってから、子育てや生活の悩みについて、区役所など公的機関の窓口で相談したことはありますか。相談で利用したことがある場所すべてに○をつけてください。

（あてはまるものすべてに○）

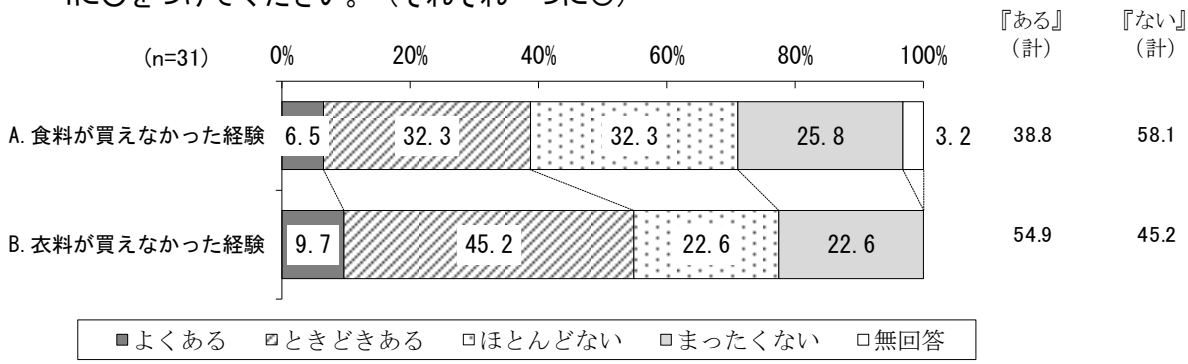


区役所など公的機関の窓口で相談したことの有無は、「ある」（＊100%から「1～11の窓口や機関で相談したことはない」と「無回答」を除いた割合）が58.0%となっている。相談で利用したことのある公的機関は、「福祉事務所（生活保護、母子・父子福祉資金に関する相談など）」（35.5%）が３割半ばで最も多く、次いで、「親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）」（25.8%）と「保育園・幼稚園・学校」（22.6%）が２割台となっている。

５．過去１年間の経験について

（１）食料や衣料が買えなかった経験の有無

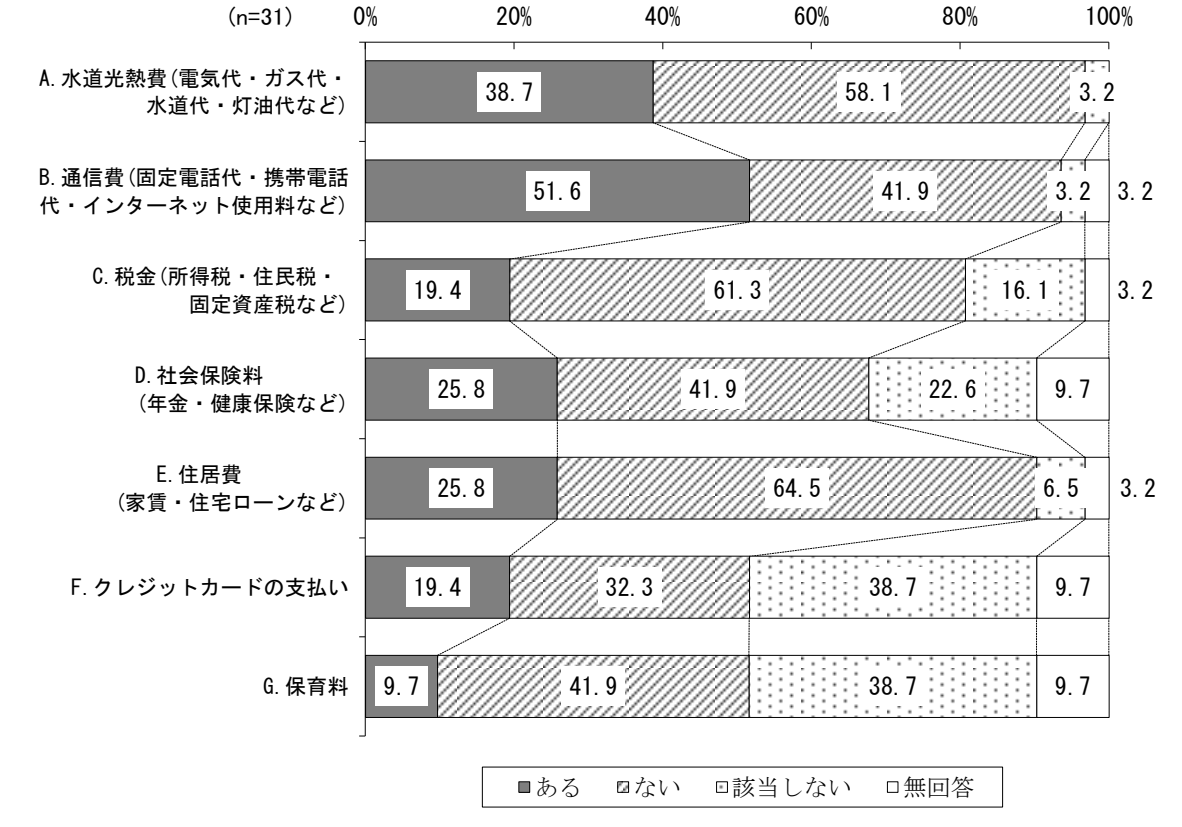
問20　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料が買えなかった経験の有無をきいたところ、食料・衣料ともに「ほとんどない」と「まったくない」を合わせた『ない』（計）が45%以上となっている。『ある』（計）は<B.衣料が買えなかった経験>で５割半ばとなっており、<A.食料が買えなかった経験>（38.8%）を16.1ポイント上回っている。

（２）経済的な理由によって期限通りに支払えなかったことの有無

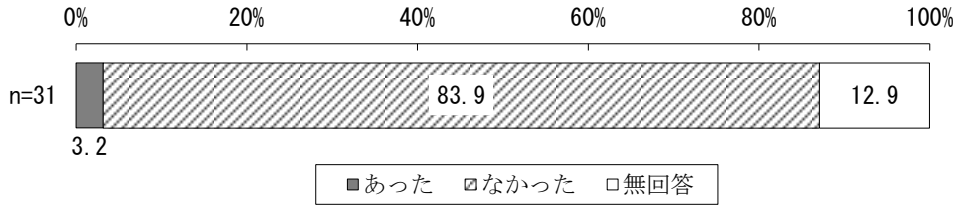
問21　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由によって、次の費用を期限通りに支払えなかったことがありましたか。AからGのそれぞれについて、1から3のうちあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ一つに○）



経済的な理由によって期限通りに支払えなかったことの有無は、「B.通信費(固定電話代・携帯電話代・インターネット使用料など)」（51.6%）が最も多く、次いで、「A.水道光熱費(電気代・ガス代・水道代・灯油代など)」（38.7%）となっている。

（３－１）医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無

問22　あなたのご家庭では、過去１年間に、医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった（できなかった）ことがありましたか。　（一つに○）



医療機関を受診させなかった（できなかった）ことの有無は、「なかった」（83.9%）が８割を超えている。

（３－２）医療機関を受診させなかった（できなかった）理由

【「1. あった」と答えた方にお聞きします。】

その理由は何でしたか。もっとも近いと思う理由ひとつに○をつけてください。（一つに○）

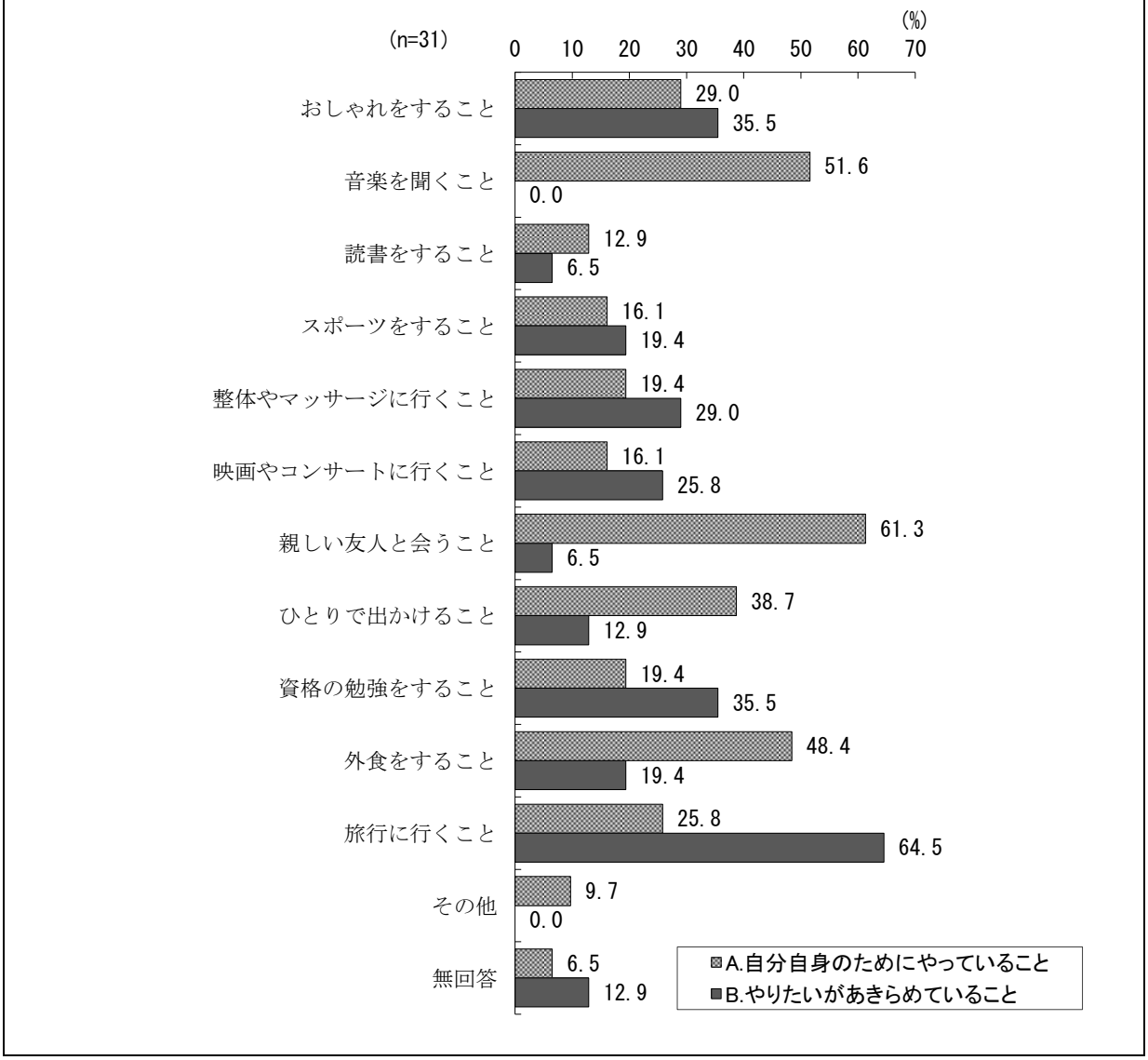
調査数	病院や診療所に行く間がなかったため	身体上の理由で、病や診療所に行くこと困難であったため	病院や診療所までの離が遠く、通院することが困難であった	公的医療保険に加入しておらず、医療費をうことが難しいため	公的医療保険には加していたが、医療費支払うことが難しい	その他
1	1	－	－	－	－	－
100	100	－	－	－	－	－

＊回答数が少ないため、参考のために掲載。

６．普段の生活や気持ちについて

（１）自分のためにやっていることと、やりたいがあきらめていること

問23　あなたが自分自身のためにやっていることと、やりたいがあきらめていることを教えてください。（それぞれ、あてはまるものすべてに○）



自分のためにやっていることは、「親しい友人と会うこと」（61.3%）が６割を超えて最も多く、次いで、「音楽を聞くこと」（51.6%）、「外食をすること」（48.4%）などとなっている。

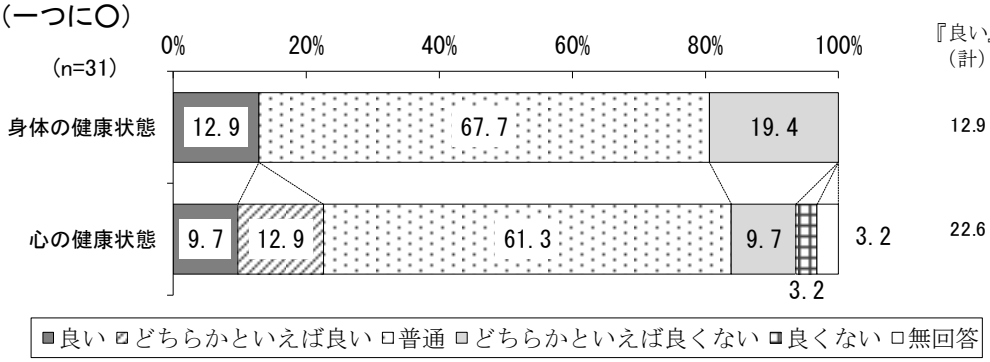
やりたいがあきらめていることは、「旅行に行くこと」（64.5%）が６割半ばで最も多く、次いで、「おしゃれをすること」（35.5%）、「資格の勉強をすること」（35.5%）などとなっている。

（２）健康状態

問24　ふだんの健康状態についてうかがいます。

（１）あなたはご自分の「身体」、および「心」の健康状態についてどのように感じていますか。

（一つに○）

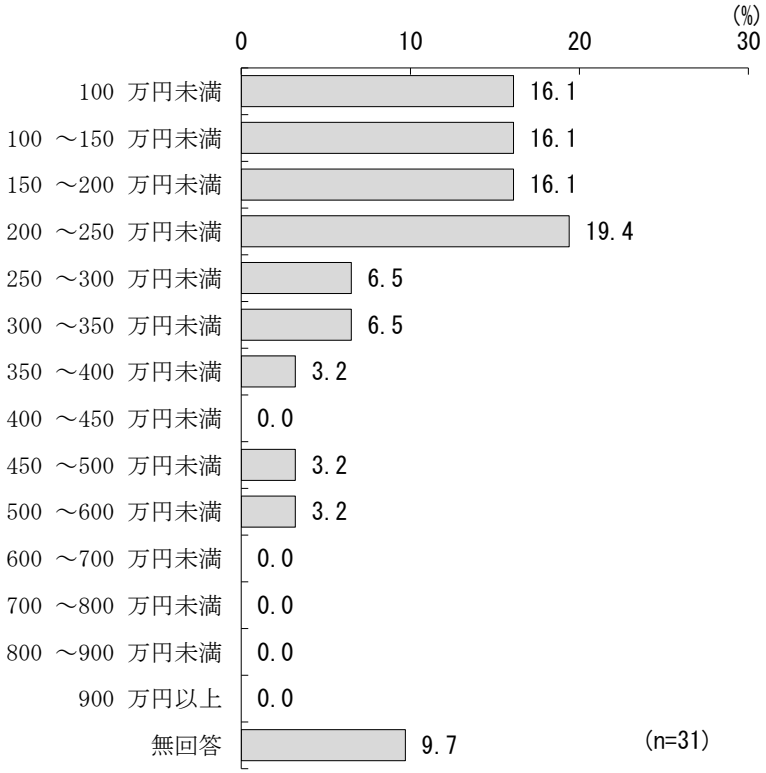


健康状態は、身体・心ともに「普通」が６割台で最も多くなっている。「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた『良い』（計）は＜身体の健康状態＞が12.9％、＜心の健康状態＞で22.6％となっている。

7．現在の暮らしについて

（1）家族全員の年収

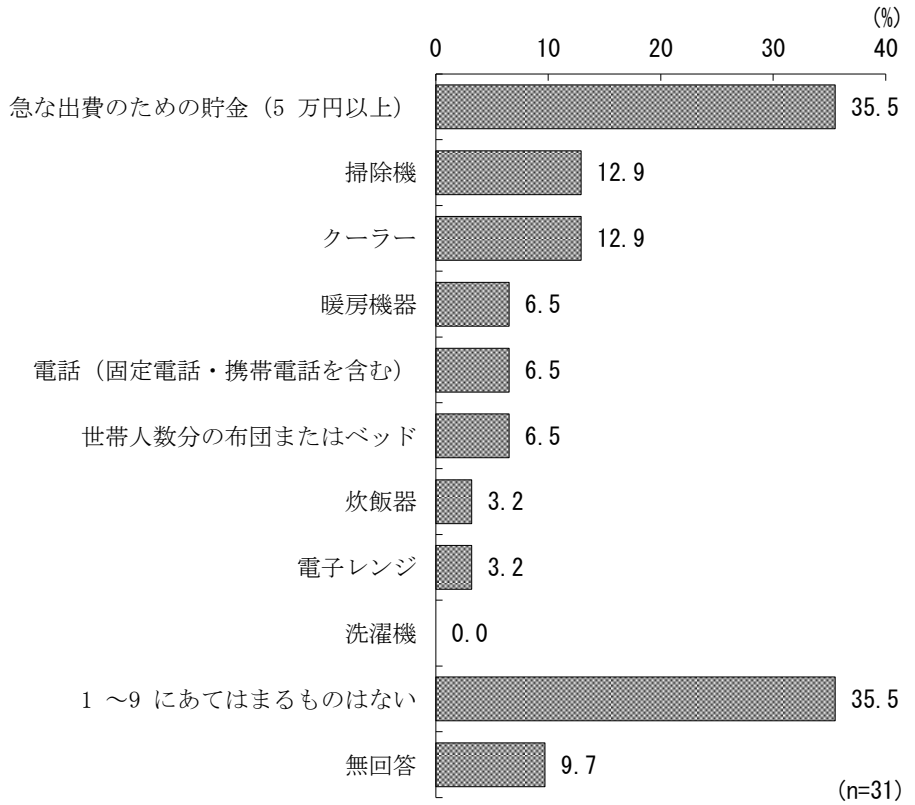
問25　去年（平成27年）１年間の家族全員の収入をすべて合計すると、税込みで、いくらくらいでしたか。あなたご自身の収入、同居している家族の収入、社会保障給付（児童手当・児童育成手当・児童扶養手当・生活保護・年金など）、子どもの父親から受け取った養育費など、家族全体でみて、すべてを合計した金額について、一番近い番号を選んでください。（一つに○）



家族全員の年収の合計額は、「200 ～250 万円未満」（19.4%）が最も多く、次いで、「100 万円未満」、「100 ～150 万円未満」、「150 ～200 万円未満」が16.1%となっている。

（２）経済的理由のためにないもの

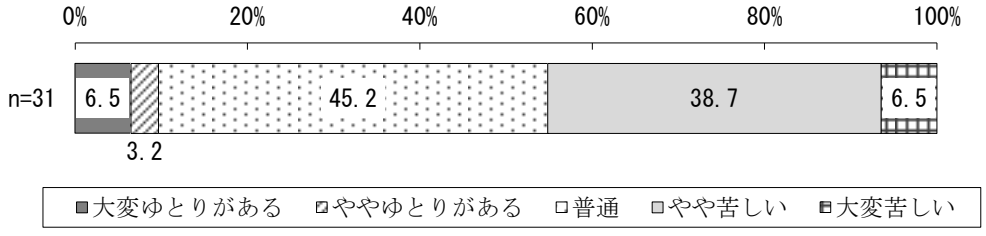
問26　あなたのご家庭では、次のもののうち、経済的理由のために、ないものはありますか。
（あてはまるものすべてに○）



経済的理由のためにないものは、「急な出費のための貯金（5 万円以上）」（35.5%）が３割半ばで最も多く、次いで、「掃除機」と「クーラー」がともに12.9%となっている。また、「あてはまるものはない」も35.5%となっている。

（３）現在の暮らしの状況

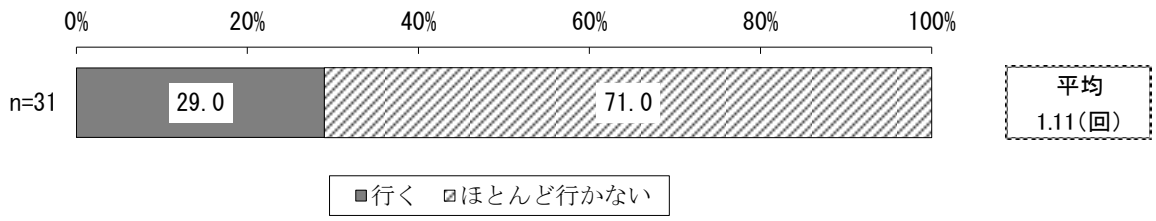
問27　あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。（一つに○）



現在の暮らしの状況は、「普通」（45.2%）が４割半ばで最も多く、次いで、「やや苦しい」（38.7%）となっている。

（４）家族旅行の状況

問28　あなたのご家庭では、家族で泊りがけの旅行に行くことはありますか。あなたの実家への帰省旅行も含みます。



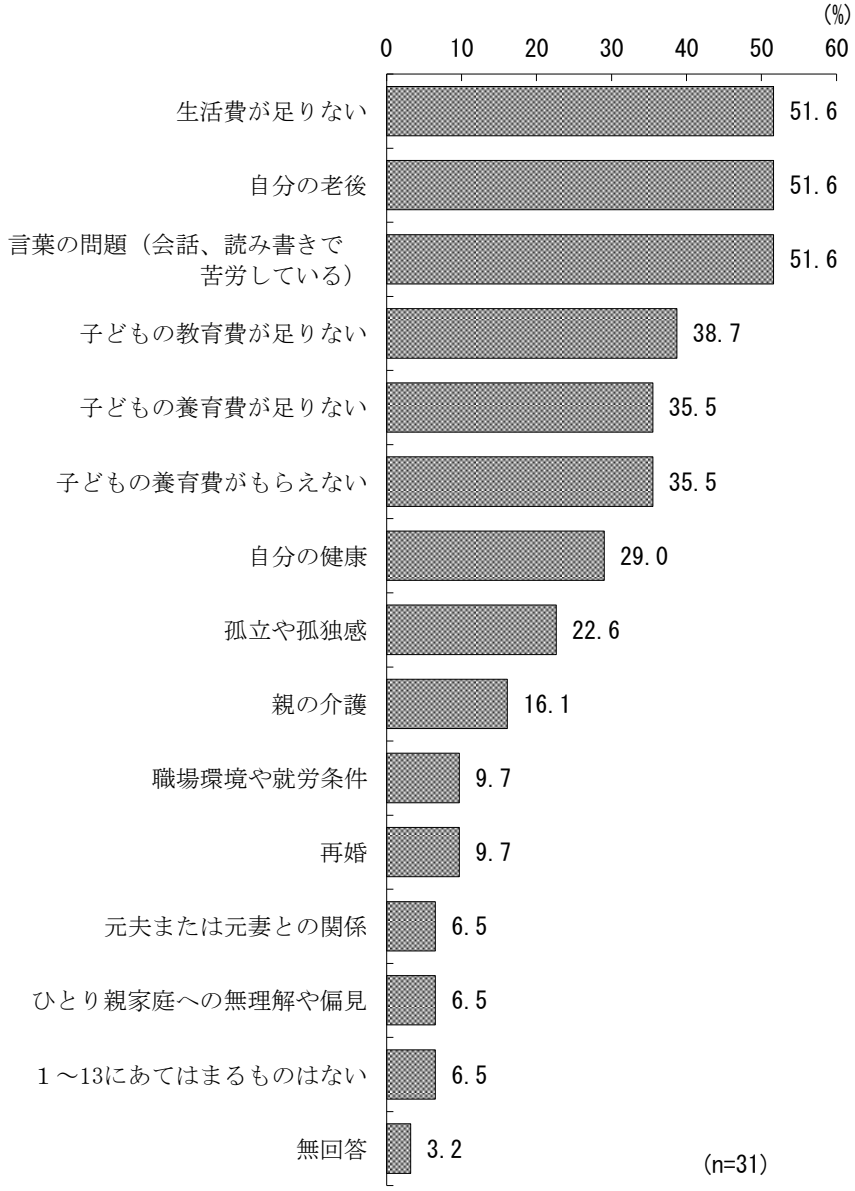
家族で泊りがけの旅行に行くことは、「行く」（29.0%）が約３割となっている。１年間に旅行に行く回数は平均1.11回となっている。

８．悩みや相談について

（１）悩んでいることや心配なこと

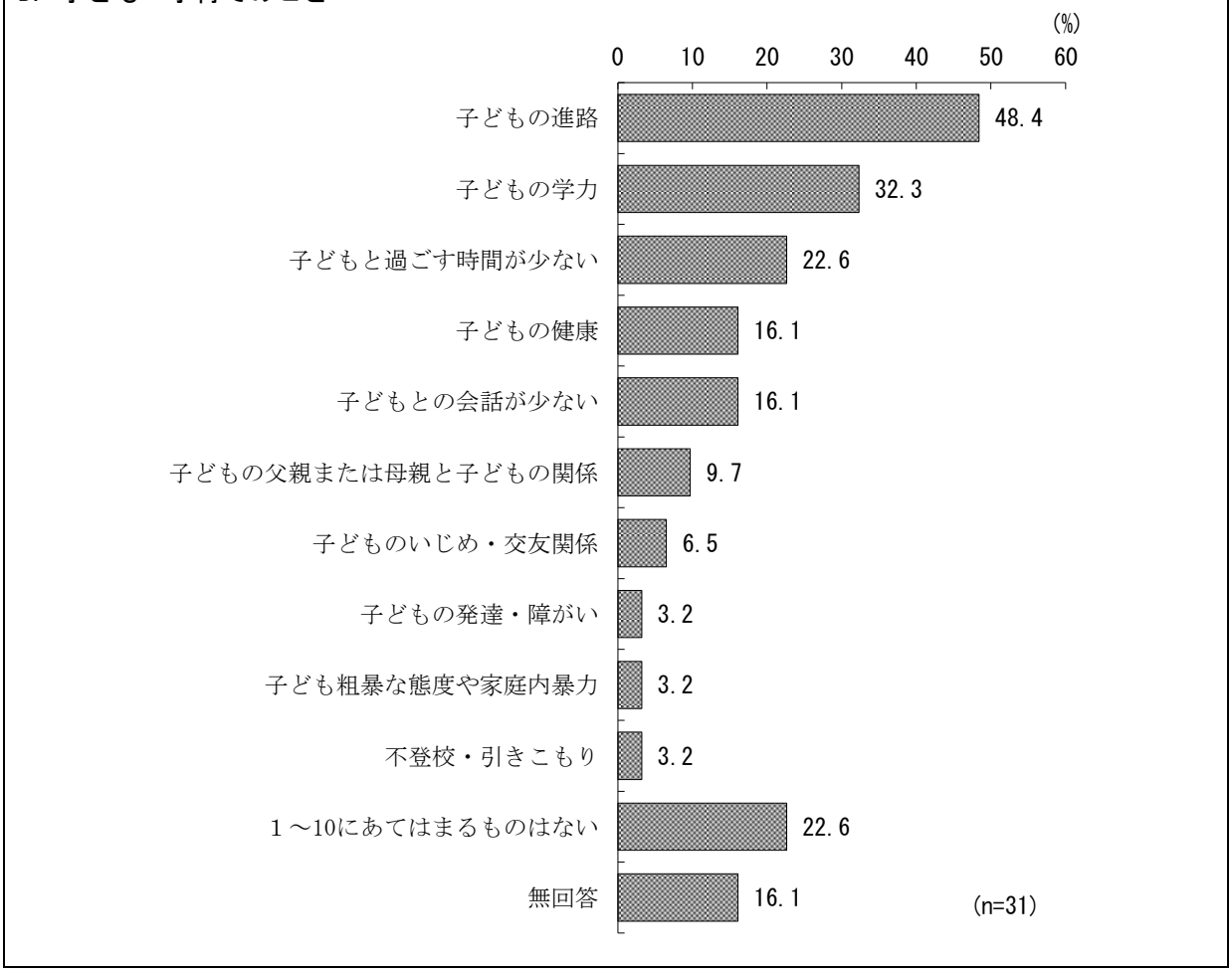
問29　次のことがらについて、悩んでいることや心配なことがありますか。それぞれのことがらについてあてはまる番号1～3に○をつけてください。

A. あなた自身のこと



自分のことで悩んでいることや心配なことをきいたところ、「生活費が足りない」、「自分の老後」、「言葉の問題（会話、読み書きで苦労している）」が51.6％と５割を超えている。

B. 子ども・子育てのこと



子ども・子育てのことで悩んでいることや心配なことをきいたところ、「子どもの進路」(48.4%)が約５割で最も多く、次いで、「子どもの学力」(32.3%)、「子どもと過ごす時間が少ない」(22.6%)などとなっている。

（２）職業資格

問30　あなたは仕事に使える資格を何か持っていますか。また、これから取りたい仕事の資格はありますか。

所持資格

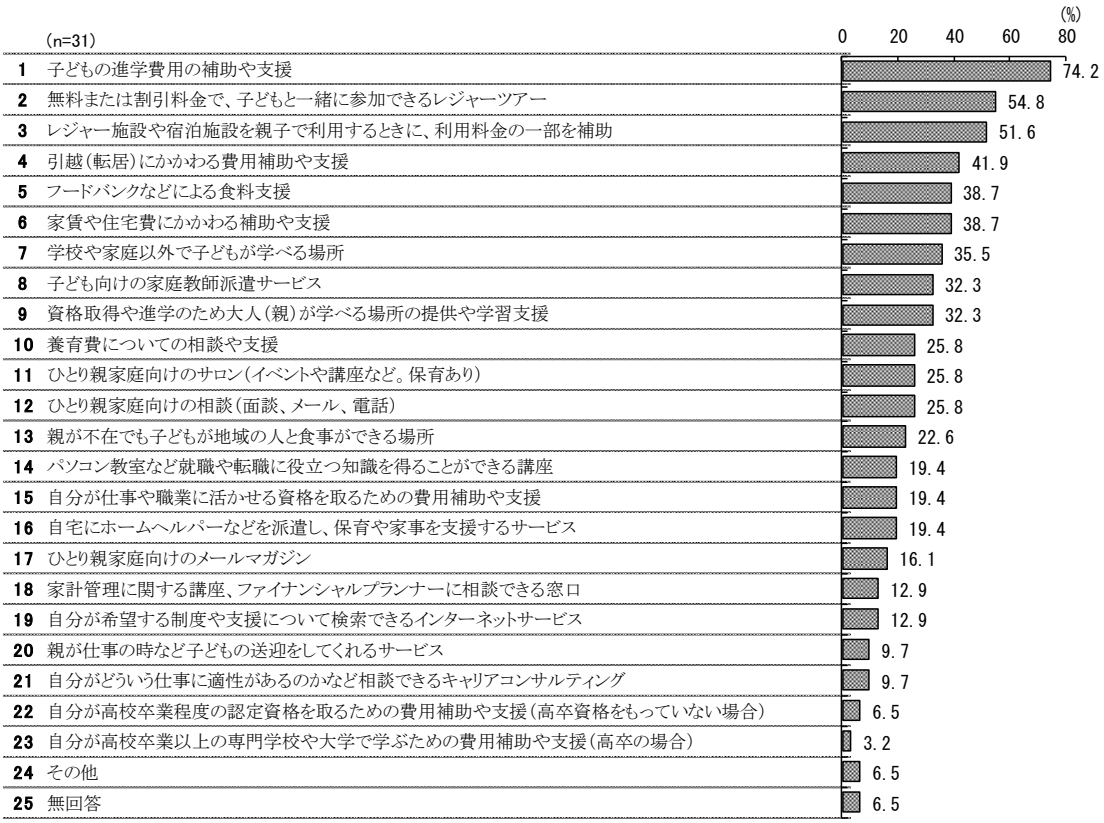
主な所持資格としては
「普通自動車免許」、「介護関係」などがあげられている。

今後取りたい資格

今後取りたい資格としては
「普通自動車免許」、「介護関係」、「日本語に関する資格」などがあげられている。

（３）利用したい支援やサービス

問31　あなたは、次のような支援やサービスを利用したいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）



利用したい支援やサービスは、「子どもの進学費用の補助や支援」（74.2%）が７割を超えて最も多く、次いで、「無料または割引料金で、子どもと一緒に参加できるレジャーツアー」（54.8%）、「レジャー施設や宿泊施設を親子で利用するときに、利用料金の一部を補助」(51.6%) などとなっている。

第５章　自由記述

（1）気持ちが明るくなるときとつらくなるとき

問43（母子世帯）、問42（父子世帯）
あなたは、日々の生活のなかで、気持ちが明るくなるのはどのようなときですか。
また、つらい気持ちになるのはどのようなときですか。具体的に教えてください。

≪母子世帯≫

【明るい気持ちになるとき】

・子どもが家事を手伝ってくれたりするとき（30 代）
・保育園に受からないため、子どもと一緒に通勤しているので、席をゆずってくれたとき（20 代）
・子どもがパンを食べていて、ママ半分あげるとどうぞしてくれたとき、子どもがお手伝いしてくれるとき（20 代）
・子どもが笑顔でいるとき、子どもと一緒にいるとき（40 代）
・子どもが素直に育っているんだなと思う反応を示したとき、子どもが一生懸命ひとりで何かしようと頑張っているのをみたとき（30 代）
・仕事でやりがいを感じているとき、自分の事を心配してくれる人がいるとわかったとき（40 代）
・外食しているとき（30 代）
・子どもが楽しそうにしているとき、仲の良い友だちとご飯を食べたり色々話しているとき（30 代）
・子どもが喜んでくれるとき、成長を感じたとき（30 代）
・仕事がうまくいったとき、息子とたのしくあそべているとき、好きな人と一緒にいるとき（30 代）
・子どもと一緒に笑っているとき、仕事先で同僚やお客様とたわいもない話をしているとき（30 代）
・子どもが笑っているとき（20 代）
・子どもが機嫌が良いとき、仕事が順調なとき（40 代）
・買い物をしているとき（40 代）
・お金では買えない、豊かさがあると感じたとき（30 代）
・特にない（40 代）
・お客様と　ｗｉｎ　ｗｉｎの関係でいられるとき、子どもが笑顔のとき（40 代）
・みんなで遊んでるとき（40 代）
・子どもと一緒に楽しい事が出来たり食事がとれるとき、仕事で「ありがとう」と言われたとき（40 代）
・ペットと遊んでいるとき、子ども３人揃って談笑しているとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、子どもの人生が充実していると感じるとき（40 代）
・誰かに悩みを相談して解決できそうになったとき、あたたかい言葉をかけてもらったとき（30 代）
・作った食事を全て、子どもたちがたいらげてくれたとき、体調を崩して寝ている際、子どもたちが買い物をしてくれるとき、子どもたちが元気で帰宅して、家族そろって食事をしているとき、子どもたちと好きなアーティストの話をするとき、友人と逢って食事をするとき（50 代）
・子どもが笑っているとき（50 代）
・学校生活で楽しくしている様子、先生との会話（40 代）
・子どもと笑って過ごせるとき（40 代）
・子ども達が無事に成長してくれた事（50 代）
・家の中がきれいに片付いているとき、料理を作り、みんなで食べているとき（40 代）
・子どもの成長を感じるとき、家族でのんびりと過ごせる時間のとき（30 代）
・子どもの習い事（試合）を見ていて、子どもが頑張る姿を見たり、子どものできることが増えているのを見たとき（30 代）
・あまりない（30 代）
・子どもと遊んでいるとき、家族で話しているとき、友だちと話すとき、子どもが外の話を楽しそうにするとき（20 代）

・子どもが笑っているとき（50 代）
・離れて暮す子どもと３人で会っているとき（50 代）
・子どもの笑顔を見たとき、仕事でお客様に感謝されたとき、家族が元気なとき（40 代）
・子どもと一緒に遊んだり、明日は何しようか…と予定を決めたりするとき（特に今はプライベートも仕事も自分のペースで出来ているので楽しいです）（30 代）
・子どもの顔を見たとき（40 代）
・仕事がうまくいくとき、子どもが喜ぶとき（30 代）
・自分が好きな事をしているとき、人と接している時に思わず、笑ってしまったとき（40 代）
・仕事に行った子どもが、毎日無事に家に笑顔で帰って来てくれるとき（40 代）
・子どもと一緒にいるとき（30 代）
・子どもと一緒に自分も笑っているとき、久しぶりに欲しい物が買えたとき、臨時収入があったとき（30 代）
・仕事で仲間と話しているとき、仕事でお客様と話しているとき、反抗期の子どものかわいい寝顔を見たとき、おいしいものを食べたとき（50 代）
・子どもが楽しかったり嬉しかったときの話をしてくれるのを聞いているとき（40 代）
・子どもが１日安定して過ごせたことが分かる日、期待されていると実感するとき、休みの前日、１人で行動できる時間がもてたとき（リフレッシュのため）（30 代）
・体調の良いとき、子どもの聞き分けの良いとき（50 代）
・仕事でほめられたとき、友人と話しているとき、音楽を聞いたり、好きなＴＶや本を読んだり、見たりしているとき、子どもが楽しいことを話して笑っているとき、おいしいものを食べたとき（20 代）
・毎日の子どもとの会話でお互いが幸せな気持ちになるとき、職場で、仲間とおいしい給食を作る事に励んでいるとき（40 代）
・趣味の時間に没頭しているとき、家族で出掛けたり、楽しく時間を過ごしているとき（30 代）
・自分が好きなことをしているとき、子どもが活躍しているとき、おいしいものを食べたとき、きれいなものを見たとき（30 代）
・明るい気持ちになるときを感じることがない（40 代）
・暗い気持ちになる事がほとんどなく、いつも前向きに明るい気持ちでいるので、特に思いあたらない（40 代）
・子どもといるとき（30 代）
・誰かの役に立ったとき、必要とされていると感じたとき、ほめられたとき、子どもが私を思ってくれたとき、子どもが笑っているとき（20 代）
・子どもと一緒に居るとき（20 代）
・子ども達と食事をしたり会話したり笑顔（３人が）のとき（40 代）
・子どもと話しているとき、ごはんを一緒に食べているとき（40 代）
・子どもと食事しながら会話しているとき、子どもと旅行をしているとき（40 代）
・子どもたちが笑顔でいるとき（50 代）
・子どもが手紙をくれたり、わがままを言わず、今の状況を理解してくれているとき（毎日です）（30 代）
・子どもの成長を感じるとき（30 代）
・自分の時間を有効に使えるとき、子どもの成長を感じるとき（40 代）
・仕事がうまくいくとき、子どもと出掛けているとき（30 代）
・子どもと一緒に遊んでいるとき、子どもから手紙を貰ったとき、子どもがご飯を美味しいと食べてくれるとき（30 代）
・休養できたとき、子どもと一緒に笑っているとき（40 代）
・子どもと一緒にいるとき、子どもが満足しているとき（50 代）
・ありません（40 代）
・毎日、健康でいられるとき（30 代）

・子どもが楽しく話をしてくれたとき（40 代）
・中学生、高校生の息子と買い物に行ったり、会話をしながら食事をしているとき（50 代）
・子どもに大好きと言われたとき、沢山子どもと笑ったとき、子どもが喜んでいるとき（20 代）
・子どもの成長（小さいときから家で一人で母の帰宅を待つ時間が長く、しっかり育ってくれるか心配だったが、成長してくれた事）（40 代）
・子どもとすごす時間にゆとりがあって、自分も子どももリラックスして楽しくすごしているとき（30 代）
・友だちと会話をしているとき（40 代）
・子どもが笑ったりしているとき、成長を感じるとき（20 代）
・子どもが毎日学校へ行って、無事に帰ってきたとき、自分が健康で仕事する事が出来ているとき（40 代）
・子どもが協力してくれているとき、友だちと遊ぶとき（30 代）
・子どもと一緒に食事をしているとき（特に外食）（30 代）
・子ども達が楽しそうにしているとき（20 代）
・子どもと一緒に笑っているとき、子どもの成長を感じたとき（30 代）
・子どもと買い物や外食をするとき、子どもと会話するとき、勉強が思うようにできたとき（40 代）
・自分の時間がとれるとき（40 代）
・娘と２人でおでかけできたとき（20 代）
・子どもの生活が充実しているとき（40 代）
・子どもの成長を感じたとき（20 代）
・子どもが笑ってるとき、仕事でつかれているときに、お手伝いしてくれるとき（30 代）
・子どもとご飯を一緒に作っているとき（40 代）
・子どもとまったりしているとき（40 代）
・子どもがうれしそうにしているとき（40 代）
・仕事が楽しいとき（30 代）
・子どもたちと楽しくすごしているとき、友だちとすごしているとき、子どもが優しい子に育ったと感じるとき、自分のした事によって相手が喜んだとき（30 代）
・子どもが笑っているとき、自分がする仕事があること、まわりに心配してくれる人達がいること（40 代）
・子どもが笑っているとき、旅行の事を考えるとき、外食、外出、子の成長（30 代）
・飼い猫がのんびり寝ている姿を見ているとき、時間を気にせずのんびり入浴出来るとき（40 代）
・仕事でお客様に感謝されたり、喜んでもらったり、覚えていただいたとき、子どもが楽しそうにしているとき、笑っているとき（20 代）
・子どもたちと楽しい話題で盛り上がり、笑って会話しているとき（40 代）
・子どもと接しているとき、子どもの成長（30 代）
・家族皆が笑っているとき（30 代）
・子どもと一緒に楽しく話をしているとき（50 代）
・子どもが喜んでいるとき、ありがとうって言われたとき（40 代）
・子どもと出かけたりした時に、子どもと笑いながら、物を選んだり、家にいる時でも常に子どもといるだけで明るい気持ちになります（40 代）
・朝、子どもを起こすとき、夜、子どもの寝顔を見たとき（20 代）
・仕事に順調に行けてるとき（病気やケガなく）、ほめてもらえたとき、感謝されたり人の役に立てたとき、子どもがたくさん話をしてくれてるとき、子どもが元気なとき、子どもが健康でいてくれるとき（40 代）
・仕事をしているとき（40 代）
・子どもの笑顔が見れたとき、子どもが好きなことに打ちこんでいるとき、家族３人で食事ができたとき（40 代）
・仕事が楽しいとき、子どもたちが楽しそうに笑っているとき、天気が良く暖かいとき、体調が良いとき（30 代）

第５章　自由記述

・子どもの笑顔、寝顔（30 代）
・子どもと親子なんですが、友だちみたいに何でも話していいパートナーです（50 代）
・子どもと食事をしているとき、単純な事で明るい気持ちになります（お月さまの光、礼儀正しい子どもを見たとき）、株が上ったとき（50 代）
・子どもが笑っているとき、友だちと話しているとき、仕事が上手くいったとき（30 代）
・子どもが笑っているとき（30 代）
・子どもが楽しそうに話しているとき、仕事で評価されたとき、子どもの成積が上がったとき、一緒に食事できるとき、出かけられるとき（40 代）
・子どもたちの何気ない優しさを感じたとき、みんなで食事をしているとき、友人とでかけるとき、仕事を頑張ったとき（30 代）
・子どもといるとき（40 代）
・衣食住困らず、人並みの毎日を送っているとき、子どもが前向きに生活しているとき（40 代）
・子どもの成長〈大学→就職（息子）、高校→大学（娘）〉（50 代）
・子どもが側にいてくれるとき（50 代）
・とくになし（30 代）
・私自身仕事が忙しくても子どもがはげましてくれねぎらってくれる、生活は厳しいが今の仕事に大変満足している、やりがいある仕事、基本的に毎日が楽しくて幸せです（40 代）
・娘達が笑っているとき（50 代）
・連休前など、すべての用事がかたづいたとき（40 代）
・子どもとおもしろいＴＶを見て、２人で笑っているとき、子どもの寝顔を見るとき（30 代）
・子どもが楽しいと笑っているとき（40 代）
・子ども達が談笑しているのを見ているとき、自分が人の役に立ったとき、スポーツをしながら音楽を聴いているとき（40 代）
・子ども達が仲良く遊んでいるとき、子ども達がすやすや寝ているとき、仕事が順調なとき（30 代）
・美味しいものを食べたとき（40 代）
・子とたくさん会話ができるとき（40 代）
・親しい友人との時間、子どもの笑顔、子どもたちが自分の事で努力しそれが達成できたとき、仕事でお客様に「ありがとう」と言われたとき（30 代）
・仕事がうまくいったとき、子どもと美味しい食事を食べて、たくさん話せたとき（40 代）
・子どもと話をしているとき、気の合う友だちと過ごす時間、母が遊びに来て、皆で食事をするとき（40 代）
・子どもと笑顔で過ごすなんでもない、ありふれた時間（40 代）
・子ども達と楽しく過ごしたとき（40 代）
・時間を思い通りにうまく使えたとき、家事をすべて終えて子どもと心置きなく遊べる時間（30 代）
・子どもと話すとき（40 代）
・子どもが新しく何かできるようになったとき（20 代）
・子どもが笑っているとき（50 代）
・家族で会話をして笑いがあるとき、子どもが喜んでいる姿を見たとき（40 代）
・だれかといるとき（40 代）
・子どもが元気で学校に行くこと（30 代）
・子どもと過ごしているとき（30 代）
・仕事が充実しているとき、子どもが元気よく「いってきます」を言ってくれるとき、子どもが私を元気づけてくれるとき（30 代）
・仕事の滞りがなくなったとき、一人で思いきり散策したとき、子どもと一緒に遊んだとき、好きな人と一緒の時間を過ごしたとき（30 代）

・子どもに感謝の気持ちを言われたとき、子どもの成長を感じたとき、仕事が順調に行ったとき、子どもとテレビを観ているとき（40 代）
・給料日（30 代）
・子どもが何かに意欲的になっているとき、子どもと一緒にがんばれる目標があるとき、努力に見合う結果を得られたとき（40 代）
・子どもの笑顔を見たとき（30 代）
・子どもが回りにほめられたとき、自分が回りにほめられたり感謝されたとき（40 代）
・仕事をしているとき、子どもと話しているとき（30 代）
・家事や仕事を両立する中で仕事でかかわるお客様が子どもに手紙を書いて頂きそのお返事をする内容について、私自身の背中を見てくれていました。忙しい日々ですがそんな私の事を応援してくれる子どもがいて、毎日しあわせな気持ちになっています。（30 代）
・子どもが行きたい道に行く事が出来たとき（50 代）
・趣味で作っている作品ができあがったとき（40 代）
・子どもと一緒に笑えるとき、誰かにありがとうと言ってもらえたとき（40 代）
・子どもの寝顔を見たとき（30 代）
・家に帰って子どもとそろってごはんを食べておしゃべりしているとき（40 代）
・他人と仲良くしているとき、娘や犬と戯れているとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、周りの人が優しいとき（30 代）
・子どもが毎日楽しく学校へ行っているとき、「ありがとう」と言う言葉をもらったとき（30 代）
・子どもが兄妹で仲良く遊んでいるとき、家族４人で夕食をたべているとき（30 代）
・子どもが穏やかで笑ってるとき（30 代）
・子どもとの信頼関係が築けていると感じられるとき（何でも話してくれる）、子どもと一緒に遊ぶことが出来、子どもが喜んでくれるとき（30 代）
・家族３人揃って同じ場所にいるとき（40 代）
・自然の中に居るとき、子どもの笑顔（50 代）
・子どもと居るとき、子どもが笑って話をしているときなど子どもと一緒にできる事ややれる事など（30 代）
・子どもが元気で楽しそうに笑っているとき（30 代）
・仕事がうまくいったとき（人間関係も含め）、子どもが幸せそうなとき（40 代）
・家族みんなで楽しく会話しているとき（40 代）
・町会やＰＴＡに参加してるので色々な人から洋服のおさがりや野菜をもらったりした。母子なので子どもにおこづかいもくれて本当にありがたかった。（40 代）
・子どもが元気に朝〝いってきます〟と学校へ行くとき、親子３人で爆笑してるとき、子どもが友だちと遊んでいるとき（40 代）
・親しい友人と会ったとき、子どもたちがうれしそうにしているとき、子どもたちといるときはいつも（20 代）
・子どもたちが楽しそうにしているとき、子どもたちの寝顔を見たとき、子どもたちの頑張りが結果に結びついたとき（40 代）
・子どもとの会話で、話が通じて盛り上がったとき（40 代）
・子どもが喜んでるとき、笑ってるとき（20 代）
・子どもが楽しそうにしているとき（20 代）
・子どもと一緒に何かをしているとき、仕事がうまくいったとき（40 代）
・子どもとたのしく会話しているとき（50 代）
・仕事してお客様と会話してるとき、子どもとあそんでるとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、好きな本を読んでいるとき（30 代）
・子どもが笑っているとき、楽しい幸せだと実感出来たとき、誰かにほめられたとき（40 代）

・子どもが笑顔でいるとき（40 代）
・ペットと遊ぶとき、スポーツをしているとき（50 代）
・子どもが楽しそうにしているとき、友人とおしゃべりしているとき（食事・お茶など）、おしゃれをしたとき、おいしいものをたべたとき、人に感謝されたとき、人にほめられたとき、仕事がうまくいったとき（30 代）
・子どもがケラケラ笑っているとき、子どもがご飯を美味しそうに食べているとき、友人とリフレッシュしているとき、仕事をしているとき（20 代）
・子どもが保育園のお迎えのとき、笑顔で走ってくれるとき、ママ！大好き！！って毎日抱きついてくれるとき（20 代）
・子どもが楽しそうに学校生活を話しているとき（40 代）
・子どもの笑顔（40 代）
・仕事で認められたとき、子どもといるとき（30 代）
・子どもと過ごしているとき、仕事がうまくいっているとき、友だちと過ごしているとき、好きな場所へ行ったり、好きな物を食べたとき（30 代）
・子どもが笑って、ありがとうと言うときと大好きと言われるとき、寝顔（20 代）
・人に優しくされたとき、仕事がうまくいっているとき、子どもと楽しく過ごしているとき（30 代）
・家族で楽しくしゃべっているとき（40 代）
・友人や子ども達と過ごす時間があるとき、自分の時間を作り気分転換できたとき（40 代）
・友だちと過ごしているとき（30 代）
・子どもと話しているとき（40 代）
・子ども達と居るとき（40 代）
・子どもが笑っているとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、両親が笑っているとき、余裕があるとき（20 代）
・遊び・お出掛けを計画・実行しているとき、子どもとドライブ・ゲームしているとき、子どもが楽しそうに学校・友だちのことを話してるとき、生活品・食料品を大量購入したとき、休日に天気が良いとき（40 代）
・誰かに感謝されたとき、子どもが笑っているとき（40 代）
・娘たちが、仲良く遊んでいるとき、私に甘えてくるとき、家の中をきれいにそうじ出来たとき、栄養バランスの良いごはんが作れたとき（離婚しても、良いお母さんでいられているかだけは不安で、部屋をきれいにして、手作りのごはんをなるべく作っています。娘たちは、いつも仲良くて、本当に助かっています）（30 代）
・子どもが笑ってくれてるとき（30 代）
・仕事場や友人と話をしているとき（40 代）
・子どもが楽しそうに学校の話をするとき、テスト結果が良いとき（40 代）
・楽しい事があったとき（30 代）
・仕事やプライベートが充実しているとき、子どもが大爆笑しているとき、お金（収入）が増えたとき（40 代）
・子どもとの会話（40 代）
・時間に余裕をもって行動できたとき、自分の特技をほめられたとき（30 代）
・普通に生活できて、時間に追われていないとき（40 代）
・子どもが洗たくをしてくれたとき、大きな仕事が成功したとき（50 代）
・子どもと話しているとき、子どもの顔を見ているとき（30 代）
・子どもと一緒にいるとき（20 代）
・親友といるとき、子どもとじゃれてるとき、ごはんをつくってるとき（20 代）
・家族で出かけたとき、家族でおいしい物を食べているとき（40 代）
・子どもと楽しく会話しているとき、料理を作れたとき（40 代）

・手作りで、よろこんでもらったとき（50 代）
・子どもと過ごしているときです（40 代）
・子どもが動物に優しいとき、好きな作者が新刊を出したとき、部屋を片付けられたとき、子どもと話をしていて笑ってるとき（40 代）
・職場環境が良いとき、仕事をミスなくトラブルなく終えたとき、子どもが元気に遊んでいるとき、子どもが大きな悩みがなく友人関係も良好で笑顔でいるとき（40 代）
・子ども達の元気な姿（50 代）
・子どもと良いコミュニケーションがとれたとき、友人と楽しく話をしたとき（30 代）
・大変な時期もありましたが、今は仕事にも恵まれ子どもとの時間も確保できているので、毎日楽しく過ごせています。子どもと過ごしたり、成長を感じると嬉しく思います。仕事もやりがいがあり、会社も評価してくれるので、収入も時間にも満足しています。（現在時短をとり１６：００に終業）（30 代）
・美味しい物を家族と食べたときや一緒にケーキや食事を作ったとき（30 代）
・子どもと遊びに出かけるとき、友だちと会ったとき（30 代）
・仕事が休みで子どもと一緒にいられるとき（40 代）
・今日一日、無事に家族と顔を合わせられたとき（50 代）
・家族全員で大笑いしてるとき（40 代）
・子どもと同じ楽しみがあるので、その時間が明るい気持ちになれます（40 代）
・子どもが成長したのを見れたとき（30 代）
・仕事が軌道に乗りそうなとき（40 代）
・娘と会話をしているとき（40 代）
・子どもや身内、仲の良い友だちと遊んだり話してるとき（30 代）
・職場の人間関係がうまくいってるとき、子どもが笑っているときや「おいしい」と言って食事がすすむとき（30 代）
・子どもの寝顔を見ているとき（30 代）
・子どもに大好きと言われたとき（40 代）
・安く良い物が買えたとき、子ども・親が元気でくらしているとき（30 代）
・子ども達と一緒にすごし、食事したり会話しているとき（50 代）
・子どもと一緒に笑えるとき、自分の趣味で楽しんでいるとき、仕事がうまくまわったとき、ボーナスをもらえたとき（40 代）
・子どもが元気で楽しく生活できているとき、家族で一緒の時間を過ごすとき、友だちと話すとき（30 代）
・子どもが笑っているとき、仕事がうまくいったとき、家事がパーフェクトにできたとき（30 代）
・子どもが帰ってきたとき、ごはんがおいしいっていっぱい食べた話をしたとき（30 代）
・好きなＴＶ番組を見ているとき、おいしい物を食べてるとき、子どもと楽しく会話しているとき（50 代）
・子どもと一緒にいるとき、子どもと寝てるとき（40 代）
・子どもが学校生活を楽しんでいる様子が見れたとき、子どもの成長が見れたとき（40 代）
・子どもと一緒に出かけたり、話をしているとき（30 代）
・仕事の休みの日と子どもの休みの日が合い、話す時間ができたとき、仕事で患者さんに喜んでもらえたとき（40 代）
・子どもが楽しそうにしているとき（40 代）
・子どもと楽しくすごせるとき（40 代）
・給料が入って子どもに食べたいものを買ってあげられるとき（くだものやケーキなど）（30 代）
・子どもと一緒に過ごせているとき、友だちがあいにきてくれるとき、ペットをかっているとき、食事が美味しいとき（30 代）
・子どもをだっこするとき、子どもが笑っているとき、子どものために何かできたとき（30 代）
・子どもと休日お出かけなどをし一緒に過ごすとき、美容室など自分のごほうびをするとき（30 代）

・好きなアイドルを見ているとき、おいしい物を食べているとき、甥や姪と会ったとき（30 代）
・仕事で誰かに感謝されたとき、子どもの進学の問題が解決したとき、子どもが部活動や学校行事等で活躍したとき、誰かに優しく接してもらったとき（40 代）
・子どもとの生活、子どもの存在そのもの（40 代）
・両親の家で家族で御飯を食べているとき、子どもが良い成績を取って来たとき、学校の楽しい話を聞かせてくれたとき（50 代）
・子どもが楽しそうにいっぱい話をしてくれるとき（40 代）
・子どもが笑っているとき（20 代）
・家族と過ごすとき、友人とランチをするとき、仕事をしているとき（40 代）
・子どもが良い成績をとったとき、子どもがほめられたとき、おいしいものを食べたとき（40 代）
・人の気遣いを感じたとき、子ども達が労ってくれるとき（40 代）
・休日、好きな事・やりたかった事をやれたとき、家族で食卓を囲むとき（30 代）
・子どもがサッカーをやっているとき（50 代）
・毎朝、明るい気持ちですごすようにしています（50 代）
・家族みんなで笑っているとき、一家団欒しているとき、孫と遊ぶとき、家族でごはんを食べるとき（40 代）
・子どもたちとうまくいってるときが一番幸せ、友人と話しながら笑っているとき（40 代）
・子どもが楽しそうにしているとき、子どもが優しくしてくれるとき、仕事でホメられたとき、たくさん寝られるとき、休みの日（30 代）
・特になし（40 代）
・子どもと楽しくあそんでいるとき、子どもの成長を感じ、感動したり嬉しくなるとき（20 代）
・子どもに感謝されたとき、他人から子どもをほめてもらったとき（40 代）
・仕事が上手くいったとき、お酒を飲んだとき、好きな人がいるとき、子どもの誕生日やイベント（30 代）
・自由な時間ができたとき、家事が思うように行えたとき、仕事が思うように終わったとき、だれかの役に立てたとき（感謝されたとき）（30 代）
・子どもと仲良くしているとき（40 代）
・子どもが元気で楽しそうにしているとき、会社で必要な人材だと認めてくれるとき、子どもが希望通りの進路に進めるとき（50 代）
・子どもと話をしているときや一緒にでかけたときなど、親子で楽しんでいる時間（40 代）
・家族と日常会話を楽しむとき、子どもの成長を感じる日々、人の役にたてていると感じたとき（40 代）
・仕事で頼りにされたとき、子どもを含めママ友と遊んでるとき（20 代）
・子どもたちの笑顔笑い声、仕事をしていてお客様に喜んでもらえたとき（40 代）
・１週間の仕事が終ったとき、ベッドに休むとき、休日肩の荷がおりるとき、子どもの成績が上がったとき、給料日に何か子どもに買えるかと考えるとき（40 代）
・子ども達と会話し、笑って食事等しているとき、実母・姉妹・親しい友人と話しているとき（40 代）
・子どもと楽しく過ごせる時間があるとき（40 代）
・子どもの寝顔を見たとき、お友だちとお茶しながらお話してるとき（30 代）
・子どもと一緒にいるとき、子どもの顔がみえるとき（30 代）
・今は、特にない（40 代）
・子どもが笑っているとき、子どもが頑張っているとき、仕事で目標達成やみとめられたとき（30 代）
・子どもと一緒に祭りに参加して神輿を担いでいるとき、子どもの寝顔を見たとき、楽しそうに子どもが話をしているとき（50 代）
・子どもが笑っているとき、自分が必要とされたとき、感謝されたとき（40 代）
・仕事・友人関係で充実しているとき（50 代）
・子どもと一緒にいるとき（20 代）
・子どもが機嫌がいいとき（40 代）

・一人でゆっくり散歩など時間がもてるとき、季節の花を見に出かけたとき（60 歳以上）
・自分が係わる人に感謝されたとき（40 代）
・子どもと一緒にいてのんびりしているとき（20 代）
・子どもが元気にしている姿を見ているとき（50 代）
・子どもとふざけているとき（30 代）
・笑顔を見るとき（どんな人のものでも）（30 代）
・子どもたちと笑ってるとき、おいしいごはんを作ってるとき、仕事しているとき（30 代）
・子どもが健康でいるとき、子どもが笑顔でいるとき、床に就くとき（40 代）
・子どもが楽しかった出来事を話してくれたとき、人とうまく会話ができたとき、ごはんが美味しくできたとき（40 代）
・仲の良い友人と会っているとき、好きな音楽をきいているとき、一人で外出しているとき（20 代）
・子どもが元気でいるとき（40 代）
・子どもの笑顔、家族との団らん、穏やかな気持ちで仕事ができているとき（40 代）
・子どもと出掛けたとき、何事もうまくいったとき（50 代）
・子どもたちが一緒に遊んでる姿を見たとき、大勢の人たちと集まるとき（30 代）
・子どもが健康な状態で笑っているとき、成長を感じるとき（40 代）
・子どもと食事に行ったり、２人で出かけたり、うれしそうな顔を見ると幸せだと思います（30 代）
・子どもと話をしてるとき、子どもたちが仲良くしてる姿を見たとき（40 代）
・子どもと笑いながら会話をしているとき（40 代）
・何か買ったとき（30 代）
・子どもが元気で笑っているとき、まわりのみんなが笑ってるとき（30 代）
・朝カーテンを開けて、晴れている日の朝日を浴びるとき、子どもが朝起きて「おはよう」と元気に言ってくれるとき（30 代）
・子どもが笑っているとき、これだけです（50 代）
・子どもと過ごす時間、人に親切にできたとき、料理が上手くできたとき（20 代）
・子どものがんばっている姿、友人と会うとき、子どもの成長を感じるとき（40 代）
・自分の好きなテレビを１人で見ているとき（40 代）
・子どもが楽しそうなとき、頑張ってるとき（40 代）
・子どもと笑っているとき、寝顔を見ているとき（40 代）
・仕事で感謝されたとき、子どもがよろこんでるとき、子どもが頑張ってるとき（30 代）
・子どもと遊んだり手作りのお菓子や手芸をしているとき、子どもが折り紙や絵手紙を書いてプレゼントしてくれるとき（40 代）
・子の努力が実ったとき（40 代）
・子どもが楽しそうに踊ったり歌ったり笑っているとき、たくさんお話をしてくれるとき（20 代）
・子どもが、苦しい家計の中でも優しい子に育ち、そんな状況を理解してくれているとき（20 代）
・子ども達と楽しくおしゃべりして笑っているとき、部活の大会の結果が良かったとき、子ども達が楽しそうなとき、学校の出来事を聞くとき（30 代）
・家族との会話の中で笑いが出るとき（40 代）
・子どもや家族と話すとき、婚約者との時間、音楽を聞くとき、子どもと外出（40 代）
・子どもが前向きに頑張っているとき、笑っているとき（40 代）
・子どもたちが何事もなく 1 日楽しくできたとき（40 代）
・子どもが順調に学校に通っているとき、孫が遊びにきたとき（50 代）
・やるべきことがやれたとき（40 代）
・子どもとダンスをしているとき、１人でひといきできるとき（30 代）
・子どもと会話しているとき（40 代）

第５章　自由記述

・子どもと一緒に遊んでいて、ママありがとう！！と喜んでもらえるとき（30 代）
・子どもと“経験”を共有したとき、子どもの成長を感じるとき、職場の利用者が楽しそうなとき（50 代）
・子どもが楽しそうにしてるとき、友だちと笑いあってるとき（30 代）
・何事もなく１日スムーズに過ごせたとき（50 代）
・美しい景色を見たとき、子どもと同じときに同じ物を見て大笑いしたとき（40 代）
・子どもと一緒にいるとき（30 代）
・誰かに感謝されたとき、子どもが笑っているとき（40 代）
・誰かに感謝されたとき、子どもが笑っているとき、友だちといるとき、家族と笑っているとき、自分が役に立つとき（20 代）
・子どもが学校での出来事を楽しそうに話してくれるとき、体調が安定しているとき（40 代）
・子どもたちと楽しく過ごしているとき（40 代）
・子どもが学校での出来事を話してくれるとき、職場で感謝されたとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、自分が笑っているとき、人に感謝されたとき、お金がたくさんあったとき（40 代）
・子どもや友人とでかけたり、楽しんでいるとき（40 代）
・ほめられたとき、赤ちゃんや子どもをみたとき、一生懸命な人を見たとき、気遣いが出来る人に会ったとき（40 代）
・なし（40 代）
・子どもが幸せそうにしているとき（50 代）
・子どもとテレビを見ていて、同じ所で２人で大笑いしているとき（40 代）
・みんなが協力してくれるとき（40 代）
・家族がそろい、子どもたちの笑い声がきこえているとき、信頼できる友だちと食事をしているとき（40 代）
・友人と会っているとき、子どもとあそんでいるとき（40 代）
・子どもの成績が上がったとき（60 歳以上）
・子どもと遊んでいるとき、話しているとき（20 代）
・子どもと笑えたとき（30 代）
・思いつきません（40 代）
・誰かに感謝されたとき、子どもが楽しそうにしているとき（50 代）
・子どもと楽しい時間をすごしているとき、友人と会うとき（60 歳以上）
・子どもが元気に学校へ行き、夕方一緒に食事をするとき、仕事が順調に回っているとき（40 代）
・おいしい物を食べてるとき（40 代）
・子どもと楽しい時間をすごしているとき、自分が必要とされているとき（30 代）
・子どもががんばっているとき、仕事がうまくいったとき（50 代）
・誰かにと子どもに感謝されたとき、子どもが笑っているとき（50 代）
・子どもの成績が上がったとき、少しお金に余裕を持てた月など（50 代）
・子ども２人が明るく、笑っている姿を見ているとき（30 代）
・月一回か二回ゴルフで発散してるとき（40 代）
・子どもたちと日常的な会話をしているとき、学校でのこと・友だちとのこと・テストのこと何でも、色々楽しいこと・嫌だったことを話してくれるとき、子どもたちと会話が増えたと実感しているとき（40 代）
・人にやさしくされたとき（30 代）
・子どもが楽しく学校へ行けて、お友だちと楽しく遊んだ事を報告してくれているとき、学校の宿題をやっていたり、みずから考え工作などをして遊んでいたりするとき、子どもが歌をうたいながら楽しそうにしているとき、子どもが「おかあさん」と呼ぶとき、私の体調が良いとき、私の母の体調や機嫌が良いとき（40 代）
・子どもの成長を感じたとき（40 代）

・人の役に立ったとき、子どもがいきいきとしているとき、保育園・学校から認められたとき（40 代）
・子どもの成績が良かったとき、子どもの友だち関係が良好なとき（50 代）
・好きな音楽などを聴いたとき（50 代）
・みんなが笑顔でいるとき（40 代）
・金銭的に余裕があるとき、不安がないとき（40 代）
・仕事をしてるとき、子どもと一緒にいるとき、おいしいものを子どもと食べてるとき（40 代）
・いつも元気よく明るいです（30 代）
・子どもと一緒に遊んでいるとき、子どもが嬉しそう・楽しそうにしているとき（40 代）
・子どもがよろこんだりわらっているとき、子どものとなりで 1 日がおわるとき、寝る手前のとき（30 代）
・子どもがげんきでたのしくくらしているとき（40 代）
・仕事がうまく行ったとき、子どもの笑顔を見たとき、給料をもらったとき（40 代）
・家族みんなが楽しそうなとき、家族みんなが笑っているとき、みんなで囲む食卓、たまの遠出、仕事中の利用者様との触れ合い（30 代）
・子どもが笑っているとき、子どもと一緒にあそんでいるとき（30 代）
・誰かに感謝されたとき、子どもが笑っているとき（40 代）
・子どもが元気に明るく笑っているとき、学校に行って帰って来たとき、「楽しかったー」と笑っているとき、子どもが「おいしい、おいしい」と言いながら、ご飯をいっぱい食べてくれてるとき（40 代）
・家族と一緒にご飯を食べているとき、ささいなことでも笑って過ごしているとき（50 代）
・子どもと過ごしているとき、子どもがうれしそうにしているとき、友だちと話しているとき（30 代）
・子どもが笑っているとき、立った・歯が生えたなど成長が見られたとき（30 代）
・子どもと楽しく遊んでいるとき（一緒に何かをしているとき）、自分の好きなことをしているとき（30 代）
・子どもと楽しく話したとき、旅行の計画など何か楽しみな予定を立てるとき、お酒を笑いながら飲めるとき（40 代）
・１日のんびりできたとき（30 代）
・子どもがほめられたとき、子どもが意欲的に生活しているとき、がんばっているとき、笑っているとき、歌番組をみて一緒に歌っているとき（40 代）
・リフレッシュできたとき、ゆっくりすごしたとき（30 代）
・子どもとの会話がはずむとき、人との関係がうまくいっているとき、子どもの頑張っている姿がみれたとき（40 代）
・私の誕生日などに手紙を書いてくれたとき、学校のテストで１００点を取ったときなど（30 代）
・子ども達と楽しくしゃべっているとき、友だちと会ってるとき（40 代）
・子ども達と話をして一緒に笑っているとき、給料がいつもより多かったとき、１日が無事に過ごせたとき、おいしいものを皆で食べられたとき（外食などで）（40 代）
・子どもたちと笑いながら、仲良く話してるとき（40 代）
・姉妹仲良く遊んでいるとき（20 代）
・家でみんなでテレビを見て笑うとき（40 代）
・子どもが楽しそうに話をしているとき（40 代）
・子どもと遊びに行ったり、一緒に遊んでいるとき（30 代）
・子どもが、好きな事ができて楽しくしているとき、がんばった成果がでたとき（40 代）
・楽しく食事しながら、子どもが私の作った料理をおいしく食べてくれるとき、仕事で感謝されたとき（40 代）
・誰かに感謝されたとき、子どもが笑っているとき、子どもが家事をやってくれていたとき、誰かが笑ってくれたとき（近所の人・スーパーのレジの人ｅｔｃ）（50 代）
・子どもが元気でいる事（40 代）
・子どもと一緒に遊んでいるとき（20 代）

第５章　自由記述

・なし（50 代）
・家族で食事をしているとき（40 代）
・子どもたちの表情が明るいとき、金銭面で余裕が出たとき、仕事が上手くいっているとき（40 代）
・子どもと沢山会話して、思いきり笑ったとき（40 代）
・思春期でドライな娘とたまに大笑いできるとき、仕事が楽しくやりがいを感じるとき（30 代）
・１日、何もおこらないとき、仕事が無事に終ったとき（40 代）
・子どもと楽しい時間を共有出来たとき、子どもが楽しそうなとき（30 代）
・子どもがほめられたとき（40 代）
・仕事がうまくいって充実しているとき（上司に認めてもらえたり）、子どもが笑顔でいてくれるとき（50 代）
・子どもと楽しい時間を過ごしているとき、友だちと会っているとき、自分の時間を持てるとき（40 代）
・なし（40 代）
・試験合格など、子どもが達成できたとき（40 代）
・子どもが笑顔で学校から帰ってきたとき、子どもがサプライズ「ありがとう」の言葉をくれたとき（40 代）
・子ども達と笑いながら、食事したりおしゃべりしたり、４人揃って写真を撮ったりするとき、子どもをほめられたとき（40 代）
・急に子どもが「ママだーいすきっ」と抱きついてくれたとき（30 代）
・まとまった休みがとれて、ゆっくりできたとき（１時間いくらで働いているため、休むと給料が減ってしまうと思うので、なかなか休めないため）（40 代）
・ヨガをしているとき（40 代）
・利用者さんと気持ちがわかりあえたとき（介護の仕事なので）（40 代）
・職場で楽しく働けているとき、誰かに必要とされていると感じるとき、やせたとき、おいしいものを食べてるとき、好きな音楽をきいてるとき（30 代）
・おいしい食事をしているとき、子どもとお出かけしているとき、子どもとテレビを見ているとき、子どもが楽しく笑っているとき（50 代）
・親子仲良く暮らせること（40 代）
・仕事をしているとき、仕事で接客しているとき、実家で家族と会話しているとき（30 代）
・子どもが笑っているとき、ママって呼ぶとき、一緒に寝るとき（20 代）
・子ども達が笑顔で登校するとき、学校生活が充実している様子が伺えるとき、学生時代の友人や仕事仲間とたわいもない話をしているとき（40 代）
・子どもが好きなことができたり、勉強やスポーツでいい結果を残して生き生きしているとき（40 代）
・仕事から帰ってきてホッとしたとき、子どもが家に帰ってきたとき（30 代）
・どんな内容でも子どもと話をしているとき（40 代）
・仕事から帰って子どもが「おかえり！」と言ってくれるとき、休みの日にゆっくりしているとき（40 代）
・子どもと一緒にいるとき（40 代）
・特にない（40 代）
・子どもとあそべたとき、仕事がうまくいったとき、子どもとごはんを食べてるとき（30 代）
・子どもがうれしそうにしてるとき（30 代）
・子どもと一緒に笑えてるとき（30 代）
・子どもが幸せそうなとき、外食したとき（30 代）
・子どもが笑顔のとき（40 代）
・子どもの頑張りが実ったとき（40 代）
・子どもとふれ合うと幸せな気持ちになる。ずっと抱きしめていたい。（20 代）
・子どもと楽しく過ごしているとき、友人と遊んでいるとき、子どもが何かやりとげたとき（30 代）
・友人と旅行しているとき（40 代）

・仕事が土・日休みのとき（土日は月に２回しか休めない為）、子どもと映画に行ったとき（40 代）
・お客様にあなたのおかげと言われたときが一番うれしい、つかれて帰って来たときに子ども達がママお疲れ様と声をかけてくれて、ご飯を出してくれるとき（40 代）
・子どもと笑っていられるとき、天気が良くて気持ちがいいとき（30 代）
・子どもが笑って話しているとき（40 代）
・子どもと出かけておいしいものをたべて笑っているとき（20 代）
・子どもの笑顔・寝顔を見ているとき（20 代）
・家族全員が健康でいるとき、休日たまに自分の時間がもてるとき（外出等）（50 代）
・臨時収入があったとき（40 代）
・子どもと一緒にいられる休日、子どもの成長、できることが増えたとき（40 代）
・一日の仕事をおえて、子どもとすごすとき（30 代）
・職場や知人にほめられたとき、職場や知人に感謝されたとき、子どもの笑顔を見たとき、子どもと一緒に過ごすとき（休日）（20 代）
・子ども２人と夕食を食べているとき、子どもに手紙をもらったとき、親友と話しているとき（40 代）
・子どもと一緒にすごしているとき、友人とあうとき、会社で認められたとき、おでかけして楽しんでいるとき（40 代）
・入院中の母の具合が良いとき、子どもがテストで頑張ったとき（40 代）
・子どもが楽しそうにしているとき、友だちと会っているとき、おいしいものを食べているとき（40 代）
・子どもと話をしているとき（40 代）
・子どもが楽しそうにしているとき、仕事で子ども達の笑顔に接しているとき、誰かの笑顔を見たとき、子どもが甘えて来たとき（40 代）
・子どもが笑顔になるとき、お友だちやママたちと一緒のイベントや集まりがあるとき、仕事がうまく進むとき、子どもの祖父母やおじさん・遠くに居んでいる親族があつまりにぎやかに過ごせるとき（30 代）
・給料日（30 代）
・子どもの頑張ってる姿を見てるとき、子どもが沢山お話してくれたとき（30 代）
・悩んでいたことを相談して解決できたとき（50 代）
・子どもと出かけてるとき、子どもが楽しそうなとき、一緒にお風呂に入っているとき（20 代）
・子どもが頼ってくれるとき、子どもが楽しそうにしているとき、子どもが喜んでくれたとき、子どもが私を必要としてくれたとき、他人が私を必要としてくれたとき（40 代）
・子ども達が仲良くしているとき、何かの役に立てたと思えたとき（40 代）
・仕事から帰って、子どもが笑顔でおかえりなさ～い！と言ってくれるとき、一緒においしいものを食べたとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、自分にいい事があったとき（20 代）
・仕事先での人間関係が良好なこと、子どもが健康で食卓を囲めるとき（50 代）
・子どもが甘えてくれるとき、一人で出かけるとき（20 代）
・子どもの楽しそうな顔を見たとき、成長を感じたとき（20 代）
・子どもが将来の話を楽しそうに話すとき、夕食のときの会話（40 代）
・たまにムリヤリあげる（40 代）
・子どもの成長を感じたとき（40 代）
・少しの時間で子どもとふざけてるとき（50 代）
・子どもとあそんだり、ふざけあっているとき、好きなアーティストの歌を聞いているとき（30 代）
・子どもと会話をしていて、互いに笑顔でいられるとき（40 代）
・子ども達が元気でいてくれるとき、話をたくさんしてくれるとき、（子どもが）まわりからほめられているとき、職場の友人といるとき（40 代）
・家族でたわいもない話で楽しんでいるとき（40 代）

第５章　自由記述

・仕事してるとき、子どもが楽しんでるとき（40 代）
・子どもが楽しそうなとき、お金が入金されたとき、会いたい人に会える・連絡をとりたい人に連絡がとれるなど、人とのつながりが感じられたとき（40 代）
・子どもが試合で勝ったとき（40 代）
・子どもが楽しそうに毎日をすごしているとき、友だちに「頑張っているネ」と言われたとき（40 代）
・仕事が順調なとき、子どもも頑張っているとわかるとき、仕事関連のお客様がとても喜んでくれるとき、父が健康でいてくれ労いのことばをかけてくれるとき（50 代）
・子どもが元気なとき（30 代）
・子どもと笑ったり外食したとき（50 代）
・金銭にゆとりがあるとき（40 代）
・子どもの笑顔、自分の病気が少しよくなったとき（40 代）
・子どもと一緒に大笑いしてるとき、子どもが家の手伝いをしてくれるとき、職場の人と共通のグチを言ってるとき、職場で感謝されたとき（30 代）
・親しい友人達と会って話してるとき、子ども達とふざけたり、あそんだりしてるとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、親・兄弟・子どもと楽しく過ごしているとき（20 代）
・娘と一緒に遊びゲラゲラ大笑いしてるとき、園での行事で成長を感じるとき（20 代）
・子どもの成績が良かったとき、学校で賞をとったり、良い事があったとき、休日の前日、仕事が楽しいとき、職場の友人と出掛けたとき（30 代）
・２人の子どもが仲良くしているのを見てるとき（30 代）
・子どもと一緒に散歩をしているとき（40 代）
・人と話をするとき（40 代）
・子どもと楽しく過ごせていると感じたとき、お金の心配がないとき（40 代）
・子どもも男の子で１７才なので、あまり会話がなく、久々に話ができたときです（50 代）
・子どもがいろいろな話を聞かせてくれたとき（40 代）
・子どもが楽しそうに笑っているとき（20 代）
・子ども達と思いきり遊んでいるとき、誰かにほめられたり必要とされたとき、美しい物を見たり造り出せたとき、子ども達とおいしい食事をしたとき（30 代）
・子どもが幼稚園の行事でがんばっていたり、子どもと２人で笑って話ができるとき（歌も一緒にうたったり）（30 代）
・仕事で感謝されるとき、子どもがいろいろな話をしてくれるとき、友人と話をしているとき（40 代）
・子どもと２人で笑っているとき、仕事で感謝されたとき、自分の思っていた事が実現できたとき（30 代）
・子どもと楽しく、笑顔が沢山あり、お互の心と体（体調）が良いときが一番、特に子どもが元気な笑顔を見るとき（40 代）
・子どもが毎日何事もなく元気で過ごしている所を見るとホッとした感じになります（50 代）
・友人と話しているとき、家族と過ごす時間（40 代）
・信頼できる人と一緒にいるとき、仕事をしているとき（40 代）
・子どもが笑って元気に過ごしているとき（30 代）
・子どもと一緒に笑っているとき（30 代）
・子どもと一緒に遊んでいるとき（20 代）
・子どもの日々の成長を感じるとき、子どもと一緒にすごしているとき、仕事でお客様によろこばれたとき（40 代）
・子どもが色々と報告してくれたとき（「例えば…テスト１００点だったよ」・「例えば…お弁当おいしかったよ！」など）、お金に余裕があるとき…（あまりありませんが…）（40 代）
・頼られたとき、努力を認められたとき（50 代）

・感謝されたとき、子どもの寝顔を見たとき、共有・共感できたとき、物事が順調に進むとき、自然に触れたとき（40 代）
・仕事で頑張ったとき（達成したとき）（40 代）
・子どもたちと遊んでるとき、友人と話すとき、おいしい物を食べたとき（30 代）
・子ども達が自分のあった出来事などを話してくれたり、テレビを見ながら一緒に歌っているとき、夕食時にみんなでおいしいネってテーブルをかこめるとき（50 代）
・仕事も含めて生活が充実しているとき、笑顔で話せるとき（50 代）
・感謝されたとき、子どもと一緒に楽しんでいるとき（40 代）
・子どもが楽しそうに笑っているとき、おいしい物を食べたり家族や大切な人と出掛けたりしたとき（30 代）
・晴れの日に子どもと公園に行くとき（20 代）
・収入が安定しているとき（契約が取れて）（40 代）
・子どもたちと話しているとき（40 代）
・毎日子どもの笑顔を見れているとき、子どもにママの笑ってる顔が大好きと言われたとき！！（30 代）
・子どもや仕事場の人達と楽しく話しているとき（40 代）
・子どもの寝顔をみているとき、食べたいときに食べたいものを食べたいだけ、食べているとき、仲の良い友人とあそんでいるとき（20 代）
・旅行に行ったり、出かけて遊んでいるとき（40 代）
・出かけるとき（20 代）
・子どもと遊んでいるとき（20 代）
・仕事で、ご利用者さんとに感謝されたとき（40 代）
・子どもが学校行事や部活で活躍しているとき、仕事がうまく仕上がったとき（50 代）
・娘が笑って楽しそうに学校や友だちの事を話しているとき（40 代）
・子どもと一緒に楽しい気持ちで過ごすとき（40 代）
・子どもたちと居る毎日（20 代）
・子どもが、出来なかったことが出来たとき（30 代）
・子どもの目標が出来たとき（50 代）
・子どもが楽しいとわかるとき（40 代）
・自分も子どもも体調が良いとき（40 代）
・子どもとたわいもない話をしたり、食事をするときなど（40 代）
・子どもの笑顔、友人と話してるとき（20 代）
・子どもの頑張っている姿を見たとき（40 代）
・子どもが大きい為、家族全員で食事が出来る時、友だちと会ったとき（40 代）
・子どもと過す時間、寝顔（30 代）
・子どもの成長を感じたとき（30 代）
・猫といるとき、趣味をしているとき（50 代）
・子どもと出かけているとき、おいしいものを食べているとき（40 代）
・子どもが笑ってるとき（50 代）
・子どもの笑顔を見たとき（30 代）
・子どもとおいしい物を食べてるとき（40 代）
・一人静かに読書（40 代）
・子どもとコミニケーションをとるとき（50 代）
・子どもとじゃれてるとき、楽しそうな顔を見るとき（30 代）
・子どもと笑って楽しくすごしているとき、友だちが出産などをしたとき（20 代）
・子どもと話しているとき（40 代）
・子どもが楽しそうにしているとき、おいしいものを食べているとき（30 代）

・仕事をしているとき、誰かに感謝されるとき、誰かに頼られるとき、子どもが学校でほめられ笑顔で話をしてくれるとき、子どもと出掛けるとき（30 代）
・子どもと仲良く話しているとき（40 代）
・友だちに会っているとき（40 代）
・子どもと色々なことを共感したり、共有したり…一緒に笑い合えるとき、気の許せる友人と会っているとき、美味しいものを食べているとき（30 代）
・家族で笑ってるとき、仕事がスムーズにいったとき（40 代）
・子どもが笑ってるとき、学校で楽しく過ごした話を聞いたとき（50 代）
・子ども達と一緒にいるとき（40 代）
・真っ青に晴れた空を見上げたとき（20 代）
・子どもが喜んでいるとき（30 代）
・子どもが楽しそうにしているとき（40 代）
・子どもとお出掛けしているとき、子どもと学校での出来事を話しているとき（40 代）
・子どもが楽しそうに話をしてくれるとき、楽しい食事のとき（40 代）
・自分の親が病気せず、元気で笑ってるとき、子どもとふざけて笑ったり、色々話をしたりするとき（40 代）
・子どもと楽しく過ごせたとき、友人に会ったとき、趣味の時間（40 代）
・毎日子どもとハグをしているとき、お手伝いをしてくれたとき、笑顔、手をつないでいるとき（30 代）
・子どもと一緒にいるとき（20 代）
・何事もなく平和なときもあるので、そんなときは過去の日々とくらべたら、今は幸福だと思えます（40 代）
・小さな子や動物にふれているとき（40 代）
・子どもと楽しく休日を過ごせたとき（30 代）
・友だちと遊んでいるとき（30 代）
・仲の良い友人と会っているとき、音楽を聞きながら家事をしているとき、子どもがケンカせず楽しそうに遊んでいるとき、親と子どもと皆でごはんを食べているとき（30 代）
・久しぶりの外食（40 代）
・子どもと一緒におなかが痛くなるくらい笑ったとき（30 代）
・子ども達が笑っているとき、頑張って勉強をしている横顔を見てるとき、子ども達４人で一緒に居るとき（50 代）
・子どもとゆっくり過ごせる時間があるとき、子どもが笑っているとき、友人と会っているとき（40 代）
・誰かに話を聞いてもらっているとき、子どものきげんが良いとき（40 代）
・子どもが学校生活・習い事など、必死に頑張る姿を目にしたとき（30 代）
・子どもの成長（40 代）
・子どもに「頑張ってるね！ありがとう！」と言われたとき（40 代）
・子どもの笑顔、家族の健康（あたりまえの毎日）（40 代）
・ぐっすり眠る娘を見たとき（20 代）
・娘が一緒に過ごす時間にとてもうれしそうな笑顔をみせてくれるとき（40 代）
・仕事を任されてうまくいったとき、職場仲間とおしゃべりするとき、息子と同じ趣味の話をするとき、動物を見たとき（30 代）
・仕事で疲れて帰ってきたときに、子どもたちが「おかえり」と言ってくれるとき（40 代）
・子どもと一緒に笑える時間が出来たとき、お金に余裕があるとき、誰かと遊ぶ時間が出来たりどこかに出かけたとき（30 代）
・仕事でお礼を言われたとき（30 代）
・子どもと楽しくすごせたとき、仕事がうまくいったとき（30 代）
・子どもが楽しそうにしてるとき、おいしそうにごはんを食べるとき、子どもも一緒におふろでリラックスしてるとき（20 代）

・自分以外の家族・友人・会社の仲間に笑顔がみれたとき、仕事がうまくいったとき、心身健康なとき（40代）
・今日一日が終るとき（40代）
・子どもが笑ってるとき、楽しそうなとき（30代）
・子どもと口論になっても、最後には笑っていてくれること（30代）
・家庭内で明るい笑顔があふれているとき（50代）
・子どもと過ごす時間、友人に会ったり、コンサートに行く時間ができたりするとき（40代）
・仕事で成果が出たとき、子どもに支えてもらっているとき、子どもと遊んでいて一緒に笑っているとき（30代）
・子どもが笑ってるとき（40代）
・趣味を楽しめているとき、仕事などで達成感を得られたとき、周りが楽しめたり笑顔になれているとき（40代）
・子ども達が楽しそうにしているとき（20代）
・子どもの成長を感じたとき（30代）
・子どもとふざけあっているとき、友だちと会っているとき（30代）
・子どもと外出しているとき、大勢で食事をしているとき、ＰＴＡの活動に参加しているとき（30代）
・子ども達と話しながら笑えてるとき、天気が良いとき、桜を見てるとき、赤ちゃんの動画を見てるとき（40代）
・子どもの寝顔を見てるとき、子どもが「ママ大好き」や「ありがとう」などの言葉を言ってくれるとき、仕事で成果が出せたとき（30代）
・子どもたちが一生懸命な顔でいるとき！！（30代）
・１日休みが取れて子どもと出掛けてるとき、１人の時間が取れたとき、仕事がうまくいったとき（20代）
・子どもが生きててたのしい・学校たのしいと前向きなとき、人と共感出来たとき、今幸せと前向きになれたとき（30代）
・友だちと会うとき（40代）
・子どもが楽しそうにしているとき、笑っているとき（20代）
・今は子ども達も大きくなったので、昔はよく思ったのが、保育園での発表会や運動会で楽しそうに頑張ってる姿に泣いた事もあります。今は私の体調が悪くなったとき、子ども達がよく家のことや私の事を心配し、動いてくれる事がうれしいです。（50代）
・子どもが保育園で新しい童謡をおぼえてきて、家で一生懸命歌ってくれたときや、週末、よく遊ぶ友だちと大きい公園などに行って、とっても楽しそうに遊んでいるのを見てるとき（20代）
・子どもが笑っているとき、仕事をしているとき（60歳以上）
・お友だちやママ友と話をしてるとき、子どもが自分から色々やってくれたとき（40代）
・体調が良いとき（40代）
・疲れて帰ったとき、子どもの笑顔が一番の活力です。誰の為に働いているのか子どもを守る為に働いているのだから、頑張れます。（50代）
・子どもと一緒にあそんだとき（30代）
・皆で楽しく病気せず、元気なとき（40代）
・子どもとたわいもない会話をし、時間を共にゆっくり過ごせているとき（30代）
・子どもが未来に向って生きているとき（50代）
・子どもと過ごす時間全て（30代）
・給料日、仕事の休みの前（30代）
・子どもと一緒に笑っているとき、仕事で認められたとき、料理が美味しく出来たとき、子どもが学校や友だちの話をたくさんしてくれたとき（40代）

第５章　自由記述

・子どもが何かを達成して喜んでいるとき、子どもの成長を感じたとき、誰かに感謝されたとき、誰かに必要とされたとき（30 代）
・子どもとの時間（支援児なので小さな事が私には大きな事です）（30 代）
・子どもが楽しそうにしてるとき（30 代）
・子どもたちの成長を感じたとき、人に必要とされている事を感じられたとき（40 代）
・子どもが学校の話をしてくれるとき（50 代）
・何も言わなくても、自分のやらなければいけない事を子どもがしてくれるとき、好きなテレビを見ているとき（40 代）
・子どもがＴＶなどを見て大笑いしているとき（基本、昨年あたりから体調不良の為、心の奥から明るい気持ちなれたと思った事はない）（50 代）
・誰かに助けられるとき、誰かを助けるとき（40 代）

【つらい気持ちになるとき】

・体調が悪くても働かなきゃいけないとき（30 代）
・仕事で成績がだせないとき、家族連れや父親と子どもだけで歩いている姿を見ると自分の子どもに対して父親いなくてごめんねと思う（20 代）
・子どもと祖母が仲良く過ごせていないとき（40 代）
・会わせてあげられないわけじゃないけど、子どもがパパに会いたいことを突然訴えかけてきたとき、支払いが多くて仕事がかえられないと思うとき（30 代）
・仕事も含め人間関係が上手くいかないとき、他人から嫌な事をされたとき（40 代）
・子どもとけんかしたとき（30 代）
・仕事がうまくいかないとき（30 代）
・子どもが熱で仕事にいけずいつクビになるかと思うとき、給料がへるとき（30 代）
・仕事がうまくすすまないとき、仕事がたくさんたまっているとき（30 代）
・子どものぐずりがひどくかんしゃくをおこしたとき（30 代）
・金せん面で（20 代）
・仕事で失敗、子どもの学費の工面、ふと老後を考えたとき（金銭面）（40 代）
・自分の思い通りにいかないとき（40 代）
・世の中の一人親世帯が貧困だと言われているのに国がただちに改善してくれないことを思うとき、ニュースで母子が貧困を理由に心中したとか聞いたとき（30 代）
・子どもの学費負担額が収入に対して大きく、生活費が足りないとき、自分の老後（貯金がない）を考えるとき、ローンの返済を考えるとき（40 代）
・仕事でミスをしたとき（40 代）
・１人のとき（40 代）
・子どもの反抗期、子どもの進学で行きたい所に行かせられないとき、欲しい物が買えないとき、将来の生活を考えたとき（40 代）
・傷病により体が不自由だが、職場復帰早めにとの連絡が来る度（40 代）
・今は特に良くないときだからか、明るい気持ちになるとき以外の全てのとき（40 代）
・自分の気持ちが相手に上手く伝わらない（共感してもらえない）とき（30 代）
・全ての“判断すること”を１人でやらなければ（考えなければ）ならないという場面に逢うとき、物が壊れたとき、「修理する人がいてくれたら」とか「修理する業者を選択することに時間を費やさなければならない」とき、苦手な上司（職場）から、できないことを責めたてられるとき、これから子どもたちが独立してからのことを思うとき、公的手当が減るこれからを思うとき（50 代）
・仕事で失敗したとき、子どもが学校でおこられたとき（50 代）
・お金が足りないとき、十分に生活できないとき（40 代）
・親族・身内からの嫌がらせ（40 代）
・この先、子ども達が独立して孤独になること（50 代）
・老後の事を考えたとき、両親が病気のとき、ボーナスがもらえないとき、時間の余裕がなくて疲れきっているとき（40 代）
・仕事に追われ子どもにガマンをさせているとき、子どもが親に心配かけないようにと考えて行動するとき（30 代）
・仕事でミスしたとき、子どもが友だちともめ事をし、正しい道を自分でみつけられなかったとき（30 代）
・子どもの将来を考えたとき（たまに）（20 代）
・経済的な事を考えるとき（50 代）
・楽しそうな家族をみると子ども達への罪悪感に押しつぶされそうになる（50 代）
・生活がくるしいとき、子どもが悩んでいるとき、家族の具合が悪いとき（40 代）
・自分の時間がもてないくらい、いろいろな事におわれる事が数日間続いたとき（30 代）

・学校の事でなやんでるとき（40 代）
・仕事で部下が失敗し責任を取るとき（30 代）
・やりたい事ができないとき（40 代）
・常に気持ちをポジティブにと思っているので、辛いとは余り思わないです（40 代）
・生理前で体調を崩したりイライラするとき（30 代）
・体調がものすごく悪いとき、周囲に１人親だと気づかれないようにしているとき、子どもに対してイライラした後反省するとき、将来のお金の心配をするとき、子どもに欲しいものをがまんさせすぎているとき（30 代）
・仕事で失敗したとき、親の病気の事を考えたとき、子どもが言うことをきかないとき、子どもがうそをついて、だましてきたとき、子どもに父親と兄弟がいないこと（50 代）
・子どもが嫌な思いをしているとき、一人で決断しなければならないとき（40 代）
・学校で先生がきちんと対処してくれずに嫌な気持ちを引きずっているとき、子どもが友だちからイヤなことをされ、先生に相談できなかったときの表情や態度を見たとき（30 代）
・体調不良（50 代）
・親ににらまれたりするとき、お金がなくなったとき、子どもが言うことを聞かず思いどおりにならないとき（20 代）
・家がせまいので、子どもが友人を連れてくることができないとき、お風呂のおいだき機能がないので寒い冬も全員がまんしてシャワーをあびるとき（40 代）
・予定通りに物事が進まないとき、子どもが全く言うことをきかないとき（30 代）
・孤独を感じたとき、病気のとき、ケンカをしたとき（30 代）
・フルタイムの仕事をしているので時間に余裕がなく、子どもとゆっくり会話ができない。子どもが買った食べ物や外食ばかりしたがる。（40 代）
・子どもとのコミュニケーションが上手くいかないときは、辛いな…と思ったりします（40 代）
・子どもを怒ったとき（30 代）
・自分には頼れる親族がいないと実感するとき、自分の親に拒絶されたとき、子育てと仕事の両立が上手くいかないとき（子どもの体調不良で会社を早退・欠勤するとき、どちらの面でも焦ってしまう）（20 代）
・連休時などで金銭的余裕が無く、子どもに悲しい思いをさせてしまっているとき（20 代）
・３人でケンカしたり大声でどなりあったりしているとき（40 代）
・育児で悩みがあるとき（40 代）
・仕事仕事仕事で家の事が満足に出来ないこと、食事をきちんと作る時間がなく出来合いを買わざるを得ないとき、仕事で子ども達との時間を作れないとき、亡くなった主人を思い出すとき（40 代）
・子どもが不安になっているとき（50 代）
・子どもが学校での悩みを言うとき、子どもがケガをしたり病気になるとき（30 代）
・将来のことを考えるとき、ひとりを感じるとき（30 代）
・仕事でミスをしたとき（40 代）
・仕事で嫌な思いをしたとき、友だち関係（30 代）
・自分が病気や事故で働けなくなったり、死んでしまったらと考えてしまうとき、子どもが友だちにケガをさせてしまったとき（30 代）
・反抗期の子どもとケンカしたとき、仕事で疲れたとき、上司に注意されたり、家でも仕事をしなくてはならないとき（40 代）
・元夫のいやがらせにあうとき、子どもに必要な物を与えられないとき（50 代）
・仕事の不安定さ、労働時間が長くてつかれきったとき、孤独をかんじるとき、お金がないと実感するとき（40 代）
・夫の死を思い出すとき（30 代）
・子どもが病気になったとき（40 代）

・仕事で失敗したとき、反抗的な態度を息子にとられたとき（50 代）
・子どもがクラスの子に「パパは？」と聞かれていたのを見たとき、仕事で毎日怒鳴られているとき（20 代）
・仕事が忙しくつかれているとき、仕事で残業が多いとき（40 代）
・子どもの交友関係や、思春期の子どもとの接し方（どこまで親が口を出していいのか悩む）を考えているとき、仕事で嫌なことがあったとき、親ともめているとき（30 代）
・子どもとの会話がへったとき（40 代）
・なかなかねてくれなくて自分のねむさがピークのとき、１人の時間がほしくなるとき、泣いてる理由がわからなくてつらいとき（20 代）
・子どもの病気、将来を考えたとき（40 代）
・仕事で、家には子ども達だけのとき（30 代）
・残業が続き、疲れているとき（30 代）
・「パパは？」と子どもに聞かれたとき（20 代）
・子どもと一緒に遊ぶ時間がとれないとき、子どもが「パパ」という言葉を口にしたとき、自分に何かあったらと考えたとき（30 代）
・子どものことで学校に呼ばれたとき、やらなくてはならないことが進まないとき（40 代）
・子どもの進学費用を出すとき（40 代）
・娘が幼稚園などで、父親がいないことでツライ思いをしてるとき（20 代）
・子どもの健康に害がおよんだとき、子どもの生活に問題が生じたとき（40 代）
・金銭面（20 代）
・お金が足りないとき（30 代）
・育児に行き詰まったとき、自分の体調のせいで子どもに辛く当たってしまうとき、子どもを上手にほめてあげられないとき、子どもをきちんと育ててあげられるか不安なとき（40 代）
・仕事で思うようにいかないとき、人間関係（40 代）
・将来への不安を感じるとき、子どもが大きくなるにつれお金がかかり、ちゃんと払っていけるのか不安になるとき、このまま子どもが大きくなり、１人になってしまう不安（30 代）
・弱い自分自身が、強くならないとき（ときどき健康が心配になる）（40 代）
・何かしら考えたり、不安になったりしている（40 代）
・子どもの障害について考えたとき、非課税家庭で情けないと思ったとき（30 代）
・家仕事に一人ふりまわされ、時間（心）に余裕が無くなってしまうとき（40 代）
・満員電車（30 代）
・子どもが成長していくにあたり、口が悪くなったりして思うようにいかないとき、仕事でおこられたり失敗したとき（20 代）
・子どもが学校などで嫌な思いをしてきたとき、仕事場で人権侵害を受付けたとき、つらいと思わせないようふるまっているとき（40 代）
・具合が悪いとき（30 代）
・理解を得られないとき（30 代）
・仕事先での扱いがひどいとき（50 代）
・仕事で失敗したとき、子どもが病気になったとき（40 代）
・父親がいない分、自分が頑張らないといけないときは少しだけ辛い気持ちにはなります（40 代）
・ない（20 代）
・欲しいものを買ってあげれないとき、子どもがケガして病院通いするとき、仕事が体力的につらくだるいとき、仕事から帰ってきても家事をすぐにしないといけないとき、休みの日は病院ばかりで終わってしまうとき、つかれていても子ども優先にしないといけないとき、寝不足でも朝起きてお弁当を作るとき（40 代）
・子どもが学校に行けなかったとき、子どもが暴れたとき、子どもが食事をとれないとき（食欲がない・体調不良）、体が思うように動かないとき（40 代）

・子どもが反抗ばかりするとき、治療の副作用がコントロールできないとき、体調が悪いとき、未来が見えなくなるとき、仕事でいじわるされたとき（30 代）
・追い詰められたとき（30 代）
・くよくよしない、何でもすぐ忘れるようにする、つらい気持ちはすぐすてる（50 代）
・夫の事を思い孤独感にさいなまれるとき（50 代）
・仕事で失敗したとき（30 代）
・銀行のＡＴＭを利用するとき（お金をおろす）（30 代）
・子どもが体の不調を言っているとき、親から子育てについて注意されるとき、会社から子どもに関する休みの圧力があるとき、子どもをつき離さないといけないとき（40 代）
・これからの子どもたちへしてあげられることが他の家庭にくらべできていないなあ…と思うとき、学校へ行きたくないと言われたとき、生活費などの支払いがきついとき（30 代）
・お金（生活の事）を考えたり、支払いの事を考えるとき（40 代）
・金銭的理由で子どもに我慢をさせなければいけないとき（40 代）
・老後を考えたとき（50 代）
・子どもがねている間に仕事に行くとき、残業で帰ってきたらおやつやインスタントで子どもが食事をすましているとき（50 代）
・残業が続いて、家事ができないとき（30 代）
・仕事がハードなのでつかれたときはつらいが、それもまたはげみになっている（つかれるのはがんばっている証と思う）、子どもの野球の試合をなかなか見に行けないとき、学校行事に参加してあげられないとき、子どもに欲しい物をがまんさせていること（40 代）
・夜、寝る前～寝るまで（眠剤服用すれば）（50 代）
・肩こりや頭痛がひどいとき、仕事が大変なとき（40 代）
・子どもに父親のことを聞かれたとき、親に再婚してと何度も言われるとき（30 代）
・毎月の支払い日、親・親せきのつき合いがないこと（40 代）
・子どもとちょっと言いあいになったとき、疲れと生理が重なって理由もなくイラつくとき（40 代）
・子ども達がケンカしてうるさいとき、しかりすぎたとき（でもそんなにつらくはならないです）、子どもがわがままなとき（30 代）
・特になし（40 代）
・職場でのストレス（40 代）
・仕事で失敗したとき、子どもたちが何かになやんでいるとき、子どもたちが病気になったとき（30 代）
・仕事でつまづいたとき、子どもの気持ちが解らなくてぶつかってしまったとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、出費が重なったとき、部活用品等の購入のとき（40 代）
・外食をのぞまれ、金銭的にがまんさせなくてはならないとき、受験校を金銭的な問題で下げさせる話になったとき（40 代）
・仕事で不当な扱いをされたとき、子ども達とうまくコミュニケーションが取れなかったとき（40 代）
・身体がつかれているとき（30 代）
・眠れないとき、子どものことを考えるとき（40 代）
・子どもの気持ちを理解できなかったとき（20 代）
・仕事で失敗したとき、育児が思いどおりにならないとき（50 代）
・仕事で嫌な事を言われたとき、給料があがらずギリギリで子育てをしてやりくりに息詰まったとき（40 代）
・人にあたられたとき（40 代）
・仕事や、休みがなくつかれるとき（30 代）
・仕事で失敗したとき（30 代）
・仕事が忙しすぎて、子どもをどこにあずけようかという悩みが出来るとき、家が片付けられないとき、寝るのが遅くなるとき（30 代）

・仕事で失敗したとき、子どもたちと気持ちが相いれないとき、子どもが部屋を片づけられないうえに、共同スペースまで汚して平気な顔をするとき、子どもの反抗期の態度や言動に傷つけられたとき（30 代）
・子どもが言う事をきかないとき、人間関係が上手くいかないとき、一人親への理解が得られないとき、仕事・家事で疲れたとき（40 代）
・１人で大変なとき（家事・育児・仕事・責任）、仕事も育児も思いどおりにならないとき、辛さを誰にも言えないでいるとき、辛さを他者にわかってもらえないこと、頼れる人がいないこと（30 代）
・子どもが体調を崩したとき、仕事で納得いく成果を出せないとき、子どもの交友関係が良くないとき、離婚を責められるとき（40 代）
・主人の事を思い出したとき（30 代）
・具合が悪くて仕事を休み、給与が下がるとき、子どもをレジャーや旅行に連れていけないとき、将来や現在の生活を送って、ゆとりが無い事を考えるとき、子どもに習い事もさせてあげれないと感じるとき（40 代）
・子どもたちの仲が悪いとき、自分自身が後悔をしてしまったとき（40 代）
・元夫と面会交流の日程についてメールをするとき（30 代）
・子どもが病気で休まなきゃいけないとき（30 代）
・子どものしたい事をさせてあげられないとき（50 代）
・子の父親がいなくなり、一緒に子どもの事で相談や話ができない状況のとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、子どもが学校へ行けないとき（40 代）
・思い通りに事が運ばないとき（30 代）
・子どもが学校で悲しいきもちになったと聞いたとき、ほしいと言う物を買ってあげられないとき（40 代）
・仕事の給料を上げてほしいと思うとき（40 代）
・お金の事で悩むとき、子どもが悲しそうなとき（学校でいろいろあって帰ったとき）（30 代）
・仕事でのクレーム、家事がリズムよく出来ないとき（30 代）
・自分の老後のことを考えるとき、子どもの父親が子どもを引取りたいと言うのではないかと不安になるとき（30 代）
・子どもが機嫌悪く、キレてるとき（30 代）
・自分が勉強をしなければならないせいで、せっかくの休みでも一緒に遊んであげられないとき、毎日、時間に追われているせいで常に子どものことを急かさなければならないとき、通勤時間が長く帰宅する際は少しでも早く帰ろうと急いでいるので、心にも余裕が感じられなくなるとき（30 代）
・お金が足りないとき、子どもが病んだとき（40 代）
・昔のことでつらい事を思い出したとき、子どもの学業などで、離婚したため出来ないことがあるとき、両親のこれから、先の見通しがないことを考えたとき（50 代）
・子どもに好きな物を買ってといわれて買ってあげられないとき（自分が持病があるので、気分や体調の変化でいやになる）（30 代）
・子どもが友人とケンカなどの問題を抱えてきたとき（30 代）
・金銭面できびしいとき、ストレスがたまっているとき（40 代）
・仕事でうまくいかないとき、会話がないとき（40 代）
・子どもが学校で小さい頃、ロゲンカしたときに、「お前の家貧乏なんだろー」と言われて帰って来た事など（40 代）
・子どもが友だちと遊ばず、ずっと家で１人でいるとき、体調をくずしたとき（40 代）
・子どもが言うことを聞かないとき、仕事で子どもとはなれてるとき、仕事のきらいな上司とシフトが一緒のとき（20 代）
・子どもの進学費用をどうやって貯めようか悩むとき、子どもが独立した後の自分の人生を考えるとき（40 代）
・仕事が忙しくなり家に居る時間が少ないとき、子どもと祖母がけんかをするとき（40 代）
・子どもが体調悪いとき（20 代）

・仕事でつかれがたまっているとき（20 代）
・仕事が忙しくて、家事育児の時間が不足しているとき（40 代）
・特にない（50 代）
・元夫から連絡がくるとき（40 代）
・子どもが泣きやまないとき、仕事がうまくいかないとき（30 代）
・これから先を考えるとき（過去にとらわれて前に進めなくなる瞬間がある）（40 代）
・子どもが悲しんでるとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、子どもの大学資金や、老後のお金の事を考えているとき（50 代）
・自分の気持ちがうまく伝わらないとき（30 代）
・思うように貯金できないとき（20 代）
・少し怒りすぎて子どもを泣かせてしまうとき、「ママー！お仕事やめて？ママとずっと一緒にいたい」と言われるとき（20 代）
・仕事で心身ともに疲れているとき（40 代）
・時間が足りないとき（40 代）
・仕事をもっとしたいのに子どもがいるので制限がかかること、挑戦してみたいことも我慢する必要があること（30 代）
・仕事で人間関係に悩んでいるとき、子どもが遠慮しているんじゃないかと心配になったとき（30 代）
・子どもとケンカになったとき、育児が正しかったかと思うとき（20 代）
・子どもに強く言いすぎたとき、急いでいるときに子どもが話をきき入れてくれないこと、夜、子どもが寝たあとに孤独を感じるとき（30 代）
・子育てに悩んだとき（40 代）
・いそがしさに追われているとき、つかれたとき（40 代）
・将来を考えるとき、子どもが難しい年頃（離婚をうらみ、自分をうらんでる）、経済的な現実を考えるとき（60 歳以上）
・死別した夫を思い出すとき、夫の両親と意見が合わないとき（30 代）
・体調不良のとき（40 代）
・仕事で怒られたとき、誰かが亡くなったとき（40 代）
・今まで出来ていたことが年齢のせいで出来なくなっていたとき（40 代）
・何事もうまくいかなかったとき、子どもが泣いてばかりのとき、自分たちの未来を考えたとき（20 代）
・仕事の多忙・他職員に対してストレスを感じたとき、子どもの反抗が強いとき、生活の中で知識がない物が故障したときや力仕事のとき、お金がないとき、子どもの欲しい物を買えないとき（40 代）
・仕事で失敗したとき（40 代）
・仕事の人間関係でうまくいかないとき（30 代）
・病気になりなかなか治らないけど、仕事に行かなきゃならないとき（30 代）
・親の介護の事や自分の老後・今後の生活を考えるとき（40 代）
・子どもが学校で問題を起こしたとき、自分の気持ちが子どもに伝わらないとき（40 代）
・仕事の失敗、子どものトラブル等（30 代）
・自由に恋愛を楽しめないとき、（40 代）
・すべて（40 代）
・生活費が足りないとき（30 代）
・体調が悪いとき、仕事が重なって時間が自由にとれないとき、子どもの生活が乱れているとき（話し合いにならない等）、子どもの病気（持病）が悪化したとき（40 代）
・子どもが自分の不安の全てを自分にぶつけるとき、働いても働いても生活が楽にならないとき、給料日（50 代）
・体調がよくなく、通院が続いているので（30 代）

・日々の支払い、金銭面（20 代）
・子どもにつよく当たってしまったとき、仕事が決まらない日々…やりたいのに動きだせないとき（20 代）
・子どもの今後の行方（40 代）
・お金のことで悩んでいるとき、健康状態が悪いとき、仕事をしたいが病気のためできないとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、かげ口を言われたとき（50 代）
・体調が悪いとき（40 代）
・ご飯の献立を考えなきゃいけないとき、子どもが体調を悪くしたとき（40 代）
・職場環境が悪くなっているとき、仕事でトラブルやミスをおかしたとき、子どもが学校でトラブルをおこし学校に呼ばれたとき、子どもが病気になったとき（40 代）
・子どもが欲しがるお菓子とかを買ってあげられなかったとき（50 代）
・仕事全般、子どもが発達グレ一児のため育児が大変なとき（30 代）
・学校の振替休日に、学童に行かせなければならないとき（嬉しいはずの休日も「どうせ学童では」となってしまう）（30 代）
・職場でミスをして帰って来たとき（30 代）
・子どもが予定通り動いてくれないとき、いつも時間がないと思うとき（30 代）
・仕事で帰りが遅くなるとき、体調の悪いとき（40 代）
・借金の返済を早くできないとき（50 代）
・子どもの気持ちが理解できないとき（40 代）
・子どもが反抗期なので、それに関しては常に（40 代）
・ちょっとしたスレ違いで、子どもとケンカしてしまうとき（40 代）
・子どもと話す時間がないとき（30 代）
・お金が全くないので、どうしたら良いか分からない（40 代）
・仕事が覚えられず失敗する事が多いとき、家事ができなくなったとき（40 代）
・子どもとぶつかったとき、仕事できつく言われたとき（30 代）
・体調が悪いとき、職場での人間関係がこじれたとき（30 代）
・子どもが言う事を聞かないとき（30 代）
・子どもにやつあたりをした後、子どもに暴言を言ったとき（40 代）
・仕事でミスをしたとき、子どもが全然言う事をきかないとき（30 代）
・まわりに生活保護のこと言われたとき、子どもが反抗期で暴言をはかれたとき（50 代）
・仕事で失敗して上司から指導されたとき、子どもがうそをついたとき（40 代）
・人に冷たくされたとき、裏切られたとき（30 代）
・仕事で失敗したとき、仕事で帰りが遅くなったとき、子どものほしがるものをすぐに買ってやれないとき（30 代）
・子どもが約束をやぶったとき（30 代）
・子どもの成績が悪いとき、夫がいないことをふと感じるとき、友人に自分の気持ちがわかってもらえないとき（50 代）
・彼氏にふられたとき（40 代）
・子どもの事で学校から電話がきたとき、子どもが学校に行ってないとき、誰かに子どもの事で自分の育児を否定されたとき（40 代）
・仕事の都合で子どもの学校の行事に行けないとき（30 代）
・お給料日、支払が多くお金が手元に残らないとき（40 代）
・お金がないとき（40 代）
・子どもが言うことをきかないとき、仕事で理不尽なことが起ったとき（40 代）
・自分の時間がないとき、仕事と家事でつかれているとき（30 代）

第５章　自由記述

・現在、時給で働いている不安、子どもの為の貯金が出来ない、親に頼っていること、父親が居ないので男の育て方（30 代）
・子どもが泣いているとき（30 代）
・仕事を休まなくてはいけないとき（子どもの病気などで）、楽しみにしていた予定がつぶれたとき（30 代）
・子どもが言う事を聞かないとき、親から私の子育てを否定されたとき、仕事がうまくいかないとき（30 代）
・子どもが遅くまで帰ってこないとき、子どもが何も話してくれないとき、子どもの学費が全て一緒の時期に出ていったとき（40 代）
・自身の体調が悪いとき（40 代）
・子どもと勉強や成績の事でケンカしたとき（50 代）
・子どもが学校でのやるべきことをやっていなかったり、小さなうそをついたりすること（40 代）
・自分の時間がないとき（20 代）
・体が思うように動かないとき、仕事で遅くなるとき、睡眠時間が少なく朝が早いとき（40 代）
・子どもが言うことをきいてくれないとき（30 代）
・体調が悪いとき、子どもが悪いことをして隠していたとき、いじめかもしれないと気になったとき（40 代）
・子ども達が何かに悩んでいるのを感じるとき、気持ちが理解できないとき（40 代）
・将来の事を考えて落ちこんでしまうとき、子どもが言う事を聞いてくれないとき、毎日の仕事でつかれがたまっているとき（30 代）
・自分の体が動かないとき（50 代）
・つかれているとき（50 代）
・子どもが入院して治療が大変なとき、病気が悪化したこと、自分の病気で具合が悪くなるとき（40 代）
・息子がイライラしてるとき（40 代）
・仕事でミスしたとき、疲れていてちゃんと子どもの話を聞いてあげられなかったとき、イライラしてしまうとき（30 代）
・家に帰って親に文句を言われたとき、職場での人間関係のトラブルにまきこまれたとき（40 代）
・おもちゃの片づけをしなくて怒鳴って怒ってしまい疲れるとき、イライラして異常に怒りすぎてしまうとき（20 代）
・子どもが素直に人の話を聞かなかったり、言い訳ばかりして人のせいにするとき（しつけを失敗したのではと落ち込む）（40 代）
・子どもの体調が悪いとき、子どもが反抗的な態度のとき、彼氏と別れたとき（30 代）
・子どもが熱をだしたときに、仕事で休みがちになると「上司」からきつい言葉を言われたこと、「上司」が母子家庭のことを理解していないこと（30 代）
・明るい気持ちになるときと反対の事（30 代）
・子どもが反抗期でひどい口のきき方をし、子どもと口論になるとき、お金がまわらないとき（40 代）
・子どもが大きくなり１人になったときの事を考えると（老後）（40 代）
・自分や子どもが病気になったとき、金がなくて子どもの物が買えないとき、大学に行っている子どもの授業料を出せないこと（50 代）
・子どもが反抗したり、イライラ怒ってしまったとき（40 代）
・子ども達の為に自分がどこまで頑張れるかを考えてしまうとき（40 代）
・再婚について考えるとき、仕事でつかれているとき（20 代）
・仕事が忙しかったとき、残業して帰りが遅くなったとき、疲れてどうしようもないとき、生活費が色々足りないとき、自分の時間が全くないとき（40 代）
・充分な衣類や物品を子どもに購入してあげられないとき（リサイクル品等で我慢させてしまう）、旅行や施設に連れて行くだけの体力・金銭もないとき（学校行事で両親参観するが一人親なので、運動会のお弁当のときも子どもと２人で淋しい思いをさせている）（40 代）

・職場での精神的苦痛、子どもが欲しい物をすぐに買ってあげられないとき、子どもの将来の相談事等重大な決断を１人でしなくてはならないこと（40 代）
・仕事で遅くなり、子どもと一緒に居る時間が少なくなるとき、帰宅が遅くなりごはんが遅くなり、子どもをせかせてしまうとき（40 代）
・仕事で失敗したとき（30 代）
・ない（30 代）
・子どもを強くしかってしまったとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、子どもにやつ当たりしたとき、毎月家計がギリギリなとき（30 代）
・仕事が見つからないとき、子どもの生活態度で怒らなくてはいけないとき（50 代）
・仕事で失敗したとき、仕事が忙しく自分の時間がないとき、忙しくて家事が疎かになるとき、子どもの事で悩んだとき（40 代）
・子育てがうまくいかないとき（50 代）
・仕事がうまくいかないとき（20 代）
・疲れているのに休めないとき（40 代）
・子どもと気持ちが通じないと感じたとき、わかってもらえないとき（60 歳以上）
・仕事につけない時期に収入がなくなってしまったとき、不幸事があっても遠方には行けないとき（40 代）
・ゆっくりできないとき（20 代）
・老後のことを考えたとき（50 代）
・仕事がしんどいとき（30 代）
・先のことを考えるとき（マイナスなこと）（30 代）
・自分の学歴の事を考えるとき、老後の事を考えるとき（30 代）
・病気で体調が良くないとき、子どもが反抗期で言う事をきかないとき（40 代）
・子どもが反抗期なので悪い言葉で返されたとき、仕事中にお客様に理不尽なことを言われたとき（40 代）
・仕事のノルマがきついとき、思うように１人で気分転換できないとき（20 代）
・子どもを強く注意したとき（40 代）
・子どもが友人関係などで悩んでいるとき、イライラして子どもにあたってしまうとき（仕事の延長で）、子どもとの関係が上手くいかないとき（40 代）
・子どもが何を考えているかわからないとき（50 代）
・子どもと一緒にいる時間が減っていると実感したとき、１人でがんばらなきゃいけないと思ったとき、子どもの将来を考えたとき（30 代）
・１人で家事などやることが多く、思う存分子どもの相手ができないとき、疲労や体調不良でも仕事は休めず家でも休めないとき（40 代）
・仕事がおいつかず大変なとき（30 代）
・お金が足りないと感じるとき（40 代）
・仕事で失敗したとき（40 代）
・子どもとケンカしたとき（30 代）
・育児がおもいどおりにいかないとき、こどもがけがしたとき（30 代）
・生理前の理由もないイライラしてる気持ちに気付いたとき（30 代）
・仕事の失敗、自分の体調が毎日悪い事、子どもが反抗期中（50 代）
・特にない（20 代）
・親や親族が病気になったとき、子どもが父親を思い出すとき（40 代）
・今はイライラすることはあっても、つらいと思うことがないです（40 代）
・仕事など期待が外れたときや、子ともが辛そうなとき（40 代）
・子どものほしい物や、やりたい事をさせてあげられないとき（30 代）
・子どもが泣いているとき（40 代）

第５章　自由記述

・人格否定されたとき、体調が悪いとき、人との関わりが気になるとき（30 代）
・元夫からのＴｅｌ・メール、子どもとの面会（40 代）
・「最近、心が本当に晴れた日がない」と思ったとき、養育費も払わない元夫と子が一緒に楽しんだとき、元夫の頼みを子がきくにあたって、私の知識を求めて来たとき、子の経済に対する成長が見られず子育てに失敗したかと思うとき（節約倹約について）（40 代）
・育児は毎日うまくいかない（言うことをきかないのでつい怒ってしまい、反省の毎日）（20 代）
・やらなくてはいけない事がありすぎて、子どもとの時間が取れない上に、休む時間もないとき（20 代）
・思春期の子ども達とぶつかったときに、子どもから今の生活を責められたり、元夫の方が好きだと言われたとき、ほしい物が色々あるのにガマンさせるとき、子どもが他の家・他の子のことをうらやましそうに話すとき（30 代）
・仕事がうまくいかないとき（40 代）
・子どもが苦しんでいるとき、子どもが間違った道へ進んでいるとき（40 代）
・仕事でイライラしたとき、子どもたちに何かおきたとき（40 代）
・進級が難しいと考えたとき、老後の心配（50 代）
・自分の予定がつぶされたとき（急な仕事など）（40 代）
・仕事が忙しいとき、子どもが言うことをきかないとき（30 代）
・子どもが体調をくずしたとき（40 代）
・育児が思いどおりにならず子どもをたたいてしまうとき（生理前に特に不安定になります）（30 代）
・仕事がうまくいかないとき、失敗したとき、子どもとぶつかるとき、体調に不安があるとき（自分が倒れたら…と考えるとき）（50 代）
・子どもの元気がないとき、仕事・育児・家事でバランスが取れなくなっているとき（30 代）
・あまりない（50 代）
・仕事で失敗して暗い気持ちで帰宅したとき、子どもの機嫌が悪いとき（40 代）
・おこった後（30 代）
・仕事で失敗したとき、育児が思いどおりにならないとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、育児が思いどおりにならないとき、子どもがダダをこねるとき、ねれないとき、怒られたとき、お金がないとき（20 代）
・体調不良が続いたとき、子どもの成長（学習）が遅れていると気づいたとき、他人に母子家庭を批判される毎日（40 代）
・お金がないので常に生活に不安があり心配をかけてしまい、進路も自由に選ばせてあげられないこと（40 代）
・子どもに夜勤が多いと言われたとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、孤独を感じるとき、将来の不安、経済的な不安（40 代）
・仕事でうまくいかなかったとき（40 代）
・給料明細をみたとき、「こんなに頑張ったのにこれだけ？交通費を抜いたら１ヶ月これでやり繰りするのか…」と考えたとき、体の酷使、持病が悪化、努力が報われない（40 代）
・育児がうまくいかないとき（40 代）
・子どもがきちんとした生活態度ができていないとき（50 代）
・仕事が忙しく疲れているとき（40 代）
・みんなが何にもしてくれないとき（40 代）
・生活費が足りないとき（40 代）
・仕事が大変なとき（40 代）
・子どもと言い争いをしたとき（60 歳以上）
・仕事で子どもと遊ぶ時間がないとき、ママ居なくてさびしいと子どもに言われるとき（20 代）
・気持ちが通じあわないとき（30 代）

・子どもにがまんをさせてしまうとき（旅行や塾など）（40 代）
・子どもに、外食したいとか欲しい物を買ってと言われたとき、「がまんしてネ」と言わなきゃいけないとき（50 代）
・仕事が少ないとき（60 歳以上）
・子どもが学校・友人・学力などで悩んでいるが、経済的には力をかせないとき、子どもの会話を真剣に聞く元気が自分にないとき（40 代）
・子どもが学校に行かないとき、体が不調になったとき（40 代）
・自分の居場所がないとき、思うようにならないとき（30 代）
・経済的に子どもに負い目を持ったとき（50 代）
・子どもが悩んでいるとき（50 代）
・家の中が片づかないとき、子どもと意見（進路など）が合わないとき（50 代）
・大人４人の中でプライバシーのない中、居そうろう的な生活なので、子どもが思春期を迎え、毎日が言い争いの中、生活しています。塾に行かせるお金もなく、成績の落ちこぼれに心配。（30 代）
・仕事で疲れるけどつらい気持ちにはならない（40 代）
・仕事で失敗したとき、養育費が振りこまれないとき（40 代）
・仕事、私生活がうまくいかないとき（30 代）
・仕事が出来ない（というか、仕事につくことが出来ない）、体調が良くなく子どもの学校行事等に参加出来ない日が有り、この状態では先行きが不安（学校行事すら行けない様では仕事につくことも出来ない、子どもの将来や現生活に余裕がなく、不安）（40 代）
・子どもが悲しそうにしているとき（40 代）
・保育園で他児を傷付けたとき（園から報告を受けたときは辛いです）（40 代）
・会社での対人関係、子どもの教育（50 代）
・本当に自分を心配して、相談にのってくれる人がいないこと（50 代）
・お金にこまっているとき（40 代）
・仕事と家事の両立ができなくなるとき（40 代）
・体調が悪く仕事を休んだとき、子どもの元気がなく悩んでるとき、金欠のとき（40 代）
・とくになし（30 代）
・子どもの持病の発作がおきたとき、子どもが子の祖父母に反抗するとき（40 代）
・仕事はきついが子どもの時間をくるわせたくなくて必死なとき、自病の首がいたすぎてたえられないとき（30 代）
・さきが不安、いつも不安（40 代）
・仕事で失敗したとき、子どもとけんかしたとき、支出が続いたとき（40 代）
・今は病院にかかるくらい、ネガティブなことばかり考えてしまうので何とも言えない（30 代）
・育児が思いどおりにならないとき、これから先のことを考えたとき（30 代）
・育児が思いどおりにならないとき（40 代）
・子どもが朝、学校を嫌がり泣いたりが何日も続くとき、暴れたり、反対に無視をするとき、同居の実母から、子ども（孫）の悪口を散々言われたとき、子どもの事で悩んでいるとき・大変な思いをしているときに実母に笑われるとき（40 代）
・仕事で過去のミスを、関係ないときに言われること（50 代）
・仕事で疲れているとき、体調が悪いとき（30 代）
・子どもの父親から何も連絡がないこと、子どもの父親が私の体調不良のとき手を貸してくれなかったこと（30 代）
・仕事で嫌なことがあったとき（30 代）
・子どもとの言い争いで意見が合わず責められるとき、仕事でイヤな客に文句を言われたりミスをしたとき、疲労で食事を作るとき（40 代）

・時間とお金がないとき（30 代）
・子どもが学校へ行かないとき、両親の不仲（40 代）
・子どもがケガなどで仕事を休むことが多くなり、お金がなくて困ったとき（30 代）
・人間関係がうまくいっていないとき、子どもの生活がみだれているとき（40 代）
・私の作った料理がまずくて、子どもが食べてくれないとき（30 代）
・仕事でうまくいかないとき、子どもがケンカしたとき、夫の事を思いだしたとき（40 代）
・体調が悪く家のことができないとき、子ども達の元気がないとき、好きなものや必要なものを買ってあげられないとき、請求書・催告書が届いたとき（40 代）
・他の家族のお金に関するうらやましい話を聞いたとき（40 代）
・子どもが言うことをきかないとき（20 代）
・家でみんなでテレビを見て笑うとき、このとき以外（40 代）
・子どもが元気がないとき（40 代）
・子どもが学校で友だちとトラブルをおこして、電話があったとき（30 代）
・子どもが悩み、おち込んでいるとき、仕事で子どもと一緒にいられなかったとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、子どもとケンカになったとき、元夫との事を考えたとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、育児が思いどおりにならないとき、あまりつらい気持ちにならない（50 代）
・子どもが病気（カゼなど）のとき（40 代）
・ない（20 代）
・生活（50 代）
・ついロうるさく文句を言って自己嫌悪になるとき（40 代）
・子どもが元気がないとき、支払いが重なり金銭面のやりくりが困難と感じるとき、周囲が夫婦で楽しそうに過ごしている話を聞くと、１人だなあと、自分は人生失敗したのかなと感じる（40 代）
・仕事で仲間に迷惑をかけたとき、子どもにやつ当たりしてしまったとき（40 代）
・元夫がちゃんとお金を払ってくれるか（30 代）
・人とかかわるとき（40 代）
・育児でどうしていいかわからないとき、仕事で失敗したとき（30 代）
・仕事など将来を考えたとき（40 代）
・仕事場の人間関係が悪いとき、子どもが悩んでいるとき（50 代）
・介護問題の話が出たとき（40 代）
・毎日つらい気持ちになります（私の場合、主人が亡くなってまだ日にちがたっていないので、毎日、毎日、泣いてます）（40 代）
・これです。仕事で失敗したとき（40 代）
・子どもが不機嫌で学校から帰宅し息するひまなく、学校・先生の文句を言っているとき（きいてあげるしかできない、もどかしさ！！）（40 代）
・子どもの本心を聞き出せず、主人がいたらなあ…と思うとき、仕事等でミスッたとき、体調がおもわしくないとき（40 代）
・仕事で行事に参加できないコトを伝えたときの、がまんしてる顔を見たとき（30 代）
・仕事がうまくいかないとき、子どもが病気にかかって会社に行けないとき、子どもが病気のとき、元気がないとき（40 代）
・子どもに反抗されたとき（40 代）
・子どもの気持ちがわからないとき（40 代）
・職場でうまく動けなかった日、子どもに暴言を吐かれるとき、お金がどんどん減って焦る気持ちのとき、何もできないなー（無力感）私、と思うとき（30 代）
・病気で体がだるいとき、子どもがおち込んでいるとき、夜眠れないとき、これから先の事を考えるとき（50 代）

・近隣がうるさいとき、夜眠れないとき（40 代）
・育児でどうしたらいいのかわからないとき（30 代）
・子どもにぎゃん泣きされたとき、おしっこをかけられたとき（20 代）
・将来の事を考えたとき（40 代）
・仕事が忙しすぎて、子どものこと・家事に手が回らないとき、病気の子どもをおいて働くとき、深夜に子どもをおいて働くとき（40 代）
・仕事内容がきつかったとき、子どもが反攻的な態度のとき（30 代）
・今はほとんどない（40 代）
・生活費が足りないとき、子どもにほしい物を買ってあげられないとき（40 代）
・仕事や家事でつかれたとき（40 代）
・友人から、わかってもらえないことがあるとき、がんばっているのに認めてもらえないとき（40 代）
・仕事で迷惑をかけてしまったとき、子どもをしかった後（30 代）
・子どもが私のことを理解してくれないとき（30 代）
・お金（生活費）に困ってるとき（30 代）
・お金が無いとき、眠れないとき、将来のことを考えたとき（30 代）
・体調が悪く仕事に行けず、１日の収入が減るとき（40 代）
・長時間労働、サービス残業、夜勤、子どもが学校へ行かないとき（30 代）
・身体が動かないとき（40 代）
・若い親でひとり親だからか、子どもの担任の対応がとても悪い（20 代）
・育児に悩んだとき、仕事が忙しすぎて家の事が出来ないとき（30 代）
・子どもに気持ちが伝わらないとき（40 代）
・学校に呼び出されたり、学校からの電話でつらくなる、家事を子ども達が手伝ってくれないとき、高校の奨学金の返済と大学の入学金の支払いが重なってしまったので現在つらいです（40 代）
・仕事は仕事、一人になったとき（今死んだら、子ども達どう生きて行くかな？と心配になる事）（40 代）
・育児が思いどおりにならないとき、元夫がトラブルを起こして関わらないといけないとき（30 代）
・仕事の失敗、同僚の話、わけわからないのに怒る、塾代の負担（親に迷惑をかけている）（40 代）
・仕事で失敗し、子どもにあたってしまうとき（20 代）
・自分・子どもの将来（現在）が不安なとき、育児が思いどおりにならないとき、仕事・職場での人間関係（20 代）
・残業で家事がたまっているとき、子どもがケイタイばかりやって勉強しないとき（50 代）
・金銭面で子どもに我慢をさせなければならないとき（部活用品等）（40 代）
・子どもの将来を考えると不安・心配（ひとり親であること、自身が高齢であること）（40 代）
・子どもが言うことをきかないのでおこってしまったとき（30 代）
・子どもをつよくしかってしまったとき、仕事でミスをしたとき（20 代）
・子どもの元気がないとき、将来のことを考えるとき、教育費・生活・お金のことを考えるとき、欲しいと思う気持ちをがまんするとき（40 代）
・これからの将来を深く考えるとき、老後の金銭面（すまい）、親の老後の（遠くはなれているため）面倒（40 代）
・母子家庭や、持病に対するまわりの人の理解が求められないとき（40 代）
・子どもの心配をしているとき、親の心配をしているとき、亡くなった夫の事を思い出すとき（40 代）
・仕事で失敗したとき（40 代）
・子どもの機嫌が悪いとき、何かあったのに子どもが私に伝えられなくて、一人で悩んでいるとき、欲しい物を買ってあげられないとき、肉を食べさせてあげられないとき（40 代）

第５章　自由記述

・子どもに自分はパパがいない、なんでいないのかと聞かれるとき、仕事がうまくいかないとき、同居の自分の親とモメ事があるとき、子どもの長期休暇中（夏やすみ等）でも自分は仕事で一緒に過ごせないとき（30代）
・お金がないとき（30代）
・子どもが来年就職するので生活保護が受けられなくなるのと、１年後には別居しなければならないので２人の生活の不安と孤独感で毎日がつらい（40代）
・子どもにあたってしまったとき（30代）
・仕事で疲れたとき、体調が悪いとき（50代）
・自分の具合が悪いとき、仕事がうまく行かないとき、仕事がやめられないとき、子どもをおこっているとき（20代）
・子どもの態度がつめたいとき、思いが伝わらないとき、成績が悪いが勉強をしてくれないとき、子どもの望みを経済的な理由でだめと言わなければいけないとき、さみしい思いやがまんをさせてしまっていると感じるとき、お金がないとき、１人ぼっちと感じるとき（40代）
・体調の悪いとき、子どもたちがケンカしているとき（40代）
・公共の場で子どもがルールを守れなくて、大声で注意されたりにらまれたりしたとき（40代）
・泣きたいけど泣く場所がないとき、したい事が出来ないとき（20代）
・子どもがゲームばかりしていて勉強しないとき（50代）
・子どもとうまくコミュニケーションがとれないとき、自分のやりたい・したいことができないとき（20代）
・子どもが辛そうなとき、育児が思い通りにならないとき、父親が居れば違うのかな…と感じたとき（20代）
・体調をくずしたとき、自分ががんばらないと…とつらくなる（40代）
・たまに落ち込みが時々ある（40代）
・子どもが必要としてるときに仕事などですぐに対応できないとき、仕事を優先させなければならないとき（40代）
・仕事が忙しくて子どもの事を何もしてあげられないとき（50代）
・仕事でミスしたとき（30代）
・子どもの気持ちを分かってあげられないとき（40代）
・ほしい物が買ってあげられないとき、旅行につれていけないとき、普通に生活はできるが余裕がないとき、子どもが病気になってしまったのでこれからが心配（40代）
・仕事で帰りが遅くなる日が続いて、家事がたまってしまったり時間に追われてしまったりするとき（40代）
・体力がなくなったなーと思うとき、シワがふえたとき（40代）
・お金が足りないとき、話を理解してもらえない（特に親・兄弟）とき、体調が悪いとき、思うように動けないとき、頭がまわらないとき（40代）
・子どもが問題をおこしたとき、離婚の事を子どもに言われたとき（40代）
・最近は特にないです（40代）
・子どもが訳もなく反抗してくるとき、お金の工面がしんどいとき（親に迷惑をかけたくない）、仕事でちょっとした失敗をして上司に呼ばれるとき（殆んどないが…）、ひとり親であること（50代）
・怒られたとき、苦手なことをするとき（30代）
・仕事の失敗やつかれているとき（50代）
・お金が無いとき（40代）
・子どもが不登校で、来年中３で高校行きたいと言ってるけど、家ではあまり勉強しない（40代）
・仕事で失敗したとき、家に帰って時計を見て、時間が無いとき（30代）
・ストレスやイライラしたときに子どもに強くあたってしまったとき、〇〇買ってとせがまれても買ってあげられないとき（40代）
・特にない（20代）

・仕事で帰宅時間が遅くなり、家事や時間に追われているとき、体調不良になっても仕事も休めず、家の事もやらなければならないとき、仕事で疲れて子どもと遊んであげられないとき（30 代）
・ほぼ毎日…、子どもがケンカしてるとき、子どもの学力結果を見たとき、これから先の事を考えたとき、自分は１人だなと毎日思ってしまう（30 代）
・お金がないとき、子育てにいきづまったとき（40 代）
・仕事が大変なとき、体がつかれるとき（40 代）
・子どもにイライラをぶつけたとき、お金の心配があるとき（40 代）
・私の気もちがうまく子どもに伝わらないときです（50 代）
・子育てが思うようにいかないとき、子どもの学校の事等（40 代）
・イライラするとき（20 代）
・自分が家庭のためにあきらめた仕事で、後輩達がキャリアを築いているのを見たとき、また、彼女達の収入や暮らしを想像してしまったとき（30 代）
・いっぱいありました！（30 代）
・満員電車で通勤するとき、子どもが殻に閉じこもったとき、思春期なので試行錯誤しているとき、子どもが悲しんでいるときが一番つらいです（40 代）
・子どもがいじめられたり悩んでいるとき、よかれと思ってした事があだとなったとき（30 代）
・自分自身の心と体の不調の時一番辛い、誰も助けてくれない、子どもの心と体の面の不調のときの顔を見るときは辛い（40 代）
・仕事がうまくいかないとき（30 代）
・子どもから、生きる価値のない親だとか暴言を言われたときは心が折れてしまいます（50 代）
・仕事で疲れたとき、今後の生活を考えて不安になるとき（40 代）
・子どもが言うことを聞いてくれないとき、人とケンカしたとき（40 代）
・子どもをどなってしまったとき（30 代）
・育児で悩んでいるとき（20 代）
・子どもにとって悲しいと思わせてしまうとき（自分には父親が居ないなど）、仕事でミスしたとき（40 代）
・子どもがお友だちと仲良く出来なくて泣いているとき、習い事のコーチにおこられているとき（40 代）
・反抗期の息子との親子関係（50 代）
・仕事等おこられたときと人がおこられるのを聞いたとき、子どもとけんかしたとき、共有・共感できないとき（40 代）
・なにもかもうまく行かないとき（40 代）
・お金の問題、元夫との関係、父の日（30 代）
・子どもが友だちと出かけ休日が一人になったとき、体調が悪く家事ができないとき（50 代）
・身体の具合が悪いとき、経済的に余裕がないとき（50 代）
・夜間の勤務が続いているとき、自分のやり方が誰かに認めてもらえないとき、誰かのイライラをぶつけられたとき（40 代）
・仕事でミスをしたとき（30 代）
・イライラして、強くおこってしまうとき（20 代）
・収入が減ったとき（40 代）
・不登校中の子どもの将来を考えたとき、自分の老後を考えたとき、自分の時間が作れないとき（40 代）
・子どもがご飯を食べない（野菜を食べない日もあれば、主食を食べないときも）、イライラして子どもに当たってしまったあと、泣きやんだ子どもが「ママ大好き」って言ってくれたとき（当たってしまった申し訳なさと、自分の気持ちがコントロールできない悔しさで辛い）（20 代）
・子育てがうまくいかなかったとき（40 代）
・イライラして当たってしまうとき（20 代）
・子どもが言うことをきかないとき（20 代）

・将来仕事が出来なくなってからの生活の事などが頭をよぎるとつらくなります（40 代）
・子どもが友人や学校・部活で悩んでいるとき（自分の中にため込んでしまっていて、気づいていても必要ないと断絶されたとき）…のくり返し（50 代）
・母子家庭だからと子どもが肩身の狭い思いをしているのではないかと思うとき、娘は、私が母親で良ったのか、親を選んでうまれてくる事が出来たのなら、良かったのではないかと思うとき（40 代）
・仕事でのパワハラ（40 代）
・元夫の事で色々考えるとき、離婚の事をまわりから色々聞かれるとき（20 代）
・育児などが思いどおりにならないとき（30 代）
・子どもがこの先きちんと一人生活が出来るか心配です（50 代）
・自分の将来を考えるとき（40 代）
・貧乏の話を子どもから聞いたとき（40 代）
・体調不良が続き子どもに負担をかけてしまうとき（自身が情けなくなり、涙するときもあります）（40 代）
・子どもが長時間ぐずって、何をしても泣きやまないとき、寝れないとき、何かをしていて、子どもが泣いているとあせって失敗ばかりなとき、０才なのでおふろが大変（子どもも自分も）（20 代）
・イライラして子どもに当たっている自分に気付いたとき、家事がおろそかになっているとき、子どもにやりたい事をやらせてあげられないとき（40 代）
・反抗的な態度をとられたとき、仕事の人間関係がうまくいかないとき、子どもの部活代にお金がかかる（40 代）
・子ども、自分の体調が悪いとき（30 代）
・仕事で成果が出せないとき、子どもの父親がいないことを実感したとき（30 代）
・あまりないです（50 代）
・大好きなロールケーキが売ってなかったとき（40 代）
・仕事の失敗（50 代）
・部下のミスを正しているとき、フォローしているとき（30 代）
・子どもがお手伝いや勉強をサボるとき（40 代）
・子どもの暴言、物をこわす、事件被害者として裁判等の対応をするとき、保護観察官や児童相談所や警察の対応のずさんさを目の当たりにしたとき（40 代）
・体調が優れないとき（50 代）
・元夫の事を話されるとき（30 代）
・ずっとシングルマザーなのか悩んだとき、良い人と出会えなくて悩んでるとき（20 代）
・子どもの進路選び、思春期の子育ての悩み（40 代）
・子どもの成績が悪いとき、仕事が忙しくて帰りが遅い日が続いたとき（30 代）
・思い通りに事が進まないとき、やりたい事が制限されるとき（30 代）
・疲れがたまり、子どもにあたってしまうとき（30 代）
・給料が少なくて、支払いがキツイとき（40 代）
・生活費が足りないとき（40 代）
・クタクタに疲れていてもやらなければならないことが沢山あるとき（30 代）
・仕事で色々あったとき、子どもの要望に応じられなかったとき、子どもに父親の事を聞かれたとき（40 代）
・疲れていて、子どもにあたるとき（50 代）
・更年期のとき（40 代）
・雨が降り出しそうな暗い空を見上げたとき（20 代）
・育児が思い通りにならないとき（30 代）
・友人関係がうまくいかないとき（40 代）
・給料日前など、お金に余裕がないとき（40 代）

・結婚生活を思い出したとき、子どもから友だちとのつきあいがうまくいっていない話を聞いたとき、仕事がうまくいかないとき（40 代）
・仕事でつかれてるとき、お金がないとき、子どもに色々してあげられないとき（40 代）
・子どもがつめたいとき、家族が悩んでいるとき（40 代）
・子どもがお友だちとトラブルをおこしたとき、仕事の失敗、子どもとの時間が少ないとき（30 代）
・下の子が言うことを聞いてくれないとき（20 代）
・家事や子育てをしている中で、自分の理想と現実が重ならなさ過ぎてストレスを感じる事があります（40 代）
・自分自身の体調の悪いとき、子らの生活・学習などにいきづまるときなど（40 代）
・子どもの病気で仕事を休んでイヤな顔をされたとき、子どもの園での行事などに仕事が休めなくて行けないとき（30 代）
・１日中子どもといるとき（30 代）
・子どもが病気になったとき、仕事でミスしたとき、お金の計算をしているとき…（30 代）
・家事をするのが大変なとき（40 代）
・子どもを必要以上にきつくしかってしまったとき（30 代）
・子どもが勉強で悩んでいるとき、子どもが淋しい顔をしてたり、ありすぎて書ききれません。子どもが病気になっても、すぐに病院に行けない（医療券）（50 代）
・疲れでイライラし、子どもにあたるとき（疲れて体が動かない）（40 代）
・子どもが反抗しているとき、体調が思わしくないとき（40 代）
・普段努力している子どもが、大会などで努力実らず、ショックを受けている姿を目にしたとき（30 代）
・就活（40 代）
・仕事での能力不足による失敗、子どもが学校でのトラブルにまき込まれたとき（40 代）
・職場の人間関係、子どもに「あなた」とつめたく言われたとき（40 代）
・何で泣いているか分からず、ずっとぐずってるとき（20 代）
・娘が友だち関係や学校生活で悩んで泣いているとき（40 代）
・睡眠時間が足りないとき、将来の事を考えたとき、ふつうの家族をデパートやファミリーレストラン等で見たとき（30 代）
・仕事と家事の両立で、自分のリラックスする時間がないとき（40 代）
・良い事が無いときはずっとつらいけど…ローン残高とか現実を見るとグッと気分が下がる。幸せそうな家族を見るのはつらい。良い家や一軒家を見てもつらい。どんだけ働いてもカードローンの返済に持ってかれるから支払いのときはつらい。ショッピングモールに行くと高いので買えないのがつらい。周り幸せそう。かみの毛ボサボサになってる自分（鏡を見るとつらい）。（30 代）
・育児が思いどおりにならないとき（30 代）
・体調不良などで仕事を休まなければならないとき（30 代）
・都営に住んでるので子どもが病気で１人にできないときも、団体掃除に参加しないと罰金を払うとき、私がしかると悲しそうに泣くとき、ほかの子どもがパパと楽しそうにあそんでるのを子どもがジーっと見てるとき（20 代）
・仕事で失敗したり、思うようにできなかったとき、経済的に苦しいとき（40 代）
・将来のことを考えたとき、子どもにさびしい思いをさせたとき、自分の人生を振りかえったとき（40 代）
・子どもが、自分でうまく出来なくてずっとイライラしてるのが毎日続くとき（30 代）
・子どもとその友人とで、トラブルを起こして先生から連絡があること（30 代）
・子どもとの関係がうまくいかないとき（50 代）
・仕事がつらいとき、仕事が忙しくて体がつかれてるとき、反抗期の子どもがいるので育児がうまくいかないとき（40 代）

・子どもの“かんしゃく”が起こるとき、時間に迫われて、「早く」とばかり言って怒ってしまうとき（30代）
・子どもと話をしないとき（40代）
・仕事の現状を思い知らされるとき、ひとり親になってしまった理由と、その前後のことを思い出してしまうとき（仕事への不満から連想されることが多いので）、子どもの思いに応えられていないことを思い知らされるとき（40代）
・このままの状態で良いのか（元夫の事や心の問題）、子どもが学校で友人関係で悩んでいるとき（20代）
・どーしていいのか分からないとき（子どものことで）（30代）
・急な出費などでやりくりが厳しいとき、老後の事を考えているとき（30代）
・主人のことを思い出したとき、子どもを叱ったとき、子育てが思うようにいかないとき（30代）
・産まれてきたこと、生きていること、子どもの将来を考えているとき（40代）
・転職先がなかなか見つからないとき（子どもがいるだけで落とされる）、子どもとの時間（仕事が休みの日）が多くて、自分の時間が全然取れないとき、周りのふつうの家庭の親がＳＮＳで幸せな写真などをアップしたとき（30代）
・あまりない…（30代）
・仕事がうまくいかないとき、育児でイライラして子どもにあたったとき、これから先を考えたとき、子どもを施設にあずけようか考えてるとき（20代）
・悩みをかかえこんでしまうとき、自分ひとりが悩んでしまい周囲に言い出せないとき、過去のトラウマ（30代）
・子どもの不登校、勉強の遅れ、高校進学できるか？（40代）
・子どもがつらそうにしているとき、育児がわからなくなるとき（20代）
・昔は仕事をよく変えてしまい、収入が無くなるときや、中学のとき娘がいじめにあっていたときなど、少々つらかった。相談する（夫）もいないので、自分で考え学校に相談したり、進学のときも、できるか、できないか～など、いろいろな事をひとりで悩んでました。（50代）
・物事を何でも「つらい」と片付けないようにしているので、つらいと思わない、思わないようにしている（20代）
・仕事が休みのとき（60歳以上）
・子どもが言う事をきかないとき（40代）
・体調が悪いとき（40代）
・どんな事があっても落ち込まない。楽観主義でいきます。子どもには、笑顔のお母さんだけを見ててほしいから。（50代）
・ひとりのとき（30代）
・毎日の子どもとのケンカ・言いあい（反抗期なので仕方ない）、仕事で疲れる、今は介護と仕事で疲れはじめている（40代）
・仕事と家庭の両立がうまく行かないとき（30代）
・経済面で苦しいとき（50代）
・母に、子育てについてや自分自身のことについて、何をやってもダメだと否定されるとき（30代）
・子どもを怒ってばかりいる日、子どもの目を見て話さないとき、過去のだんなの事を想い出すとき、これから先のお金の事を考えるとき（30代）
・子どもと言い争いになったとき、仕事が多忙すぎたとき、将来に対して不安を感じたとき（40代）
・自分が必要なのかわからなくなったとき、子どもが誰かに迷惑をかけたとき、仕事で失敗したとき、自分の気持ちが伝わらなかったとき、評価が得られなかったとき（30代）
・支援児ならではの事が悩みです。自分の精神科通院についてなど、考えると辛いです。（30代）
・仕事がみつからないとき（30代）
・仕事の反省をしたとき、子どものこれからの学費を考えたとき（40代）

・パートで仕事をしているが、社員より仕事をしているのに時給がなかなかあがらず、パートだからと見下されるとき、子どもが不登校になったとき、自分の体調が見た目は元気そうなため、理解してもらえないとき（50 代）
・仕事でトラブルがおきたとき、子どもが何度注意しても注意された事をしないとき（40 代）
・仕事が思うようにいかないとき、体調が悪くなったとき、家にいてイライラするとき（50 代）
・子どもが反抗するとき、子どもの成績が悪いとき（40 代）

第５章　自由記述

≪父子世帯≫

【明るい気持ちになるとき】

・子どもの学校での成長を見られたとき、子どもの笑顔、子どもとディズニーによく行くとき（40代）
・子どもと遊んでいるとき、保育園の保護者との交流を持てたとき（30 代）
・子どもとの会話（50 代）
・子どもと話しているとき（40 代）
・子どもが笑っているとき、映画を見ているとき、音楽を聞いているとき（60 歳以上）
・子どもが楽しそうなとき、なついてすりよってくるとき（50 代）
・ない（50 代）
・家に帰ってきたとき、子どもと話しているとき、子どもが楽しそうにしているとき、音楽を聴いているとき、自分の時間をとれてるとき（30 代）
・子どもから手紙や似顔絵をもらったとき（40 代）
・子どもの笑顔をみるとき（40 代）
・収入が多いとき（40 代）
・誰かに感謝されたとき、子どもが笑っているとき（30 代）
・子どもとの会話、感謝されたとき、人助けをしたとき（50 代）
・好きな音楽を聞いたり、映画（ＤＶＤ）を見ているとき、子どもと笑いながら話をしているとき、色々な情報を本やＴＶ、映画等で知識として得られたとき（40 代）
・子どものえがお（40 代）
・休日に家族が一緒にいるとき（40 代）
・子どもが、元気に通学しているとき（50 代）
・好きな人に会えたとき（30 代）
・楽しく笑えているとき、順調に時間が流れているとき（40 代）
・休日の前、子どもたちと買物やあそびに出かけたとき（40 代）
・自分の身体の調子が良いとき、子どもの学校の成績が良いとき（50 代）
・子どもと遊んでいるとき（40 代）
・いつも食事のときに「パパ、おいしいよ」と言ってくれたとき（60 歳以上）
・子どもの寝顔を見ているとき、子どもと楽しい話をしているとき、お笑い番組を見ているとき、スポーツをしているとき（40 代）
・子どもの成長過程で成果を感じるとき（50 代）
・子どもの成績が良かったとき、子どもと一緒に食事に行ったとき（40 代）
・１日終わった後に見る、子どものねがお、みんなで団結したりするとき（30 代）
・子どもと一緒に遊び、子どもが楽しそうにしているとき（50 代）
・子どもに話しかけられたとき（30 代）
・仕事が終わったとき、子どもに感謝されたとき（40 代）
・常に（20 代）
・自分と関わる人が笑顔のとき（30 代）
・友人と食事に行っているとき（40 代）
・子どもや友人との食事（50 代）
・食事を作って、子ども達が「おいしい～」といってくれるとき（40 代）
・特にない（30 代）
・旅行、カラオケ（60 歳以上）
・子どもとうまくいっているとき（30 代）
・ほめられたとき、子どもがＨＡＰＰＹなとき（40 代）
・息子ががんばっているとき（40 代）

・仕事上、客先に感謝していただいたとき、家庭において子どもより、達成感及び向上心を聞いているとき（60 歳以上）
・子どもと一緒にいるとき（40 代）
・人と話をしているとき、子どもと遊んでいる・話しているとき（40 代）
・仕事がうまくいったとき、子どもと楽しく過ごしたとき（30 代）
・子どもの顔を見ているとき、友人と話をしているとき（40 代）
・スポーツしているとき、子どもと一緒にいるとき（40 代）
・子どもがプロスポーツを目指しております（いろいろ他人が後押ししてくれていること）、成績が向上したときなど（60 歳以上）
・子どもが笑っているとき（30 代）
・子どもが学校生活や家庭生活で楽しそうにしているとき（40 代）
・気の合う仲間と一緒に居るとき（50 代）
・子どもと外食するとき、子どもと遊ぶとき（30 代）
・友人との語らい（50 代）
・子ども達の笑顔（40 代）
・仕事が上手くいったとき、私が作った料理に子どもが美味しいと言ってくれたとき（40 代）
・子どもが元気に笑っているとき、子どもが職場や学校での事を話してくれるとき、食事がおいしいと言ってくれるとき（40 代）
・子どもの笑顔と寝顔（30 代）
・休みの日、もしくは前日（休みの）子どもとテレビを見て、一緒にわらっているときなど（50 代）
・子どもと食事をしているとき（40 代）
・子どもがおかえりなさいと言ったとき（40 代）
・子どもがテストで１００点とったとき（30 代）
・子どもが笑っているとき、子どもと遊んでいるとき（60 歳以上）
・子どもと一緒にいるとき（40 代）
・子どもが元気に日常生活を送っている事（50 代）
・ありがとうと言われるとき（50 代）
・親子水入らずの時間（30 代）
・子どもが笑っているとき、子どもが新しいことをできたとき、（ハイハイやちょっと歩けたとか）（40 代）
・子ども（家族）の笑顔を見たとき（40 代）
・子どもと釣りに行ったり、あそんでるとき（40 代）
・日々の中で、三人の子ども達との何気ない会話やじゃれあい（合い）など（30 代）
・「お仕事お疲れ様」言われたとき（50 代）
・子どもと遊んでいるとき（40 代）
・仕事が順調なとき、子ども達が元気に過ごしているとき（40 代）
・休みの日や前日夜に、娘と会話が長くできる事（40 代）
・他愛ないことに笑顔を見せるとき、すこし明るい気持ちになります（50 代）
・通勤時に、空の天気が良いとき（40 代）
・誰かに感謝されたとき、必要とされたとき、欲しい物を手にしたとき、食べたい物が食べられたとき（40 代）
・仕事の成果が上がったとき（50 代）
・子どもといっしょにいるとき（50 代）
・子ども達とＴＶなどで楽しく雑談してるとき、子どもの将来に対して一緒に考えてるとき（40 代）
・子どもたちが楽しんでいるとき（30 代）

【つらい気持ちになるとき】

・子どもが体調を崩したときに、会社の休みが取りづらいとき（嫌な顔をされたり、嫌味など）、子どもとの時間が足りない（帰ってくるのが２０時とか）、親と子育ての考えの違いでよくケンカになる（40 代）
・仕事で失敗したとき、子どもの成長で不安を感じたとき（30 代）
・仕事がうまくいかないとき（50 代）
・子どものきげんがわるいとき（40 代）
・子どもがふさぎ込んでいるとき、家計で赤字を出したとき、子どもが虐待されたとニュースで知ったとき（60 歳以上）
・先の事を考えるとき（50 代）
・仕事が忙しく帰りがおそいとき（50 代）
・元妻に会うとき、将来の自分の仕事について考えるとき（30 代）
・育児に手がかかる為、仕事が思いきり出来ない事（40 代）
・子どもの悲しい顔をみるとき（40 代）
・自分が動けなくなったときの事を考えるとき（40 代）
・仕事で失敗したとき、育児が思いどおりにならないとき（30 代）
・仕事の人間関係、不用意な言葉、仕事のストレス（50 代）
・ほぼ毎日ですが、娘との意思疎通が出来ないとき、親・姉兄と会うとき、自分の人生を考えているとき、自分ではどうしようもない出来事があったとき（40 代）
・子どものなきがお（40 代）
・子どもが病気になったり、進学するにあたって、資金の事を考えるとき（50 代）
・好きな人に会えないとき（30 代）
・特になし（40 代）
・自分の身体の調子が悪いとき、子どものこの先の高校入学の費用を考えたとき（50 代）
・育児が思いどおりにならないとき（40 代）
・生活費が足りないとき（60 歳以上）
・金銭面で子どもの要望に応えられないとき、家事をしているとき、仕事で成果が出ないとき（40 代）
・急な出費に見舞われたとき（50 代）
・子どもにほしい物を買ってやれないとき、子どもの気持ちを充分に聞いてやれないとき（40 代）
・子どもとの意見のぶつかり合い、しかってしまったあと（30 代）
・施設へ行っている子どものことを思うとき（50 代）
・子どもの成績（塾に通っても変化がない？）（30 代）
・労働時間が長いとき、子どもが何かにつまずいたとき（40 代）
・仕事（20 代）
・元配偶者の不倫を思い出したとき（30 代）
・仕事で月の売上があまり無いとき（40 代）
・ひとりでの食事（50 代）
・仕事で帰りが遅くなり、子どもの食事の時間が遅くなるとき（40 代）
・必要以上に怒ってしまったとき（30 代）
・子どもの将来の教育（60 歳以上）
・子どもとけんかしたとき（30 代）
・否定されたとき、子どもが避けるとき（40 代）
・息子ががんばっていないとき（40 代）
・体力・気力の低下が感じられるとき（60 歳以上）
・子どもに服や靴などを買ってあげられないとき（40 代）

・仕事の合い間などの１人でいるとき（将来の不安、過去の自分の罪悪感など…）（40 代）
・仕事がうまくいかなか 9 ったとき、子どものためになることをいろいろ考えて、できないとわかったとき（30 代）
・仕事が思いどおりにならないとき（40 代）
・明るい気持ちになるとき以外のとき（40 代）
・子どもの育児が思いどおりにならないとき（60 歳以上）
・育児が思いどおりにならないとき（30 代）
・仕事で従業員がお客とうまく接客出来ないとき、仕事のトラブル発生のとき、子どもの成績不安等（40 代）
・会社に居るとき（50 代）
・春休み、夏休み、冬休み、お弁当を作るとき（学童での）（30 代）
・幸せそうな家族を見たとき（50 代）
・子どもが悩んでいるとき（40 代）
・子どもとケンカしたとき（40 代）
・１人でいるとき（40 代）
・親の集まりに父親が私だけのとき（30 代）
・特にない（50 代）
・元妻からいやがらせをうけたとき（40 代）
・子どもが学校の宿題をやらないとき（40 代）
・子どもにウソをつかれたとき（30 代）
・育児が思いどおりにならないとき、元妻のことを思い出したとき、ひとり親とふっと感じたとき（60 歳以上）
・将来を考えたとき（40 代）
・子どもとどう接していいか分からなくなるとき（50 代）
・勉強で教えてあげられなくなるとき、子どもとケンカするとき（50 代）
・祖母と子どもの衝突をみるとき、子どもから母（別れた妻）の話をされたとき（30 代）
・育児が思いどおりにならないとき、子どもと二人きりのときに大泣きされたとき、しあわせそうな親子を見たとき（考えすぎると）（40 代）
・育児がうまくいかないとき（40 代）
・仕事がうまくいかないとき（40 代）
・ふと亡妻の思い出が頭をよぎったとき（30 代）
・疲れているときでも、家事をする必要があるとき（50 代）
・残業が０時を過ぎたとき（40 代）
・仕事上で問題が起きているとき、子どもの進路が金銭的理由で狭くなってしまうとき、子どもが病気のとき（40 代）
・仕事でイライラして娘にぶつけてしまった事（40 代）
・死別した母親のことを子どもたちはどう思っているかと考えると、とてもつらい気持ちになります（50 代）
・亡くなった家内の写真を見たとき（40 代）
・子どもに迷惑かけていると思ったとき（学校のイベント等で両親がそろっていない等）（40 代）
・人にしつこくされたとき、勝手に決められたとき、陰で悪口等を言われたとき、疑われたときなど（40 代）
・仕事や人間関係が思う様にいかなかったとき（50 代）
・仕事がうまくいかないとき、働く時間が長くて、夜遅く帰るとき（50 代）
・金銭的な不安（40 代）
・お金がないとき（30 代）

（２）足立区への意見等

問44（母子世帯）、問43（父子世帯）、問32（外国人世帯）

最後に、足立区へのご意見がありましたら、自由に記載ください。

≪母子世帯≫

・（持ち家なので。）住宅支援が少しでもあると嬉しいです。色んな理由で支援が受けられる場所に引っ越しできない場合もあると思います。でもたくさんの制度で助けられてます、ありがとうございます。（30 代）
・調停離婚を１０年前にした際、書類を足立区役所に提出に行った際、受付の職員の対応がとても悪く、不愉快になりました。又、離婚し、ひとり親になるという事をその人がわかっていながら、扶養手当の事など全て教えてくれませんでした。なぜあの時役所に苦情を言わなかったのか今でも悔しい思いです。（40 代）
・ひとり親の手当にせよ、生活保護にせよ、不正に受給してゆとりある生活をしている人に腹が立つ。正直に申請し手当のない自分は子どもが大学に行くための工面に追われ、自分のためにお金がつかえず八方塞がりだ、世の中不平等だ。（40 代）
・道にゴミがたくさん落ちているので掃除してほしい。（40 代）
・我々、特に母子家庭世帯は、「児童手当」すら生活費になってしまいます。両親そろって働いてる家はそれを子どものために使えるのに…。そこからして世帯収入の上限を改善すべきです。３００万以上の家に児童手当はいらないと思います。また、正社員として働けるようにもっと企業も母子家庭に優しくなってほしいです。（30 代）
・いつもいろいろ優しくありがとうございます（40 代）
・大学か専門学校に通わせたくても、借金を子どもに背おわせたくないです。借入でない方法で通える支援が欲いです。住民票をとった際に離婚時の住所がのっていたり、戸籍に元夫の名前がのったりすると子どもにしられてしまうので、のらない様に改善して欲しいです。（40 代）
・人間不信、役所の人間も信用できない。常に八方ふさがり。（40 代）
・ひとり親になる前までには考えたこともなかったのですが、残念ながら、父・母両方がいることが前提の子育てが主流となっていて、やはり、私達ひとり親家庭は肩身の狭さを感じていると思います。地域の人々や周りの人との関わり合いが希薄となっていて独立化をよけいに感じてしまう方も少なくないと思います。そのようなひとり親家庭の不安や考え思いなどをもっと広く知ってもらえるようなもの（特集記事など？）があるとよいのではと思います（同じ境遇の人たちの励みにもなると思います。）（30 代）
・ひとり親家庭だからといって、子どものこれからの進学・就職に、子どもが我慢したり、できないことや遠慮してしまうことのないよう、していきたいと思っています。今はどの世帯でも、学費を借りて、子どもが働けるようになってから、本人が返済していく制度を使っているようです。できることなら、親が返済していってあげられればいいのですが、ひとり親世帯では、そこを充分にできないことに辛さを感じています。足立区のひとり親世帯に対する、公的制度については、いただいていることにとても感謝しています。１８才以上でもまだまだ学費はかかるので、制度の期間延長を願っています。（50 代）
・医療機関の対応が冷たすぎる。具合が悪くてもなかなか行ける状況にない。（40 代）
・このアンケートを書いているだけでも、もしかして私１人じゃないんだと少し思えました。ありがとうございました。（30 代）
・手当の金額をもう少し上げて欲しい。（30 代）
・私は離婚をしてから今日まで区から受けさせてもらった手当で本当に助けられて来ました。この手当がもらえてなかったら、ここまで生活をして来れなかったと本当に心から思い、とても感謝しています。ただ１つ言えるのならば、手当は生まれた月日で切るのではなくて同じ学年で切って欲しいです。成人式は同じ学年でやるのに…下の子は３月生まれです。来年３月で手当は切られてしまいます。なのに４月生まれの子は丸１年多く手当がもらえるのは、何だか不公平では？それなのに同学年と言うのが…生まれた日が何日かしか違わないのに丸１年手当が違うのはおかしいと思っています。それでも私は今まで沢山、区に助けられて来

たので、これからは私達親子がこれからのひとり親の方達の少しでも助けになれるように頑張ります。ありがとうございました。（40 代）

・親子支援課が夜７時くらいまで窓口が開いていれば助かる。（50 代）

・ひとり親の状況は各家庭、様々です。足立区のみに限らずですが、保健所で〝母乳〟をすすめる際、育児に悩まないようにするために泣いたら母乳を与えると感じている人が多いです。母乳の大事さを伝えつつも卒乳の大事さも理解してもらうようにしてほしいです。足立区は本当に住みやすく、暮らしやすく、離れたくないと思っています。近藤区長になってから、すごく足立区が明るくなったので、これを続けていけたらと思います。期待しています。（30 代）

・去年は、病気になりながらも収入を減らさない様がんばって働き、忙しい中、資格を取得し、やっと時給が１００円上がりました。しかし、すぐに、区からの手当減額の知らせが届き愕然といたしました。プラスマイナスなにもありません。モチベーションがなくなりました。（50 代）

・都営住宅の家賃減額制度が子ども１人だと、小学校に入ると無くなってしまうので、２人以上の場合と同様にしてほしい。（未就学児より学校に通ってからの方がお金がかかると思うので）足立区から都に対して働きかけとかできるとありがたいです。（30 代）

・家賃に対する手当を用意してほしい。ある程度の収入があると児童扶養手当を受けることができません。何のために働いているのか？と悲しくなります。働かないほうがいいのかと考えてしまいます。（40 代）

・親と同居していて、親の収入が制限を超えたからと扶養手当が１年でおわりました。いくら親と住んでるからといっても生活費は別。家にお金を入れていることもあるので、正直苦しいです。たった３０万超えただけで１円ももらえないのはおかしい。３０万って、もらってた手当分にもなりません。この制度なんとかするべき。知り合いに、ひとり親だけど同棲している人がいます。同棲している人から生活費をもらい、手当もちゃっかりもらってます。ちゃんと調べるべきです。不公平すぎる。扶養手当がないと医療費も一般の人と同じ。ありえない。子どもがこれから小学校へ進学するのに扶養手当をもらってないがために何も援助を受けられないのはどうかと思う。どうやって生活していけと言うんだろうか。（30 代）

・特にありません。今後もより良い環境作りの為、頑張って下さい。（20 代）

・ひとりで働いて、母子手当以外サポートはありません。そんな中、少しの違いで保険料が一部負担になってしまって、病院に行きずらく思ってます。一生懸命がんばっているので、年収での少しの差での一部負担は、見直して欲しいです。現実には、精神疾患と偽り、生活保護で何の心配も無く、生活している方も少なくありませんよネ！！（40 代）

・ひとり親は、本当に大変だ。経済的にも精神的にも。遺族年金や国からの手当を含めても、ひとり親でない家庭にも及ばない。私みたいに病気を持っていて、満足に働けない家庭に何らかの助成がほしい。診断書を見て頂き、好きで働けない訳ではない事をわかった上で。上の子が１８才になると、遺族年金や育成手当が終ってしまう。それなのに４月からは大学生活が始まり、あと４００万かかるらしい（１２月に２００万払った）。４月からどうやって生活していけばいいのか…これに代わる手当金・助成がほしいです。（40 代）

・ある程度、子どもが大きくなると手はかからなくなりますが、経済的不安がより大きくなります。それと同時に、子が成長して巣立った後の「何もない自分」がどうなっていくのかという不安があります。それを区に助けてもらうのは違うことなのかもしれませんが、現在とても不安に思います。（30 代）

・引っ越してきた時、ひとり親の担当窓口へ、手続きや相談に行きました。書類に夫死亡と記入してあるのに、離婚と決めつけ、元夫の連絡先を書くように言われ、とてもイヤな思いをした。それ以来、二度と行っていません。ひとり親を支援するどころか、ヒドイあつかいでした。（30 代）

・ひとり親家庭になってから契約社員としてですが、生活費、子どもの教育費を自分で賄おうと一生懸命に働きましたが、ひとり親の手当や補助は育成手当以外は全く受給できなくなりました（収入が上がったため）。もう７～８年受けとってません。自分としては収入を確保するため、長時間勤務しており、家の事はほとんど出来ていません。がんばって働くと何も手当を受給できないのは不公平だなと思います。せめて都営交通の無料、ＪＲ定期の割引は収入に関係なく補助して欲しいです。（40 代）

第５章　自由記述

・私は普通に働いておりますが、私の周りには働く事も少ししかせず、保護を受け子どもを親に預け飲み歩く方が多々います。正直、生活保護を受給した後の調査が甘いと思う。ズルい人ばかりですよ。（30 代）
・相談したい事があってもどこへ行けば良いかわからず、一人で悩んでいる事が多いです。どこに相談すれば良いのかをまずは聞いてくれる所があると助かります。子どもの事や生活の事はなかなか人に話せないので聞いて、「それはここに相談して下さい。」など行き先を示してくれる所がほしいです。（30 代）
・一人親家族でも働きやすいように援助の仕組み等を整えてほしい。（30 代）
・塾に通わせたくてもお金がなく通わせることができません。貸付は兄弟が多いと一番上の子どもだけで返済が厳しいです。返済しなくても良いものも滞納があり、使うことができません。教育資金をもっと使えるようにしてほしいです。（40 代）
・ひとり親になったと同時に足立区に戻って参りました。医療費や手当を支援頂き感謝しております。ありがとうございます。（40 代）
・区営団地募集で申込むが、なかなか当たらない（30 代）
・ひとり親もですが、普通の家庭も大変だと思います。みんなが使える、利用できるのが増えたらいいと思います。（40 代）
・都営に１０年申し込んでますが当たりません。空いてる部屋があるのに、収入ごまかして住んでる人もいます。本当に困ってる人が住めるようにして欲しい。（40 代）
・千住地区から相談をするには、橋を超えなくてはならないし、親がアクションや、行動を取らないと、役所の方は、動きません。動いて頂けません。手続き等も親が動かなければ情報がありません。（40 代）
・お金、助けてくれてありがとうございます。子に障害が有り、リハビリ・療育等で思うように仕事出来ません。手当があるので子どもにおいしい物を食べさせてあげる事が出来ます。３才になって児童手当が減額になったのはショックでした。仕方ないですね。区役所の方はいつも親切で優しいです。（30 代）
・治安が悪すぎる。イヤホン・スマホみながらの自転車、歩きタバコに、より深い罰を与えて下さい。手の甲にタバコの火をあてられたことがあります。北千住の治安はこの１０年何も変わっていませんよ。（30 代）
・子どもが小さい時、働いて無い時、保育園に入れる為には働いて無いとダメで、預けないと働けないのにダメでした。すごく矛盾してると思いました。でも働かないと食べていけなく、仕方なく夜働きに行く事になり、大変でした。子どもをみてくれる人がいない人にとったら、すごく大変です。見直してほしいです。（40 代）
・手当が１８才までが多いのですが、正直つらかったです（つらいです）。高校卒業しても進学したり、生活を一緒にしていることには変わらないので。所得制限も考えます。生活のために無理して働き収入を少しでも多くと頑張りますが、その度に手当が減るとわかった時のショックは大きいです。ならば手当優先にした方がいいのかと思ってしまうくらいです。病気がちなので働けなくなった時のためにも動けるときには少しでも多く頑張っても、何にもなりません。（40 代）
・私は朝、満員電車に乗り子どもと会社に行っています。早く保育園に入れてもらいたいです。（20 代）
・子どもが中学に入学するタイミングで足立区に引っ越してきました。発達の遅れがあったため、特別支援を受けていましたが、子どもにはとても良く合う教育を受けさせていただき、中学３年間でとても成長を感じました。教育体制にとても感謝しています。（40 代）
・いつも生活保護でお世話になっています。大病をして離婚して、生活保護を受けることが出来て本当に精神的、金浅面でも楽になりました。治療を続けているので、パートは週に１回２回行けるくらいです。私にとってはすごく楽しい仕事なんです。１０年目になりますが、嫌だと思ったことがありません。私にとってこのパートと子ども達が生きがいです。（30 代）
・発達障害の手帳なしだと、なかなか、学習面等のサポート、フォローが受けられず浮いてる感じなので、体制を整えて頂きたいです。（30 代）
・①足立区のイメージが「住みやすい、人情がある」と言った好印象で伝えられて大変結講な事だと思います。ただ今だに柄の悪い印象を与える報道もあります。私の住んでいる地域は、中学受験率は７０％、中には名門校に入学するお子さんもいます。教育水準も高く。医者や塾であふれています。そのようなとこ

ろをクローズアップして、アプローチすべきです。セレブリティが転入してもまったく遜色なく住む事の出来る区であると思います。高学歴、高収入の方々に転入してもらい、学力ｕｐ・納税ｕｐを狙うべきです。

②私より若い方でも配偶者を亡くされ、苦しんでいる方は大勢いると思います。そのような人々の悩み相談や、亡き人の話を聞いてもらうだけでもよいので、そのような機関があると良いと思います。（50 代）

・自分が正社員になりたい。収入アップするためなかなか実現することができません。正社員になる窓口があればよかったです。以上、ありがとうございました！大変感謝です。（30 代）
・他県に２年前までおりました。足立区には学童がなくて、本当に困りました。他県には、学童が有り、随分と母子共に助けて頂いていたので、子どもの状況が心配でした。東京へは、転勤で来ております。周りに全く知っている方がいないにも関わらず、交流もなく、地域のイベントも分かりません。また、学校の先生も他県の学校に比べると、非常に冷たく感じました。（40 代）
・ひとりで子育てしていくなかで、足立区からの手当は本当にたすかります。しかし金銭的な余裕はありません。父親の介護があります。今まで、団地の３階に住んでおりましたが、父親が３階まで上がれずに、引っ越しをしなければいけない状況になったとき、母子家庭の引っ越し資金の借り入れをお願いしようと思いました。しかし、不動産の方は「母子家庭だと審査が通らない」ということで、姉の名義で引っ越しをすると、資金を借りるのに名義がちがうので…という理由でお金は借りれませんでした。母子家庭にもいろいろな形があると思います。すべてを聞き入れることはむずかしいと思いますが、これからも足立区で子どもを育てていきたいと思っておりますので、力になって下さい。（30 代）
・児童扶養手当を現在頂いていますが、下の子どもが進学、一番お金がかかるタイミングに支援が終わってしまうため、辛いです。また上の子どもの収入が生活費に加えられ、計算されるのは生活実態と異なっていますので、厳しいと感じます。（40 代）
・児童扶養手当が子どもが高校生（私立）の時に打ち切り（￥０）になりました。おそらく就職した、上の子の収入も合算され扶養義務者となるからだと思いますが、上の子から生活費をもらっている理由ではないので親（母親）だけの収入を対象として欲しかった。上の子から生活費をもらっていない理由としては高校（私立）と大学（私立）の奨学金の返済をしていること等です。（50 代）
・子育てに協力的な風土があると思います。子ども達の言葉が乱暴なので、上品になっていって欲しいです。アンケートに回答することで自分を見直すことが出来ました。ひとり親だけでなく悩んでいる共働きのお母さん、お父さんへもアンケート実施して頂けるといいなあと思います。（50 代）
・今の制度にとても感謝しています。ありがたいです。就学援助について。部活の面でもう少し補助していただけたら…と思うことはあります。（40 代）
・生活保護者が多く、団地も多い足立区、今後将来が見えない。現在は保護を受けれているだけでも有難く感じるが、先がしっかり見えないと不安になる。（50 代）
・ひとり親のイベントなど、梅島のエルソフィアでやってますが、足立区は梅島だけじゃありません。その地域周辺の方は行けますが、なかなか梅島まで行こうと思いません。各地域でやってもらいたい。足立区は広いです。そこだけで毎回やってて、行きたくてもいけない方も沢山いると思います。私は結婚を考えていますが、出会いがありません。足立区でそういった、シングルマザーの出会いの場を作って頂きたい。シングルマザーのお友だちもほしいです。子どもが幼稚園なので、シングルマザーということを隠しています。なので、シングルマザーの『ママ友』がほしいです。（30 代）
・ひとり親の手当をもらっているのに、男性と同居している人が多い。高校生・大学生は、小さい子どもよりお金がかかる。（40 代）
・最近「歩きタバコ」、「自転車に乗りながらのタバコ」が非常に多くなった。駐車違反等同様もっと厳しくして欲しい。（40 代）
・昨年引越してきました。すごくいいところです。（30 代）
・生活で困窮した際、本当につらかったですが、中部福祉事務所のワーカーさんがよく話を聞いてくれて、支えて下さいました。本当に有難かったです。（40 代）

・子どもだけでいいです。助けて下さい。学習塾の費用を助けていただきたい。無料学習では学習になっていません。お願い致します。学校教育を受け、生きる為の機会を与えていただきたく存じます。（40 代）
・母子の福祉資金で子どもの学費の手続きに行った時、いかにも借りたものを返さないようないい方をされて悔しかった。税金を納め、頑張っているのに辛くなりました。確かに私の結婚の失敗で、ひとり親になり、給料が低いのは私の責任です。でも、借りたものを返さない事はないです。あの対応の悪さは一生忘れません。今の世の中、借りたお金を返さない人が多いのでしょうが。そうでない人にとっては悲しい限りです。（40 代）
・収入があっても、ひとり親の生活は大変。手当を受けられる範囲をひろげてほしい。住宅の補助がほしい。（30 代）
・学童の時間が基本的に３０分遅くなると助かります。区の保育園に通っていましたが、１８：３０までだったので、この３０分の違いが大変です。（30 代）
・小・中学生までは、そこそこ支援があるけれど、思春期や反抗期に対する支援が全くないコト。一番したいコトや、やりたいコトが出てくる年齢に対しての支援がほしいです。生活がキビシイことを感じて、言い出せず、常に「言ってもムダ」「結局ダメなんでしょ」という意識で物事をあきらめる傾向になって、スレていくのを感じています。（30 代）
・東京都外から子どもの進学都合で転入してきました。都内、足立区は母子家庭支援が手厚いと思います。ですが、義務教育以降の進学にはかなり資金が必要です。自分の老後の心配をしつつ子どもの教育にもお金をかけなければならない辛い状況です。会社員として納税義務を果たしながらも専業主婦より厳しい老後が待っているのかと思うと少々理不尽な気持ちもあります。（40 代）
・医療費助成は受診に気兼ねなく行けるので、大変助かっています。（30 代）
・子ども一人の母子家庭は、子どもが数人いる人より損している対応に、悲しくなる事があります。数人いる母子家庭も大変かと思いますが、将来はその子ども達が社会に出て働ける人数と、一人しか子どもがいなければ、その一人に負担がかかり、すべての手当も、数人の子どもをもつ家庭はそれなりに頂けるし、もう少し子ども一人だけの家庭も、大事にして頂きたいと思います。後は、年収だけで判断せず、家庭の出費もわかっての補助を考えて頂きたいのが現実です。（40 代）
・出来たら高校・大学に進級する時にもう少し手助けしてもらえると、ひとり親の親も子どももうれしいと思います。今は、０才～中３までに力が入っていると思う。本当に大変なのは、その後です。（50 代）
・どのような支援があるかわかりません。区役所で聞く時間もありませんが、手続き等で区役所へ行った時の各窓口の方々の対応が好きではないので、時間を作って支援について聞きに行こうと思えません。（30 代）
・生活保護者の高齢者が必要以上に病院を受診し、タクシーを使い通院（大病院）するなどありえません。自費にさせる必要もあるのではないでしょうか。あまりにも手厚すぎると思います。その分、これからの未来ある世代に回すべきです。目先の選挙の票数とりばかり気にしているとしか思えません！！（40 代）
・生活保護は、手当が出ると、その分減額されてしまい。正直、苦しいです。手当は４ヶ月分が分割されて１ヶ月分の保護費からひかれ、仕事で稼いだ分も引かれ、さし引き、保護費はかなり減り、手当、とはよべません。何のプラスにもなっていない手当分。母子家庭は、生活保護家庭は、普通に生活するのも大変です。稼いでも、プラスになっていかない。子どもと何もできません。我が家は子ども４人、生活も大変です。引かれる分をもう少し、どうにかならないものかと思っています。（30 代）
・毎月の手当があればもっと母子家庭の方は助かると思う（年に３回の割りふりではなく）。不正をしていない一人親にはもう少し手当を増やしてほしいです。（30 代）
・学童の預り時間がもう少し長くなると嬉しいです。来年から時短制度利用が終了し、９時～１７時勤務となります。通勤時間が１時間以上なので、１８時のお迎えに間に合わず…。１人で帰らせるにはまだ不安があるのが本音です。また夏休みなどの長期休暇時は８：３０からの預かりなので、やはり朝も１人で鍵を締めて登校することになるのが、親としてはかわいそうに思ってしまいます（朝も夕方も１人になってしまうので）。勝手な希望ですと７：３０（または８：００）～１８：３０くらいだとすごく有難いです。（30 代）

・今、下の子どもが高校１年生です。大学へ行きたいと本人は言っていますが、学費を払っていけそうにありません。大学への学費何とかなりませんか？（40 代）
・奨学金など、貸付の際、保証人になる人がいなくて、貸りることが出来ない。親は高齢で対象外で兄弟もいないので、どうすることもできなく、困っている。（40 代）
・高３の息子が、進路を考える時に始めから大学に行くという事を考えていませんでした。経済的に私に気を使ってくれたのだと思いますが、その気持ちが悲しかった。生まれてくる家を選べない子ども達が貧乏で育ち、勉強も見てやる時間もなく塾も行けず差が出るのはあたり前だと思う。（40 代）
・シングルマザーで働いてるのに、年収が多いと手当が減るのはおかしいと思います。もっとシングルマザーに余裕のある生活をさせてほしい（完全にシングルマザーの人に）。（20 代）
・実家に住み、祖母が家事をしてくれるため、今は働いて貯金をするようにしています。会社は通勤時間が長く、忙しくなると家に居る時間が短くなり、子どもと接する事があまり出来ていません。祖母が家事が出来なくなったら、自宅近くに転職を考えています。その時は相談にのっていただきたく思います。よろしくお願いします。（40 代）
・足立区に住んで、良かったと思っています。（50 代）
・児童館が小学校から離れてる所にあるので、空教室とかで児童館はできないでしょうか？（40 代）
・児童扶養手当など手紙はまとめてほしい。切手代を節約するため。公園の遊具を増やしてほしい。（40 代）
・福祉が昔と比べどんどん良くなっているので、ありがたいのですが…。児童手当や、医療費無料の延長など、上の子はあまり恵まれずに終っています。子どもが大きくなってからの方がお金もかかり。その分、がんばって働いても税金で、私にとっては大金支払い。いつまでも、お金の心配で嫌になります。税金は仕方ないとは思いますが、もっと貧しい人にやさしい税金だといいのに…と思います。（50 代）
・母子支援施設に住まわせてもらっていますが、金銭的にも精神的にもとても感謝しています。本当にありがたいです。（20 代）
・足立区のハローワークに行った時、対応してもらった職員の方の態度がとても横柄で、人が気にするような事を言われ、とても不快でした。（40 代）
・平日９：００～１７：００以外にも受付けして下さい（日、木、休みで土曜開けるとか）。平日仕事なので相談したくても、相談できないのなら意味がないのでは…。（40 代）
・子どもが再来年小学校へ通います。延長保育をしている学童保育室が少なすぎること、１８時までということで大変不安です。保育所は２０時半まで開所しており、どうしてこんなにも学童は対応が遅れているのだろうと思っています。他の区は１９時まで全ての学童保育所が行なっている所があることも聞きました。この度児童扶養手当もあと５万円収入がなければもらえたのですが対象外になりました。苦しいです。本当に苦しいです。自己実現もむずかしいのに支援もなくなりモチベーションがあがらずにいます。せめて学童延長保育の充実を強く求めます。（30 代）
・支援については、私はひとり親であるからされるのはありがたい反面、両親共にいるご家庭に申し訳ない気持ちもあります。実際に仕事をしていて正社員にしていただき、安定安心は多少あるものの、正直言うと税金・保険貧乏で、働けば働いただけ税金・保険でなくなってしまう近年です。その税金がひとり親支援にどう使っていただけるのかそこまで支援が必要なのか、ひとり親になるハードルが下がっていないか疑問です。親のわがままやぜいたくの為ではなく、本当に子どもの為に渡って欲しい支援です。（30 代）
・足立区は子育てのしやすい町だと思います。離婚した当時は別の所に住んでいたのですが、足立区とは比べ物にならない位に道が閉ざされており、絶望的な気持ちで途方に暮れたのを思い出します。ありがとうございます。（40 代）
・足立区家賃補助を是非お願いします。生活保護を受けずに頑張って働いても、心身共に大変です。一人で頼る人が居ないので、貧困な子どもへの影響が心配です。（60 歳以上）
・就職についてなのですが、「若年」向けのものは比較的多くありますが、母子家庭で年齢を問わず受け入れ体制を整えてくれる企業の持集とかして頂きたいです。一般の方とは『別枠』で求人をしていただけたらありがたいです。（40 代）

・我が家は今後、中学・高校と目指しますが、子を持つひとり親は皆お金が足りないと言います。その為、心に余裕がなくなり毎日が必死の生活だそうです。勝手に離婚して支援を頂け助かっていますが、子どもが大きい方が、支援がもっと重視されると大変助かります。ひとり親がもっと気楽に相談できる場があると良い。ひとり親の子どもが塾に入る時の支援が欲しい。他の所にはない足立区独自の支援を作って欲しい。「あっ」と驚くことをして下さい。その反面そのひとり親も足立区に奉仕出来たらと思います。（40 代）
・自分の気持ちをアンケートで伝える事が出来て、少しでもわかってくれる人がいればいいなと思って、アンケートに答えてます。毎日がんばってます。（30 代）
・ＮＨＫの受信料の無料、色々な情報の提供。（40 代）
・今まで児童手当、就学援助、児童扶養手当、児童育成手当があったので、とても助かりました。現在も扶養手当、育成手当があるので、何とか生活できていますが、これも１８歳までとなっているので、大学進学の頃はどうしようかと心配です。私自身の収入が増えれば一番いいとは思いますが、大学は多額の費用がかかると聞くので、これからどうしようと不安に思っています。私自身は高卒ですが、子どもにはきちんとした教育を受けさせてあげたいです。（30 代）
・親族が近場にいると、受けられない制度がとても多い。国民健康保険も無料どころか、とても高い。親族の扶養義務を「一人親家族」は一律にしてほしい。高校、特に大学進学への「補助」「支援」制度を増やしてほしい。制度がある事もわかりやすくした情報がほしい。ほとんどの「一人親家庭」の援助を受けられないのに提出書類が多すぎる！！ムダ。（40 代）
・生活保護を受給していたが、資格をとり正職員になり、生活保護も中止になるまで頑張って働いている。給料の１／４が子どもの学費に消えてしまう。パートで生活保護を受けていた頃は行政の支援がたくさん利用できたが収入が増えれば増えるほど支援がなくなり、生活が苦しくなっている。最近は自分の体調も悪く不安ばかりである。働いても楽にならない行政はまちがっていると声を大にして伝えたい！（50 代）
・ひとり親への支援の内容がわかりづらく、電話で聞いてもよくわからないので、もっとわかりやすく情報をまとめた、メールマガジンやＨＰを作ってほしいです。（30 代）
・自立がしやすいようにしてほしいです。（50 代）
・いつも気にかけていただいて、初めて住みましたが足立区は良い所ですね。皆さん優しくて感激しています。本当にありがとうございます。（40 代）
・家賃が安いところを建てて下さい。中学生があそべるようなギャラクシティ的なところを作って下さい。（40 代）
・生活保護受給者でも原付バイクは所有することを認めてほしい。今は保護を受けていませんが、交通の便が悪い地域、生活するにあたり買い物等不便な地域では、認めてほしいと思いました。（50 代）
・一番大変な時に区役所で酷い事を言われて以来不信感を抱いていました。その後自分で資格取得し、仕事も安定し経済面では子どもに嫌な思いをさせずに過ごせるようになりました。ずっと区役所に対して悪いイメージを持っていますが、手当を頂いてきたおかげで助かってきたので感謝の気持ちもあり、複雑です。貧困の母子家庭がマスコミで取り上げられる度に悲しい気持ちになります。必要なのは手当ではなく、自立した生活を送ることだと思うので、そのような支援をして、少しでも、貧困家庭がなくなることを願っています。あと…手当は大切な税金ですよね。私の場合もですが、子の父に当たる人が支払い（養育費等）から逃げた場合、その家族に責任を負わせることはできないのでしょうか。そんな人に育てた家族にも責任あるのに、成人だからと言って、家族と切り離して税金でまかなう事に疑問を感じます。（30 代）
・足立区は母子家庭（ひとり親）に育成手当等、出していてとても助かっています。他の県では、やっていない事もあるので。介護士として働いていますが、給与は少しずつ増えていても、出費が多く、扶養手当も少なく減額されています。これから子どもが中学生になり、もっとお金がかかる頃には、色々な事情があり、ひとりで育てていると思います。今後も支援よろしくお願いします。（30 代）
・このような事を考えて下さってありがとうございます。親子支援課や、支援センターげんきの方は頼もしそうでした。（30 代）

・自分に支援していただいたご恩（税金でまかなわれていた）は忘れてはならないと思っています。収入をあげて、税金をたくさん払ったり、寄附したり、ボランティア活動に参加したり、同じ境遇の人を元気づけて行くつもりです。手当があって本当に助かりました。ありがとうございます。（50 代）
・このようなアンケートをもうけてくれて、ありがとうございます。（30 代）
・生活保護がどのような対象でうけられるのか！どこに行けばいいのか分かりません。（40 代）
・まだひとり親の事とかサービス？！じゃありませんが、わからない事も多々ありますので手紙とかわかりやすく、教えていただけたらうれしいです。（30 代）
・一人親、生活保護なので、病院行く時になかなか医療券をとりに行くのに、体調悪いと行けないので電話をしてもらうのですが、病院側はイヤなカンジで応答するので辛い、保険証がほしいです。（50 代）
・扶養手当は２年前から受けられていません。手当の補助金はなくてもいいのですが、収入に関係なくひとり親医療券や、都営線の無料券、水道料金の補助はしてほしい。正規職員で働いている方が損している気がする。（40 代）
・保育所に預けたい子どもが１人います。やはり、待機児童をなくす対策に力を入れてほしいです。（30 代）
・足立区にいい高校、いい大学があったら、子どもを進学させるんですが…。その前に、子どもの勉強への意欲があまり高くなく、中学に入ってから勉強についていけるか心配です。ネットで都内で学力ランキングを見て、子どもが「足立区はバカだから、自分がバカなのはしょうがない」と言っているのが悲しい。結局は個人だけど全体（足立区）も頑張ってほしい。（30 代）
・私の実家で、両親に世話になっている。家の仕事が高収入という事で、ひとり親手当は限られている。ただ出来ることならもっと支援して頂いて、家にも、もう少し生活費などを入れたい。（30 代）
・子ども達に収入はあっても、それぞれの生活があり、別のものとして考えなければなりません！同じひとり親の家庭でも、収入の少ない、ひとり親の家庭の方が手厚く、援助が受けられ、頑張って働いて、子どもを育てているものが、いっぱいいっぱいの生活を送る！というのも、おかしいと思います。生活の状況では無く、収入で判断されてしまうとつらいです。たっぷりと収入があるならいいですが、ギリギリ超えただけでも切られてしまう。余裕はありません。高校へも、行きたい私立には行かせられず…。中には偽装離婚をして手当を受けている人もいます。もっときびしく状況を見て下さい。一生懸命働いている人が損をするのだけはないようにして欲しいです。本当に困っている人を見て下さい。（40 代）
・以前、フードバンクをもらいに秋葉原あたりに行った事がありましたが、かなり遠く分かりづらかったので区役所などでやってもらえると助かる。健康診断に先日行きましたが、時間がかかりすぎる為、途中で帰って来てしまいました。もっと早く、効率良くやってほしい。子どもが居ると待てない。（30 代）
・このアンケートをやる事で、少し暗い気持ちになってしまいましたが、何かよい事に生かされる事を期待します。生活保護は、金ではなく、米でと思う。（30 代）
・一人親で両親とくらしていますが、認可保育園に入りにくい。認可外でも何か助成していただけませんか。これだけですごく家計が圧迫されます。認可、認証に入れないので認可外に泣く泣く入れてますが、認可、認証こちらにだけ助成があって認可外にないのはすごく不公平を感じます。（30 代）
・母子家庭の支援を、これからもよろしくお願い致します。（30 代）
・いつも助けて頂きありがとうございます。１人で子どもを育てていけるのかとても不安でした。足立区の方々にずい分助けて頂き、子どもも大きくなりました。ただ、小学校・中学校までは区立だったのでお金もあまりかからなかったのですが、高校へ進学し、専門学校へ行く様になると莫大なお金がかかるようになりました。高校を卒業すると手当もずい分へり。「ここからがかかるのに…。」と思いました。今は貯金をくずして、何とか生活しています。私たちは外食も１年に１度あるかないかで、食べ物は、ほとんど手作りで生活しています。そんなギリギリの生活をしている人間もいるという事もわかってもらいたいと思います。そういえば洋服も買ってあげてない。買ったのは高校の制服ぐらいです。（40 代）
・現在、体調があまり良くありません。仕事に支障が出ているのも事実です。体調が悪くてもとにかく私が働かなければ生活できませんから。自分の体より子どもの生活が第１です。（40 代）

・都営団地が全然当たりません。引っこし費用もなく、家賃を払える見込みもないため、引っこせません。実家に住んでいるため、児童扶養手当がもらえませんが、世帯は別で、家計も別です。保険料や税金などもあり、家計が苦しいです。（20 代）
・都営・区営住宅に住みたい。（30 代）
・給食のアレルギー対応について、食物アレルギーのある子どもも給食を楽しみにしている事。見た目が他の子と似ている物が食べたい事。お弁当や持参した物で他の子にからかわれたり、好奇な目で見られる事が嫌だという子どもの気持ちを少し考えてみて頂けませんでしょうか？給食費を払わない人は問題になりますが、ずっとちゃんと払っていても、あれも除去、これも除去でほとんどなくても給食費は返されません。栄養士さんはその道のプロなのに、あれもこれも除去。食物アレルギーの子が増えているのにどんどん肩身のせまい思いをする子ども達の気持ちを少しでも考えて頂けたらと思います。（40 代）
・相談に行っても、ＮＧと言われる事が多すぎる。（20 代）
・生活保護受給者にも、学校進学のため必要な資金の貸付及援助の窓口を広くして頂きたい。（50 代）
・子どもが大学を目指しています。そのために受験料や入学金に多額なお金がかかるので、少しずつ貯金をしていますが、足りないので無償制度があったら、助かります。教育費としてもう少しいただけたら嬉しいです。宜しくお願いします。（40 代）
・生活が苦しく生活保護の相談に行った時に、不正受給が世間で話題になったこともあり、私が若いというだけで「働いて下さい。」と冷たくあしらわれたり、ちゃんと話を聞いてくれなかった。イヤそうな態度で、勇気をだして行ったのに結局こんなふうにされるなら本当に必要としている人は受給できないんだろうなと思った。「子どもが少ない」、「子どもを産め」という割に老人に対しての待遇が良くて、年配の声ばかり聞いているせいで保育園も入れられない。仕事をしたいから預けたいのに仕事をしている母親や頼れる人がいる人ばかりポイントが大きく入りやすいところが意味がわからない。保育園だけじゃなく、子どもの声がうるさい等で公園でもあそぶことができなくなっている。家でも子どもの足音がうるさい等、静かな子どもばかりではないし、自分たちも同じ経験をしてきているはずなのになぜ少しも理解しようとしないのか。若い年代ばかり損をして生きづらい世の中です。（30 代）
・私の両親と祖母も一緒に同居してます。実家で助かる部分もありますが、いつも見られているというストレスも感じるため、子どもと私だけの時間、空間が欲しい。実家近くの都営住宅に住みたいのですが、募集もかかってない。だが都営住宅を見に行くと空いてる部屋がある様子。条件の都内在中３年をやめて欲しい。離婚前は都外であり、離婚し、実家（都内）へ戻ってきた。他のアパートなどは高いです。ムリです。…都営住宅を求めている方の為に、増やしたり、３年しばりはやめてほしい。早めの対策をお願いしたいです。（20 代）
・様々なサービスをありがとうございます。感謝しておりますが、区役所へ行かなければならない事があるのは、困る時があります。福祉事務所や区民事務所でも、医療費の返金や園の申し込み、手当証の変更手続等、できる事がふえると助かります。（30 代）
・相談したくてもあまりにも事務的すぎてできないですよ。どうして、態度がみんな横柄なのですか。（40 代）
・子どもがいますが、私自身祝日は仕事で、最近近くに住む母が入院し、学童がお休みの祝日は見てもらえる人がいなく、子どもだけで８：３０～１７：３０まで留守番になってしまいます。年末年始も変わらず仕事で、そういった時の子どもを預ける場所等がなく困っています。その為に仕事を休むと自分の収入が減るだけですから。子どもを学習塾等へ今後行かせる必要がどうしても出来た時、日々の生活が苦しい中でその費用を出すことが出来ないので不安。貯金する余裕もない。（40 代）
・毎年６～７月にかけて親子～課という部署から、何枚も封書が届き、その度に切手を貼り返送している。見れば同じ区役所への返送ではないか？切手代も、区役所の封筒代金もぞれぞれもったいない。同一人物に何円コストかかるのか？一括で出来ないのか？どこに何を相談したら良いのか「～課」というのが多く分からない。直接区役所に手続きに行けないことが多い。（土）（日）も窓口開いている、もしくは夜間空いている時間が増えると本当に助かる。（40 代）

・どんな支援が受けられるのかよくわからないし、窓口が別々でよくわからない。１ヶ所にまとめてほしいし、聞いたことだけ答えるのではなくて、全ておしえてほしい。（30 代）
・とても親切にしていただいてると感じます。（窓口やＴＥＬで）一人親家庭のイベントをいろいろ見ますが、正直とても参加しにくくて、もっと参加しやすいイベント内容だったりするといいな、と思っています。みなさんが思っている以上に一人親はひけめを感じているし、協力してくれる人が居ないので苦労しています。不安もとても多いので、こうやって意見を聞こうとして下さるのはありがたいです。それぞれの家庭でみんな事情が違うということも知って欲しいです。（40 代）
・Ａ－メールの防犯・防火情報で性別の記載はあるが、何才ぐらいの子が被害にあったのか載ってないので載せて欲しい。（30 代）
・必死に働いて収入を得ていくためには、お金もかかっている。収入があると手当の対象にならず、不公平だと感じる。せめてシッターさん代などの補助があっても良いのでは？寝る時間をさいて仕事をして収入を得ているのに、働かないで子どもと過ごしている人に手当が支給されるのはなぜなのですか？（30 代）
・ひとり親でも安心して働ける場所や、子どもをみてもらえる場所がもう少し増えてくるといいなと思います。（40 代）
・ひとり親や子育て家庭に対して、支援していただき、ありがたいです。生活はいつもギリギリですが、自分の家がもちたいと夢はあります。（30 代）
・母子家庭なのに国保が高すぎる。手当は低すぎる。（40 代）
・いつもお世話になっております。ありがとうございます。（30 代）
・いつも足立区の支援などお世話になって大変ありがたいです。電話での対応もとてもていねいでうれしいです。わが家は理由あってかれこれ１４年ひとり親制度を使わせていただいていますが、１８歳になってそれがなくなってしまうと思うと、やはり心配で寝られない時もあります。わたしが病気などで働くことができなくなったらどうしよう…ですとか考えてしまいます。こんな不安が解消されるような制度ができればいいなぁと思っています。（40 代）
・手当が減るのがいやで仕事をセーブしたり、生活保護を受けている人がたくさんいる。本当に必要な方へまわらなくなっている。ベーシックインカムのような制度が必要なのかも。（…これは国単位ですかね…。）（40 代）
・経済的な支援の金額を増やしてほしい。中途半端に働いていると生活保護など受けることも出来ず、ひとり親に対して窓口の対応もシビアに感じたことも当初ありました。のびのび子どもを育てていくため、これからの社会の子のため、支援の目を向けてほしいと思う。そこから貧困家庭は生まれていくので。（40 代）
・ひとり親でも幸せにくらせる様、手当等で支援して頂き感謝しています。私はずっと仕事にも恵まれ、子そだても大変な事より、幸せな事のほうが多かったと思いますが、私のまわりにはシングルで手当や親からの支援だけに頼り、子どもの事より自分にかけている人がたくさんいます。働いた分、手当が減り、それも当然とは思いますが、働けるのに働かずシングルにあまえている人があまりに多いのでつらく思います。そういう人にかぎって子どもへの関心が薄いです。手当は現金でなく、生活費、家賃、電気代など直接決まったものへの支給でも良いのではと思います。（30 代）
・手当ですが、高校生になるとお金かかるので（弁当代）、病院代くらいは１８才位まで、無料にして欲しいです。（40 代）
・未婚である事への偏見がまだみられるような気がします。未婚・離婚も偏見のない暮らしができると良いと思います。今は、高等学校から進学する子どもも増えています。母子家庭だからとかで進学する子どもたちが少なくなってほしいです。（40 代）
・教育にもっと力を入れてほしい！！（30 代）
・家にＴＥＬが無いため（友だちもいない、人づきあいが無い）相談する事も難しい。カウンセリングする（無料場所等）場所（夕方～夜）が欲しい。仕事で平日はいけないから。（50 代）
・収入で判断されることが多い手当ですが、生活が辛かったときや、手当が頂けるようになるまでの間に借金が増して、返済に追われている事もあるのです。個人の生活状況や世帯収入、支援してくれる人の数なども

っとふみこんだ調査をするべきと思います。個人情報など、デリケートな事を言う方も多くいますが、本当に大変な人達はそんな事を気になどしていられません。うちは今、子どもが中学に入り、苦しいながらも親子二人で支えあって、協力して生活しております。本人（子ども）の努力もあり、なんとか人並みの生活ができるまでになりました。手当を受給していて本当に助かりました。今後も本当に必要な方をみつけてあげてほしいです。ありがとうございました。（40 代）

・頑張って働いても手当がもらえず、手当をあてにしている方が多いのはちょっと…と思ってしまうときがあります。（30 代）
・２人の息子が働きだし、一人は生活を助けてくれますが、みんながお金を入れてくれる訳ではありせん。収入を家族一括で見られるとツライです。（40 代）
・ひとり親に対しての支援が手厚くて助かっている。家賃補助制度があれば親から離れて生活したいと思う。（40 代）
・区役所へ行かなくてはいけない用事がある時、時間的にどうしても仕事後に行くことができないので、平日に遅くまでやってくれる日を作ったり、増やしたりしてほしいです。日曜日に開く日があるようですが、回数を増してほしいです。今は月に１回だけのようですが、他の用事と重なってしまい、行くことができない事が多いのです。又、職業相談など、平日昼間が多いですが、フルタイムパートですと行きたくても無理です。正社員になりたいので、相談したくても、相談すらできません。（30 代）
・とてもサポートしてくださっていると思います。ＴＥＬや窓口でおたずねすると、いつも親身になって対応してくださいますし。発信してくださる情報も多いと感じます。ありがとうございます。私はたくさんの方々に助けられて、生きていられます。周りに家族がいました。でも、私のように恵まれた環境の方は少ないのでは、と思います。足立区の行政の方で、これからも、多くの方のサポート体制を築いていただき、女性が、そして、一人親のすべての人が輝ける力を持てるようにしていっていただけると幸いです。子どもたちの未来のためにも。よろしくお願いします。ありがとうございました。（40 代）
・本当に生活が大変な人がたくさんいると思います。私も含め、一人親は、子どものためにがんばっていると思います。（40 代）
・ひとり親の支援が子どもが１８才になった３月末日までなので、私の子どもは早生まれなので１８才１ヶ月で終了します。子どもの進路を考えるとこの先、生活出来るか不安です。１日でも早く子どもが成人又は自立できるまで支援頂ける様改制をお願い致します。私の年令的に日中働いて、それなりの給料を得るのも難しくなっております。ぜひ２０才まで支援お願いします。（40 代）
・他の区に比べて足立区は色々と支援をしていただけてると思います。でも。しいて言えば、都営交通無料乗車券を一家庭に１つではなく、子どもの分もいただけると一緒にでかけられる回数が増えると思います。（30 代）
・足立区に転居してきて、沢山の支援があり、とても感謝しています。ありがとうございます。子どもの貧困対策も長期的に見てくれていて、心強いです。ただ、「貧困」というワードを今、メディアも沢山使っていますが、対策を考える為、社会的にインパクトを与える為には有効なのかもしれませんが、当事者としては複雑な心境もあります。私達は貧困なのか…と。そういった気持ちもある事を分かって頂けたら幸いです。沢山、支援があってもひとり親は毎日を過ごすのに精一杯なので、ゆっくり立ち止まって自分の未来のキャリアプランを考えるのが難しいのが実情だと思います。（30 代）
・一緒に住んではいるが生計は同一ではない場合があることを理解してほしい。（40 代）
・母子の高等職業給付金を受けつつ専門に通っていて、無収入なので給付金にたよって生活をしています。ですが、前年まで仕事をしていたため、前年度の収入により国保と都民税が５万位かかり生活を圧迫しています。色々控除してもらったりしていますが、これはどうにかなりませんか？正直しんどいです。（20 代）
・離婚時の辛い思いをこのアンケートで思い出してしまいました。あまり、思い出したくない事でしたので、アンケートは辛かったです。でもこれが現実です。子どもを幸せにするために頑張ります。（40 代）
・家の補助金など。（40 代）

・もっと現実・実態を見てほしい。１人親でも養育費や慰謝料をもらっている人と環境は違う。１人親でも小さい子どものいるお母さんには手厚い恩恵。夫婦で働いているのに、待機児童で騒いで手厚い恩恵を受けようとしている。なにもない１人親のパートでは生き地獄。児童扶養手当の所得限度額の設定が低すぎて、すぐ超えてしまうため、カットされる。病気で休んだら生活がより苦しくなる。ＰＴＡの免除もない！学校では立場がよわい。学校も仕事も世の中もパソコン・スマホがあって当り前、出来て当り前。子どもが大人になった時が心配。負の連鎖・格差社会をものすごく感じる。子どもは１人っ子で親族にも他に子どもはいないので、この先、子どもは生きていけるのか、心配です。（40 代）
・子どもたちが正社員で働くには、大学や、専門に進まなくてはいけない。その為にはお金が必要になってくる。幼児に手当を出してくれるのも良いが、一番お金がかかるのは、子どもたちが大きくなり、高校以上の学校に行く時だと思います。そのための手当等、考えて頂きたい。（40 代）
・大学進学なので、せめて２０才までは手当を頂けると助かります。是非検討頂ければ幸いです。（60 歳以上）
・ひとり親であり、自分の母も扶養している場合、子どもにかかる費用と、母の通院にかかる費用など両者への出費が発生しますが、現状の支援は収入しか検討されてない。児童扶養手当など受給できなくなる場合、他の方面から支援を受けられることをご検討いただきたいです。（30 代）
・手当など助けて頂いた時期は本当にありがたかったてす。ありがとうございました。（40 代）
・１８才で手当がなくなるのは、ものすごく不安。生活が今まで通り出来なくなるのはわかっているが、どうしようもない（手当分収入が増えないし）。社会人になるまでは何らかの制度を作って対応してほしい。（40 代）
・東京都の中で、学力が上位を目指せる区になるといいですね。大学受験する家庭がふえてほしいです。（50 代）
・現在「はばたき塾」に行かせていただいています。都立高校の入試は思っていた以上に競争がはげしく厳しい状況で（倍率が高い）。このような塾を設けてくださったことにとても感謝しています。私は仕事をしておりますが、年齢的に正社員になるのは難しいので、今後、副業をした方がいいのか考えています。これから子どもに教育費がもっとかかることが心配です。奨学金は借金ともいえますので、もう少し門戸を広く、返済の負担が軽くなるとありがたいです。（50 代）
・児童扶養手当、児童育成手当の申請時期と手続きの簡略化を徹底してほしい。もっと周知してほしい。１８才になった年の３月まで、だと４月生れと３月生れでは１年間も開きがあります。３月生れは不利なのでは？（50 代）
・都住の申し込みを何年も続けているのですが、なかなかダメな様です。家族３人で暮す事が願いです。プライバシーはとても大事な事だと実感してます。低所得家庭の子の成績が低いという実態が良くわかります。（30 代）
・子どもが小さい時より大きくなってからの方がお金がかかるから、各種手当が２０才前まであるといいと思った。（40 代）
・福祉事務所の方は本当に親切で、心が落ちつきます。離婚後の生活の不安が小さくなりました。（40 代）
・本当に困っている時は、足立区は何もしてくれなかった。私の実家に子どもの父親が住民票をおきっぱなしにし。家出をしているにもかかわらず、私達の家から、子どもの父親の住民票を移す方法を教えてくれもせず、「父親自身で住民票を移してもらう様に言え」と役所の人は言い放つだけで、ひとり親制度の手続きも取れないでいるのに、誰も手をさしのべてはくれなかった。（40 代）
・好んで一人親になった人はいません…。やる気のある子には、私立高校・私立大学へいく道を作ってほしいです。目標があっても経済的にいけないのは、親として心苦しいです…。足立区の子ども達に未来を…。全ての子ども達が幸せになってほしい…。子どもが認められると、親も嬉しいものです。子どもが幸せな気持ちになるのは、親の心しだい。（40 代）
・お年寄りにも良い制度にしてほしい。両親とも健在ですが、父親は認知症、母親は体が悪いので大変です。（50 代）

第５章　自由記述

・補助金の金頭が上がってくれれば助かります！！（40 代）
・もう少し長く保険とか年令を上げてほしい。金銭的にもう少し長く補助してほしい。（40 代）
・家賃の補助などがあれば少しは生活費にゆとりが…できるので、都営住宅、民間でも良いので補助して欲しい（安い家に引越しをしたくっても引越しなどで使うお金が無い）。（40 代）
・安心して子どもが公園に行ける様にしてほしい。（30 代）
・両親がそろっている家庭もひとり親の家庭も、明るく健全にくらせる足立区であってほしい。とても困ることがＰＴＡについてです。ひとり親は誹謗中傷をとても受けるので…。（30 代）
・子どもが室内で遊べる施設をたくさん作ってほしいです。たとえば、「キドキド」「オンパミード」「ＳＬランド」「キッザニア」など、近くにあれば、雨の日など利用したいです。（30 代）
・私は今まで年金を免除させて頂いておりました。でも今年の１０月から社会保険制度が始まり、時間（パート）を減らすか、社会保険加入かの２択をせまられ、加入を選択しました。この制度は、ありがたく思う人もいるとは思いますが、カツカツで今日一日を生きている人間にしてみたら、本当にめいわくな制度です。足立区が決めた訳ではないのですが、稼ぎたくても稼げない現実をみてほしいです。（40 代）
・高等職業訓練促進給付金の支援をうけさせて頂いております。先が見えない状況での子育ては非常に不安でした。このような制度があることに大変感謝しております。ありがとうございます。（30 代）
・いつまで働けるか…今は児童扶養手当を頂いているがその後、働けなくなったり、老後に不安は有ります。これからまだ子どもにお金がかかるので、不安が有り、なるべく使わない生活をしていますが、生活保護を申請する時が来るかも…。人より結婚出産が遅かったため、子どもが１人立ちするまでのあと１０年、働けるか…持病があるので、悪化するかが心配。（40 代）
・現在、失業中の為、貯金を切り崩しての生活です。区役所に用があり、行った際、話しにくい事も相談しようと思うが、その担当部署がわからず、相談出来なかったりするので、ひとり親の相談が出来る専門のカウンセラーさんがいる窓口があったらいいなぁと思います（職員の人だと、相談しにくい）。（40 代）
・２人の子どもは成長し、色々楽になってきました。過去を思うと、色々と手当を頂きとても救われましたが、今思うと都営住宅へ入れる前は家賃が高く、やはりその手当もあったなら、もう少し子ども達と一緒にいられたかなと思います。（40 代）
・都営住宅に住みたくても、なかなか当たりません。子ども達のために、ぜいたくを言うと、１人１部屋にしてあげて、もっと勉強に集中できる環境を作ってあげたいです。３ＤＫの部屋に住みたいと思ったら、家賃が高くなり、今は２ＤＫで、がまんして過ごしています。家賃の補助があったら良いなと思いますが…。でも、ぜいたくだと思っています。子どもの手当を頂いてとても助かっています。ありがとうございます。（40 代）
・自立したいけどお金関係があり、難しい。そういう時に何か機関があれば教えて頂きたいです。（20 代）
・１人親になった時は、区のひとり親支援に大変助けて頂きました。ただ、直後から手当が支給されるまでの数ヶ月、本当に生活していくのが大変でした。申請から手当給付までの期間が短くなれば、大分金銭面での不安が解消されれば、安易に生活保護は考えないと思います。私はどうしても生活保護には頼りたくなかったので、生活が安定するまで資格取得への学校へは行かず、結果、正社員として安定するまで５年かかりました。実際現在の給付金では、かなりの預金がないと生活は困難だと思います。（40 代）
・ひとり親になって、さまざまな支援をいただき本当に心強かったです。ありがとうございました。でも、年収オーバーということで来年からは支援はなし、と通達がきました。私よりたいへんな方がいらっしゃることは十分にわかってはおりますが、来年子どもは受験、元夫の金銭関係もとても不安なのでとても心配です。（30 代）
・離婚時、扶養者でない人にも将来金銭的に扶養する義務を約束する制度を作ってほしい。医療費は１８才まで無料にしてほしい。（40 代）
・子どもが小さい頃から児童手当等で援助していただけて本当にありがたく思っています。ただ自分が今非常勤雇用であるため、年令的にも所得のアップは見込めません。高校卒業後進学を希望され、もちろん本人にできる限り協力してもらい、アルバイトや奨学金を使って学費をと思っていますが、交通費（都の交通機関

の無料サービス）等学生である間継続していただけたらとも思いますし、所得アップが見込めないことで老後の不安はつのります。（50 代）
・ひとり親家庭でもそれぞれ状況がちがいますが、私の場合、主人が亡くなってという形ですので、離婚等とは全然ちがうので、いろいろととまどっています。足立区は長く住んでいます。これからも住み続けたいです。死別などで、１番思うのはメンタル面です。親もそうですが、子どものメンタル面のサポートなどがしていただける場所があるといいと思います。（40 代）
・インフルエンザ予防接種の助成があるとありがたいです。（40 代）
・中学３年間、学校・先生に対しての不満が多く（親から見てもこの先生大丈夫？と思う）、かなり子どもの精神的負担になっている。課はちがうかもしれませんが、親が安心して通わせることができる学校作りの方が大切なのでは？（40 代）
・主人との死別後、自分名義の口座を持たなかった私は、ただ生活するためだけでも、手続きのための手続き、同じことばかり何度も記入する書類、公的法的な手続きに生きるって面倒臭いと思ってしまう程、大変でした。１つ１つ説明され、必要で大切な手続きなことは理解できましたが、当時は考えなければならない事が多すぎてもう少し心のケアに時間が取れたらと感じていました。（40 代）
・いつも助けてもらっています。わがままを言えるなら、連休等に母子ツアーみたいに、旅行に行けるといいと思いました。あと、現金もありがたいですが、おもちゃ等の現物支給もありがたいです。食料(お米とか重い物)等を配達してくれたりすると嬉しいです。（30 代）
・外国人の生活保護の方が簡単に都営団地に入り、毎日公園でたまってあそんでるのに、私達はないながらも仕事してるのがバカバカしい。（40 代）
・夜、町中がとても暗いです。歩くのが恐いです。もう少し明るく、治安の良い町づくりをおねがいします。歩きたばこが迷惑です。完全になくしてほしいので条例で取り締まるなど厳しくしてほしいです（罰金制度など）。（40 代）
・保育園に入りやすくしてほしい。夜中でも子育てで相談できるところがほしい。町中でもオムツ交換できる場所がほしい。（20 代）
・給付型の奨学金の幅を広げて頂けたらと思います。中程度の障がいでも、タクシー券、医療費補助があればとても助かります。（40 代）
・夕食の面で苦労しているので、子どもが１人でも安価で安全な食事がとれる場所が近所にほしいです。老後１人で生きていくことも心配なので、勉強会などがあれば参加したいです。お金がこの先どれくらい必要かわからない、家もないので仕事がなくなれば住む場所もありません。心配です。（40 代）
・ひとり親などの手当が、家賃で消えます。養育費を別れた夫が支払ってくれないので（家裁で決められた金額）、インフルで会社に行けなかったりすると、とても生活難です。休んだ分だけ収入が減るので、何か助けてもらえる部分があると助かります。（30 代）
・手当など、ほんとに助かってます。（30 代）
・役所やその他で自由出勤の職場を用意してほしい。（30 代）
・今、子どもが中学生になり、食費や光熱費がかかる。衣料品や生理用品がかさむのに１５才になったら児童手当もなくなり、不安になります。学力低下と言いますが、勉強したくても、させてあげられない（40 代）
・本当に経済の面で学ぶ事が決められてしまう。塾、進学、学費など、貧富の差がない時代をせつに願う。（40 代）
・今は両親と暮しており、生活は最低限出来ていると思いますが（食費・居住費など）、手当などは受けられません。生活に関わる費用は両親が出してくれていますが、その他の子どもにかかるもの、洋服や娯楽費は貯金でまかなっています。子どもたちをひとり親だからと進学などあきらめさせたくありません。ひとり親だからこそ、子どもたちが成長したあと、温かい家庭が築ける様にしてあげたいです。手当が受けられるようにして欲しいです。（30 代）
・高校生の息子の塾や、奨学金の説明などお願いしたい。（40 代）

・現在、子どもを平成２９年度４月から保育園（認定）への入所希望手続きをさせていただいております。認定保育園決定の過程は点数制というのは重々承知しております。しかしながら、低所得だからこそ認定保育園へのありがたきをふまえた上での希望者は多いと思います。が、ひとり親だからこそ共働きの家庭収入（所得）より限られている所得の低い者が、点数制？で落ちる意味がわかりません（もちろん、ひとり親でも、共働き家庭よりも収入がある方もいらっしゃるとは思いますが……）。年間手取り６０万では、認定保育園以外、子どもを預けられない現状を知っていただきたいです。（実家から独立もできない現状をも、もっと知っていただきたいです。）（20 代）

・保育園の入園について、育休を取れる正職の人のポイントが高く優先される。ひとりでは、働く条件が限られ、ポイントが得られないこと。手続きの窓口では、親切に対応してもらえる。よかった。（40 代）

・離婚した時は正社員として働いていましたが、２人の子どもと過ごす時間が１番大事だと思い、非正規の職場に転職しました。養育費もない中で、２人の子どもを私立高校へ入学させました。子どものやりたい事があり、第一希望のためです。そこで、都や国の手当を受けております。大学進学・卒業まで、私も子どもと一緒に頑張りたいです。そして、その後の自分自身の事も考えていきたいです。親として、子どもの自立をしっかり支えていきたいと思っています。（40 代）

・一人で仕事から子育てまでをこなしている為、子が病気になった時のホームヘルパーさん制度があるとうれしい。（40 代）

・以前になかなか仕事がみつからず、生活費に困って福祉事務所へ相談に伺った時に、仕事が決まらないなら、支援はできないと言われました。管轄の福祉事務所が家から少し離れていたので、車で伺ったところ、ここにお金の支援を相談しに来る前に、車を処分してお金を工面したらいかがですか？と言われました。困っているから支援を求めに行ったのに、使えない制度だとガッカリしました。あと、仕事がみつからない時に、外に出ていた（世帯が別）子どもが一緒に住んでくれる事になったのですが、子どもと同居になったとたんに医療費の負担が０から１割になり、生活は苦しいままなのに負担ばかりが増えています。決まりはあっても特例をもうけて下さると助かるのですが。（40 代）

・ひとり親家庭で、離婚と死別との違いや区別を示して欲しかったです。子どもが１８才になると遺族年金が切れてしまう事に不安を感じます。急にひとり親家庭となり、（主人が亡くなって）情報もなくて大変でした。予想もしていない急な死別で、もっと手当があるとありがたいです。これからが子どもにお金がかかるので（進学など）将来が不安です。（40 代）

・もっと早くに子育て制度が良くなればいいと思ってました。（40 代）

・仕事ができる状況にあるにもかかわらず、手当を頂けるぎりぎりしか働かず、生活保護を受けたりしているひどい親。働いている事にしているひとり親。病院でうつの診断書を書いてもらったと喜んでいるひとり親。みんな、不正受給です。もらえるのはとてもありがたい事ですが、子どもを育てる為、将来の為、自分で選んだ道だからと、きちんと働き頑張っている人は、損なんだなと思うことが多々あります。話を笑顔で聞いてはいるけど、手当だけで生活して、自分をきれいに着飾り、子どもはボロボロの母親を見ると、この制度はない方がいいのではないかと思わずにはいられません。私自身この制度がなくなると困るとは思いますが、親が一人しかいないのに、こんな親達を見て育つ子どもが心配です。頑張らない親を支援して何になるんでしょう…。それより…。一人親の税金の控除をお願いしたいです。２０万給料もらっても、４万引かれますから……。毎月手当をもらうより、その方が全然頑張りがいがあります。（40 代）

・自分が仕事でも、子どもが安心して過ごせる場所がもっともっとほしい。安心して預けられる場所、子どもも楽しめる場所があれば、自分も安心して仕事ができる。（30 代）

・生活保護のあり方をもう少し見直してほしい。（30 代）

・夜勤がある仕事をしたこともあります。パートから契約社員、正社員となりました（資格をとりました）が大変でした。現在も残業があり、子どもと話す時間は短いことが残念です。ひとり親家庭の手当があったのでここまで生活できました。ありがとうございます。（50 代）

・子どもの夢をかなえるため高校・大学に進学させてあげたい。就職するためにも人並みの教育を受けさせてあげたいので、低所得でかつ進学している子どもには在学中に限り手当を受けられるようにしてほしい。１

人親には離婚と死別があり死別は選べるものではないので、一緒のくくりにしてほしくない。又、離婚は養育費がもらえるが、死別はもらえないのに同じ金額なのはおかしい。離婚は自己責任。資格を取るための支援はいらない。そういった業種は勤務条件が厳しく、育児との両立は無理だから。私立小・中・高に通っている子どもには学費の援助が必要。（40 代）

・ひとり親として、区や都から支援をいただきとても感謝しております。ありがとうございます。都営住宅へ入居出来たことがとてもうれしかったです。あとは子どもたちが一人前になるよう育てるだけです。がんばります。（50 代）
・離婚してから区の制度がありとても助かりました。これまで援助してくれた区に、とても感謝しております。ありがとうございました。（40 代）
・母子家庭といいながら、手当を受けているのに、別れた旦那が家に出入りしたり、男の人が出入りしてる人が多すぎる。もちろん、養育費をもらっていても、更新アンケートには、０円と書いている人がいる。生活の為に家庭を犠牲に朝から夜まで働いて、手当は減り、税金を私っているのがバカをみてる気がする。（50 代）
・医療費免除など、色々助かっております。（40 代）
・非正規で働いているということはいつでも失業の可能性があるということ。前年の収入だけで、すべてを判断するのは低所得や不安定な仕事についている人の助けにならない場合がある。失業したら明日の生活費がなくなる。失業者のサポート体制が足りないと思う。私は前年まで契約で高収入で働いていましたが、法律で満３年までの更新しか出来ず、堂々と会社から雇い止めとなりました。その後もひとり親補助は受けられず、離婚当初よりずっと困窮しています。（40 代）
・ひとり親世帯が多いようですが、もう少し手当がほしいです。生活がひとり親だと、経済的にも精神的にもつらい時があります。やはりひとり親だという劣等感はいつもあります。足立区というとイメージが悪い、学力が低いというイメージがあります。学力も向上して頂けると助かります。（40 代）
・色々な面で援助をいただき、感謝しています。ひとり親になり、援助を受ける反面、皆様の税金を使っている、という（自分勝手な言い分ですが）ストレスは強く感じています。足立区の区民の皆様へその分を還元すべきだと考えています。その為の職にも就いています。その職であるために、色々と気付かされたことも多々あります。受けるべき人が受けられず、受けなくても現状大丈夫なのでは？と思われる方々が圧倒的に大きな数であることに驚かされています。平等かつ正規な判断を願う次第であります。（50 代）
・今、生活保護させていただいてます。お世話になり、ご迷惑をおかけして申し訳ないです。大感謝。品川に引越ししたいが、品川には都営団地がないので引越しできないです。（40 代）
・ひとり親で本当に大変な人の為にこれからも色々とがんばって下さい。いつも助かってます。（30 代）
・再婚に向けての金銭の支援。（20 代）
・子どもが大きくなるにつれ、金銭面での不安を感じます。塾代や中学受験等…。子どもを１人で育てながら、収入を増やす事はやはり限界があります。母子家庭の子どもに対しての塾代や私立学校への援助があれば、子ども達の未来は明るくなります。母子家庭の子ども達も、他の家庭と同じ様な教育を受ける事が出来たらいいなと思います。それと、シングルマザーは常に仕事をしなければ生活は出来ないので、もし、自分が働けなくなったらという不安もあります。児童扶養手当の金額も収入によって減額されるのではなく、どの家庭も同じ金額を受給できたらいいのになと思います。正直、扶養手当の金額では少ないと思います。（30 代）
・不登校などの対応が少なすぎる。げんき以外にもサポートが必要。（40 代）
・団地をふやして、当たりやすくしてほしいです。（50 代）
・もう少し手当を増やして頂けると家計が助かります（子ども達がお金のかかる年になる頃に増やして頂けると、進学ももう少し楽にさせてあげられると思います）。（40 代）
・ひとり親世帯に、もう少し便利で気軽に何事にも支援して欲しい。成人するまでは（子どもが）色々な支援はとっても大切です。生活保護も貯金が有ると駄目とかではなく、他に違う考え方もして欲しい。本当に貯金を崩して生活していて、支援も少ないのはキツイ事です。不安が沢山です。働きたくとも体調が悪くって

働けない人もいるのです。もう少し考えて欲しい。団地の方もそうです。中々当選出来ずで本当に苦しいです。（40 代）

・子どもの学費がかかるときに手当が減ってくるのはかなり大変。（40 代）
・急きょ働かなくては生活していけず働きに出ました。子どもは認定保育園に行けず、待機児童になり、やむなく認証の保育園へ。毎月助成金を引かれても１０万円近い保育料。実家の援助がなかったら、認定保育園に受かるまでの１０ヶ月をのりきれませんでした。保育ママも区の方に勧められましたが、私の母が公園で、保育ママをしている方が、預かっている家庭の陰口をしている姿を目の当たりにし、どんなに苦しくても認証の保育園へとなりました。きっと、私の様な母子家庭、もっと苦しい生活の母子家庭が在ると思います。母子家庭が安心して生活していける、生きていける母子家庭支援を望みます。（40 代）
・Ａメールは登録しておりますので、事件などメールは来ますが…。足立区内、近所の全てにおいて情報が入って来る訳ではないので、別サイトを設けて頂き、足立区内で起きている事を見れたら良いです。（40 代）
・年齢問わず、働きやすい環境と、安心して子育てできる地域であってほしいです。（50 代）
・兄も一緒に同居しているので生活費は別々なのですが、同居の人の年収で児童扶養手当が全額もらえない制度を少し変えて頂けたら、これから助かるシングルの人もいると思います。（30 代）
・手当もう少しほしいです。（20 代）
・家賃補助が有ると助かります。（40 代）
・１７時以降でも電話がつながると、とても嬉しい。平日だけの区役所では民間に優しいとは思わない。土・日も月決めで、第〇曜日だけ、といった感じに利用できるようにして欲しい。保育施設をもっと増やして欲しい。足立区でのフリーマーケットに行きたいから。お知らせシステムがないか、つくって欲しい。メールとか？（20 代）
・児童手当など、生活の為にとても助かっているのですが、支給されるのが毎月だと、とても助かります。それを光熱費の支払いにあてないと足りないので。（40 代）
・離婚後、福祉事業所へ生活保護の申請へ行った時に、対応した人に言われた事がとてもショックで、今でもトラウマ的になっています。ケースワーカーの方にも色々な人がいて、良くしていただける方と対応の冷たい方の差がありすぎて、担当が変わる度に困惑してしまう。（40 代）
・子どもの為に、老後の為の資金を準備する前に子どもの教育費にあてています。今後も奨学金が必要です。しかし、子どもの借金です。給付型奨学金の創設をおねがいします。（40 代）
・養育費をもらっていたり、男性が家に出入りしていたりすると、なぜ手当がへるのでしょうか？男性とお付合いしていても、生活費を必ずもらっているとはかぎらないし、母子家庭でもランクの差があって当然だと思います。なぜ一律にしたがるのでしょうか？収入が多いのは人より多く働いてるからで、仕事しないで手当だけで生活していく人と、できるだけ働く人がいる訳だから手当額はみな同じにすればいい！！手当を目当に離婚してる方々がいっぱいいます。保育園、学校に生活状況を聞けばすぐにわかる事です。ちゃんと見て下さい！！そして本当の母子家庭にもっと手当金を増やして下さい。（40 代）
・学歴が全てではありませんが、親の経済状況で、学ぶ意欲があっても諦める選択をしなければならない子ども達が居ます。かつての私もそうでした。高校進学への希望も叶わず、中卒で就職し親への仕送りをしながら定時制へも入る事が出来ず、労働の仕事を続けて来ました。希望する職種には、学歴が不足で、諦め諦めの日々を過ごしてまいりました。全ての子ども達に学べる環境を、平等に！！（40 代）
・収入のみで補助の制限を決めないで欲しい。仕事形態で夜勤をする職業で、子どもたちだけで留守番をさせて、心配の中働いている状況がある。その夜勤手当で収入が増えている所もある為、もう少し１人１人の仕事形態や環境を考慮して欲しい。（40 代）
・現在、上の子どもも就職している為、生活はギリギリですが家賃等滞納なく暮らせていますが、貯蓄が出来ず上の子の将来が不安です。下の子どもを大学に行かせたい気持ちはありますが、今の状況を考えると難しく自分の給料では行かせられません。ぜひ母子手当の年齢拡大を検討して頂けないでしょうか？（40 代）
・保証人がいないため、家を借りる時、大変困っています。保証協会でさえ、保証人が必要と言われました。何か保証人の代わりをしていただける制度があれば助かります。（50 代）

・偽装離婚して、手当をもらってる人を見ると本当にズルイなーと思う。生活保護もだけど。真面目に働いて税金納めてる人に失礼。うちは元夫や親からの援助も無いから、就学援助や扶養手当は本当に助かります。（40 代）
・児童相談所なのに相談もさせてもらえず「おり返しＴｅｌする」といいながらＴｅｌなくヒドイ対応です。しっかり指導して下さい。児童手当の対応も悪く、しばらく支給してもらえない期間があり苦しかったです。転居届け手続きの時５時間またされました。改善して下さい。学費が大変です。（40 代）
・どの課に行っても丁寧で助かります。区役所に出さず、区民事務所で書類の受け渡しが出来ると助かります。（30 代）
・足立区と言うより区役所の児童扶養手当の担当部署への要望ですが、申請や手続きが１７時までは早すぎます。働く母はそんなに早く帰ってこれません。週１回でももうちょっと遅くまで受付等してほしいと思います。あと、公立（区立）の中学校の制服やジャージ類が高すぎると思います。合計１０万円以上もかかるなんて！！私立ならまだしも。補助等して下さったらありがたいです。（30 代）
・アメリカみたいに養育費の制度を作ればいいと思います。日本の男は産ませるだけで知らん顔でむかつく！！（40 代）
・仕事を遅くまでしている時に子どもを預かってくれる施設を、充実させて頂きたいです。（30 代）
・足立区が大好きなので、年老いた母がずっと暮らしていけるような支援が欲しいと思います。子どもに祖母の面倒をかけたくないです。（40 代）
・ひとり親の家庭の場合は、国保や年金を減額にしてくれると助かります。（40 代）
・ひとり親の支援課の方には大変お世話になりました。子どもをひとり親にしてしまった後ろめたさもあったりして、毎日気分の浮き沈みもあり辛かったです。しかし、支援課の人に看護学校通学時の手当の話やその他の事も丁寧に教えていただき、また、温かく見守っていただき、本当に感謝しています。足立区は、通常２年間で支給が打ち切られるところ、３年間しっかりと支給がいただけました。最後の１年間も安心して学校に通うことができたのも、足立区に身を置いていたためだと深く感謝します。今年４月から働いています。自分なりに地域に貢献するつもりです。ありがとうございました。（30 代）
・よくしていただき、ありがとうございます。助けられていると感謝しています。（40 代）
・仕事をしながら、保育士（通信教育）の資格を取ろうと思い…。「ひとり親自立支援給付金」を使おうと思い相談したが、今現在、仕事があり、雇用保険に加入中だとハローワークが窓口の給付金が優先となり、使えないと言われました。（30 代）
・保育園を増やすか、保育園の制度を見直して下さい。ひとり親家庭の子は優先して保育園に入れて欲しいです。子どもの預け先がないとフルタイムで仕事に就けません。子どもをひとりで養育していくためには働かなくてはいけないのに、預け先がなくフルタイムで働けずに困っています。お金に困っていない共働きの家庭を優先して入れるのはおかしいと思います。本当に困っているのはだれか、本当に保育園を必要としているのはだれか、もう一度ちゃんと考えた上で保育園の制度を見直して下さい。（30 代）
・都営住宅に入りたくて入りたくて入りたくて…。いつも応募の時期になるとホームページをチェックしていますが、募集すらかかりません…。新築で、見るからに空室ばかりなのですが、他を建て直す際の仮住まいになるのか、募集してもらえません…。本当に住まいに悩んでいる人の為に、もっと都営住宅に力を入れてもらいたいです！！期待して、待っています！！よろしくお願い致します！（30 代）
・悩みがありすぎて書けません。（50 代）
・世間的には足立区はあまり評判がよくないのですが、足立区はとても良い町だと思っています。今後も、足立区の政策に期待しております。（30 代）
・一人親への支援はこれからも色々考えていくところがあると思う。子ども手当は、充分に使われている事があまり無いと思うところがある。それならば、全子ども平等に給食費無料、修学旅行無料などがあると思う。現金で配るというのは、使用目的が親それぞれに違ってきてしまうので、本当に子どもの為に使って欲しい。（40 代）

・学校で、子ども・親たちを見ているだけでは足立区の貧困はわからないが、世間で言われるほど、貧困が深刻なのか不思議に思う。（40 代）
・いろいろな話を聞いてアドバイスをしてくれる窓口があればいいと思う。（40 代）
・足立区の子育て支援には感謝しております。さらにひとり親家庭でも、子どもたちが堂々と生きていけるようなシステムを考えていただけると助かります。（40 代）
・とにかくお金がない（給料は借金に消えてくから）。とにかく働く（それしかない、何かする余裕・考えなんてない）。良い生活したい（免許を取る時間もお金もないから車もない、ちょっと出かけようが出来ない、ずっとアパートぐらし）。幸せになりたい（出会う場所、時間どこにもない）。それだけ…。何かしてほしくても時間がかかるから、みんなあきらめると思いますよ。仕事休んで、遅刻して区役所なんて行けない。手続きに書類とか言われると、集める時間がない。助けてくれる場所や人が居る事は知ってる。でもとにかく働く。休まず働く。運まかせでたおれない事を願って働く。具合が悪いなんて気付かず働く。少しでも多くお金がほしい。（１回で終わらない事や、区役所に２回も３回もなんて、もっともＮＧ）（30 代）
・本当に困っている人達を見極めて助けてあげてほしい。どこに行っても答えが出ず、たらい回しの様にあちこちに行ってはまたつらい思いを始めから話し、涙を流している人を何人も知っています。人と人のつながりがいちばん大切な時だと思います。より良い人材を窓口に置き、親身に聞いてくださるだけで、明日も頑張ろうと思うことが出来ます。決してなまけているのではないのです。心が満たされればおのずと動いていきますので。不安な気持、何に困っているのか？手立てを的確におしえてほしいです。（40 代）
・子育て支援がさかんな足立区は、とっても住みやすい区だと思っています。子連れで参加できる街コンがあるといいなと思いました。仕事上、男性と知り合うこともないので、出会いの場を提供してほしいてす。（30 代）
・ひとり親支援のことがわからない人がいると思うので、門戸を広げてわかりやすくした方が良いと思います。（50 代）
・ひとり親の子どもが将来困る事がないように、いろいろな経験などをさせてあげられるようにしてほしいです。父親不在の子には男性保育士さんを増やしてもらって、あまえることができるようにしてほしいです。（30 代）
・“ひとり親家庭”となった背景は、それぞれあると思います。離婚では、両親は離れていても健在ですが、死別となると片親だけで、頼ることも、ぶつけることも相手が居ないのです。そんな中で、「ひとり親家庭」とひとくくりになってしまうことに対し、とても複雑な気持ちになったことがあります。そこまで細かく把握することは、現実として難しいことが大きいとは思いますが、死別により残された親子の思いを、少しでもくんで頂けたらと思います。（40 代）
・生活保護の不正受給者か多いのが腹立たしい。（30 代）
・養育費を払わない人が多いと感じます。私もほとんどもらった事がありません。今では関わりを持ちたくないので欲しいと思いませんが、そういう養育費を払わない人たちから税金を多く取るなどの何かしらの制裁的なものがあったらいいなと思います。（30 代）
・これは個人的な意見ですが、同じシングルマザーでも、一方では実家暮らし→都営にすぐ入れた家庭もあれば、何年も応募しても全く都営に受からず、仕事や家事などの疲労から子どもとの間が上手く行かなくなってしまったり、八つ当たりしてしまったりするケースもあります。ましてや、一生懸命働いているにもかかわらず手当を減額するなど、不公平だと思う事が多々あります。他の区がどうとかは別として、足立区に住んでいるシングルマザーとして、今一度、考え直してほしいと思います。子どもをどなると、近所が苦情を出して警察にどなられる前に、親を助けて下さい。私は、そこも大事だと強く思います。（30 代）
・自分は人に助けられたと思いますし、今も恵まれた中生きていると思います。理由は行政さんだったり、周囲の人たちの手助けです。有難うございます。（30 代）
・時代かも知れませんが、私の時も携帯などで情報などが検索できたらよかったと思います。ゆっくり広報を見ている時間などなかったり（上から下まで）、役所に行かないとわからなかったりする事が多く。あの頃にでも、ひとり親宛に情報の手紙などがまわって来ていたら、悩みも少なかった事があったかと…。必死だ

ったので悩んでいられなかった。この時代のひとり親の方々は上手に情報が入っているのかわかりませんが、みなさん働いての子育てはたいへんだと思います。今私は育てあげた状態なので、他の悩みがでていますが、余りにも役所に行かないとわからない事が、いまだに多いと思います。（50 代）

・世の中には、沢山のシングルマザーがいます。子どものケアも大切ですが、お母さんのケアも、とっても大切だと思います。お母さんと子ども達が安心して暮せるサポート、支援を宜しくお願いします。（50 代）
・もっと一人親、介護している家族に対して支援をよくして欲しい。時間がなくても、資格がとれる状況を考えて欲しい。（40 代）
・いつもお世話になっており、ありがたいと思っております。今の職場でレベルアップし自立していけるよう頑張りたいと思っております。（30 代）
・足立区は、色々な面で有難う御座居ますと言える場所があって嬉しいです。（50 代）
・足立区は母子に手厚いと聞きますが、私はそうは思いません。現在私は１人で２人の子ども達を育てて行く経済力がない為、実家に身を寄せています。もちろん生活費は別、お金も渡しています。子どもが１人なら手当をもらえばやっていけると思いますが、２人目プラス１万程の手当じゃとてもじゃないけど生活できません。又、不正に手当を受けてる方もかなり居るのも知っています。これじゃ頑張ってるのがバカバカしいです。（30 代）
・誠に個人時な感想ですが。今年区立中学の抽選会に参加しました。離婚による引越し（隣学区）の為、希望の中学に（現在学中の小学校の学区中学）入れず、抽選にももれ、キャンセル待ち状態です。①抽選会には、仕事を休んで参加しましたが、不参加の方と同等のあつかいはいかがなものかと…。②私立の合格発表の関係上仕方ないですが、最終決定の期限が遅く、準備に困る。（40 代）
・ひとり親世帯へ、中学入学の費用に関して、出費をおさえられる様にして欲しいです。（30 代）
・子どもの為の、死亡した（子どもたちの父親）生命保険で税金がかかり、手当がなくなるのはおかしいと思う。子どもの教育費の為の遺産に税金がかかり、手当打ち切りはおかしいのではないか？あくまでも教育費がけずられてしまうのはどうかと思います。すみません。（40 代）
・保育園へ入れる時に、ひとり親だとなかなか入れなかった。大学へ行きたいと言われたが、お金の面が不安。（50 代）

≪父子世帯≫

・足立区にはないが、父子家庭の児童扶養手当の年収がもう少し高ければいいです。よく医者に行くので、生活が苦しい時があります。（40 代）
・今まで「ひとり親家族」として児童扶養手当など公的支援をして下さり、誠に感謝しています。引き続き、二番目の子どもが１８才になるまで御支援してくださる様宜しくお願いします。（60 歳以上）
・ない、がんばって。（50 代）
・保育園で預かってもらえる時間をもっと長くして欲しい。日・祝日に子どもを預かってもらえる施設が欲しい（仕事を断わるのがつらい）。（40 代）
・相談したい時にどこに行ったらいいのか、分からない。（40 代）
・国の年金はあてにならないので、足立区に住んでいる人達だけの年金システムを作ってほしい。区民による区民のタメの年金。将来が不安です。正直児童手当とかいらないですよ。みんな遊びに使ってる人達ばかりだし。（30 代）
・もっと父子家庭について理解してほしい。父子家庭についての調査。対策をしてほしい。（50 代）
・この様なアンケートを書くだけでも、今の自分を考えられるので良かったと思います。（40 代）
・育児手当いただいてましたが、正直、かなりきびしいものでした。子どもがかぜをひいても仕事を休む事ができなかった。車の税金、車検等のお金、お借りしてどうにかした。未だ、返済に追われています。もうちょっと、今後の人の為にも金額の見直しが必要かと思います。（40 代）
・ひとり親家庭は今後は増加すると予想しています。自分の経験から、最初は何か必要な事が全く分からない事ばかりだった為、区役所側からでも行動していただけると助かります。（40 代）
・子どもが高校に上がると、医療費を負担しなければならなくなり、とても生活が苦しくなります。１８歳までの医療費の免除をご検討していただけないでしょうか。（60 歳以上）
・大学まで無償化にして欲しいです。（40 代）
・子育ての時には色々な手当を頂きまして有難うございました。アパート暮らしの為生活費が充分でないので、家賃の補助があれば（高３まで）うれしいのですが。（40 代）
・いつも、色々支援、ありがとうございます。（30 代）
・今後もひとり親家庭に温かい支援をお願い致します。（50 代）
・子どもの数が他の国に比べたら、多いと思います。ひとり親も多いと思うし、それ以外にも、所得が低い。このことから言えることは、全体的に学力が低く、上に行くのが難しい？と思っています。（30 代）
・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金制度を知らなかった。２年前にハローワークでタクシー会社に転職したが、ハローワークも教えてくれなかった。知っていたら２種免許取得に利用したかった。（40 代）
・ひとり親の支援、手当を増やして欲しい。（30 代）
・大学進学の教育化をどうにかしてほしい。小・中での貧困家庭での教育。（60 歳以上）
・区においてあらゆる階層に注意を払う取り組みは、すばらしいと思います。（60 歳以上）
・区役所の外周の犬のフンや煙草の吸殻、食べ物のゴミなどが多く、足立区全体もゴミが多くて不衛生だと、毎日思っています。（40 代）
・ひとり親同士や家族が気楽に参加できるイベントや企画などがあれば、交流がもてたり、自分だけではないという自信がもてるかもしれないが、事情が人それぞれなので実際行きやすいものかはわからない。また勉強やスポーツなどの子どもの成長によい、ひとり親向けの補助や事業があればよいと思う。（30 代）
・学校の統廃合に関わる事での無駄使いをなくせ！（40 代）
・足立区は、げんきさん、福祉課、親子支援課など一生懸命対応してくれている。東京都より良い。（60 歳以上）
・同じ「ひとり親家庭」でも、父子家庭より母子家庭の方が手当等が充実にいるように思います。一般的に男性の方が収入（給料）が多いと思われがちですが、業種や職種また年齢によっても女性より低い場合もありますので、男性（父子）・女性（母子）の区別なく均等になるよう改善していただけたらと思います。特に

就労支援は、そのほとんどが母子家庭に向けたものだと感じております。私の思い違いでしたらお許し下さい。（50 代）
・都営区営の住宅を申し込みたい。待機児童が減らない現実。（30 代）
・ひとり親支援や、その他手当、福祉等、大変助かっています。（40 代）
・生まれ育ててもらった所です。他所に行く時は再婚の時かな…。足立区、今の区政には感謝してます。足立区には不満はありませんが、都や国政には疑問だらけです。（30 代）
・助けられました。感謝しています。ありがとうございます。（40 代）
・もっと、ひとり親家族の支援をして下さい。（50 代）
・有難うございます。感謝しています。（40 代）
・良い足立区、住みやすい足立区にしてほしいです。（40 代）
・聴覚障がい者へのコミュニケーションのサポートを充実して欲しい。（50 代）
・公立の小中学校の土曜授業を廃止して欲しい。夏休みを８月３１日までに戻して欲しい。（40 代）
・高等教育に係る費用についての無利子、若しくは給付型の補助制度を設けて頂きたい。子育てが現在の幼児達向けがメインではなく、未だ社会に出ていない世代も含めた議論であって欲しいと思います。（40 代）
・都営住宅などの優先申し込み。区役所や区民事務所などの平日・土曜の夜間営業。（40 代）
・いつも、大変なご支援を有難うございます。子どもをりっぱな社会人に育てることが私の使命だと強く感じます。あと何年かはひとり親でも頑張つていきたいと思います。（50 代）
・ハローワークの職員さんで、しつこい方がいる。私の病気の事等、理解してくれない。ケースワーカーさんにも同じような方がいる。（40 代）
・就学に関するさらなる支援を望みます。（高校・大学等への進学費用など）（50 代）
・夕食を作ってもらえる１時間パートの方、食事の事だけ仕事が忙しい時など。（40 代）
・もっと手当などをあつくして下さい。（30 代）

≪外国人世帯≫
・足立区役所はとても親切な所。ひとり親家族の私たちよく助けてくれた。ありがとうございます。（40 代）
・なかなか日本語が分かりづらい事もあるので、英語訳もついてくれるとうれしいです。（40 代）
・Ｔｈａｎｋ ｙｏｕ ｆｏｒ ａｌｌ ｙｏｕｒ ｓｕｐｐｏｒｔ．Ｐｌｅａｓｅ ｃｏｎｔｉｎｕｅ ｔｏ ｈｅｌｐ ｆｏｒ ｌｅｓｓ ｆｏｒｔｕｎａｔｅ ｐａｒｅｎｔｓ．（40 代）
・ｋｏｄｏｍｏ ｎｏ Ｇａｋｋｏｈｉ ｔａｓｋｅｔｅ ｈｏｓｈｉ．（30 代）

参考資料　調査票

参考資料　調査票

母子世帯

特に指定がない場合、回答は平成 28 年 12 月 1 日現在でお答えください。

問１　あなたの現在の年齢を教えてください。(枠内に数字を書いてください)

現在の年齢 [　　] 歳

問２　ひとり親になった時期とご事情について教えてください。
2 回以上経験している場合は、直近のものについてご記入ください。

（１）ひとり親になった時期：　あなたが [　　] 歳のとき

（２）ひとり親になったご事情　　（一つに○）

1. 離婚	2. 非婚・未婚	3. 死別	4. 行方不明・遺棄	5. その他

問３　現在、あなたと一緒に暮らしている方（同じ世帯の方）についてお聞きします。
※通学等で別居しているお子さんも生計を共にしている場合は人数に含みます。

（１）　一緒に暮らしている方は、あなたを含めて、全員で何人ですか。(一つに○)

1. ２人	3. ４人	5. ６人
2. ３人	4. ５人	6. ７人以上

（２）　一緒に暮らしている全員の方について、「あなたとの続柄」「年齢」「性別」を教えてください。※「2.親」とは、あなたからみた父親・母親（義父・義母も含む）のことであり、お子さんからみた祖父・祖母のことです。

	あなたとの続柄（あてはまる番号に○）	年齢	性別
1	あなた自身		
2	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
3	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
4	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
5	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
6	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
7	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
8	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
9	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女

【記入例：　あなたの娘１人とあなたの父親との３人暮らしの場合】

1	あなた自身		
2	(1.) 子ども 2. 親（子の祖父母） 3. その他	３　歳	1. 男　(2.) 女
3	1. 子ども (2.) 親（子の祖父母） 3. その他	６５　歳	(1.) 男　2. 女

あなたのお仕事についておたずねします

問４　あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。（**一つに○**）

1. している ➡ **問５へお進みください**　　2. していない ➡ **問６へお進みください**

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。　**※該当しない方は、問６へお進みください。**

（１）　その仕事の形態は、次のどれにあたりますか。
複数の仕事をお持ちの場合は、おもな仕事一つだけについてお答えください。（**一つに○**）

1. 正規の職員・従業員（正社員・正職員）
2. パート・アルバイト
3. 契約・嘱託・臨時・非常勤・派遣など
4. 自営業・在宅請負・内職など
5. その他　（具体的に　　）

（２）　その仕事からの収入は、１か月あたり、平均いくらくらいですか。税込みの金額を書いてください。※税込み：税金や社会保険料が引かれる前の金額です。

１か月あたり　　その仕事からの収入：約（　　）万（　　）円

（３）　その仕事の１週間の労働時間は、平均してどのくらいですか。（**一つに○**）

1. 20 時間未満
2. 20～34 時間
3. 35～42 時間
4. 43～48 時間
5. 49～59 時間
6. 60 時間以上

（４）　その仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。　（**一つに○**）
している場合は、副業にあてている時間と副業収入について教えてください。

1. している　　2. していない ➡ **（５）へお進みください**

↓

１か月あたり　副業の収入　：約（　　）万　（　　）円　※税込み
副業の時間　：約（　　）時間（　　）分

（５）　ふだん仕事をしている時間帯は、次のどれにあたりますか。副業を含みます。
（**あてはまるものすべてに○**）

1. 早朝（5 時～8 時）
2. 日中（8 時～18 時）
3. 夜間（18 時～22 時）
4. 深夜（22 時～翌 5 時）

（６）お子さんが学校に登校するより前に、出勤することはありますか。　（**一つに○**）

1.	2.	3.	4.	5.
よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	学校に通う年齢の子どもはいない

（７）　あなたは、現在の仕事を変えたい（転職したい・就労形態を変えたい）ですか。
仕事を変えたいと考えている方は、その理由を教えてください。　（一つに○）

1. 仕事を変えたい　　2. とくに変えたくない → （８）へお進みください

↓

仕事を変えたい理由は何ですか。　（あてはまるものすべてに○）

1. 収入が低いから
2. 収入が上がる見込みがないから
3. 労働時間が長いから
4. 労働時間や就業日が不規則だから
5. 早朝や深夜の勤務があるから
6. 日曜・祝日の勤務があるから
7. 通勤時間が長いから
8. 休暇がとりにくいから
9. 厚生年金や健康保険に入れないから
10. 雇用契約期間が短く安定しないから
11. パワハラ（暴言・暴力）があるから
12. セクハラ（性的いやがらせ）があるから
13. 人間関係が良くないから
14. その他（　　）

（８）　仕事と家庭生活のバランスについて、現在、次のようなことが起きていますか。A～C それぞれについて、あてはまる番号 1～4 に○をつけてください。

（それぞれ一つに○）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A. 仕事の時間のせいで、子どもとすごす時間が少ない	1	2	3	4
B. 仕事の悩みや疲れのせいで、子どもとのかかわりが十分にもてない	1	2	3	4
C. 仕事のせいで、やりたい家事や家の用事が十分にできない	1	2	3	4

→ 回答後は問７へお進みください

問６　現在、仕事をしていない方にお聞きします。

※仕事をしている方は、問７へお進みください

あなたは現在、仕事を探していますか。
また、仕事をしていない理由として、もっとも近い理由一つを選んでください。（一つに○）

1. 探している　　2. 探していない

1. 収入の条件が合う仕事がない
2. 時間の条件が合う仕事がない
3. 勤務日・曜日の条件が合う仕事がない
4. 自分の年齢に合う仕事がない
5. 子どもの預け先がない
6. その他
（　　）

1. 自分の健康上の理由
2. 子どもの健康上の理由で介助が必要
3. 子ども以外の家族の介護や介助が必要
4. 子育てに専念したい
5. 経済的に働く必要がない
6. その他
（　　）

→ 回答後は問７へお進みください

あなたのお子さんについておたずねします

問７　あなたのお子さんは全員で何人ですか。

同居している子ども　　（　　）人
別居している子ども　　（　　）人　**※いない場合は０とご記入ください**

問８　あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることがありますか。

（１）小学校に入学する前（0 歳～6 歳）のお子さんと同居している方にお聞きします。
そのお子さんについて、A～F のあてはまる番号 1～4 に○をつけてください。
※該当しない方は、（２）へお進みください。　　（それぞれ一つに○）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A. 子どものことでどうしたらよいか分からなくなること	1	2	3	4
B. 子育てによって自分も成長していると感じること	1	2	3	4
C. 子どもがわずらわしくていらいらしてしまうこと	1	2	3	4
D. 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うこと	1	2	3	4
E. 子どもを育てるためにがまんばかりしていると思うこと	1	2	3	4
F. 子どもがかわいくてたまらないと思うこと	1	2	3	4

（２）小学生のお子さんと同居している方にお聞きします。
そのお子さんについて、A～F のあてはまる番号 1～4 に○をつけてください。
※該当しない方は、問９へお進みください　　（それぞれ一つに○）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A. 子どものことでどうしたらよいか分からなくなること	1	2	3	4
B. 子育てによって自分も成長していると感じること	1	2	3	4
C. 子どもがわずらわしくていらいらしてしまうこと	1	2	3	4
D. 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うこと	1	2	3	4
E. 子どもを育てるためにがまんばかりしていると思うこと	1	2	3	4
F. 子どもがかわいくてたまらないと思うこと	1	2	3	4

参考資料　調査票

問９　お子さんの塾や習い事についてうかがいます。

（１）小学生のお子さんと同居している方にお聞きします。現在、塾や習い事をしていますか。
※該当しない方は、（２）へお進みください。　**（一つに○）**
※小学生のお子さんが複数いる場合は、一番上のお子さんについて回答してください。

1. している　→　2. していない　→　**（２）へお進みください**

それはどのようなものですか。　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 学習塾･進学塾	5. 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事
2. 家庭教師	6. スポーツ（野球・サッカー･水泳･ダンス・体操など）
3. 通信教育	
4. 英語塾･珠算などの勉強の習い事	7. その他（　　）

（２）中学生のお子さんと同居している方にお聞きします。現在、塾や習い事をしていますか。
※該当しない方は、問 10 へお進みください。　**（一つに○）**
※中学生のお子さんが複数いる場合は、一番上のお子さんについて回答してください。

1. している　→　2. していない　→　**問 10 へお進みください**

それはどのようなものですか。　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 学習塾･進学塾	5. 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事
2. 家庭教師	6. スポーツ（野球・サッカー･水泳･ダンス・体操など）
3. 通信教育	
4. 英語塾･珠算などの勉強の習い事	7. その他（　　）

問 10　中学生のお子さんと同居している方に、進路についてお聞きします。
※中学生のお子さんが複数いる場合は、一番上のお子さんについて回答してください。
※該当しない方は、問 11 へお進みください。

（１）あなたは、お子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。
（一つに○）

1. 中学校	5. 短期大学・高等専門学校
2. 中卒後の専門学校	6. 大学・大学院
3. 高校	7. その他（具体的に　　）
4. 高卒後の専門学校	8. わからない

（２）あなたは、そのお子さんが、現実的にはどの段階の学校まで進むと思いますか。
（一つに○）

1. 中学校	5. 短期大学・高等専門学校
2. 中卒後の専門学校	6. 大学・大学院
3. 高校	7. その他（具体的に　　）
4. 高卒後の専門学校	8. わからない

（２）のように思われるのはなぜですか。

問 11　高校生のお子さんと同居している方にお聞きします。
※該当しない方は、問 12 へお進みください。
お子さんは、自分のため、または家族のために、次のようなことをしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 掃除や洗濯を分担している
2. 家族の食事づくりを分担している
3. 家族の必要な買い物を分担している
4. アルバイトをして家族の生活費を助けている
5. アルバイトをして自分やきょうだいの学費にあてている
6. アルバイトをして自分のおこづかいにあてている
7. アルバイトをして将来のための貯金をしている
8. 親の留守中に弟や妹の見守りや世話をしている
9. 1～8 のようなことはない

問 12　学校に通っていない 15 歳以上のお子さんがいる方にお聞きします。
（別居のお子さんも含みます）。　**※該当しない方は、問 13 へお進みください。**
そのお子さんの現在の年齢と、最終学歴を教えてください。
※お子さんが複数いる場合は、年齢の高い順にお答えください。　（それぞれ一つに○）

現在の年齢	１番上の子ども （　　）歳	２番目の子ども （　　）歳	３番目の子ども （　　）歳
最後に通った学校はどこですか	1. 中学校 2. 中卒後の専門学校 3. 高校 4. 高卒後の専門学校 5. 短大・高等専門学校 6. 大学・大学院	1. 中学校 2. 中卒後の専門学校 3. 高校 4. 高卒後の専門学校 5. 短大・高等専門学校 6. 大学・大学院 7. 2 番目の子はいない	1. 中学校 2. 中卒後の専門学校 3. 高校 4. 高卒後の専門学校 5. 短大・高等専門学校 6. 大学・大学院 7. 3 番目の子はいない
その学校を卒業しましたか	1. 卒業した 2. 中退した	1. 卒業した 2. 中退した	1. 卒業した 2. 中退した

ここからは、すべての方がお答えください

あなたの子どもの頃と、ひとり親家庭になる前のご経験についておたずねします

問 13　あなたが中学３年生のとき、あなたのご家庭の暮らしの状況は、次のどの状態に近かったでしょうか。　**（一つに○）**

1.	2.	3.	4.	5.
大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい

問 14　あなたが成人するまでのあいだに、ひとり親家庭だった時期はありますか。**（一つに○）**

1. ある　　2. ない

問 15　あなたの最終学歴は次のどれにあたりますか。お子さんの父親（元夫など）と、あなたの両親についても教えてください。
※結婚を 2 回以上経験なさっている場合、B は直近の相手についてお答えください。

（A・B・C・D のそれぞれについて、一つに○）

A. あなた	B. お子さんの父親・元夫	C. あなたの母親	D. あなたの父親
1. 中学校卒	1. 中学校卒	1. 中学校卒	1. 中学校卒
2. 中卒後専門学校卒	2. 中卒後専門学校卒	2. 中卒後専門学校卒	2. 中卒後専門学校卒
3. 高校卒	3. 高校卒	3. 高校卒	3. 高校卒
4. 高卒後専門学校卒	4. 高卒後専門学校卒	4. 高卒後専門学校卒	4. 高卒後専門学校卒
5. 高専・短大卒	5. 高専・短大卒	5. 高専・短大卒	5. 高専・短大卒
6. 大学卒	6. 大学卒	6. 大学卒	6. 大学卒
7. 大学院卒	7. 大学院卒	7. 大学院卒	7. 大学院卒
8. その他	8. その他	8. その他	8. その他
	9. わからない	9. わからない	9. わからない

問 16　ひとり親家庭になる前の時期や結婚生活の中で、次のようなことで悩んだ経験がありましたか。A、B それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

（それぞれすべてに○）

A. お子さんの父親（元夫など）に関して	B. 結婚生活・家庭生活において
1. 病気や障がい 2. 失業 3. アルコール問題やギャンブル 4. 異性問題 5. 1～4 にあてはまるものはない	1. 水道光熱費や家賃の滞納 2. 水道光熱費の滞納による使用停止 3. 返済に困る額の借金や負債 （住宅・自動車のローン払い、奨学金返済は除きます） 4. 1～3 にあてはまるものはない

問 17　あなたやお子さんは、お子さんの父親（元夫など）から、次のようなことをされたことがありますか。
※結婚を 2 回以上経験なさっている場合は、直近の結婚生活についてお答えください。

（それぞれ一つに○）

	あなたご自身	お子さん
A. 身体的暴行 （なぐったり，けったり，物を投げつけたりなどの身体に対する暴行など）	1. 経験あり 2. なし	1. 経験あり 2. なし
B. 心理的攻撃 （人格を否定するような暴言，交友関係やメールなどを細かく監視したり，長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ，自分や家族が恐怖を感じるような脅迫）	1. 経験あり 2. なし	1. 経験あり 2. なし
C. 経済的圧迫 （生活費を渡さない，貯金を勝手に使われる，外で働くことを妨害されるなど）	1. 経験あり 2. なし	

【「A. 身体的暴行」を受けた経験が「あり」と答えた方にお聞きします】
※該当しない方は、問 18 へお進みください

（1）そのことについて、誰かに相談しましたか（**一つに○**）

1. した　　2. しなかった

（2）あなたご自身への暴力の場面を、お子さんが目撃することがありましたか。**（一つに○）**

1. よくあった　　2. ときどきあった　　3. なかった

問 18　あなたはこれまで、収入をともなう仕事をしていましたか。それぞれの時期のお仕事の状況について、あてはまる番号 1～3 に○をつけてください。　**（それぞれ一つに○）**

	無職（仕事はしていなかった）	正社員・正規職員として働いていた	正社員・正規職員以外の雇用形態で働いていた
A. 最後に通った学校を卒業したあと	1	2	3
B. 第 1 子を妊娠する前	1	2	3
C. 第 1 子を出産したあと（産休・育休を取得した場合はその時の雇用形態を選んでください）	1	2	3
D. ひとり親になる直前（1 か月前あたり）	1	2	3
E. ひとり親になった直後（1 か月後あたり）	1	2	3

※D. E. について、2 回以上経験している場合は、直近の状況についてご記入ください。

ひとり親家庭になってからのご経験についておたずねします

問 19　ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことがありますか。　**（一つに○）**

1. 現在受けている ⇒ **問 20 へ**
2. 過去に受けていたが現在は受けていない ⇒ **問 20 へ**
3. 一度も受けたことがない

【「3. 一度も受けたことがない」と答えた方にお聞きします。その理由は何でしたか】
（あてはまるものすべてに○）

1. 経済的に必要がないから
2. 親族に知られたくないから
3. 親族と暮らしたいから
4. 転居したくないから
5. 貯蓄や保険を解約したくないから
6. 車（自家用車）を使いたいから
7. 制度や手続きを良く知らないから
8. 受けたくない気持ちがあるから
9. その他（具体的に　　）

問 20　ひとり親家庭になってから、あなたは次のような経験をしたことはありますか。
（1）生活費について（教育費も含めます）　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 生活費を家族や親族から借りた
2. 生活費を友人や知人から借りた
3. 生活費を公的機関（区役所・社会福祉協議会など）から借りた
4. 生活費を消費者金融から借りた
5. 生活費をまかなうためにクレジットカードのキャッシングを利用した
6. 1～5 のような経験をしたことはない

（2）心身の疲労について　　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 過労(極度の疲れ)で寝込んだ
2. カウンセリングや精神科治療を受けたいと思った
3. 自殺したいと思った
4. 1～3 のような経験をしたことはない

問 21　ひとり親家庭になってから、子育てや生活の悩みについて、区役所など公的機関の窓口で相談したことはありますか。相談で利用したことがある場所すべてに○をつけてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 子ども施設入園課・保育コンシェルジュ（認可保育所、認定こども園に関する相談など）
2. 親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）
3. 福祉事務所（生活保護、母子・父子福祉資金に関する相談など）
4. 保健センター（母子手帳の交付、予防接種、乳幼児健康診査の実施に関する相談など）
5. 区民の声相談課（区役所への意見・要望受付、法律相談など）
6. こども支援センターげんき（こども家庭支援課）（子育て相談、教育相談など）
7. くらしとしごとの相談センター（旧：生活支援課）（様々な課題を持った方の総合相談窓口）
8. 男女参画プラザ女性相談室（女性の様々な悩みについての相談）
9. 保育園・幼稚園・学校
10. 障がい福祉センターあしすと（自分の障がいやお子さんの発達に関する相談など）
11. 東京都ひとり親家庭支援センターはあと（生活、養育費、面会交流、就業に関する相談など）
12. 1～11 の窓口や機関で相談したことはない

問 22　あなたは、ご自身が幸せだと思いますか。ひとり親になる直前、直後、現在という時間の流れのなかで、その気持ちに変化はありましたか。それぞれの時期について、「たいへん幸せ」を 10 点として、あてはまると思う点数を選んでください。　　**（それぞれ一つに○）**

	たいへん幸せ ◀――――――――――▶ 幸せでない
A. ひとり親になる直前（1 か月前あたり）	10 点--9 点--8 点--7 点--6 点---5 点--4 点--3 点―2 点--1 点--0 点
B. ひとり親になった直後（1 か月後あたり）	10 点--9 点--8 点--7 点--6 点---5 点--4 点--3 点―2 点--1 点--0 点
C. 現在	10 点--9 点--8 点--7 点--6 点---5 点--4 点--3 点―2 点--1 点--0 点

過去１年間のご経験についておたずねします

問23　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由のために、支払いができなかったことはありますか。　　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 学校・保育園・幼稚園の遠足や修学旅行の参加費
2. 学校・保育園・幼稚園での教材費
3. 学校・保育園・幼稚園の給食費
4. 家賃
5. 住宅ローン
6. 電気代
7. ガス代
8. 水道代
9. 電話代（固定電話・携帯電話を含む）
10. 住民税、自動車税、固定資産税など税金
11. 公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料支払い
12. 通勤や通学に使うバスや電車の料金
13. あてはまるものはない

問24　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。A、Bそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。　**（それぞれ一つに○）**

A.　食料が買えなかった経験			
1. よくあった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. まったくなかった
B.　衣料が買えなかった経験			
1. よくあった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. まったくなかった

問25　あなたのご家庭では、過去１年間に、医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった（できなかった）ことがありましたか。　**（一つに○）**

1.　あった　　2.　なかった　➡　**問 26 へお進みください**

【「1.　あった」と答えた方にお聞きします。】　※該当しない方は、問26へお進みください。

その理由は何でしたか。もっとも近いと思う理由ひとつに○をつけてください。

（一つに○）

1.　病院や診療所に行く時間がなかったため
2.　身体上の理由で、病院や診療所に行くことが困難であったため
3.　病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため
4.　公的医療保険に加入しておらず、医療費を払うことが難しいため
5.　公的医療保険には加入していたが、医療費を支払うことが難しいため
6.　その他（　　）

あなたの普段の生活やお気持ちについておたずねします

問 26　あなたが自分自身のためにやっていることと、やりたいがあきらめていることを教えてください。

（それぞれ、あてはまるものすべてに○）

A.　自分自身のためにやっていること	B.　やりたいがあきらめていること
1.　おしゃれをすること 2.　音楽を聞くこと 3.　読書をすること 4.　スポーツをすること 5.　整体やマッサージに行くこと 6.　映画やコンサートに行くこと 7.　親しい友人と会うこと 8.　ひとりで出かけること 9.　資格の勉強をすること 10.　外食をすること 11.　旅行に行くこと 12.　その他 （　　）	1.　おしゃれをすること 2.　音楽を聞くこと 3.　読書をすること 4.　スポーツをすること 5.　整体やマッサージに行くこと 6.　映画やコンサートに行くこと 7.　親しい友人と会うこと 8.　ひとりで出かけること 9.　資格の勉強をすること 10.　外食をすること 11.　旅行に行くこと 12.　その他 （　　）

問 27　次のことがらはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。A～C のそれぞれについて、あてはまる番号 1～4 に○をつけてください。　**（それぞれ一つに○）**

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
A.　私は、自分自身にだいたい満足している	1	2	3	4
B.　自分にはけっこう長所があると感じている	1	2	3	4
C.　時々、自分は役に立たないと強く感じることがある	1	2	3	4

問 28　ふだんの健康状態についてうかがいます。

（1）あなたはご自分の「身体」の健康状態についてどのように感じていますか。**（一つに○）**

1.	2.	3.	4.	5.
良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば良くない	良くない

（2）あなたはご自分の「心」の健康状態についてどのように感じていますか。　**（一つに○）**

1.	2.	3.	4.	5.
良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば良くない	良くない

ご両親とのかかわりについておたずねします

問 29　あなたご自身のご両親はご健在ですか。　**（それぞれ一つに○）**

あなたの父親	あなたの母親
1. 健在　2. 死亡　3. わからない	1. 健在　2. 死亡　3. わからない

問 30　お子さんの祖父母（あなたや元夫の親）についてお聞きします。（別居・同居は問いません。）

※お子さんの祖父母が亡くなっている方は、問 31 へお進みください。

あなたのご家庭では、次のことについて、お子さんの祖父母に協力してもらうことはどれくらいありますか。A～E について、あてはまる番号 1～4 に○をつけてください。

（それぞれ一つに○）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A.　家事の手伝い	1	2	3	4
B.　幼稚園・保育園の送り迎え	1	2	3	4
C.　子どもを預かってもらうこと	1	2	3	4
D.　子どものことに関する相談	1	2	3	4
E.　子どもにかかる費用の援助	1	2	3	4

現在の暮らしについておたずねします

問 31　前年（2015 年）のあなたの家族（*1）全員の年収（*2）の合計額は、税込み（*3）でおよそいくらでしたか。公的な手当（*4）を「A. 除いた額」と「B. 含めた額」のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

*1　家族：問３でお聞きした【あなたと一緒に暮らしており、生計を共にしている方】のことです。
*2　年収：働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。
*3　税込み：所得税や社会保険料が引かれる前の金額です。
*4　公的な手当：児童手当、就学援助、児童扶養手当、児童育成手当、障がいや難病の手当、生活保護、公的年金などを指します。

（それぞれ一つに○）

A.　公的な手当を除いた額	B.　公的な手当を含めた額
1.　50 万円未満	1.　50 万円未満
2.　50～100 万円未満	2.　50～100 万円未満
3.　100～150 万円未満	3.　100～150 万円未満
4.　150～200 万円未満	4.　150～200 万円未満
5.　200～250 万円未満	5.　200～250 万円未満
6.　250～300 万円未満	6.　250～300 万円未満
7.　300～350 万円未満	7.　300～350 万円未満
8.　350～400 万円未満	8.　350～400 万円未満
9.　400～500 万円未満	9.　400～500 万円未満
10.　500～600 万円未満	10.　500～600 万円未満
11.　600～750 万円未満	11.　600～750 万円未満
12.　750～1000 万円未満	12.　750～1000 万円未満
13.　1000 万円以上	13.　1000 万円以上

問 32　あなたのご家庭では、次のもののうち、経済的理由のために、ないものはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1.　子どもの年齢に合った絵本や本	8.　冷房機器
2.　子ども用のスポーツ用品・ぬいぐるみ・おもちゃ	9.　電子レンジ
3.　子どもが自宅で宿題をすることができる場所	10.　電話（固定電話・携帯電話を含む）
4.　洗濯機	11.　世帯専用のおふろ
5.　炊飯器	12.　世帯人数分のベッドまたは布団
6.　掃除機	13.　急な出費のための貯金（5 万円以上）
7.　暖房機器	14.　あてはまるものはない

問33　あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい

問 34　あなたのご家庭では、家族で泊りがけの旅行に行くことはありますか。あなたの実家への帰省旅行も含みます。　（一つに○）

1.　行く　⇒　年（　　）回くらい	2.　ほとんど行くことはない

問 35　現在の住居の形態はどれにあたりますか。　（一つに○）

1. あなたの持ち家（一戸建）	7. 都営住宅
2. あなたの持ち家（マンション）	8. 区営住宅
3. 親や親族の持ち家（一戸建）	9. 公団住宅（都市再生機構（UR）等）
4. 親や親族の持ち家（マンション）	10. 給与住宅（会社の社宅・公務員住宅等）
5. 民間の賃貸住宅（一戸建）	11. 母子生活支援施設などの社会福祉施設
6. 民間の賃貸住宅（マンション・アパート）	12. その他（　　）

問 36　あなたが住居費として負担している金額は、1 か月あたりおいくらですか。
家賃・住宅ローン・共益費・管理費などの合計の金額を教えてください。　（一つに○）

1. 0 円（費用負担なし）	5. 30,000 円～39,999 円	9. 70,000 円～79,999 円
2. 1～9,999 円	6. 40,000 円～49,999 円	10. 80,000 円～89,999 円
3. 10,000 円～19,999 円	7. 50,000 円～59,999 円	11. 90,000 円～99,999 円
4. 20,000 円～29,999 円	8. 60,000 円～69,999 円	12. 100,000 円以上

悩みや相談についておたずねします

問 37　次のことがらについて、悩んでいることや心配なことがありますか。それぞれのことがらについてあてはまる番号 1～3 に○をつけてください。

（1）ご家庭やあなたご自身のこと　（それぞれ一つに○）

	現在 悩んでいる	過去に 悩んでいた	これまで 悩んだことはない （該当しない）
生活費が足りない	1	2	3
子どもの保育料や教育費が足りない	1	2	3
自分の健康	1	2	3
自分の老後	1	2	3
職場環境や就労条件	1	2	3
元夫との関係	1	2	3
元夫から養育費がもらえない	1	2	3
元夫からの養育費が滞る	1	2	3
親の病気や介護	1	2	3
再婚	1	2	3
ひとり親家庭への無理解や偏見	1	2	3
孤立や孤独感	1	2	3

（2）子育てやお子さんのこと　　（それぞれ一つに○）

	現在 悩んでいる	過去に 悩んでいた	これまで 悩んだことは ない （該当しない）
子どもの健康	1	2	3
子どもの発達・障がい	1	2	3
子どもと過ごす時間が少ない	1	2	3
誕生日や季節のイベントが十分にできない	1	2	3
子どもとする会話が少ない	1	2	3
子どものいじめ・交友関係	1	2	3
子どもの粗暴な態度や家庭内暴力	1	2	3
子どもが夜間に出歩くこと	1	2	3
子どもの父親と子どもとの関係	1	2	3
子どもの先生と子どもとの関係	1	2	3
子どもの学力・学校の成績	1	2	3
子どもの進路・学校選び	1	2	3
不登校・引きこもり	1	2	3

問 38　あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。　（一つに○）

1. いる　　2. いない

足立区で利用できるサービスや支援制度についておたずねします

問 39　仕事に関する資格の取得について、お聞きします。

下記の事業は、児童扶養手当を受給している方が対象です。チラシを同封しました。

ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業
：国家資格取得のために学校等で学ぶ間、生活費の一部を補助する事業です。
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業
：就職に有利な資格や技術を取得するための講座を受講した場合、その費用の全額（上限 30 万円）を補助する事業です。

あなたは児童扶養手当を受給していますか。　（一つに○）

1. 受給している　　2. 受給していない → **問 40 へお進みください。**

この２つの事業について、あなたはこれまでに利用したことがありますか。
また、利用したいと思いますか。　（それぞれ一つに○）

	利用している、利用したことがある	利用できそうなので、利用したい	利用したいが、利用できるか不安	利用したいと思わない	よくわからないので、判断できない
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業	1	2	3	4	5
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業	1	2	3	4	5

【「3. 制度を利用したいが、利用できるか不安」と答えた方にお聞きします。】

不安な理由は何ですか。　　**※該当しない方は問 40 へお進みください。**

（あてはまるものすべてに○）

1. 学費や教材費が出せない	6. 入学試験や国家試験に受かる自信がない
2. 学校に通う間の生活費が足りない	7. 仕事をやめることに不安がある
3. 学校に通う間の子どもの預け先がない	8. 仕事の時間を減らすことに不安がある
4. 自宅で勉強する時間がない	9. その他
5. 学校に通って勉強する時間がない	（　　）

問 40　次のうち、あなたがこれから習得したい職業資格はありますか。

（あてはまるものすべてに○）

※1～14 は、「ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業」の対象となる資格です。

1. 看護師	6. 作業療法士	11. 歯科衛生士	16. 普通第二種免許（*2）
2. 准看護師	7. 保健師	12. 鍼灸マッサージ師	17. その他（　　）
3. 介護福祉士	8. 助産師	13. 社会福祉士	
4. 保育士	9. 理容師	14. 調理師	
5. 理学療法士	10. 美容師	15. 大型第一種・第二種免許（*1）	

***1　トラックや旅客用バスの運転免許　　*2　タクシーなど旅客用自動車の運転免許**

問 41　あなたは、次のような支援やサービスを利用したいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 学校や家庭以外で子どもが学べる場所
2. 子ども向けの家庭教師派遣サービス
3. 子どもの進学費用の補助や支援
4. 資格取得や進学のため大人（親）が学べる場所の提供や学習支援
5. 親が不在でも子どもが地域の人と食事ができる場所
6. フードバンクなどによる食料支援
7. 親が仕事の時など子どもの送迎をしてくれるサービス
8. 自分がどういう仕事に適性があるのかなど相談できるキャリアコンサルティング
9. パソコン教室など就職や転職に役立つ知識を得ることができる講座
10. 自分が高校卒業程度の認定資格を取るための費用補助や支援（高卒資格をもっていない場合）
11. 自分が高校卒業以上の専門学校や大学で学ぶための費用補助や支援（高卒の場合）
12. 自分が仕事や職業に活かせる資格を取るための費用補助や支援
13. 自宅での保育や家事を支援するためのホームヘルパー派遣サービス
14. 家計管理に関する講座、ファイナンシャルプランナーに相談できる窓口
15. 養育費についての相談や支援
16. 家賃や住宅費にかかわる補助や支援
17. 引越（転居）にかかわる費用補助や支援
18. 自分が希望する制度や支援について検索できるインターネットサービス
19. ひとり親家庭向けのメールマガジン
20. ひとり親家庭向けのサロン（イベントや講座など。保育あり）
21. ひとり親家庭向けの相談（面談、メール、電話）
22. 無料または割引料金で、子どもと一緒に参加できるレジャーツアー
23. レジャー施設や宿泊施設を親子で利用するときに、利用料金の一部を補助
24. その他（具体的に　　）

問 42　あなたは知りたい情報があるとき、どの媒体を参考にしますか。　**（主なもの３つに○）**

1. 新聞	10. アプリ
2. 新聞の折込みチラシ	（アプリ名：　　）
3. 雑誌	11. ツイッター
（雑誌名：　　）	12. フェイスブック
4. 本（単行本、新書、文庫）	13. インスタグラム
5. マンガ	14. あだち広報
6. 電子書籍（新聞、雑誌、本など）	15. A-メール（足立区メール配信サービス）
7. テレビ	16. 足立区ひとり親家庭応援豆の木メール
8. ラジオ	17. 足立区ひとり親家庭応援ブック
9. インターネット	18. その他
（サイト名：　　）	（　　）

問43　あなたは、日々の生活のなかで、気持ちが明るくなるのはどのようなときですか。
また、つらい気持ちになるのはどのようなときですか。具体的に教えてください。

【明るい気持ちになるとき】	**【つらい気持ちになるとき】**
例：誰かに感謝されたとき 子どもが笑っているとき	例：仕事で失敗したとき 育児が思いどおりにならないとき

問44　最後に、足立区へのご意見がありましたら、自由に記載してください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

参考資料 調査票

父子世帯

特に指定がない場合、回答は平成 28 年 12 月 1 日現在でお答えください。

問１　あなたの現在の年齢を教えてください。(枠内に数字を書いてください)

現在の年齢 [　　] 歳

問２　ひとり親になった時期とご事情について教えてください。
2 回以上経験している場合は、直近のものについてご記入ください。

（1）ひとり親になった時期：　あなたが [　　] 歳のとき

（2）ひとり親になったご事情　　（一つに○）

1. 離婚	2. 死別	3. 非婚・未婚	4. 行方不明・遺棄	5. その他

問３　現在、あなたと一緒に暮らしている方（同じ世帯の方）についてお聞きします。
※通学等で別居しているお子さんも生計を共にしている場合は人数に含みます。

（1）　一緒に暮らしている方は、あなたを含めて、全員で何人ですか。(一つに○)

1. 2 人	3. 4 人	5. 6 人
2. 3 人	4. 5 人	6. 7 人以上

（2）　一緒に暮らしている全員の方について、「あなたとの続柄」「年齢」「性別」を教えてください。※「2.親」とは、あなたからみた父親・母親（義父・義母も含む）のことであり、お子さんからみた祖父・祖母のことです。

	あなたとの続柄（あてはまる番号に○）	年齢	性別
1	あなた自身		
2	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
3	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
4	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
5	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
6	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
7	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
8	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女
9	1. 子ども　2. 親（子の祖父母）　3. その他	歳	1. 男　2. 女

【記入例：　あなたの娘 1 人とあなたの父親との 3 人暮らしの場合】

1	あなた自身		
2	(1.) 子ども 2. 親（子の祖父母） 3. その他	3　歳	1. 男　(2.) 女
3	1. 子ども (2.) 親（子の祖父母） 3. その他	65　歳	(1.) 男　2. 女

あなたのお仕事についておたずねします

問４　あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。　（一つに○）

1. している ➡ **問５へお進みください**　　2. していない ➡ **問６へお進みください**

問５　現在、仕事をしている方にお聞きします。　**※該当しない方は、問６へお進みください。**

（１）　その仕事の形態は、次のどれにあたりますか。
複数の仕事をお持ちの場合は、おもな仕事一つだけについてお答えください。（一つに○）

1. 正規の職員・従業員（正社員・正職員）
2. パート・アルバイト
3. 契約・嘱託・臨時・非常勤・派遣など
4. 自営業・在宅請負・内職など
5. その他　（具体的に　　）

（２）　その仕事からの収入は、１か月あたり、平均いくらくらいですか。税込みの金額を書いてください。※税込み：税金や社会保険料が引かれる前の金額です。

１か月あたり　　その仕事からの収入：約（　　）万（　　）円

（３）　その仕事の１週間の労働時間は、平均してどのくらいですか。（一つに○）

1. 20 時間未満
2. 20～34 時間
3. 35～42 時間
4. 43～48 時間
5. 49～59 時間
6. 60 時間以上

（４）　その仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。　（一つに○）
している場合は、副業にあてている時間と副業収入について教えてください。

1. している　　2. していない ➡ **（５）へお進みください**

↓

１か月あたり　副業の収入　：約（　　）万　（　　）円　※税込み
副業の時間　：約（　　）時間（　　）分

（５）　ふだん仕事をしている時間帯は、次のどれにあたりますか。副業を含みます。
（あてはまるものすべてに○）

1. 早朝（5 時～8 時）
2. 日中（8 時～18 時）
3. 夜間（18 時～22 時）
4. 深夜（22 時～翌 5 時）

（６）お子さんが学校に登校するより前に、出勤することはありますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	学校に通う年齢の子どもはいない

（７）　あなたは、現在の仕事を変えたい（転職したい・就労形態を変えたい）ですか。
仕事を変えたいと考えている方は、その理由を教えてください。　（一つに○）

1. 仕事を変えたい　　2. とくに変えたくない ⇒ （８）へお進みください

⇓

仕事を変えたい理由は何ですか。　（あてはまるものすべてに○）

1. 収入が低いから
2. 収入が上がる見込みがないから
3. 労働時間が長いから
4. 労働時間や就業日が不規則だから
5. 早朝や深夜の勤務があるから
6. 日曜・祝日の勤務があるから
7. 通勤時間が長いから
8. 休暇がとりにくいから
9. 厚生年金や健康保険に入れないから
10. 雇用契約期間が短く安定しないから
11. パワハラ（暴言・暴力）があるから
12. セクハラ（性的いやがらせ）があるから
13. 人間関係が良くないから
14. その他（　　）

（８）　仕事と家庭生活のバランスについて、現在、次のようなことが起きていますか。A～C それぞれについて、あてはまる番号 1～4 に○をつけてください。　（それぞれ一つに○）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A. 仕事の時間のせいで、子どもとすごす時間が少ない	1	2	3	4
B. 仕事の悩みや疲れのせいで、子どもとのかかわりが十分にもてない	1	2	3	4
C. 仕事のせいで、やりたい家事や家の用事が十分にできない	1	2	3	4

⇒ 回答後は問７へお進みください

問６　現在、仕事をしていない方にお聞きします。

※仕事をしている方は、問７へお進みください

あなたは現在、仕事を探していますか。
また、仕事をしていない理由として、もっとも近い理由１つを選んでください。（一つに○）

1. 探している　　2. 探していない

1. 収入の条件が合う仕事がない
2. 時間の条件が合う仕事がない
3. 勤務日・曜日の条件が合う仕事がない
4. 自分の年齢に合う仕事がない
5. 子どもの預け先がない
6. その他
（　　）

1. 自分の健康上の理由
2. 子どもの健康上の理由で介助が必要
3. 子ども以外の家族の介護や介助が必要
4. 子育てに専念したい
5. 経済的に働く必要がない
6. その他
（　　）

⇒ 回答後は問７へお進みください

あなたのお子さんについておたずねします

問７　あなたのお子さんは全員で何人ですか。

同居している子ども　　（　　）人
別居している子ども　　（　　）人　**※いない場合は０とご記入ください**

問８　あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じることがありますか。

（１）小学校に入学する前（0 歳～6 歳）のお子さんと同居している方にお聞きします。
そのお子さんについて、A～F のあてはまる番号 1～4 に○をつけてください。
※該当しない方は、（２）へお進みください　　**（それぞれ一つに○）**

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A. 子どものことでどうしたらよいか分からなくなること	1	2	3	4
B. 子育てによって自分も成長していると感じること	1	2	3	4
C. 子どもがわずらわしくていらいらしてしまうこと	1	2	3	4
D. 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うこと	1	2	3	4
E. 子どもを育てるためにがまんばかりしていると思うこと	1	2	3	4
F. 子どもがかわいくてたまらないと思うこと	1	2	3	4

（２）小学生のお子さんと同居している方にお聞きします。
そのお子さんについて、A～F のあてはまる番号 1～4 に○をつけてください。
※該当しない方は、問９へお進みください　　**（それぞれ一つに○）**

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A. 子どものことでどうしたらよいか分からなくなること	1	2	3	4
B. 子育てによって自分も成長していると感じること	1	2	3	4
C. 子どもがわずらわしくていらいらしてしまうこと	1	2	3	4
D. 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思うこと	1	2	3	4
E. 子どもを育てるためにがまんばかりしていると思うこと	1	2	3	4
F. 子どもがかわいくてたまらないと思うこと	1	2	3	4

参考資料　調査票

問９　お子さんの塾や習い事についてうかがいます。

（１）小学生のお子さんと同居している方にお聞きします。現在、塾や習い事をしていますか。
※該当しない方は、（２）へお進みください。　**（一つに○）**
※小学生のお子さんが複数いる場合は一番上のお子さんについて回答してください。

1. している　→　それはどのようなものですか。**（あてはまるものすべてに○）**
2. していない　→　**（２）へお進みください**

1. 学習塾･進学塾
2. 家庭教師
3. 通信教育
4. 英語塾･珠算などの勉強の習い事
5. 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事
6. スポーツ（野球・サッカー･水泳･ダンス・体操など）
7. その他（　　）

（２）中学生のお子さんと同居している方にお聞きします。現在、塾や習い事をしていますか。
※該当しない方は､問 10 へお進みください。　**（一つに○）**
※中学生のお子さんが複数いる場合は一番上のお子さんについて回答してください。

1. している　→　それはどのようなものですか。**（あてはまるものすべてに○）**
2. していない　→　**問 10 へお進みください**

1. 学習塾･進学塾
2. 家庭教師
3. 通信教育
4. 英語塾･珠算などの勉強の習い事
5. 絵画・音楽・習字などの芸術の習い事
6. スポーツ（野球・サッカー･水泳･ダンス・体操など）
7. その他（　　）

問 10　中学生のお子さんと同居している方に、進路についてお聞きします。
※中学生のお子さんが複数いる場合は一番上のお子さんについて回答してください。
※該当しない方は、問 11 へお進みください。

（１）あなたは、お子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。
（一つに○）

1. 中学校
2. 中卒後の専門学校
3. 高校
4. 高卒後の専門学校
5. 短期大学・高等専門学校
6. 大学・大学院
7. その他（具体的に　　）
8. わからない

（２）あなたは、そのお子さんが、現実的にはどの段階の学校まで進むと思いますか。
（一つに○）

1. 中学校
2. 中卒後の専門学校
3. 高校
4. 高卒後の専門学校
5. 短期大学・高等専門学校
6. 大学・大学院
7. その他（具体的に　　）
8. わからない

（２）のように思われるのはなぜですか。

問 11　高校生のお子さんと同居している方にお聞きします。
※該当しない方は、問 12 へお進みください。
お子さんは、自分のため、または家族のために、次のようなことをしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 掃除や洗濯を分担している
2. 家族の食事づくりを分担している
3. 家族の必要な買い物を分担している
4. アルバイトをして家族の生活費を助けている
5. アルバイトをして自分やきょうだいの学費にあてている
6. アルバイトをして自分のおこづかいにあてている
7. アルバイトをして将来のための貯金をしている
8. 親の留守中に弟や妹の見守りや世話をしている
9. 1～8 のようなことはない

問 12　学校に通っていない 15 歳以上のお子さんがいる方にお聞きします。
（別居のお子さんも含みます）。　**※該当しない方は、問 13 へお進みください。**
そのお子さんの現在の年齢と、最終学歴を教えてください。
※お子さんが複数いる場合は、年齢の高い順にお答えください。　（それぞれ一つに○）

現在の年齢	１番上の子ども （　　）歳	２番目の子ども （　　）歳	３番目の子ども （　　）歳
最後に通った学校はどこですか	1. 中学校 2. 中卒後の専門学校 3. 高校 4. 高卒後の専門学校 5. 短大・高等専門学校 6. 大学・大学院	1. 中学校 2. 中卒後の専門学校 3. 高校 4. 高卒後の専門学校 5. 短大・高等専門学校 6. 大学・大学院 7. 2 番目の子はいない	1. 中学校 2. 中卒後の専門学校 3. 高校 4. 高卒後の専門学校 5. 短大・高等専門学校 6. 大学・大学院 7. 3 番目の子はいない
その学校を卒業しましたか	1. 卒業した 2. 中退した	1. 卒業した 2. 中退した	1. 卒業した 2. 中退した

ここからは、すべての方がお答えください

あなたの子どもの頃と、ひとり親家庭になる前のご経験についておたずねします

問 13　あなたが中学３年生のとき、あなたのご家庭の暮らしの状況は、次のどの状態に近かったでしょうか。　**（一つに○）**

1.	2.	3.	4.	5.
大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい

問 14　あなたが成人するまでのあいだに、ひとり親家庭だった時期はありますか。**（一つに○）**

1. ある　　2. ない

参考資料　調査票

問 15　あなたの最終学歴は次のどれにあたりますか。お子さんの母親（元妻など）と、あなたの両親についても教えてください。
※結婚を 2 回以上経験なさっている場合、B は直近の相手についてお答えください。

（A・B・C・D のそれぞれについて、一つに○）

A.　あなた	B. お子さんの母親・元妻	C.　あなたの母親	D.　あなたの父親
1. 中学校卒	1. 中学校卒	1. 中学校卒	1. 中学校卒
2. 中卒後専門学校卒	2. 中卒後専門学校卒	2. 中卒後専門学校卒	2. 中卒後専門学校卒
3. 高校卒	3. 高校卒	3. 高校卒	3. 高校卒
4. 高卒後専門学校卒	4. 高卒後専門学校卒	4. 高卒後専門学校卒	4. 高卒後専門学校卒
5. 高専・短大卒	5. 高専・短大卒	5. 高専・短大卒	5. 高専・短大卒
6. 大学卒	6. 大学卒	6. 大学卒	6. 大学卒
7. 大学院卒	7. 大学院卒	7. 大学院卒	7. 大学院卒
8. その他	8. その他	8. その他	8. その他
	9. わからない	9. わからない	9. わからない

問16　ひとり親家庭になったことで、仕事や働き方に変化はありましたか。　**（一つに○）**

1. 仕事や働き方を変えた　2. とくに変化はなかった　3. 仕事がなかった・働いていなかった

【「1. 仕事や働き方を変えた」と答えた方にお聞きします。】
※該当しない方は、問17へお進みください。

（1）どのように変化しましたか。　**（一つに○）**

1. 仕事を辞めて子育てに専念した
2. 別の会社や仕事に転職した
3. 同じ会社だが、雇用形態を変えた
4. 同じ会社だが、異動を希望して実現した
5. 同じ会社だが、残業を減らした
6. その他（　　）

（2）その理由は何でしたか。　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 残業が多い仕事だったから
2. 出張が多い仕事だったから
3. 通勤時間が長かったから
4. 転居したから
5. ひとり親家庭であることに上司の理解が得られなかったから
6. ひとり親家庭であることに同僚の理解が得られなかったから
7. 子どもが心理的に不安定だったから
8. 自分の過労のため
9. その他（　　）

ひとり親家庭になってからのご経験についておたずねします

問 17　ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことがありますか。　（一つに○）

1. 現在受けている → 問 18 へ
2. 過去に受けていたが現在は受けていない → 問 18 へ
3. 一度も受けたことがない

【「3. 一度も受けたことがない」と答えた方にお聞きします。その理由は何でしたか】
（あてはまるものすべてに○）

1. 経済的に必要がないから
2. 親族に知られたくないから
3. 親族と暮らしたいから
4. 転居したくないから
5. 貯蓄や保険を解約したくないから
6. 車（自家用車）を使いたいから
7. 制度や手続きを良く知らないから
8. 受けたくない気持ちがあるから
9. その他（具体的に　　）

問 18　ひとり親家庭になってから、あなたは次のような経験をしたことはありますか。

（1）生活費について（教育費も含めます）　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 生活費を家族や親族から借りた
2. 生活費を友人や知人から借りた
3. 生活費を公的機関（区役所・社会福祉協議会など）から借りた
4. 生活費を消費者金融から借りた
5. 生活費をまかなうためにクレジットカードのキャッシングを利用した
6. 1～5 のような経験をしたことはない

（2）心身の疲労について　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 過労(極度の疲れ)で寝込んだ
2. カウンセリングや精神科治療を受けたいと思った
3. 自殺したいと思った
4. 1～3 のような経験をしたことはない

問 19　ひとり親家庭になってから、子育てや生活の悩みについて、区役所など公的機関の窓口で相談したことはありますか。相談で利用したことがある場所すべてに○をつけてください。
（あてはまるものすべてに○）

1. 子ども施設入園課・保育コンシェルジュ（認可保育所、認定こども園に関する相談など）
2. 親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）
3. 福祉事務所（生活保護、母子・父子福祉資金に関する相談など）
4. 保健センター（母子手帳の交付、予防接種、乳幼児健康診査の実施に関する相談など）
5. 区民の声相談課（区役所への意見・要望受付、法律相談など）
6. こども支援センターげんき（こども家庭支援課）（子育て相談、教育相談など）
7. くらしとしごとの相談センター（旧：生活支援課）（様々な課題を持った方の総合相談窓口）
8. 男女参画プラザ（様々な悩みについての相談）
9. 保育園・幼稚園・学校
10. 障がい福祉センターあしすと（自分の障がいやお子さんの発達に関する相談など）
11. 東京都ひとり親家庭支援センターはあと（生活、養育費、面会交流、就業に関する相談など）
12. 1～11 の窓口や機関で相談したことはない

問 20　あなたは、ご自身が幸せだと思いますか。ひとり親になる直前、直後、現在という時間の流れのなかで、その気持ちに変化はありましたか。それぞれの時期について、「たいへん幸せ」を 10 点として、あてはまると思う点数を選んでください。　**（それぞれ一つに○）**

	たいへん幸せ ←→ 幸せでない
A.　ひとり親になる直前（1 か月前あたり）	10 点--9 点--8 点--7 点--6 点---5 点--4 点--3 点—2 点--1 点--0 点
B.　ひとり親になった直後（1 か月後あたり）	10 点--9 点--8 点--7 点--6 点---5 点--4 点--3 点—2 点--1 点--0 点
C.　現在	10 点--9 点--8 点--7 点--6 点---5 点--4 点--3 点—2 点--1 点--0 点

過去１年間のご経験についておたずねします

問21　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由のために、支払いができなかったことはありますか。　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 学校・保育園・幼稚園の遠足や修学旅行の参加費
2. 学校・保育園・幼稚園での教材費
3. 学校・保育園・幼稚園の給食費
4. 家賃
5. 住宅ローン
6. 電気代
7. ガス代
8. 水道代
9. 電話代（固定電話・携帯電話を含む）
10. 住民税、自動車税、固定資産税など税金
11. 公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料支払い
12. 通勤や通学に使うバスや電車の料金
13. あてはまるものはない

問22　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。Ａ、Ｂそれぞれについて、あてはまる番号1～4に○をつけてください。　**（それぞれ一つに○）**

A.　食料が買えなかった経験			
1. よくあった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. まったくなかった
B.　衣料が買えなかった経験			
1. よくあった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. まったくなかった

問23　あなたのご家庭では、過去１年間に、医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった（できなかった）ことがありましたか。　**（一つに○）**

1. あった　　2. なかった ➡ **問 24 へお進みください**

【「1. あった」と答えた方にお聞きします。】　※該当しない方は、問24へお進みください。
その理由は何でしたか。もっとも近いと思う理由ひとつに○をつけてください。**（一つに○）**

1. 病院や診療所に行く時間がなかったため
2. 身体上の理由で、病院や診療所に行くことが困難であったため
3. 病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため
4. 公的医療保険に加入しておらず、医療費を払うことが難しいため
5. 公的医療保険には加入していたが、医療費を支払うことが難しいため
6. その他（　　）

あなたの普段の生活やお気持ちについておたずねします

問 24　あなたが自分自身のためにやっていることと、やりたいがあきらめていることを教えてください。

（それぞれ、あてはまるものすべてに○）

A. 自分自身のためにやっていること	B. やりたいがあきらめていること
1. おしゃれをすること 2. 音楽を聞くこと 3. 読書をすること 4. スポーツをすること 5. 整体やマッサージに行くこと 6. 映画やコンサートに行くこと 7. 親しい友人と会うこと 8. ひとりで出かけること 9. 資格の勉強をすること 10. 外食をすること 11. 旅行に行くこと 12. その他 （　　）	1. おしゃれをすること 2. 音楽を聞くこと 3. 読書をすること 4. スポーツをすること 5. 整体やマッサージに行くこと 6. 映画やコンサートに行くこと 7. 親しい友人と会うこと 8. ひとりで出かけること 9. 資格の勉強をすること 10. 外食をすること 11. 旅行に行くこと 12. その他 （　　）

問 25　次のことがらはあなた自身にどのくらいあてはまりますか。A～C のそれぞれについて、あてはまる番号 1～4 に○をつけてください。　（それぞれ一つに○）

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
A. 私は、自分自身にだいたい満足している	1	2	3	4
B. 自分にはけっこう長所があると感じている	1	2	3	4
C. 時々、自分は役に立たないと強く感じることがある	1	2	3	4

問 26　ふだんの健康状態についてうかがいます。

（1）あなたはご自分の「身体」の健康状態についてどのように感じていますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば良くない	良くない

（2）あなたはご自分の「心」の健康状態についてどのように感じていますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば良くない	良くない

ご両親とのかかわりについておたずねします

問 27　あなたご自身のご両親はご健在ですか。　（それぞれ一つに○）

あなたの父親	あなたの母親
1. 健在　2. 死亡　3. わからない	1. 健在　2. 死亡　3. わからない

問 28　お子さんの祖父母（あなたや元妻の親）についてお聞きします。（別居・同居は問いません。）
※お子さんの祖父母が亡くなっている方は、問 30 へお進みください。

（1）現在、お子さんの祖父母と同居していますか。あるいは別居ですか。　（一つに○）

1. 同居している　2. 別居（徒歩圏内）　3. 別居（徒歩圏内以外）

（2）お子さんの祖父母と同居している方にお聞きします。
※該当しない方は、問 29 へお進みください。
あなたが、お子さんの祖父母と同居するようになったのはいつ頃からですか。
（一つに○）

1. ひとり親家庭になる前から、子どもの祖父母と同居していた ⇒ **問 29 へお進みください**
2. ひとり親家庭になったときに、祖父母と同居した
3. ひとり親家庭になってしばらくは親子で暮らし、その後、祖父母と同居した
4. その他（具体的に　　）⇒ **問 29 へお進みください**

【2.3.に○をしたひとり親家庭になってから、お子さんの祖父母と同居した方にお聞きします】
あなたが、お子さんの祖父母と同居するようになった一番大きな理由は何ですか。（一つに○）

1. 適当な住宅がみつからなかったため
2. 生活費を節約するため
3. 勤務先に近かったため
4. 家事や子育てを助けてもらうため
5. 祖父母と同居するほうが安心なため
6. 祖父母が同居を希望したため
7. 祖父母の世話をする必要があったため
8. その他（具体的に　　）

問 29　お子さんの祖父母（あなたや元妻の親）についてお聞きします。（別居・同居は問いません。）
※お子さんの祖父母が亡くなっている方は、問 30 へお進みください。
あなたのご家庭では、次のことについて、お子さんの祖父母に協力してもらうことはどれくらいありますか。A～E のそれぞれについて、あてはまる番号 1～4 に○をつけてください。
（それぞれ一つに○）

	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
A. 家事の手伝い	1	2	3	4
B. 幼稚園・保育園の送り迎え	1	2	3	4
C. 子どもを預かってもらうこと	1	2	3	4
D. 子どものことに関する相談	1	2	3	4
E. 子どもにかかる費用の援助	1	2	3	4

現在の暮らしについておたずねします

問 30　前年（2015 年）のあなたの家族（*1）全員の年収（*2）の合計額は、税込み（*3）でおよそいくらでしたか。公的な手当（*4）を「A. 除いた額」と「B. 含めた額」のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

*1　家族：問３でお聞きした【あなたと一緒に暮らしており、生計を共にしている方】のことです。
*2　年収：働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。
*3　税込み：所得税や社会保険料が引かれる前の金額です。
*4　公的な手当：児童手当、就学援助、児童扶養手当、児童育成手当、障がいや難病の手当、生活保護、公的年金などを指します。

（それぞれ一つに○）

A.　公的な手当を除いた額	B.　公的な手当を含めた額
1.　50 万円未満	1.　50 万円未満
2.　50～100 万円未満	2.　50～100 万円未満
3.　100～150 万円未満	3.　100～150 万円未満
4.　150～200 万円未満	4.　150～200 万円未満
5.　200～250 万円未満	5.　200～250 万円未満
6.　250～300 万円未満	6.　250～300 万円未満
7.　300～350 万円未満	7.　300～350 万円未満
8.　350～400 万円未満	8.　350～400 万円未満
9.　400～500 万円未満	9.　400～500 万円未満
10.　500～600 万円未満	10.　500～600 万円未満
11.　600～750 万円未満	11.　600～750 万円未満
12.　750～1000 万円未満	12.　750～1000 万円未満
13.　1000 万円以上	13.　1000 万円以上

問 31　あなたのご家庭では、次のもののうち、経済的理由のために、ないものはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1.　子どもの年齢に合った絵本や本	8.　冷房機器
2.　子ども用のスポーツ用品・ぬいぐるみ・おもちゃ	9.　電子レンジ
3.　子どもが自宅で宿題をすることができる場所	10.　電話（固定電話・携帯電話を含む）
4.　洗濯機	11.　世帯専用のおふろ
5.　炊飯器	12.　世帯人数分のベッドまたは布団
6.　掃除機	13.　急な出費のための貯金（5 万円以上）
7.　暖房機器	14.　あてはまるものはない

問32　あなたは、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい

問 33　あなたのご家庭では、家族で泊りがけの旅行に行くことはありますか。あなたの実家への帰省旅行も含みます。　（一つに○）

1.　行く　⇒　年（　　）回くらい	2.　ほとんど行くことはない

問 34　現在の住居の形態はどれにあたりますか。　（一つに○）

1. あなたの持ち家（一戸建）	7. 都営住宅
2. あなたの持ち家（マンション）	8. 区営住宅
3. 親や親族の持ち家（一戸建）	9. 公団住宅（都市再生機構（UR）等）
4. 親や親族の持ち家（マンション）	10. 給与住宅（会社の社宅・公務員住宅等）
5. 民間の賃貸住宅（一戸建）	11. 母子生活支援施設などの社会福祉施設
6. 民間の賃貸住宅（マンション・アパート）	12. その他（　　）

問 35　あなたが住居費として負担している金額は、1 か月あたりおいくらですか。
家賃・住宅ローン・共益費・管理費などの合計の金額を教えてください。　（一つに○）

1. 0 円（費用負担なし）	5. 30,000 円～39,999 円	9. 70,000 円～79,999 円
2. 1～9,999 円	6. 40,000 円～49,999 円	10. 80,000 円～89,999 円
3. 10,000 円～19,999 円	7. 50,000 円～59,999 円	11. 90,000 円～99,999 円
4. 20,000 円～29,999 円	8. 60,000 円～69,999 円	12. 100,000 円以上

悩みや相談についておたずねします

問 36　次のことがらについて、悩んでいることや心配なことがありますか。それぞれのことがらについてあてはまる番号 1～3 に○をつけてください。

（1）ご家庭やあなたご自身のこと　（それぞれ一つに○）

	現在 悩んでいる	過去に 悩んでいた	これまで 悩んだことはない （該当しない）
生活費が足りない	1	2	3
子どもの保育料や教育費が足りない	1	2	3
自分の健康	1	2	3
自分の老後	1	2	3
職場環境や就労条件	1	2	3
元妻との関係	1	2	3
元妻から養育費がもらえない	1	2	3
元妻からの養育費が滞る	1	2	3
親の病気や介護	1	2	3
再婚	1	2	3
ひとり親家庭への無理解や偏見	1	2	3
孤立や孤独感	1	2	3

（2）子育てやお子さんのこと　　（それぞれ一つに○）

	現在 悩んでいる	過去に 悩んでいた	これまで 悩んだことは ない （該当しない）
子どもの健康	1	2	3
子どもの発達・障がい	1	2	3
子どもと過ごす時間が少ない	1	2	3
誕生日や季節のイベントが十分にできない	1	2	3
子どもとする会話が少ない	1	2	3
子どものいじめ・交友関係	1	2	3
子どもの粗暴な態度や家庭内暴力	1	2	3
子どもが夜間に出歩くこと	1	2	3
子どもの母親と子どもとの関係	1	2	3
子どもの先生と子どもとの関係	1	2	3
子どもの学力・学校の成績	1	2	3
子どもの進路・学校選び	1	2	3
不登校・引きこもり	1	2	3

問 37　あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。　（一つに○）

1. いる　　2. いない

足立区で利用できるサービスや支援制度についておたずねします

問 38　仕事に関する資格の取得について、お聞きします。

下記の事業は、児童扶養手当を受給している方が対象です。チラシを同封しました。

ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業
：国家資格取得のために学校等で学ぶ間、生活費の一部を補助する事業です。
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業
：就職に有利な資格や技術を取得するための講座を受講した場合、その費用の全額（上限 30 万円）を補助する事業です。

あなたは児童扶養手当を受給していますか。　（一つに○）

1. 受給している　　2. 受給していない → 問 39 へお進みください。

この２つの事業について、あなたはこれまでに利用したことがありますか。
また、利用したいと思いますか。　（それぞれ一つに○）

	利用している、利用したことがある	利用できそうなので、利用したい	利用したいが、利用できるか不安	利用したいと思わない	よくわからないので、判断できない
ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業	1	2	3	4	5
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業	1	2	3	4	5

【「3.制度を利用したいが、利用できるか不安」と答えた方にお聞きします。】
※該当しない方は問 39 へお進みください。

不安な理由は何ですか。　**（あてはまるものすべてに○）**

1. 学費や教材費が出せない	6. 入学試験や国家試験に受かる自信がない
2. 学校に通う間の生活費が足りない	7. 仕事をやめることに不安がある
3. 学校に通う間の子どもの預け先がない	8. 仕事の時間を減らすことに不安がある
4. 自宅で勉強する時間がない	9. その他
5. 学校に通って勉強する時間がない	（　　）

問 39　次のうち、あなたがこれから習得したい職業資格はありますか。

（あてはまるものすべてに○）

※1～14 は、「ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業」の対象となる資格です。

1. 看護師	6. 作業療法士	11. 歯科衛生士	16. 普通第二種免許（*2）
2. 准看護師	7. 保健師	12. 鍼灸マッサージ師	17. その他（　　）
3. 介護福祉士	8. 助産師	13. 社会福祉士	
4. 保育士	9. 理容師	14. 調理師	
5. 理学療法士	10. 美容師	15. 大型第一種・第二種免許（*1）	

***1　トラックや旅客用バスの運転免許　　*2　タクシーなど旅客用自動車の運転免許**

問 40　あなたは、次のような支援やサービスを利用したいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 学校や家庭以外で子どもが学べる場所
2. 子ども向けの家庭教師派遣サービス
3. 子どもの進学費用の補助や支援
4. 資格取得や進学のため大人（親）が学べる場所の提供や学習支援
5. 親が不在でも子どもが地域の人と食事ができる場所
6. フードバンクなどによる食料支援
7. 親が仕事の時など子どもの送迎をしてくれるサービス
8. 自分がどういう仕事に適性があるのかなど相談できるキャリアコンサルティング
9. パソコン教室など就職や転職に役立つ知識を得ることができる講座
10. 自分が高校卒業程度の認定資格を取るための費用補助や支援（高卒資格をもっていない場合）
11. 自分が高校卒業以上の専門学校や大学で学ぶための費用補助や支援（高卒の場合）
12. 自分が仕事や職業に活かせる資格を取るための費用補助や支援
13. 自宅での保育や家事を支援するためのホームヘルパー派遣サービス
14. 家計管理に関する講座、ファイナンシャルプランナーに相談できる窓口
15. 養育費についての相談や支援
16. 家賃や住宅費にかかわる補助や支援
17. 引越（転居）にかかわる費用補助や支援
18. 自分が希望する制度や支援について検索できるインターネットサービス
19. ひとり親家庭向けのメールマガジン
20. ひとり親家庭向けのサロン（イベントや講座など。保育あり）
21. ひとり親家庭向けの相談（面談、メール、電話）
22. 無料または割引料金で、子どもと一緒に参加できるレジャーツアー
23. レジャー施設や宿泊施設を親子で利用するときに、利用料金の一部を補助
24. その他（具体的に　　）

問 41　あなたは知りたい情報があるとき、どの媒体を参考にしますか。　**（主なもの３つに○）**

1. 新聞	10. アプリ
2. 新聞の折込みチラシ	（アプリ名：　　）
3. 雑誌	11. ツイッター
（雑誌名：　　）	12. フェイスブック
4. 本（単行本、新書、文庫）	13. インスタグラム
5. マンガ	14. あだち広報
6. 電子書籍（新聞、雑誌、本など）	15. A-メール（足立区メール配信サービス）
7. テレビ	16. 足立区ひとり親家庭応援豆の木メール
8. ラジオ	17. 足立区ひとり親家庭応援ブック
9. インターネット	18. その他
（サイト名：　　）	（　　）

問42　あなたは、日々の生活のなかで、気持ちが明るくなるのはどのようなときですか。
また、つらい気持ちになるのはどのようなときですか。具体的に教えてください。

【明るい気持ちになるとき】	**【つらい気持ちになるとき】**
例：誰かに感謝されたとき 子どもが笑っているとき	例：仕事で失敗したとき 育児が思いどおりにならないとき

問 43　最後に、足立区へのご意見がありましたら、自由に記載してください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

参考資料　調査票

外国人世帯

特に指定がない場合、回答は平成28年12月1日現在でお答えください。

現在の暮らしについておたずねします

問１　あなたの国籍と、現在の年齢、性別を教えてください。

国籍　［　　］　※文字を書いてください。

現在の年齢［　　］歳　※数字を書いてください。

性別　1. 男性　2. 女性　3. その他

問２　あなたのお子さんは全部で何人ですか。

いま一緒に住んでいる子ども	（　　）人
別のところに住んでいる子ども	（　　）人　※いない場合は０と書いてください

問３　いま、あなたと一緒に暮らしている方（同じ世帯の方）は、あなたを含めて、全部で何人ですか。※通学などで別の場所で暮らしているお子さんであっても、あなたがお金を仕送りしているなど家計を共にしている場合は人数に含みます。　（一つに○）

1. 2人	3. 4人	5. 6人
2. 3人	4. 5人	6. 7人以上

問４　いま、あなたのご両親は、日本で暮らしていますか。　（一つに○）

1. 母親も父親も、日本で暮らしている
2. 母親だけ、日本で暮らしている
3. 父親だけ、日本で暮らしている
4. 母親も父親も、日本にはいない（死亡した場合も含む）

問５　現在の在留資格は何ですか。　（一つに○）

1. 永住者	3. 永住者の配偶者等	5. 特別永住者
2. 日本人の配偶者等	4. 定住者	6. その他（　　）

これまでの暮らしについておたずねします

問６　あなたの最終学歴（最後に卒業した学校）についてお聞きします。

（出身国の学校制度にもとづいて、最終学歴と卒業時の年齢をお答えください。）

最後に卒業した学校の種類（中学、高校、大学など）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

卒業時の年齢　□　歳

※数字を書いてください。

※日本で生まれた特別永住者の方は、「0歳」と書いてください。

問７　あなたがはじめて日本に来た頃のことをお聞きします。

（１）在留資格を得て、はじめて日本に来たのは何歳でしたか。

□　歳　　**※数字を書いてください。**

（２）はじめて日本に来たとき、その目的は何でしたか。　　（一つに○）

※特別永住者の方は回答の必要はありません。問８に進んでください。

1. 就労	2. 結婚	3. 留学	4. その他（　　）

問８　ひとり親家庭になった時期とご事情について教えてください。

2回以上経験している場合は、直近のものについてご記入ください。

（１）ひとり親家庭になった時期：　あなたが □ 歳のとき　　**※数字を書いてください。**

（２）ひとり親家庭になったご事情はどのようなことでしたか。　（一つに○）

1. 離婚した
2. 相手が死亡した
3. 相手が行方不明になった
4. 相手の暴力から逃げるため別居した
5. 結婚する前に妊娠・出産した
6. その他（　　）

問９　ひとり親家庭になった頃、あなたご自身は日本語はどの程度理解できましたか。「話す」「聞く」「読む」「書く」について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

（それぞれ一つに○）

（１）話す

1. 自分の意見を正確に伝えることができる
2. 日常会話ができる
3. 簡単な単語なら話すことができる
4. ほとんど話せない

（２）聞く

1. テレビやニュースが理解できる
2. 日常会話はだいたい聞き取れる
3. 簡単な単語は聞き取れる
4. ほとんど聞き取れない

（３）読む

1. 新聞や雑誌が読める
2. 簡単な漢字がある文章が読める
3. ひらがなやカタカナの文章が読める
4. ほとんど読めない

（４）書く

1. 漢字を使って文章が書ける
2. 簡単な漢字なら文章が書ける
3. ひらがなやカタカナの文章が書ける
4. ほとんど書けない

問10　ひとり親家庭になった頃、あなたを支援（サポート）してくれた人はどなたでしたか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 親や親族
2. 友人・知人（日本人）
3. 友人・知人（同じ国の人）
4. 宗教関係者
5. 相談機関（男女参画プラザ・福祉事務所等）の相談員
6. その他（　　）
7. 誰もいなかった

問11　ひとり親家庭になってから、子育てのことで困ったことはありましたか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもとのコミュニケーション
2. 保育園・幼稚園・学校との連絡
3. 子どもが病気の時の通院
4. 子どもに勉強を教えることができない
5. 子どもに自分の国の文化を伝えること
6. 日本と自分の国との子育ての仕方の違い
7. 子どものための様々な手続き
8. 子どもの友人の保護者とのコミュニケーション
9. その他

［具体的に：　　］

10. とくにない

問12　別れた相手（お子さんの父親または母親）と一緒に暮らしていた頃、次のようなことで困ったことはありましたか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事をしない
2. お金を渡してくれない
3. 子どもがいるのに働かされる（子どもと離れて仕事をするよう強制された）
4. 在留資格を取得するときの保証人の拒否
5. 出身国の友人と会うことを禁止される
6. 自分に暴力を振るう
7. 子どもに暴力を振るう
8. 自分の国を侮辱される（悪口をいわれる）
9. 子どものことで必要な手続きをしてくれない
10. 子育てに協力しない
11. その他（具体的に　　）
12. 1～12 にあてはまる困ったことはなかった

あなたのお仕事についておたずねします

問13　あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。　（一つに○）

1. している ➡ 問14 へお進みください　　2. していない ➡ 問15 へお進みください

問14　現在、仕事をしている方にお聞きします。　※該当しない方は、問15 へお進みください。

A　その仕事の形態は、次のどれにあたりますか。
複数の仕事をお持ちの場合は、おもな仕事についてお答えください。　（一つに○）

1. 正規の職員・従業員（正社員・正職員）
2. パート・アルバイト
3. 契約・嘱託・非常勤・派遣など
4. 自営業主・家族従事者・内職・在宅請負など
5. その他　（具体的に　　）

B　その仕事からの収入は、1か月あたり、平均いくらくらいですか。税込みの金額（所得税や健康保険料が引かれる前の金額）を書いてください。

1か月あたり　　その仕事からの収入：約（　　）万（　　）円

C　週に平均して、その仕事をしている時間はどのくらいですか。　（一つに○）

1. 20時間未満	3. 35～42時間	5. 49～59時間
2. 20～34時間	4. 43～48時間	6. 60時間以上

D　その仕事以外に、別の仕事（副業）をしていますか。

している場合は、副業をしている時間と副業の収入について教えてください。

収入は、税込みの金額（所得税や健康保険料が引かれる前の金額）を書いてください。

（一つに○）

1. している	2. していない ⇒ Eへお進みください

1か月あたり　副業の収入　：約（　　）万（　　）円 副業の時間　：約（　　）時間（　　）分

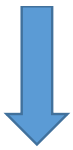
E　あなたがふだん仕事をしている時間帯は、次のどれにあたりますか。副業を含みます。

（あてはまるものすべてに○）

1. 早朝（5時～8時）	3. 夜間（18時～22時）
2. 日中（8時～18時）	4. 深夜（22時～翌5時）

F　あなたは、現在の仕事を変えたい（転職したい・就労形態を変えたい）ですか。
仕事を変えたいと考えている方は、その理由を教えてください。　（一つに○）

1. 仕事を変えたい	2. とくに変えたくない ⇒ 問15へお進みください



仕事を変えたい理由は何ですか。　（あてはまるものすべてに○）

1. 収入が低いから
2. 収入があがらないから
3. 賃金や残業代がきちんと支払われないから
4. 労働時間が長いから
5. 労働時間が短いから
6. 通勤時間が長いから
7. 休暇がとりにくいから
8. 厚生年金や健康保険に入れないから
9. 早朝や深夜の勤務があるから
10. 労働時間や就業日が不規則だから
11. 日曜・祝日の勤務があるから
12. 雇用期間が限られていて安定しないから
13. 暴言や暴力があるから
14. 性的ないやがらせがあるから
15. 外国人だからといって差別されるから
16. コミュニケーションがとれないから
17. その他（　　）

問15　現在、仕事をしていない方にお聞きします。**※仕事をしている方は、問16へお進みください。**

仕事をしていない理由は何ですか。　（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事を探しているが見つかっていない
2. 自分の健康上の理由で働けない
3. 子どもの健康上の理由で介助が必要なため働けない
4. 子どもの保育の手だてがないから働けない
5. 子育てに専念したいから
6. 子ども以外の家族の介護や介助をしなければならないから
7. 経済的に働く必要がないから
8. その他（具体的に　　）

ひとり親家庭になってからのご経験についておたずねします

問16　ひとり親家庭になってから、児童扶養手当を受けたことがありますか。　（一つに○）

1. 現在受けている（全部支給）
2. 現在受けている（一部支給）
3. 過去に受けていたが現在は受けていない
4. 一度も受けたことがない

問17　ひとり親家庭になってから、生活保護を受けたことがありますか。　（一つに○）

1. 現在受けている
2. 過去に受けていたが現在は受けていない
3. 一度も受けたことがない

【「3. 一度も受けたことがない」と答えた方にお聞きします。】

その理由は何でしたか。　（あてはまるものすべてに○）

1. 経済的に必要がないから
2. 親族に知られたくないから
3. 親族と暮らしたいから
4. 転居したくないから
5. 貯蓄や保険を解約したくないから
6. 車（自家用車）を使いたいから
7. 制度や手続きを良く知らないから
8. 受けたくない気持ちがあるから
9. その他（具体的に　　）

問18　ひとり親家庭になってから、生活費を得るために、お金を借りたことがありましたか。

※住宅ローン・自動車ローン・子どもの奨学金は含みません。

（あてはまるものすべてに○）

1. 家族・親族から借りた
2. 友人・知人から借りた
3. 公的機関（区役所・社会福祉協議会など）から借りた
4. 民間機関（消費者金融・信用生協など）から借りた
5. クレジットカードのキャッシングを利用した
6. その他から借りた（具体的に　　）
7. お金を借りたことはない

問19　ひとり親家庭になってから、子育てや生活の悩みについて、区役所や公的機関の窓口で相談したことはありますか。相談で利用したことがある場所すべてに○をつけてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 子ども施設入園課・保育コンシェルジュ（認可保育所、認定こども園に関する相談など）
2. 親子支援課（ひとり親家庭に関する相談など）
3. 福祉事務所（生活保護、母子・父子福祉資金に関する相談など）
4. 保健センター（母子手帳の交付、予防接種、乳幼児健康診査の実施に関する相談など）
5. 区民の声相談課（区役所への意見・要望受付、法律相談など）
6. こども支援センターげんき（子育て相談、教育相談など）
7. くらしとしごとの相談センター（旧：生活支援課）（様々な課題を持った方の総合相談窓口）
8. 男女参画プラザ（様々な悩みについての相談）
9. 保育園・幼稚園・学校
10. 障がい福祉センターあしすと（自分の障がいやお子さんの発達に関する相談など）
11. 東京都ひとり親家庭支援センターはあと（生活、養育費、面会交流、就業に関する相談など）
12. 1～11の相談窓口を利用したことはない

過去１年間のご経験についておたずねします

問20　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料や衣服（たばこやお酒などの嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。

A、Bそれぞれについて、1から4のうちあてはまる番号に○をつけてください。

（それぞれ一つに○）

A. 食料（食べるもの）が買えなかった経験			
1. よくある	2. ときどきある	3. ほとんどない	4. まったくない
B. 衣料（着るもの）が買えなかった経験			
1. よくある	2. ときどきある	3. ほとんどない	4. まったくない

問21　あなたのご家庭では、過去１年間に、経済的な理由によって、次の費用を期限通りに支払えなかったことがありましたか。AからGのそれぞれについて、1から3のうちあてはまる番号に○をつけてください。　**（それぞれ一つに○）**

	ある	ない	該当しない（支払いはない）
A. 水道光熱費（電気代・ガス代・水道代・灯油代など）	1	2	3
B. 通信費（固定電話代・携帯電話代・インターネット使用料など）	1	2	3
C. 税金（所得税・住民税・固定資産税など）	1	2	3
D. 社会保険料（年金・健康保険など）	1	2	3
E. 住居費（家賃・住宅ローンなど）	1	2	3
F. クレジットカードの支払い	1	2	3
G. 保育料	1	2	3

問22　あなたのご家庭では、過去１年間に、医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった（できなかった）ことがありましたか。　（一つに○）

1. あった	2. なかった ➡ 問23へお進みください

【「1. あった」と答えた方にお聞きします。】　（一つに○）

その理由は何でしたか。次の1から6のうち、もっとも近いものに○をつけてください。

1. 病院や診療所に行く時間がなかったため
2. 身体上の理由で、病院や診療所に行くことが困難であったため
3. 病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため
4. 公的医療保険に加入しておらず、医療費を払うことが難しいため
5. 公的医療保険には加入していたが、医療費を支払うことが難しいため
6. その他（　　）

あなたの普段の生活やお気持ちについておたずねします

問23　あなたが自分自身のためにやっていることと、やりたいが諦めていることを教えてください。　（それぞれ、あてはまるものすべてに○）

A. 自分自身のためにやっていること	B. やりたいがあきらめていること
1. おしゃれをすること	1. おしゃれをすること
2. 音楽を聞くこと	2. 音楽を聞くこと
3. 読書をすること	3. 読書をすること
4. スポーツをすること	4. スポーツをすること
5. 整体やマッサージに行くこと	5. 整体やマッサージに行くこと
6. 映画やコンサートに行くこと	6. 映画やコンサートに行くこと
7. 親しい友人と会うこと	7. 親しい友人と会うこと
8. ひとりで出かけること	8. ひとりで出かけること
9. 資格の勉強をすること	9. 資格の勉強をすること
10. 外食をすること	10. 外食をすること
11. 旅行に行くこと	11. 旅行に行くこと
12. その他	12. その他
（　　）	（　　）

問24　ふだんの健康状態についてうかがいます。

（1）あなたはご自分の「身体」の健康状態についてどのように感じていますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば良くない	良くない

（2）あなたはご自分の「心」の健康状態についてどのように感じていますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば良くない	良くない

現在の暮らしについておたずねします

問25　去年（平成27年）1年間の家族全員の収入をすべて合計すると、税込みで、いくらくらいでしたか。あなたご自身の収入、同居している家族の収入、社会保障給付（児童手当・児童育成手当・児童扶養手当・生活保護・年金など）、子どもの父親から受け取った養育費など、家族全体でみて、すべてを合計した金額について、一番近い番号を選んでください。

（一つに○）

1. 100万円未満	6. 300～350万円未満	11. 600～700万円未満
2. 100～150万円未満	7. 350～400万円未満	12. 700～800万円未満
3. 150～200万円未満	8. 400～450万円未満	13. 800～900万円未満
4. 200～250万円未満	9. 450～500万円未満	14. 900万円以上
5. 250～300万円未満	10. 500～600万円未満	

問26　あなたのご家庭では、次の物のうち、経済的理由のために、ない物はありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 洗濯機	5. クーラー	9. 急な出費のための貯金（5万円以上）
2. 炊飯器	6. 電子レンジ	10. 1～9にあてはまるものはない
3. 掃除機	7. 電話（固定電話・携帯電話を含む）	
4. 暖房機器	8. 家族全員分の布団またはベッド	

問27　あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。　（一つに○）

1.	2.	3.	4.	5.
大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい

問28　あなたのご家庭では、家族で泊りがけの旅行に行くことはありますか。あなたの実家への帰省旅行も含みます。　（一つに○）

1. 行く　⇒　年（　　）回くらい
2. ほとんど行くことはない

悩みや相談についておたずねします

問29　現在、次のことがらについて、悩んでいることや心配なことがありますか。「あなた自身のこと」「子ども・子育てのこと」それぞれについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

（それぞれ、あてはまるものすべてに○）

A.　あなた自身のこと	B.　子ども・子育てのこと
1. 生活費が足りない	1. 子どもの健康
2. 子どもの教育費が足りない	2. 子どもの発達・障がい
3. 子どもの養育費が足りない	3. 子どもと過ごす時間が少ない
4. 子どもの養育費がもらえない	4. 子どもとの会話が少ない
5. 自分の健康	5. 子どものいじめ・交友関係
6. 自分の老後	6. 子ども粗暴な態度や家庭内暴力
7. 職場環境や就労条件	7. 子どもの父親または母親と子どもの関係
8. 元夫または元妻との関係	8. 子どもの学力
9. 親の介護	9. 子どもの進路
10. 再婚	10. 不登校・引きこもり
11. ひとり親家庭への無理解や偏見	11. 1～10にあてはまるものはない
12. 孤立や孤独感	
13. 言葉の問題（会話、読み書きで苦労している）	
14. 1～13にあてはまるものはない	

問30　あなたは仕事に使える資格を何か持っていますか。

また、これから取りたい仕事の資格はありますか。

いま持っている資格　（　　）
これから取りたい資格（　　）

問31　あなたは、次のような支援やサービスを利用したいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 学校や家庭以外で子どもが学べる場所
2. 子ども向けの家庭教師派遣サービス
3. 子どもの進学費用の補助や支援
4. 資格取得や進学のため大人（親）が学べる場所の提供や学習支援
5. 親が不在でも子どもが地域の人と食事ができる場所
6. フードバンクなどによる食料支援
7. 親が仕事の時など子どもの送迎をしてくれるサービス
8. 自分がどういう仕事に適性があるのかなど相談できるキャリアコンサルティング
9. パソコン教室など就職や転職に役立つ知識を得ることができる講座
10. 自分が高校卒業程度の認定資格を取るための費用補助や支援
    （高卒資格をもっていない場合）
11. 自分が高校卒業以上の専門学校や大学で学ぶための費用補助や支援（高卒の場合）
12. 自分が仕事や職業に活かせる資格を取るための費用補助や支援
13. 自宅にホームヘルパーなどを派遣し、保育や家事を支援するサービス
14. 家計管理に関する講座、ファイナンシャルプランナーに相談できる窓口
15. 養育費についての相談や支援
16. 家賃や住宅費にかかわる補助や支援
17. 引越（転居）にかかわる費用補助や支援

18. 自分が希望する制度や支援について検索できるインターネットサービス

19. ひとり親家庭向けのメールマガジン

20. ひとり親家庭向けのサロン（イベントや講座など。保育あり）

21. ひとり親家庭向けの相談（面談、メール、電話）

22. 無料または割引料金で、子どもと一緒に参加できるレジャーツアー

23. レジャー施設や宿泊施設を親子で利用するときに、利用料金の一部を補助

24. その他（具体的に　　）

問32　最後に、足立区へのご意見がありましたら、自由に書いてください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

足立区ひとり親家庭実態調査アンケート調査報告書

２０１８年6月発行

発　行　　足立区

編　集　　足立区福祉部親子支援課
東京都足立区中央本町１－１７－１
電話　０３－３８８０－５１１１（代表）